

教育要覧

平成 2 6 年 版

名古屋市教育委員会

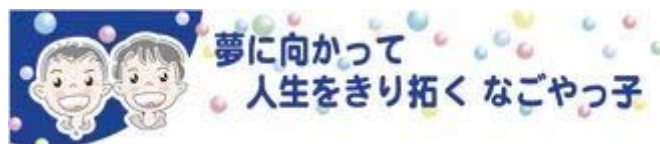
教 育 要 覧

平 成 2 6 年 版



(歴史の里)

名 古 屋 市 教 育 委 員 会



教育委員会委員



服部委員



野田委員長



梶田委員



福谷委員



下田委員（教育長）



小栗委員

（平成26年7月1日現在）

ま え が き

近年における、少子・高齢化や国際化、あるいは情報化の急速な進展は、子どもたちを取り巻く環境に、大きな影響を与えています。その状況の下、子どもたちの学力低下や家庭・地域の教育力の低下、子どもたちの安全確保の問題等の、教育分野における新たな課題が浮上しています。

本市教育委員会では、平成19年3月に策定した、初めての中期計画となる「なごやっ子教育推進計画」の後継計画として、平成23年3月に「名古屋市教育振興基本計画」を策定しました。

この計画を通して、「夢に向かって人生をきり拓くなごやっ子」の育成を目指し、本市教育行政を取り巻く複雑・多様な現状に対して適切に対応していくために、名古屋市立幼稚園、小・中・特別支援・高等学校段階における教育・育成に関する施策及び生涯学習全般における学びの支援に関する施策に取り組んでいます。

この「教育要覧（平成26年版）」では、最新の統計資料とともに、平成25年度の教育のあゆみを集録し、名古屋市の教育の現状を広く紹介しています。

本書を通じて、本市の教育をご理解いただき、より一層のご支援とご協力をいただければ幸いです。

平成26年9月

名古屋市教育委員会

目 次

ま え が き

第1部 教 育 行 財 政

第1章 教 育 行 政	1
1 平成25年度本市教育行政のあらまし	1
2 教 育 委 員 会	3
3 条例規則等の制定改廃	4
4 附属機関その他の機関	8
5 教育委員会事務局及び学校以外の教育機関等	16
6 教育委員会所管施設一覧	28
7 広報広聴調査活動	28
8 企画調整事務	31
9 争 訟 事 務	32
第2章 教 育 財 政	35
1 平成26年度教育関係予算の概要	35
2 新規・拡充事業及び重点施策	38
3 小・中学校標準運営費	39
4 マイスクールプラン	40
第3章 計 画 の 推 進	41
1 名古屋市教育振興基本計画	41
2 名古屋市立小・中学校における小規模校対策に関する基本方針	42
3 小規模校対策に関する実施計画	43
4 名古屋市立小・中学校における日本語指導が必要な児童生徒への対応に関する具体的な施策	44
5 名古屋市不登校対策基本構想	45
6 魅力ある市立高等学校づくり推進基本計画	46
7 第2次名古屋市子ども読書活動推進計画	47
8 名古屋市スポーツ推進計画	48
9 「歴史の里」基本計画	49

第2部 学校施設、設備、管理、なごや子ども応援委員会

第1章 校（園）地及び校（園）舎の実態	51
1 学校施設の整備	51
2 学校施設の現況	53

3	学校の移転及び通学区域の変更	72
4	小規模校対策	72
第2章	学校設備の充実状況	73
第3章	学校施設の管理	74
1	学校施設の機械警備	74
2	学校（園）近隣協力員	74
第4章	なごや子ども応援委員会	75
1	趣旨	75
2	各委員会の構成	75
3	設置ブロックと設置校	75

第3部 幼児、児童、生徒、教職員

第1章	幼児、児童、生徒	77
1	幼児、児童、生徒数	77
2	児童・生徒表彰件数	80
3	進路状況	81
4	児童・生徒の長期欠席と就学免除・猶予状況	83
第2章	教職員	87
1	教職員構成状況	87
2	学校医、学校歯科医及び学校薬剤師数	88
3	教員の採用と異動状況	89
4	教職員表彰件数	90
5	教職員の福利厚生	90
6	平成25年度教員免許状取得状況	91
7	教育指導者の派遣事業（名古屋市教育サポートセンター）	91
8	学校事務支援センター	91
9	学校問題解決支援チーム	92

第4部 学校教育

第1章	教育指導	93
1	平成25年度学校教育の努力目標	93
2	教育課程の概況	93
3	指導方針	94
4	個に応じた指導	95
5	総合的な学習の時間	96
6	生徒指導	96
7	不登校児童生徒対策	97

8	進路指導	98
9	特別活動	98
10	道徳教育	98
11	安全教育	99
12	学校図書館教育	100
13	職業教育	100
14	野外教育	100
15	国際理解	101
16	情報教育	103
17	定時制教育	104
18	特別支援教育	105
19	幼児教育	113
20	学校諸行事	114
21	開かれた学校づくり	116
22	エコ・フレンドシップ事業	116
23	海外演奏家等による音楽鑑賞の推進	116
24	いじめ対策	116
第2章 教科用図書採択		117
1	教科用図書の採択	117
2	教科用図書の展示会	117
3	平成26年度使用教科用図書	117
第3章 高等学校入学者選抜		118
1	概要	118
2	平成26年度募集人数と志願者数等	119
第4章 教職員研修と教育研究		120
1	名古屋市教育センター	120
2	教職員研修の実施	121
3	教員免許状更新講習	126
4	なごや教師養成塾	126
5	研究調査等	126
6	教育研究資料の利用	126
7	情報教育ネットワーク	127
8	教育相談	128
9	学力向上サポート事業	128
10	指導体験記録の募集	129
第5章 就学		130
1	就学援助	130
2	就学奨励	131

3 私学助成	132
4 越境通学防止	134

第5部 学校保健、給食、体育

第1章 学校保健	137
1 児童・生徒・幼児の保健管理	137
2 就学時健康診断	141
3 教職員の保健管理	142
4 学校環境衛生管理	144
5 学校における安全対策	144
6 日本スポーツ振興センター	145
7 名古屋市学校保健会	145
第2章 学校給食	146
1 学校給食	146
2 運営組織	149
3 普及活動	150
第3章 学校体育	151
1 学校体育の概要	151
2 各種講習会	152
3 元気いっぱいなごやっ子の育成	152
4 体力・運動能力調査	153
5 各種体育大会	154
6 名古屋市小中学校体育連盟	154
7 名古屋市学校体育センター	155

第6部 生涯学習・社会教育

第1章 生涯学習の推進	157
1 生涯学習社会を目指して	157
2 生涯学習が必要とされる社会的背景	157
3 基本方針	157
4 平成25年度重点事業	158
第2章 成人教育	159
1 成人教育の概況	159
2 女性教育	163
3 視聴覚教育	164
第3章 青少年教育	166
1 青少年教育の概況	166

2 青少年の教育	166
第4章 文化財の保護	169
1 概要	169
2 文化財の保護	169
3 「歴史の里」の整備	170
第5章 市民スポーツ	171
1 市民スポーツの概況	171
2 活動状況（平成25年度主要事業実績）	174
第6章 社会教育施設	176
1 社会教育施設の概況	176
2 図書館	176
3 名古屋市博物館	191
4 名古屋市見晴台考古資料館	198
5 名古屋市美術館	201
6 名古屋市科学館	204
7 生涯学習センター、生涯学習推進センター、女性会館	209
8 スポーツ施設	219
第7章 学校開放	234
1 学校開放の概況	234
2 学校開放	234

第7部 人権教育

第1章 人権教育の推進体制	248
1 基本的な考え方	248
第2章 学校教育	249
1 人権教育の研究推進	249
2 人権教育研修会	250
3 資料の整備	250
第3章 社会教育	252
1 文化センター等における教育委員会主催事業	252
2 市民の人権問題についての認識を深めるための社会教育	252

付 録

1 事務参考資料（出版物等一覧）	255
2 教育年表	259
3 中学校区一覧	262

第1部 教育行財政

第1章 教育行政

1 平成25年度本市教育行政のあらまし

(1) 教育委員会では、平成23年3月に平成26年度までを計画期間とする「名古屋市教育振興基本計画」を策定し、教育を取り巻く環境の変化に対応しながら、学校教育をはじめとした教育施策を推進することにより、夢に向かって人生をきり拓くなごやっ子の育成に取り組んだ。

(2) 学校教育では、平成25年度の努力目標を定め、社会の変化に主体的に対応できるたくましい青少年の育成を目指して、一人一人のよさや可能性を伸ばし、よりよい自己実現を促す教育の実践に努めた。

ア 学校施設の整備については、教室の増改築、大規模改造、新設校の建設等を実施した。また、学校の校舎を津波避難ビルに指定できるよう、小学校12校、中学校5校について、必要な整備を実施した。

イ 教育指導面では、教育課程の参考及び指導指針を示すとともに、集団生活への適応を図るため、小学校1年生・2年生での30人学級を実施した。

各教科の基盤となる国語力を高めるため、「国語力向上推進事業」に取り組んだ。小学校4～6年生を対象とした「なごやっ子漢字力アッププリント」を小学校に配布・配信するとともに、「小学校国語の授業ハンドブック」を全小学校、特別支援学校に配布した。また、小学校生向けの「なごやっ子読書ノート」を全児童に、中学生向けの「なごやっ子読書カード」を全中学校に配布するとともに、「本の帯コンクール」を実施した。また、英語が話せるなごやっ子の育成をめざして、外国人英語指導助手とのティームティーチングによる生きた英語指導と英語活動・外国語活動アシスタントとのティームティーチングによる小学校英語活動・外国語活動の実施、日本語指導が必要な外国人児童・生徒の相談等に対応する日本語教育相談センターの運営、母語学習協力員の配置等、学習指導の充実に努めた。一方、生徒指導対策については、関係諸機関との連絡協議会の開催、学校における児童・生徒指導活動推進事業の実施、進路指導体制の確立、小・中学校で特設講座（基礎・発展）の開設、心理的な理由による不登校児に対する教育相談や適応指導を進める子ども適応相談センターの運営、中・高生による「夢・チャレンジ」支援事業の実施など、その充実に努めた。また、「学校における仲間づくり推進事業」や「なごや I N G キャンペーン」を実施するとともに「いじめ防止教育プログラム」を作成・配布し、いじめのない学校づくりに努めた。さらに、スクールカウンセラーの配置拡充、インターネット上におけるいじめの対策に取り組んだ。

その他にも、特色ある教育活動や学校づくりを行うマイスクールプランの実施、人権教育、国際理解教育、情報教育等、教育内容の充実に努めたほか、「愛・地球博」を契機とし、「COP10」

を通じて充実した環境教育を継続・発展させるとともに環境問題に対する一層の意識高揚を促し、環境首都なごやを担っていく人材の育成を図るため「エコ・フレンドシップ事業」を実施した。

ウ 児童・生徒の健康管理の面では、入学及び市外から転入した者を対象とした心臓検診や、全小学校でのアレルギー性疾患に関する検診、また、小学校において歯科疾患特別健診を実施するなど、児童・生徒の疾患対策の一層の充実を図った。

学校給食では、子どもたちの心身の健全な発達に資することを目的として地産地消の取り組みを始め内容の充実に努めた。また、複数メニュー、弁当併用、ランチルームでの喫食等の方式での中学校スクールランチを109校で実施した。

学校体育においては、児童・生徒が生涯を通じて運動を実践し、健康な生活を営むための能力や態度の基礎の育成に努めるとともに、体育学習や部活動における指導者の資質向上に役立てるため、体育実技等の講習会を実施した。

エ 教育奨励事業としては、要・準要保護児童生徒の就学援助等を実施した。

(3) 社会教育行政については、市民が教養を高め、生涯の各時期に応じて、多様で、かつ、自主的な学習ができるよう、条件整備に努めた。

ア 成人教育の面では、社会教育施設における各種講座や講演会等を充実させて開設した。更に、家庭教育の振興を図るための事業として、家庭教育セミナー、あい・あい・あいさつ活動、地域ふれあい実践講座、ファミリーデーなごやを実施するとともに、インターネットを活用した講座を開設した。

また、女性教育の内容充実を図るとともに、関係団体の指導者育成や活動助成を行った。

イ 青少年教育については、平成18年度から青少年に関する諸施策の総合的な企画等、市長の権限に属する事務の補助執行が解かれ子ども青少年局の所管事業になるとともに、青少年教育に関する権限を子ども青少年局長の補助執行とした。

ウ スポーツ振興の面では、市民スポーツ祭をはじめ各種事業の充実を図るとともに、スポーツティブ・ライフ月間やマラソンフェスティバル ナゴヤ・愛知を実施したほか、スポーツ功労者表彰を実施した。また、子どものスポーツ振興のため、子どもスポーツフェスタを開催したほか、地域ジュニアスポーツクラブの育成・支援を行った。

エ 文化財保護の面では、文化財保護事業への助成、歴史的町並み保存事業の促進、遺跡発掘調査等各種調査を実施したほか、文化財の公開事業、史跡散策路の活用等、保護事業を推進した。また、「歴史の里」の整備に向けて、予定区域内の埋蔵文化財の発掘調査を実施した。

オ トワイライトスクール（放課後学級・施設開放）については、平成21年度から、放課後学級を「トワイライトスクール」として、それに関する権限を子ども青少年局長が補助執行し実施した。また、施設開放については、「生涯学習開放」として引き続き教育委員会において実施した。

(4) ふれあい交流事業については、昭和61年に名古屋市、中津川市及び稲武町（現豊田市）の3者間で結ばれた「ふれあい協定」に基づき、教育・スポーツ・文化等の交流を通して市民

の友好親善と相互理解を深めた。

2 教育委員会

(1) 教育委員会の組織と活動

ア 教育委員会の組織

教育委員会は、合議制の執行機関で6人の委員で構成され、委員は市議会の同意を得て、市長が任命する。任期は4年で、教育行政の安定を図るため、毎年1人又は2人ずつ改任（又は再任）される。

教育委員会の職務権限は、教育に関する事務を管理執行することであり、市長の権限に属するもの（大学・私立学校及び教育財産の取得・処分に関する事務のほか、教育委員会の所掌に係る事項に関する契約の締結及び予算の執行）を除き、教育事務の大部分に及ぶ。

また、教育委員会は、その権限に属する事務に関し、教育委員会規則を定める権限を有している。

なお、委員の中から教育長が選任され、教育委員会の指揮監督のもとに、教育委員会の権限に属するすべての事務をつかさどることとされている。

また、教育委員会の権限に属する事務を処理するため、教育委員会に事務局が置かれ、教育長は事務局の事務を統括し、所属の職員を指揮監督している。

教育委員会の委員

(平成26年7月1日現在)

職 名	氏 名	年齢	職 業	就任年月日
委 員 長	野 田 敦 敬	56	大 学 教 授	22. 10. 1
委 員 (委員長職務代理者)	服 部 はつ代	69	団 体 役 員	23. 10. 1
委 員 (委員長職務代理者)	梶 田 知	57	会 社 役 員	24. 10. 8
委 員	福 谷 朋 子	43	弁 護 士	24. 10. 8
委 員	小 栗 成 男	50	会 社 役 員	26. 3. 24
委 員 (教 育 長)	下 田 一 幸	59		25. 4. 1

イ 教育委員会の会議

教育委員会の意思は、教育委員会の会議において決定される。会議は、委員長が招集し、委員長及び在任委員の過半数が出席して開かれ、その議事は出席委員の過半数で決し、可否同数のときは委員長の決するところによる。

平成25年度は、定例会12回、臨時会6回の会議を開き、重要案件の審議を行った。

なお、教育委員会の権限に属するすべての事務を教育委員会の会議の審議を経て決定することは實際上不可能であり、合理的とは言えないため、重要な事項を除き、平常事務的な事項の決定は教育長専決規則（昭和31年名古屋市教育委員会規則第13号）の定めるところにより教育長が専決している。

平成25年度において教育委員会に提出された議案は次のとおりである。

教育委員会議案一覧表

内 容	件 数	内 容	件 数
事務局人事に関するもの	3 件	社会教育委員等の委嘱等に関するもの	16 件
教職員人事に関するもの	4 件	教科書の採択に関するもの	2 件
条例の改正等に関するもの	11 件	そ の 他	41 件
教育委員会規則に関するもの	25 件		
予算に関するもの	5 件		
表彰に関するもの	6 件		

3 条例規則等の制定改廃（平成25年4月1日～平成26年3月31日）

（１）条 例

条例番号	名 称	概 要
25年51	名古屋市学校設置条例の一部を改正する条例 [平成25.7.19公布、同年9.1施行]	志段味東小学校の改築移転に伴い、規定を整理した。
25年52	名古屋市スポーツトレーニングセンター条例の一部を改正する条例 [平成25.7.19公布、平成26.4.1施行他]	黒川スポーツトレーニングセンターの利用料金を指定管理者の収入として収受させる等のため、規定を整理した。
25年53	名古屋市プール条例の一部を改正する条例 [平成25.7.19公布、平成26.4.1施行他]	鳴海プール等の利用料金を指定管理者の収入として収受させるため、規定を整理した。

条例番号	名 称	概 要
25年54	名古屋市名城庭球場条例の一部を改正する条例 [平成25. 7. 19公布・施行]	指定管理者選定の基準を見直すため、規定を整理した。
25年64	名古屋市生涯学習センター条例の一部を改正する条例 [平成25. 12. 20公布、平成26. 4. 1施行]	南生涯学習センターの料理室を廃止するため、規定を整理した。
25年65	名古屋市野外スポーツ・レクリエーションセンター条例の一部を改正する条例 [平成25. 12. 20公布、平成26. 4. 1施行]	武豊野外活動センターを廃止する等のため、規定を整理した。
26年15	名古屋市社会教育委員条例の一部を改正する条例 [平成26. 3. 20公布、同年4. 1施行]	社会教育法の一部改正に伴い、社会教育委員の委嘱基準を定めるため、規定を整理した。
26年21	名古屋市立学校の授業料等に関する条例の一部を改正する条例 [平成26. 3. 26公布、同年4. 1施行]	市立高等学校の授業料を定めるため、規定を整理した。
26年22	名古屋市図書館条例の一部を改正する条例 [平成26. 3. 26公布、未施行]	瑞穂図書館の改築移転に伴い、規定を整理した。
26年23	名古屋市名城庭球場条例の一部を改正する条例 [平成26. 3. 26公布、同年4. 1施行他]	名城庭球場の利用料金を指定管理者の収入として収受させるため、規定を整理した。

(2) 教育委員会規則

規則番号	名 称	概 要
25年12	名古屋市生涯学習センター条例施行規則の一部を改正する規則 [平成25. 4. 19公布、平成26. 4. 1施行他]	中村生涯学習センター等の指定管理者の指定の手續等について、規定を整理した。
25年13	名古屋市女性会館条例施行規則の一部を改正する規則 [平成25. 4. 19公布、平成26. 4. 1施行他]	女性会館の指定管理者の指定の手續等について、規定を整理した。
25年14	名古屋市立幼稚園授業料等減免規則の一部を改正する規則 [平成25. 5. 24公布・施行]	市立幼稚園の授業料等の減免の要件を変更するため、規定を整理した。
25年15	名古屋市スポーツトレーニングセンター条例施行規則の一部を改正する規則 [平成25. 7. 19公布、平成26. 4. 1施行他]	黒川スポーツトレーニングセンターの利用料金について必要な事項を定める等のため、規定を整理した。
25年16	名古屋市プール条例施行規則の一部を改正する規則 [平成25. 7. 19公布、平成26. 4. 1施行他]	鳴海プール等の利用料金について必要な事項を定めるため、規定を整理した。

規則番号	名 称	概 要
25年18	名古屋市入学準備金条例施行規則の一部を改正する規則 [平成25. 11. 12公布・施行]	連帯保証人が死亡した場合又は連帯保証人の変更の必要が生じた場合の手続を定めるため、規定を整理した。
26年1	名古屋市教育委員会事務局規則の一部を改正する規則 [平成26. 3. 28公布、同年4. 1施行]	子ども応援委員会制度担当部を設置する等のため、規定を整理した。
26年2	名古屋市生涯学習センター処務規則の一部を改正する規則 [平成26. 3. 28公布、同年4. 1施行]	中村生涯学習センター等の管理を指定管理者に行わせる等のため、規定を整理した。
26年3	名古屋市女性会館処務規則を廃止する規則 [平成26. 3. 28公布、同年4. 1施行]	女性会館の管理を指定管理者に行わせるため、規則を廃止した。
26年4	名古屋市見晴台考古資料館処務規則の一部を改正する規則 [平成26. 3. 28公布、同年4. 1施行]	埋蔵文化財の発掘調査に係る業務を文化財保護室に一元化するため、規定を整理した。
26年5	公所と称する規則の一部を改正する規則 [平成26. 3. 28公布、同年4. 1施行]	女性会館の管理を指定管理者に行わせる等のため、規定を整理した。
26年6	教育長専決規則の一部を改正する規則 [平成26. 3. 28公布、同年4. 1施行]	入学準備金の滞納整理に関する事務の一部を財政局長に補助執行させること等に伴い、規定を整理した。
26年7	名古屋市教育委員会の区長に対する事務委任規則の一部を改正する規則 [平成26. 3. 28公布、同年4. 1施行]	中村生涯学習センター等の管理を指定管理者に行わせること等に伴い、規定を整理した。
26年8	教育長及び名古屋市教育委員会事務局職員の勤務時間の特例等に関する規則の一部を改正する規則 [平成26. 3. 28公布、同年4. 1施行]	青少年交流プラザの管理を指定管理者に行わせることに伴い、規定を整理した。
26年9	名古屋市立高等学校学則の一部を改正する規則 [平成26. 3. 28公布、同年4. 1施行]	市立高等学校の授業料の納付方法等を定める等のため、規定を整理した。
26年10	名古屋市立特別支援学校学則の一部を改正する規則 [平成26. 3. 28公布、同年4. 1施行]	西養護学校等の生徒定員を変更するため、規定を整理した。
26年11	名古屋市立小学校、中学校及び特別支援学校の事務職員等の職の設置に関する規則の一部を改正する規則 [平成26. 3. 28公布、同年4. 1施行]	小学校、中学校及び特別支援学校に、新たに総括事務長を設置するため、規定を整理した。

規則番号	名 称	概 要
26年12	名古屋市立幼稚園園則の一部を改正する規則 [平成26. 3. 28公布、同年4. 1施行]	第一幼稚園等の園児定員を変更する等のため、規定を整理した。
26年13	名古屋市就学援助規則の一部を改正する規則 [平成26. 3. 28公布、同年4. 1施行]	就学援助の種類に食物アレルギー管理指導費を加えるため、規定を整理した。
26年14	名古屋市社会教育委員協議会規則の一部を改正する規則 [平成26. 3. 28公布、同年4. 1施行]	名古屋市社会教育委員条例の一部改正に伴い、規定を整理した。
26年15	名古屋市博物館条例施行規則等の一部を改正する規則 [平成26. 3. 28公布、同年4. 1施行]	博物館、蓬左文庫、美術館及び科学館の観覧料を減免することができる場合を改めるため、規定を整理した。
26年16	名古屋市生涯学習センター条例施行規則の一部を改正する規則 [平成26. 3. 28公布、同年4. 1施行]	南生涯学習センターの第4集会室の供用開始に伴い、使用時間を定めるため、規定を整理した。
26年17	名古屋市野外スポーツ・レクリエーションセンター条例施行規則の一部を改正する規則 [平成26. 3. 28公布、同年4. 1施行]	武豊野外活動センターの廃止に伴い、規定を整理した。
26年18	名古屋市名城庭球場条例施行規則の一部を改正する規則 [平成26. 3. 28公布、同年4. 1施行他]	名城庭球場の利用料金について必要な事項を定める等のため、規定を整理した。

(3) 市 規 則

規則番号	名 称	概 要
25年71	名古屋市私立高等学校及び私立幼稚園授業料補助に関する条例施行細則の一部を改正する規則 [平成25. 5. 31公布・施行]	私立幼稚園の授業料補助対象者を区分する所得割額を改める等のため、規定を整理した。
25年86	名古屋市立中学校生徒の転落死に係る検証委員の設置に関する規則 [平成25. 7. 29公布・施行]	検証委員を設置するため、規則を制定した。
26年40	名古屋市立中学校生徒の転落死に係る検証委員の設置に関する規則を廃止する規則 [平成26. 3. 31公布、同年4. 1施行]	検証委員による検証及び検討が終了したため、規則を廃止した。

(4) 訓 令

訓令番号	名 称	概 要
26名教 委訓令 1	名古屋市教育委員会職員証規程の一部を 改正する規程 [平成26. 2. 28公布、同年3. 1施行]	職員証の有効期間等について、規定を整理した。
26名教 委教訓 令1	教育次長以下代決規程の一部を改正する 規程 [平成26. 3. 31公布、同年4. 1施行]	平成26年度の組織改正等に伴い、規定を整理した。
26名教 委教訓 令2	名古屋市教育委員会事務局係設置並びに 分掌事務規程の一部を改正する規程 [平成26. 3. 31公布、同年4. 1施行]	子ども応援委員会制度担当部を設置する 等のため、規定を整理した。

4 附属機関その他の機関

(1) 名古屋市産業教育審議会

産業教育振興法（昭和26年法律第228号）第11条、名古屋市産業教育審議会委員定数条例（昭和27年名古屋市条例第4号）及び名古屋市産業教育審議会規則（昭和27年名古屋市教育委員会規則第3号）に基づき、昭和27年7月に発足し、教育委員会の諮問に応じて、産業教育に関して調査審議し、教育委員会に対して答申又は建議を行っている。

(2) 名古屋市社会教育委員協議会

社会教育法（昭和24年法律第207号）第15条及び名古屋市社会教育委員条例（昭和24年名古屋市条例第58号）に基づき、教育委員会が委嘱した10人の社会教育委員によって構成される協議会である。名古屋市社会教育委員協議会規則（昭和24年名古屋市教育委員会規則第6号）に基づき、会議を開催し、教育委員会の諮問に応じ、意見を述べている。任期は2年で、平成26年2月1日に第33期社会教育委員を委嘱した。

平成25年度は、4回開催し、補助金交付などについて審議した。

委 員

(平成26年7月1日現在)

種 別	役 職	氏 名
学 校 教 育 関 係 者	名古屋市立高蔵小学校長	辻 正 人
社 会 教 育 関 係 者	名古屋市立小中学校PTA協議会会長 名古屋市地域女性団体連絡協議会会長 日本ボーイスカウト愛知連盟元理事	寺 本 充 加 藤 玲 子 東 頭 信 夫
家 庭 教 育 の 向 上 に 資 す る 活 動 を 行 う 者	臨床心理士	後 藤 かをり

種 別	役 職	氏 名
学 識 経 験 者	名城大学大学院教授	伊 藤 康 児
	金城学院大学教授	原 史 子
	愛知大学教授	加 藤 鉦 治
	弁護士	長谷川 龍 伸
	公募委員	尾 崎 由利子

(3) 名古屋市文化財調査委員会

名古屋市文化財保護条例（昭和47年名古屋市条例第4号）に基づき、教育委員会の諮問に応じて市指定文化財の指定などに関して意見を述べるとともに、文化財の保存、活用に関する専門的事項を調査審議している。

平成25年度は、2回開催し、文化財保護行政上の課題などについて審議・報告した。

委 員

(平成26年7月1日現在)

所属・職名	氏 名	担 当 部 会
愛 知 淑 徳 大 学 学 非 常 勤 講 師	赤 羽 一 郎	考古埋蔵文化財、史跡名勝天然記念物
名 古 屋 造 形 大 学 教 授	池 田 洋 子	美術工芸
東 海 学 院 大 学 教 授	岡 本 真理子	建造物・町並み
名 古 屋 工 業 大 学 大 学 学 院 教 授	河 田 克 博	建造物・町並み
名 古 屋 芸 術 大 学 教 授	岸 野 俊 彦	文書典籍
中 京 大 学 非 常 勤 講 師	鬼 頭 秀 明	無形文化財・民俗文化財
愛 知 県 立 芸 術 大 学 名 誉 教 授	熊 田 由美子	美術工芸
南 山 大 学 教 授	黒 沢 浩	考古埋蔵文化財・史跡名勝天然記念物
日 本 福 祉 大 学 教 授	高 部 淑 子	文書典籍
中 部 大 学 教 授	永 田 典 子	無形文化財・民俗文化財
名 古 屋 大 学 大 学 院 教 授	西 澤 泰 彦	建造物・町並み
名 古 屋 大 学 博 物 館 准 教 授	西 田 佐知子	史跡名勝天然記念物
愛知県立旭丘高等学校教諭	服 部 誠	無形文化財・民俗文化財

所属・職名	氏 名	担 当 部 会
岐 阜 聖 徳 学 園 大 学 名 誉 教 授	安 田 徳 子	文書典籍
名 古 屋 大 学 大 学 院 教 授	山 本 直 人	考古埋蔵文化財・史跡名勝天然記念物
豊 田 市 美 術 館 館 長	吉 田 俊 英	美術工芸

（４）名古屋市スポーツ推進審議会

スポーツ基本法（平成23年法律第78号）第31条及び名古屋市スポーツ推進審議会条例（昭和57年名古屋市条例第16号）に基づき、教育委員会が任命した15人以内によって構成される審議会である。

平成25年度は、２回開催し、名古屋市スポーツ推進計画に基づく事業の実施状況、名古屋市スポーツ功労者顕彰などについて審議した。

委 員

（平成26年 7 月 1 日現在）

役 職	氏 名
名古屋市女性レクリエーションバレーボール連絡協議会会長	磯 田 芳 美
中日ドラゴンズ取締役相談役	井 手 峻
名古屋市教育スポーツ協会理事（名古屋市体育協会運営審議員）	後 藤 泰 之
あいち健康の森健康科学総合センターセンター長	津 下 一 代
三重大学教授	鶴 原 清 志
アテネ五輪日本代表（陸上競技）	中 田 有 紀
名古屋市会教育子ども委員会委員長	橋 本 ひろき
公募委員	藤 田 琢 爾
愛知淑徳大学教授	松 田 秀 子
北京五輪日本代表（シンクロナイズドスイミング）	松 村 亜矢子
名古屋グランパスエイト取締役事業本部長	山 本 秀 樹
名古屋大学教授	山 本 裕 二
名古屋市スポーツ推進委員連絡協議会評議員	淀 川 悦 子

（５）名古屋市図書館協議会

図書館法（昭和25年法律第118号）第14条及び名古屋市図書館協議会条例（昭和44年名古屋市条例第7号）に基づき、鶴舞中央図書館に置かれ、図書館の運営に関し館長の諮問に応じるとともに、図書館奉仕について館長に対して意見を述べるができる。

平成25年度は、6回開催し、主に次のような事項について審議した。

ア 「平成25年度名古屋市図書館サービス計画における重点事項（目標）」について

イ 「第2次名古屋市図書館中期計画」について

ウ 学校図書館との連携について

エ レファレンスサービスについて

オ 図書館ホームページについて

委 員

（平成26年7月1日現在）

種 別	役 職	氏 名
学 校 教 育 関 係 者	名古屋市立栄小学校長	小 口 博 則
社 会 教 育 関 係 者	名古屋市地域女性団体連絡協議会理事 名古屋市立小中学校PTA協議会理事	橋 本 り 兎 子 植 田 直 美
家庭教育の向上に 資する活動を行う者	臨床心理士	後 藤 かをり
学 識 経 験 者	名城大学人間学部教授 愛知県弁護士会図書委員会委員 南山大学人文学部准教授 同朋大学社会福祉学部講師 中日新聞社編集局資料部部長 公募委員	神 谷 俊 次 小 林 和 正 林 雅 代 木 本 有 香 橋 本 敦 子 田 中 勢 都

（６）名古屋市児童図書選定協議会

児童図書選定協議会規程（昭和33年名教訓第3号）に基づき、次の事項を審議している。

ア 本市小中学校向図書を選定すること。

イ 選定図書の普及に関すること。

現在当会は、委員37人と特別委員2人で組織されており、平成25年度は11回開催された。

（７）名古屋市生涯学習推進センター協議会

名古屋市生涯学習センター条例（平成12年名古屋市条例第38号）に基づき、教育委員会の附属機関として、教育委員会の諮問に応じ、生涯学習推進センターの事業の実施について調査審議している。協議会の委員は教育委員会が委嘱し、会長・副会長は委員の互選による。

なお、生涯学習推進センターを平成26年3月31日をもって廃止したことに伴い、名古屋市生涯学習推進センター協議会は廃止された。

平成25年度は、2回開催し、主に次のような事項について審議した。

ア 大学連携講座・名古屋市民大学講座及び調査研究事業について

イ 事業実施状況及び平成26年度事業について

委 員

(平成26年 3 月31日現在)

種 別	役 職	氏 名
学 校 教 育 関 係 者	名古屋市立名城小学校長	鈴 木 博 志
社 会 教 育 関 係 者	名古屋市立小中学校 P T A 協議会副会長 名古屋市地域女性団体連絡協議会理事 日本ボーイスカウト愛知連盟名古屋地区協議会連合会委員 特定非営利活動法人生涯学習ネットワーク中部事務局長 名古屋市北生涯学習センター協議会委員	佐 藤 泰 久 遠 藤 恒 子 三 井 信 之 清 水 浩 子 小 川 雄 二
学 識 経 験 者	心理カウンセラー 愛知県立大学外国語学部国際関係学科教授 放送大学愛知学習センター所長 弁護士	山 本 道 子 鵜 殿 悦 子 服 部 重 昭 江 本 真 理

(8) 名古屋市博物館協議会

博物館法（昭和26年法律第285号）第20条及び名古屋市博物館条例（昭和52年名古屋市条例第 8 号）に基づき、博物館に置かれ、博物館の運営に関し館長の諮問に応ずるとともに、館長に対して意見を述べる機関である。

平成25年度は、2 回開催し、次のような事項について審議した。

- ア 平成24年度事業報告・決算について
- イ 平成25年度事業中間報告について
- ウ 平成25年度中間事業報告について
- エ 平成26年度事業計画（案）について

委 員

(平成26年 7 月 1 日現在)

種 別	役 職	氏 名
学 校 教 育 関 係 者	名古屋市立大宝小学校長 学校法人菊武学園理事長 名古屋市立向陽高等学校長	今 川 郁 子 高 木 弘 恵 津 金 倫 明
社 会 教 育 関 係 者	名古屋市港区西福田学区女性会会長 徳川美術館長 熱田神宮宝物館長	谷 本 雅 子 徳 川 義 崇 宮 田 理 博
家庭教育関係者	名古屋市立小中学校 P T A 協議会理事	柴 山 はるみ

種 別	役 職	氏 名
学 識 経 験 者	日本放送協会名古屋放送局長	古 川 幸 司
	中日新聞社名古屋本社事業局長	山 口 宏 昭
	名古屋造形大学教授	池 田 洋 子
	名古屋商工会議所文化・観光委員会副委員長	滝 茂 夫
	岐阜聖徳学園大学名誉教授	安 田 徳 子
	東朋テクノロジー株式会社取締役社長	富 田 英 之
	名古屋市博物館資料委員	羽 賀 祥 二
	公募委員	金 場 昭 子

(9) 名古屋市美術館協議会

博物館法第20条及び名古屋市美術館条例（昭和63年名古屋市条例第7号）に基づき、美術館に置かれ、美術館の運営に関し館長の諮問に応ずるとともに、館長に対して意見を述べる機関である。

平成25年度は、2回開催し、次のような事項について審議した。

ア 平成24年度事業実施結果について

イ 平成25年度事業実施状況について

ウ 平成26年度事業計画案及び予算案について

委 員

(平成26年7月1日現在)

種 別	役 職	氏 名
学 校 教 育 関 係 者	名古屋市立東山小学校長	佐 藤 佳 子
	愛知県私学協会副会長	大 谷 恩
	愛知県立旭丘高等学校長	笹 尾 幸 夫
	名古屋市立向陽高等学校長	津 金 倫 明
社 会 教 育 関 係 者	公益財団法人名古屋市文化振興事業団副理事長	別 所 眞 三
	金城学院大学人間科学部教授	原 史 子
	名古屋市地域女性団体連絡協議会理事	橋 本 りゑ子
家庭教育関係者	名古屋市立小中学校PTA協議会理事	二 村 里 美
	公募委員	陶 山 朋 子
学 識 経 験 者	愛知県立芸術大学教授	小 西 信 之
	名古屋商工会議所文化・観光委員会副委員長	滝 茂 夫
	愛知県美術館長	村 田 眞 宏
	名古屋造形大学教授	江 本 菜穂子
	名古屋大学文学研究科准教授	加 藤 靖 恵

(10) 名古屋市科学館協議会

博物館法第20条及び名古屋市科学館条例（昭和37年名古屋市条例第27号）に基づき、科学館に置かれ、科学館の運営に関し館長の諮問に応ずるとともに、館長に対して意見を述べる。

平成25年度は、2回開催し、次のような事項について審議した。

ア 平成24年度事業報告について

イ 平成24年度決算見込について

ウ 平成26年度事業計画案について

委 員

（平成26年7月1日現在）

種 別	役 職	氏 名
学 校 教 育 関 係 者	名古屋市立大宝小学校長	今 川 郁 子
	名古屋市立菊里高等学校長	加 藤 雄 司
	名古屋市立第三幼稚園長	加 藤 智 子
	愛知県私学協会副会長	大 谷 恩
社会教育関係者	名古屋市地域女性団体連絡協議会理事	青 山 淑 子
家庭教育の向上に 資する活動を行う者	名古屋市立小中学校PTA協議会理事	山 下 清 子
	公募委員	村 田 実
学 識 経 験 者	名古屋看護助産学校非常勤講師	小 林 身 哉
	国立病院機構名古屋医療センター院長	直 江 知 樹
	名古屋大学大学院生命農学研究科教授	東 村 博 子
	日本放送協会名古屋放送局長	吉 川 幸 司
	公益財団法人中部科学技術センター専務理事	神 崎 修 三
	名古屋商工会議所副会頭	内 藤 弘 康
	中日新聞社名古屋本社事業局長	山 口 宏 昭

(11) 名古屋市女性会館運営審議会

名古屋市女性会館条例（昭和53年名古屋市条例第22号）に基づき、教育委員会の諮問に応じ、女性会館における各種の事業の運営について審議している。審議会の委員は教育委員会が委嘱し、その定数は12人以内とし、会長、副会長は委員の互選による。

なお、女性会館に平成26年4月1日から指定管理者制度が導入されることに伴い、平成26年3月31日をもって、名古屋市女性会館運営審議会は廃止された。

平成25年度は、3回開催し、主に次のような事項について審議した。

ア 平成25年度後期主催講座

イ 平成26年度事業計画

ウ 平成26年度前期主催講座

委 員

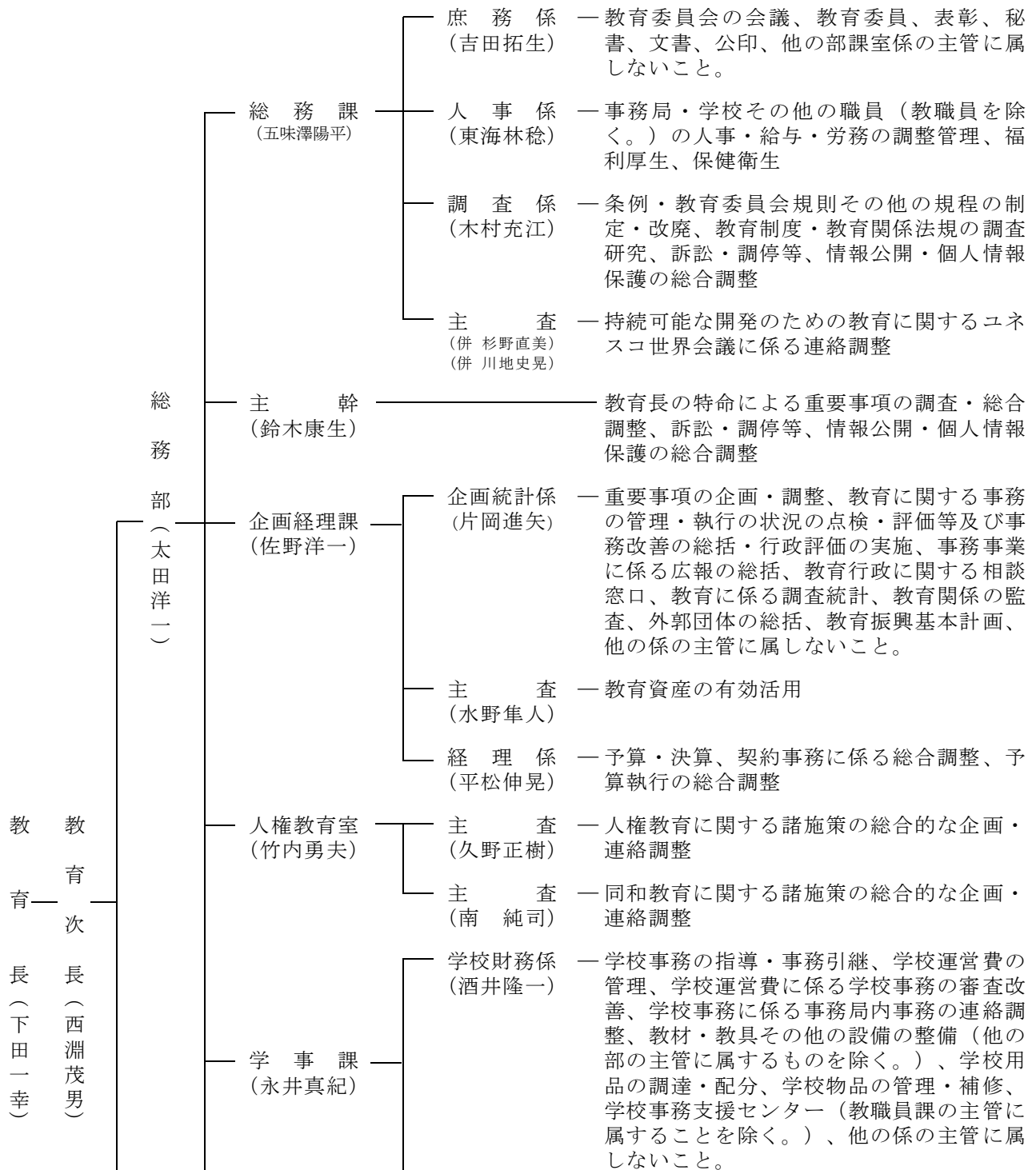
(平成26年3月31日現在)

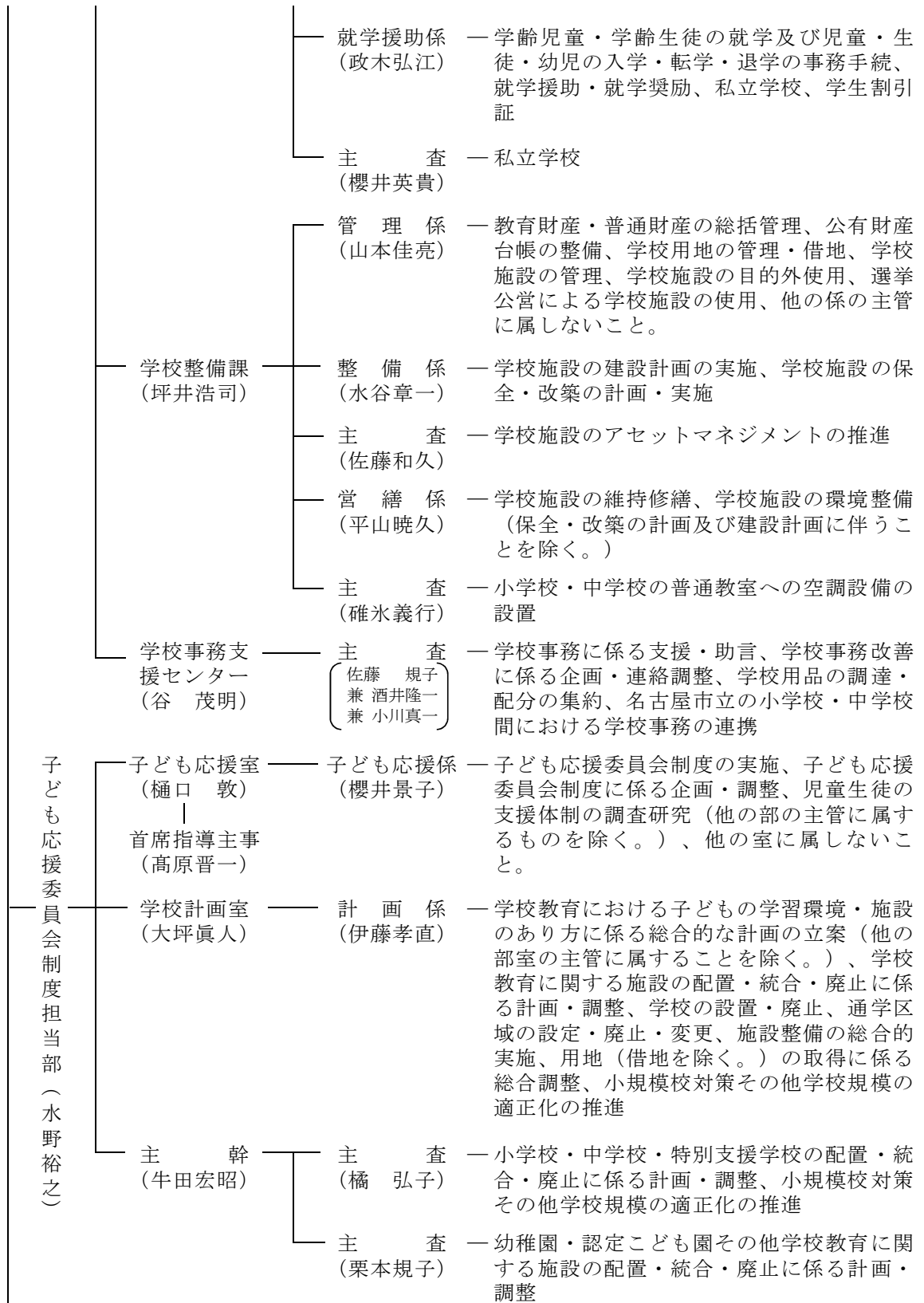
種 別	役 職	氏 名
社 会 教 育 関 係 団 体 代 表	名古屋市港区女性団体連絡協議会役員 名古屋市立小中学校PTA協議会副会長 託児の会「たんぽぽ」元会長 情報ネットワーク協会会長	谷 本 雅 子 中 野 桂 桜 井 真 弓 山 崎 すみ子
学 識 経 験 者	名古屋大学大学院教育発達科学研究科長・教育学部長 南山大学教授 椙山女学園大学教授 中日新聞社編集局生活部記者 公募委員	松 田 武 雄 石 田 裕 久 東 珠 実 境 田 未 緒 川久保 圭 子
行 政 機 関	愛知県県民生活部社会活動推進課男女共同参画室長 名古屋法務局人権擁護部第一課長	伊 藤 康 子 片 野 靖 江

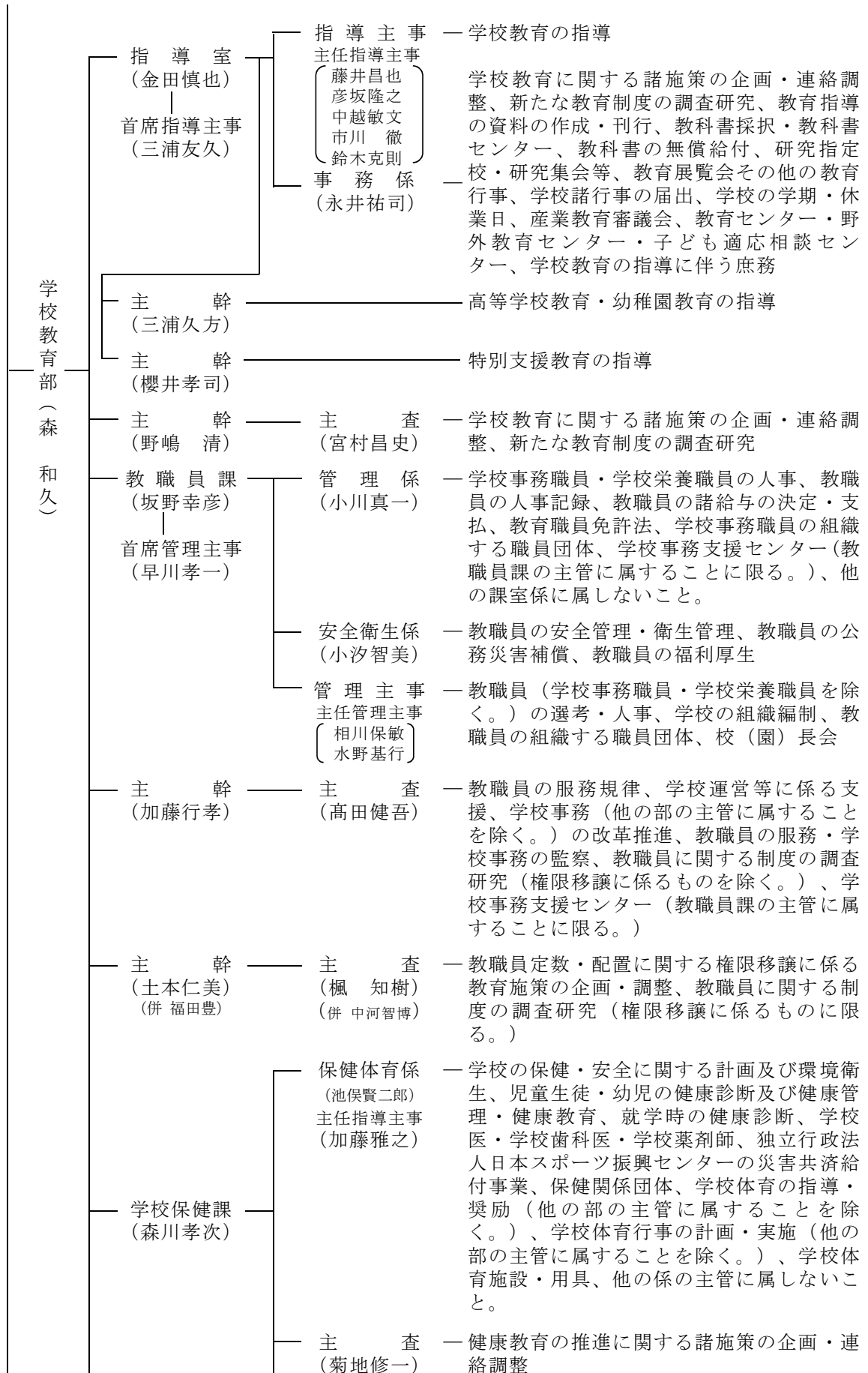
5 教育委員会事務局及び学校以外の教育機関等

(1) 機構及び事務分掌

(平成26年7月1日現在)

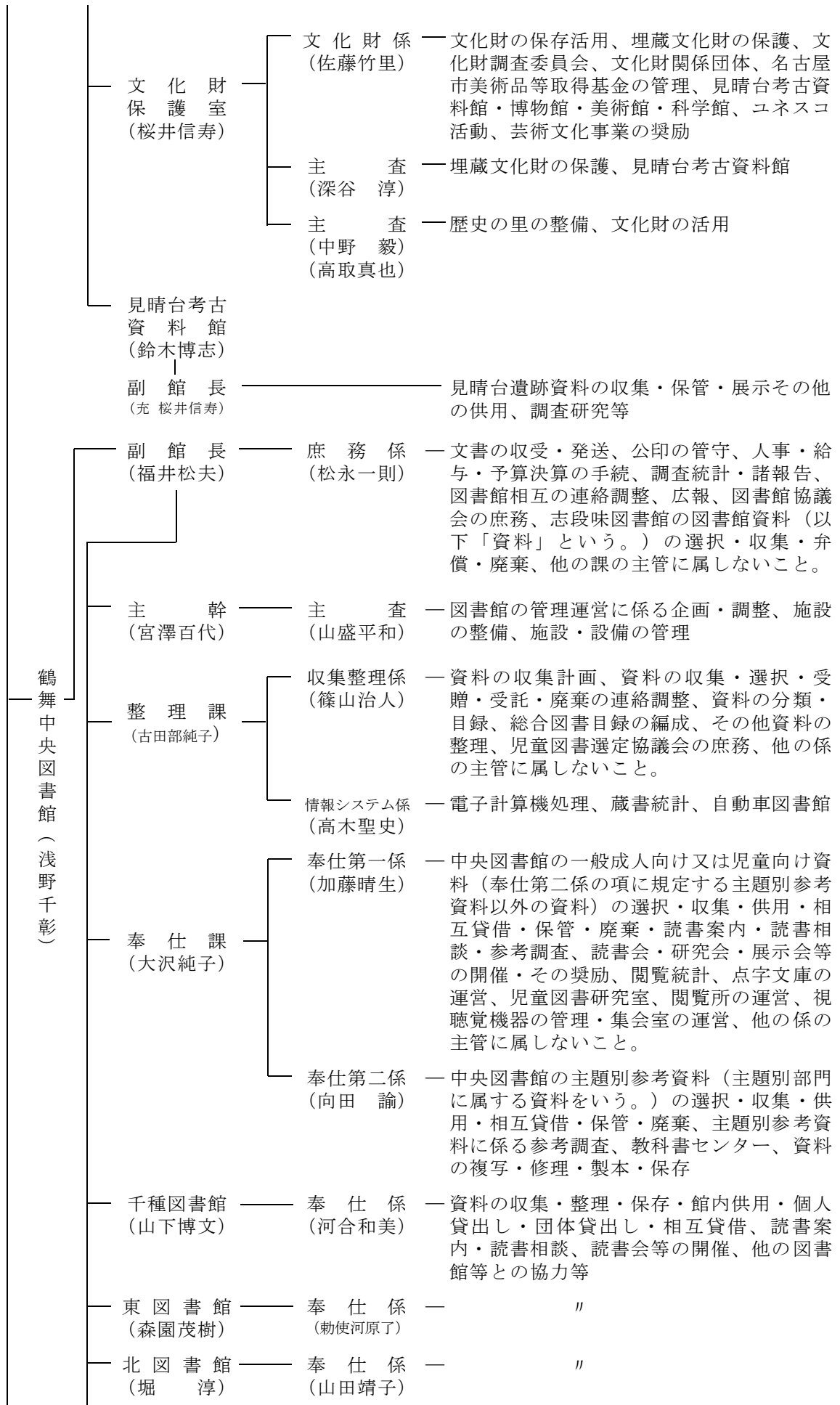




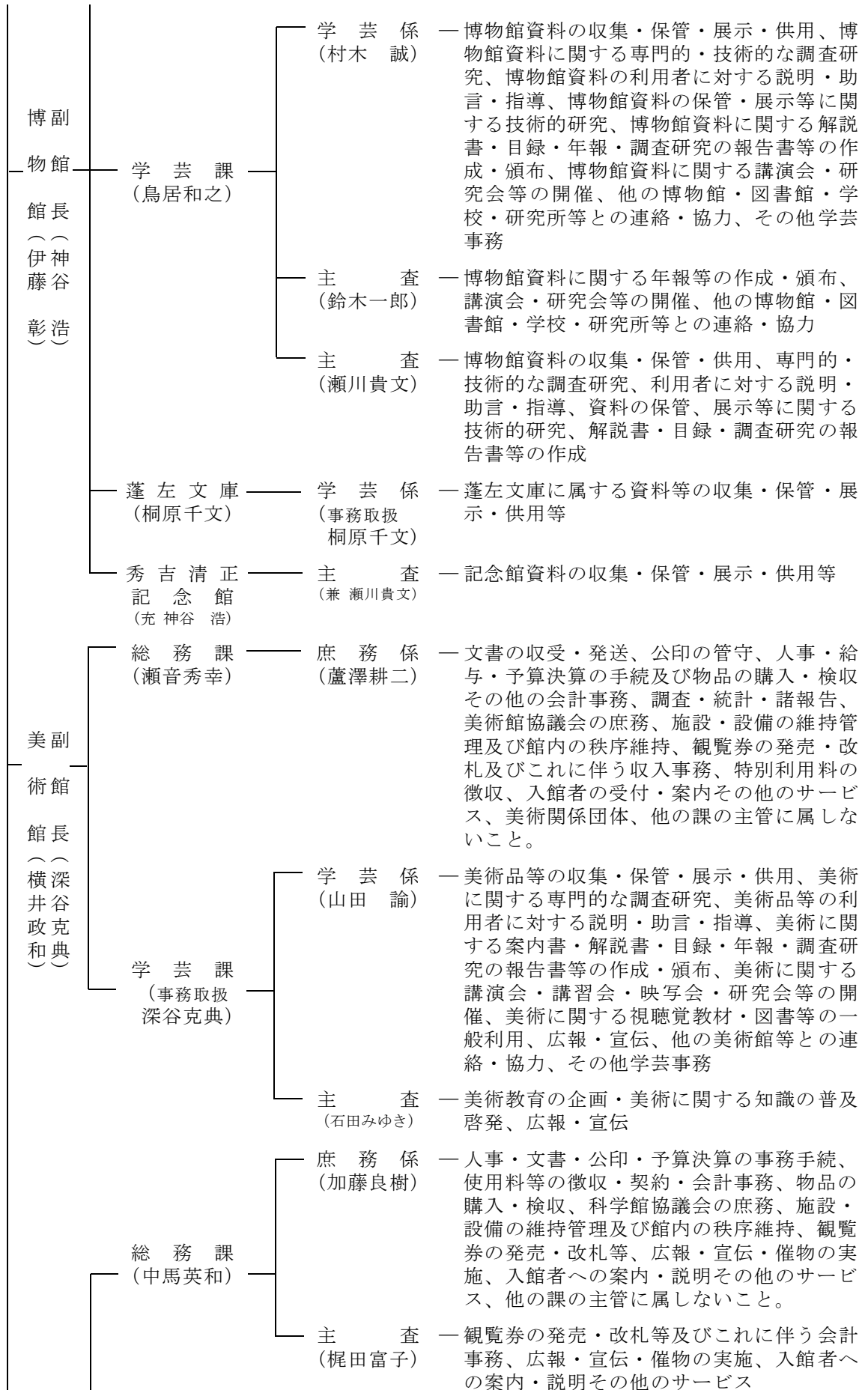


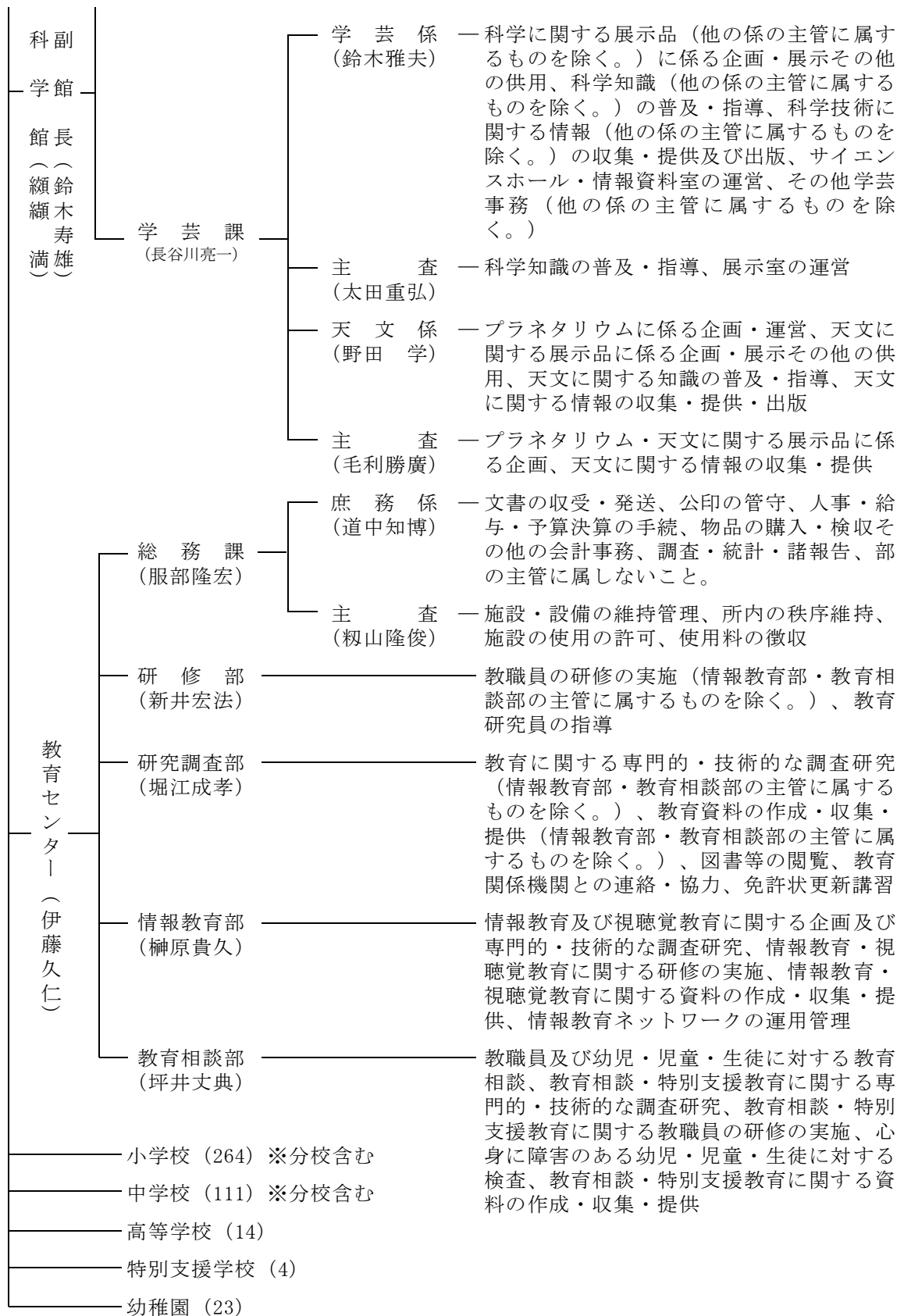
	小学校給食係 (鈴木良規)	— 学校給食（中学校スクールランチを除く。）の運営・同物資の管理、学校給食の衛生管理、学校給食に係る調理・栄養の指導、学校給食に係る設備の整備、給食関係団体
	中学校給食係 (上野雄也)	— 中学校スクールランチの運営・同物資の管理、中学校スクールランチの衛生管理、中学校スクールランチに係る調理・栄養の指導、中学校スクールランチに係る設備の整備
主 幹 (山中隆弘)	主 査 (勝田将生)	— 学校給食（中学校スクールランチを除く。）の調理業務の効率化に係る施策の企画・調整、学校給食の衛生管理、学校給食に係る設備の整備
稲武野外教育センター (木村和良)	副 所 長 (水野 聡)	— 野外教育の施設としてセンターを使用させること、野外教育に関する指導・助言・調査研究・図書その他の資料の収集等
中津川野外教育センター (角谷京一)	副 所 長 (半谷 徹)	— //
子ども適応相談センター (森 敬之)	教育相談部 (古田多佳子)	— 不登校児の教育相談・心理療法による治療・相談に関する調査研究、他の部の主管に属しないこと。
	適応指導部 (伊勢村和生)	— 不登校児の学習指導・生活指導、不登校児の指導に関する調査研究
	管 理 係 (坂手重樹)	— 社会教育委員、生涯学習センター・女性会館に係る総合調整、小学校施設の生涯学習開放、高等学校施設の学習開放、生涯学習に関する事業の連絡調整、図書館（他の係の主管に属することを除く。）、他の課室係の主管に属しないこと。
生涯学習課 (百合草和善)	社会教育係 (谷藤洋久)	— 生涯学習の推進に関する諸施策の企画・調整、社会教育に関する諸施策の調査研究、成人教育、家庭教育の振興、女性教育、生涯学習センター・女性会館における教育に関する事業の企画・実施に係る専門的事項、PTA、女性教育関係団体、視聴覚教育、学校における部活動（他の課の主管に属することを除く。）
	主 査 (平尾隆明)	— 女性教育、女性教育関係団体、女性会館
	生涯学習係 (鈴木昌泰)	— 生涯学習に関する専門的な調査研究・先導的な学習の方法の開発、生涯学習の施策の推進に必要な情報の収集・提供、生涯学習に関する各種の団体・機関との連携協力、生涯学習センター（中村・熱田・名東生涯学習センターに限る。）・女性会館の事業、女性教育の事業、生涯学習センター・女性会館の管理等に関する合理化

生涯学習部 (津坂昌樹)	主 幹 (佐々木孝)		生涯学習センター（中村・熱田・名東生涯学習センターに限る。）・女性会館の事業、生涯学習センター・女性会館の管理等に関する合理化
	主 幹 (併) (13)	主 査 (併) (1)	地域の生涯学習の振興
	※（併）生涯学習センター館長		
	(千種)井上 徹		(中川)小島 浩美
	(東)大橋 浩		(港)仕明 弘来
	(北)和田 和男		(南)黒宮 孝二
	(西)牧野 喜市		(守山)塚本 静夫
	(中)古谷伸比固		(緑)杉浦 修二
	(昭和)南谷 憲治		(天白)加納 繁雄
	(瑞穂)今井 信行		※（併）生涯学習センター主査（緑）山内 富士男
ス ポ ー ツ 振 興 課 (塙村直樹)	市民スポーツ係 (根木 剛)		スポーツの普及・振興（他の係の主管に属することを除く。）、市民スポーツ・レクリエーションの指導・奨励（他の係の主管に属することを除く。）、スポーツ推進審議会、体育関係団体・レクリエーション関係団体（他の係の主管に属することを除く。）、スポーツ推進委員、教育スポーツ協会、他の係の主管に属しないこと。
	少年スポーツ係 (中川 淳)		少年のスポーツの普及・振興、学校における部活動（体育に係るものに限る。以下「運動部活動」という。）、運動部活動関係団体、運動部活動に関する行事の計画・実施
	施 設 係 (古賀 望)		総合体育館、体育館、瑞穂運動場、港サッカー場、プール、名城庭球場、スポーツトレーニングセンター、志段味スポーツランド、スポーツ施設の調査及び整備の計画・実施、スポーツ施設の管理等に関する合理化、中学校施設のスポーツ開放、瑞穂公園の管理
主 幹 (榎原美徳)			総合体育館、体育館、瑞穂運動場、港サッカー場、プール、名城庭球場、スポーツトレーニングセンター、志段味スポーツランド、スポーツ施設の調査及び整備の計画・実施、スポーツ施設の管理等に関する合理化、中学校施設のスポーツ開放、瑞穂公園の管理
	主 査 (森田雅美)		スポーツ施設の管理等に関する合理化、体育館その他のスポーツ施設の調査及び整備の計画・実施



	楠 図 書 館 (兼 堀 淳)	奉 仕 係 (岡部なぎさ)	—	〃
	西 図 書 館 (山本和良)	奉 仕 係 (天野和彦)	—	〃
	山田図書館 (兼 山本和良)	奉 仕 係 (大久保智恵)	—	〃
	中村図書館 (田中文男)	奉 仕 係 (中村 剛)	—	〃
	瑞穂図書館 (田中敦司)	奉 仕 係 (蓑島直子)	—	〃
	熱田図書館 (大島早苗)	奉 仕 係 (岩田孝司)	—	〃
	中川図書館 (坪内 出)	奉 仕 係 (山中隆敏)	—	〃
	富田図書館 (兼 坪内出)	奉 仕 係 (塩沢宏之)	—	〃
	港 図 書 館 (安立満裕)	奉 仕 係 (森田和光)	—	〃
	南陽図書館 (兼 安立満裕)	奉 仕 係 (西 隆子)	—	〃
	南 図 書 館 (西村正博)	奉 仕 係 (山下豊春)	—	〃
	守山図書館 (山本泰雄)	奉 仕 係 (中村繁夫)	—	〃
	緑 図 書 館 (坂東 彰)	奉 仕 係 (古畑隆敏)	—	〃
	徳重図書館 (兼 坂東 彰)	奉 仕 係 (阪口泰子)	—	〃
	名東図書館 (岩口りつ子)	奉 仕 係 (大崎 誠)	—	〃
	天白図書館 (尾田 功)	奉 仕 係 (細川稔之)	—	〃
	総 務 課 (阪野吉雄)	庶 務 係 (長谷川裕一)	—	文書の収受・発送、公印の管守、人事・給与・予算決算の手續、物品の購入・検収その他の会計事務、調査・統計・諸報告、博物館協議会の庶務、観覧券の発売・改札及びこれに伴う収入事務、特別利用料・使用料の徴収、他の課の主管に属しないこと。
		主 査 (細江智裕)	—	施設・設備の維持管理、館内の秩序維持、施設の使用の許可、入館者の受付・案内その他のサービス、分館





公益財団法人名古屋市教育スポーツ協会へ派遣

局付理事

〈事務局長〉

平林 幸伸

局付主査

〈総務課庶務係長〉

川口 義宏

局付主幹

〈総務課長〉

太田 之夫

〈総務課経理係長〉

大重健太郎

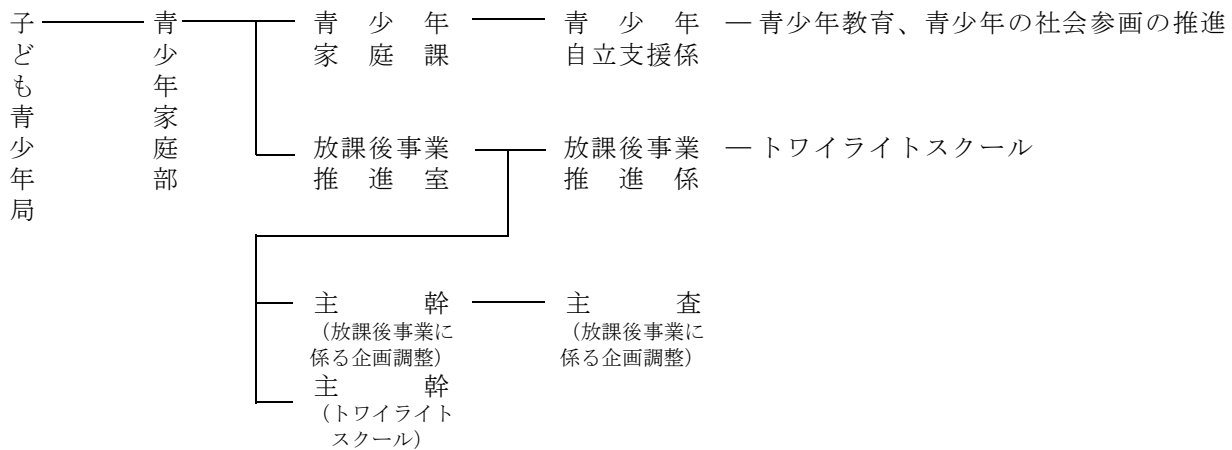
〈学校開放課長〉

山田 博文

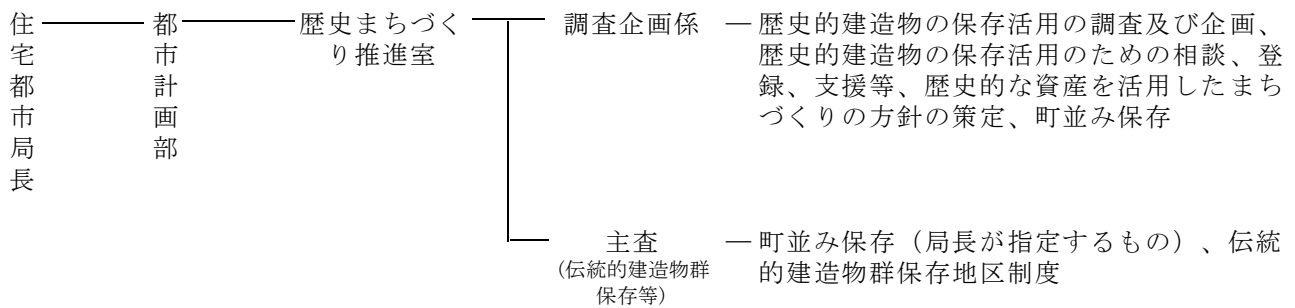
〈学校給食課長〉

長谷川新樹

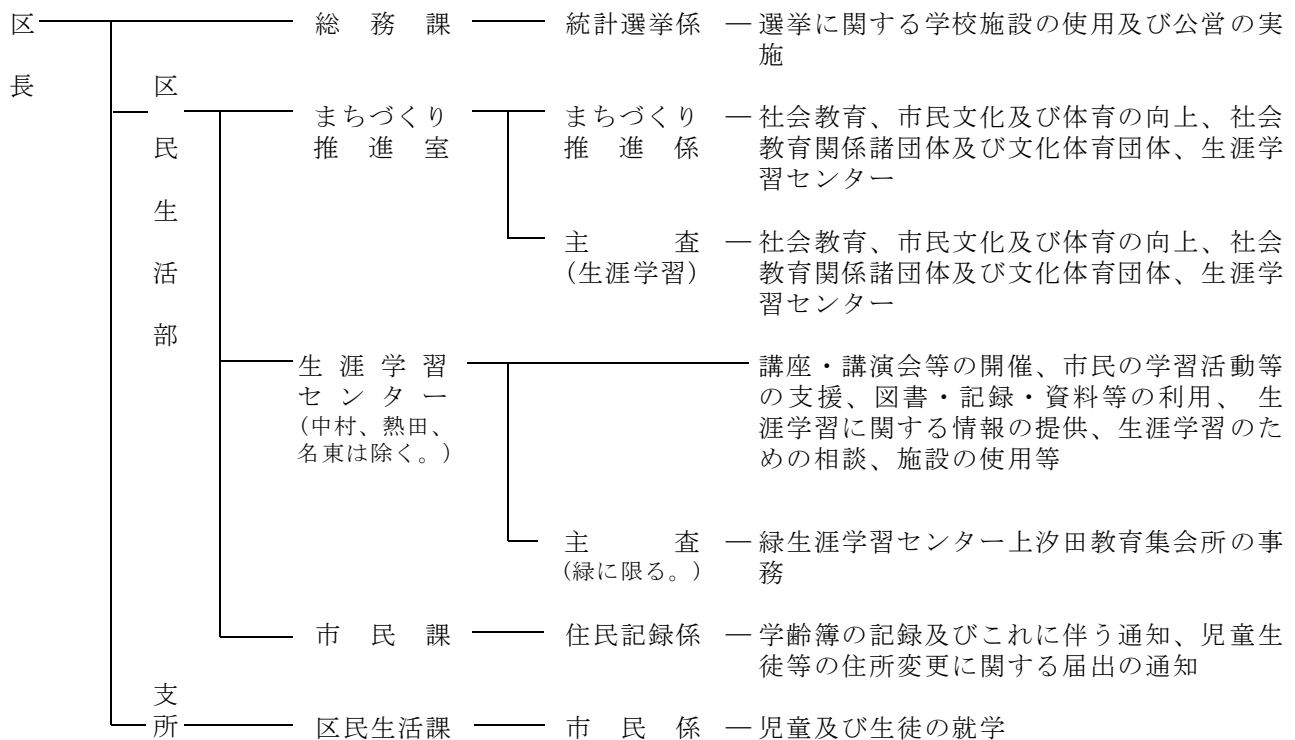
(2) 子ども青少年局における教育関係事務



(3) 住宅都市局における教育関係事務



(4) 区役所(16区)における教育関係事務



組織機構 \ 職種別	合 計	指 導 主 事	社 会 教 育 主 事	事務職員			技術職員			
				主 事 等	司 書	学 芸 員	技 師 等	保 健 師	管 理 栄 養 士	業 務 士
総計	616	91	30	320	106	42	13	2	5	7
小計（事務局）	301	51	28	201	—	7	5	2	5	2
総 務 部	97	—	2	93	—	—	1	—	—	1
総 務 課	27	—	—	26	—	—	—	—	—	1
企 画 経 理 課	19	—	—	19	—	—	—	—	—	—
人 権 教 育 室	3	—	2	1	—	—	—	—	—	—
学 事 課	24	—	—	24	—	—	—	—	—	—
学 校 整 備 課	24	—	—	23	—	—	1	—	—	—
子ども応援委員会制度担当部	49	35	—	14	—	—	—	—	—	—
子 ど も 応 援 室	39	34	—	5	—	—	—	—	—	—
学 校 計 画 室	10	1	—	9	—	—	—	—	—	—
学 校 教 育 部	113	50	—	54	—	—	1	2	5	1
指 導 室	45	29	—	15	—	—	—	—	—	1
教 職 員 課	43	17	—	24	—	—	—	2	—	—
学 校 保 健 課	25	4	—	15	—	—	1	—	5	—
生 涯 学 習 部	91	1	26	54	—	7	3	—	—	—
生 涯 学 習 課	48	—	25	23	—	—	—	—	—	—
ス ポ ー ツ 振 興 課	25	1	1	22	—	—	1	—	—	—
文 化 財 保 護 室	18	—	—	9	—	7	2	—	—	—
小計（公所）	315	40	2	119	106	35	8	—	—	5
学校事務支援センター	3	—	—	3	—	—	—	—	—	—
稲武野外教育センター	6	1	—	2	—	—	—	—	—	3
中津川野外教育センター	4	1	—	2	—	—	—	—	—	1
子ども適応相談センター	9	6	—	3	—	—	—	—	—	—
見 晴 台 考 古 資 料 館	3	—	—	1	—	2	—	—	—	—

鶴 舞 中 央 図 書 館	58	—	—	16	41	—	—	—	—	1
千 種 図 書 館	8	—	—	2	6	—	—	—	—	—
東 図 書 館	5	—	—	2	3	—	—	—	—	—
北 図 書 館	5	—	—	2	3	—	—	—	—	—
楠 図 書 館	4	—	—	1	3	—	—	—	—	—
西 図 書 館	9	—	—	2	7	—	—	—	—	—
山 田 図 書 館	4	—	—	1	3	—	—	—	—	—
中 村 図 書 館	5	—	—	2	3	—	—	—	—	—
瑞 穂 図 書 館	5	—	—	2	3	—	—	—	—	—
熱 田 図 書 館	5	—	—	2	3	—	—	—	—	—
中 川 図 書 館	5	—	—	2	3	—	—	—	—	—
富 田 図 書 館	4	—	—	1	3	—	—	—	—	—
港 図 書 館	5	—	—	2	3	—	—	—	—	—
南 陽 図 書 館	4	—	—	1	3	—	—	—	—	—
南 図 書 館	5	—	—	2	3	—	—	—	—	—
守 山 図 書 館	5	—	—	2	3	—	—	—	—	—
緑 図 書 館	5	—	—	2	3	—	—	—	—	—
徳 重 図 書 館	4	—	—	1	3	—	—	—	—	—
名 東 図 書 館	5	—	—	2	3	—	—	—	—	—
天 白 図 書 館	5	—	—	2	3	—	—	—	—	—
博 物 館	32	—	—	15	—	14	3	—	—	—
蓬 左 文 庫	4	—	—	2	1	1	—	—	—	—
秀 吉 清 正 記 念 館	2	—	—	1	—	1	—	—	—	—
美 術 館	16	—	—	9	—	6	1	—	—	—
科 学 館	33	—	2	17	—	11	3	—	—	—
教 育 セ ン タ ー	48	32	—	15	—	—	1	—	—	—

(注) 1 教育長を除く。

2 事務職員の役職者は主事等に、技術職員の役職者は技師等を含む。

3 休職、休業に係る定数外指定の職員を含む。

6 教育委員会所管施設一覧

学 校 教 育 施 設	幼稚園	23	社 会 教 育 施 設	生涯学習センター（分館含む）	17
	小学校（分館含む）	264		女性会館	1
	中学校（分館含む）	111		総合体育館	1
	高等学校	14		体育館	14
	特別支援学校	4		名城庭球場	1
	野外教育センター（分館含む）	3		プール	13
	子ども適応相談センター	1		スポーツランド	1
そ の 他 の 施 設	小計	420	教 育 施 設	スポーツトレーニングセンター	2
	学校事務支援センター	1		瑞穂運動場	1
	教育センター（分館含む）	2		港サッカー場	1
	小計	3		図書館（分館含む）	21
				博物館（分館含む）	3
				見晴台考古資料館	1
				美術館	1
				科学館	1
				小計	79
				合計	502

7 広報広聴調査活動

（１）広 報

教育委員会の重点施策や事業は、市の広報紙「広報なごや」あるいはテレビ・ラジオ等を通して幅広く市民に知らせるとともに、市政記者クラブを通じて報道機関へ関係資料を提供した。

ア きょういくなごや

名古屋市の教育の現状を、写真とグラフなどを使ってわかりやすく表したリーフレット。

イ 教育要覧 平成25年版

平成24年度中における市の教育事業等を集録した。

（２）広 聴

市民の教育に対する「声」を行政に反映させることを目的として市民経済局が行う次のような広聴活動に協力した。

ア 個 別 広 聴（市民の声）

市民からの教育に関する提案・意見・要望、苦情、相談・問合せは、市民経済局広聴課および区役所まちづくり推進室を通じて「市民の声」として寄せられた。平成25年度の総数は458件で、その主な内訳は次のとおりである。

声 の 種 類	件 数	声 の 種 類	件 数
1 学 校 教 育	186	2 生 涯 学 習	194
(1) 入学・転校	3	(1) 成人教育	7
(2) 通学区域	19	(2) 社会教育施設	102
(3) 学校施設	26	(3) 博物館施設	18
(4) 教職員	14	(4) 文化財保護	2
(5) 教育指導・教育相談	114	(5) スポーツ・レクリエーション	65
(6) 就学支援	3		
(7) 学校給食	7	3 そ の 他	78

イ 集 会 広 聴

(ア) 団体広聴

さまざまな団体から、その活動の一つとして、市政に対する要望や意見が提出される。このため、団体への文書回答のほか、団体から要請のある場合は、関係局担当職員との話し合いの場を設け、団体とのコミュニケーションに努めている。

平成25年度は、18団体の要望等が団体広聴として処理されたが、そのうち教育に関する要望等が含まれていたのは、12団体であった。

(イ) 地域懇談会

地域住民の声を広く聴き、これを行政に反映させるために、区内の各種団体や、小学校の通学区域を単位とする学区民の代表者と、区長をはじめ区内官公所（署）の長や各局関係課長等が懇談する「地域懇談会」を開催している。

平成25年度は、47回開催され、「教育」に関しての事項は26件であった。

(3) 調査統計

平成25年度に実施した調査統計は次のとおり13件で、このうち文部科学省主管によるものが4件、県教育委員会主管によるものが3件、市教育委員会が独自に実施したものが7件であった。

<平成25年度実施の調査統計一覧>

調査件名	調査実施月	対象と方法	調査事項	主管
学校基本調査	25年 5 月			文 部 科学省
学校調査 卒業後の状況調査 不就学学齢児童生徒調査		市立学校（悉皆） 中・高（悉皆） 市教委・ 区役所（悉皆）	学校、在学者、学級数等 卒業生数、進学者数等 理由別不就学者数	
学校保健統計調査	25年 4 月	市立学校（標本）	発育・健康状態	〃
地方教育費調査	25年 6 月	市立学校 ・市教委（悉皆）	学校教育費、社会教育費 及び教育行政費の使途 別、財源別支出状況等	〃
学校教員統計調査	25年10月	市立学校（悉皆）	学校調査、教員個人調 査、教員異動調査	〃
中学校卒業者の進学状 況調査	25年 5 月	中学校（悉皆）	高等学校進学者等	県教委
高等学校入学状況調査	25年 5 月	高等学校（悉皆）	志願者・入学者数	〃
中学校卒業見込者の進 路希望状況調査	25年 9 月 12月	中学校（悉皆）	高等学校への進学希望 者数	〃
幼児児童生徒数、学級 数、教職員数調査	25年 4 月	市立学校（悉皆）	在学者数、学級数、教職 員数	市教委
小学校卒業者の進学状 況調査	25年 4 月	小学校（悉皆）	設置者別中学校入学状 況	〃
高等学校卒業者の進路状 況調査	25年 4 月	高等学校（悉皆）	進学者、就職者数等	〃
学校保健調査	25年 4 月	市立学校（悉皆）	発育状況、健康状態	〃
長期欠席児童生徒数調査	25年 4 月	小・中（悉皆）	欠席日数、欠席理由、欠 席中の状態等	〃
幼児人口実態調査	25年 4 月	区役所（悉皆）	学区別幼児（0～5歳）数	〃
義務教育人口の推計	25年 5 月	市教委、 小・中学校（悉皆）	学校別児童生徒数、学級 数	〃

8 企画調整事務

企画調整事務は、教育委員会内の重要事項の企画調整並びに他の局等に関わり合いをもつ事務事業についての連絡調整である。各種計画の教育委員会における対応をはじめ、教育委員会内の全般の事務事業について総合的・有機的な執行のための潤滑油的な役割を担っている。

(1) 教育委員会内の重要事項の総合調整

教育委員会の重要事業計画及び教育委員会内重要事項の事前・事後調整

(2) 複数の局室区にわたる重要事項の連絡調整

総合調整会議にかかる議案の事前調整、その決定事項の事後調整、進行管理

(3) 教育長・教育次長の特命による事務事業

教育委員会内各課間における分掌事項の間隙部分に対する対応措置の立案

(4) 規程に基づく事務

ア 計画主任の事務（計画主任設置規程）

イ 広報幹事の事務（名古屋市広報広聴事務取扱規程）など

○ 本市の計画

計 画 の 名 称	教育委員会関係部分	備 考
名古屋市基本構想	IV－3 市民の教育と文化	昭和52年12月20日 市議会で議決
名古屋市中期戦略ビジョン	施策 6, 7, 8, 9, 11, 12, 14, 22, 28, 29, 32, 38の該当部分	平成22年9月28日 市議会で議決 (～平成24年度まで)

9 争訟事務

(1) 教職員に係る勤務条件に関する措置要求

平成25年度中に市人事委員会の判定又は決定があった勤務条件に関する措置要求は、2件である。

ア 平成24年12月28日提出の件（平成25年人委（措）第1号） 要求者 中学校教諭

稲武野外学習での生徒引率業務において、休憩時間とされていながら実際には勤務していた時間は、校長の命令により割り振られた勤務時間であったことを認めること等
（平成25年4月17日名古屋市人事委員会判定「要求棄却」）

イ 平成26年3月20日提出の件（平成26年人委（措）第4号） 要求者 小学校教諭

平成25年度末に示された異動の内示を撤回し、現任校に引き続き勤務させること
（平成26年3月31日名古屋市人事委員会判定「要求却下」）

(2) 教職員に係る不利益処分についての不服申立て

ア 平成22年7月23日提出の件（平成22年人委（不）第1号） 不服申立人 元中学校事務職員

平成22年5月28日付で処分庁のなした懲戒免職処分は、処分の前提となる事実認定に誤りがあるなど違法・無効であるので取り消されるべきである。

（平成26年6月11日名古屋市人事委員会判定「処分承認」）

(3) 教職員に係る訴訟事件

ア 地位確認請求事件（平成24年（行ウ）第95号等）

原告 高等学校教諭

被告 名古屋市

高等学校の元教頭である原告が、教頭辞退願を提出し教諭へ降任されたが、当該意思表示は錯誤無効であるとして、教頭職たる地位にあることの確認を求めて、平成24年8月23日名古屋地方裁判所に提訴したものであり、平成25年9月13日に請求棄却の判決があった。原告はこれを不服として同月27日名古屋高等裁判所に控訴したが、平成26年3月14日に控訴棄却の判決があった。

イ 国家賠償等請求事件（平成24年（ワ）第4962号等）

原告 中学校教諭

被告 名古屋市

中学校の教諭である原告が、養母の法要のため特別休暇を申請したことについて、校長が確認のため自宅に電話をかけたことはパワーハラスメントであるとして、慰謝料20万円の支払いを請求して、平成24年8月31日名古屋簡易裁判所に提訴したものである。被告名古屋市はこれに対し名古屋地方裁判所への移送を申立て、同年10月15日に名古屋簡易裁判所が移送を決定し、平成25年8月19日に名古屋地方裁判所から請求棄却の判決があった。

ウ 違法確認請求事件（住民訴訟）（平成24年（行ウ）第110号）

原告 中学校教諭

被告 名古屋市

中学校の教諭である原告が、学校で購入した図書と新聞が校長に私物化されているとして、図書の購入に係る公金支出と財産（図書・新聞）の管理について、違法の確認を求め、平成24年10月5日名古屋地方裁判所に提訴したものであり、平成26年1月23日に請求却下の判決があった。

（４）学校事故に係る訴訟事件

ア 損害賠償請求事件（平成24年（ワ）第4219号）

原告 元中学校の生徒及びその保護者

被告 名古屋市

平成21年度に、当時中学2年生の生徒であった原告が、授業中に左腕を骨折したことについて、怪我への対応及び調査が適切にされなかったとして、慰謝料 144万円の支払いを請求して、平成24年9月13日名古屋地方裁判所に提訴したものであり、平成25年5月30日に請求棄却の判決があった。

（５）その他の訴訟事件

ア 慰謝料等請求事件（平成22年（ワ）第6642号等）

原告 元小学校児童及びその保護者

被告 名古屋市

平成19年度に、当時小学6年生の児童であった原告が、同級生児童からのいじめを受けたことに対して、担任を始めとする小学校教員らはいじめ等を認識していたにもかかわらず、適切な指導監督処置を怠ったことにより不登校に追い込まれたとして、精神的苦痛を受けた慰謝料等 330万円の支払いを請求して、平成22年9月24日名古屋地方裁判所に提訴したものであり、平成25年1月31日に請求棄却の判決があった。原告はこれを不服として同年2月18日名古屋高等裁判所に控訴したが、同年9月26日に控訴棄却の判決があった。

イ 建物収去土地明渡請求事件（平成24年（ワ）第1460号）

原告 名古屋市

被告 原告所有土地を占有する市民ほか1名

名古屋市が旧国民学校用地として取得した土地について、売買後も占有を継続している者に対し、建物収去及び土地明渡し等を請求して、平成24年3月30日名古屋地方裁判所に提訴したものであり、平成25年6月12日に訴訟上の和解が成立した。

ウ 通勤手当請求事件（平成24年（行ウ）第92号等）

原告 小学校学校用務業務員

被告 名古屋市

学校用務業務員として小学校に勤務する原告が、通勤費用（運賃等相当額）の費用弁償として通学定期券価額が支払われたのは違法であるとして、通勤定期券価額での支払いを請求して、平成24年8月21日名古屋地方裁判所に提訴したものであり、平成25年1月15日に請求棄却の判決があった。原告はこれを不服として同月29日名古屋高等裁判所に控訴したが、同年6月26日に控訴棄却の判決があった。控訴人は同年7月11日上告受理の申立てをしたが、

同年11月6日に上告受理申立不受理の決定があった。

エ 損害賠償請求事件（平成25年（ワ）第 745号）

原告 元中学校の生徒及びその保護者

被告 名古屋市

当時中学生であった原告が、同級生生徒らからのいじめを受けたことに対して、いじめを防止できなかったこと及び事案把握後の学校側の対応に対する慰謝料等として、1,760万円の支払いを請求して、平成25年2月25日名古屋地方裁判所に提訴したものであり、現在係属中である。

オ 損害賠償請求事件（平成26年（ワ）第 215号）

原告 小学校の児童及びその保護者

被告 名古屋市

小学校の児童である原告が、同級生児童からいじめ行為の被害に遭い不登校になったことに対して、学校側が適切な措置を怠ったことにより精神的損害を受けたとして、慰謝料等約728万円の支払いを請求して、平成26年1月20日名古屋地方裁判所に提訴したものであり、現在係属中である。

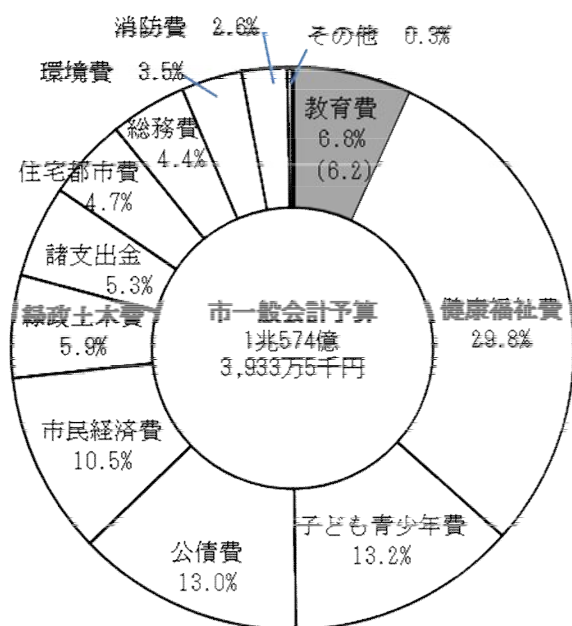
第2章 教育財政

1 平成26年度教育関係予算の概要

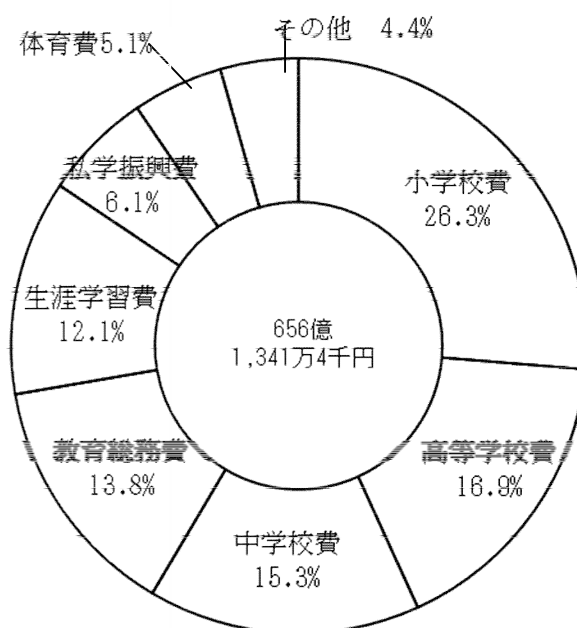
(1) 平成26年度当初予算

教育委員会所管予算額は、656億1,341万4千円で、一般会計の総額1兆574億3,933万5千円のうち6.2%を占めている。

一般会計予算内訳（単位%）



教育委員会所管予算科目別内訳（単位%）



教育費（ ）は、教育委員会所管分

当初予算の科目別内訳

科 目	26年度 予算額	25年度 予算額	増△減	主 な 内 容
	千円	千円	千円	
教 育 総 務 費	9,040,790	8,417,411	623,379	
教 育 委 員 会 費	10,954	10,919	35	委員会の運営費
事 務 局 費	3,329,355	2,945,398	383,957	教職員の人事管理費、職員の人件費始め事務局運営費
教 育 指 導 費	2,047,925	1,804,558	243,367	学校教育の指導・支援費及び子ども適応相談センターの運営費
学校保健体育費	1,130,524	1,129,524	1,000	学校医等の報酬、学校保健衛生対策費及び学校体育振興費

科 目	26年度 予算額	25年度 予算額	増△減	主 な 内 容
教 育 奨 励 費	千円 1,730,455	千円 1,786,369	千円 △55,914	要・準要保護児童生徒及び定時制 高校生の就学奨励事業費
教育センター費	512,537	469,095	43,442	教育センターの運営費
野 外 教 育 セ ン タ ー 費	279,040	271,548	7,492	稲武・中津川野外教育センター、 野外学習センターの運営費
小 学 校 費	17,286,791	17,168,219	118,572	
学 校 管 理 費	15,469,555	15,467,162	2,393	小学校264校の運営費
学 校 整 備 費	1,817,236	1,701,057	116,179	天井等落下防止対策の工事費、増 築（2校）の工事費
中 学 校 費	10,057,942	7,331,288	2,726,654	
学 校 管 理 費	6,657,198	6,406,811	250,387	中学校111校の運営費
学 校 整 備 費	3,400,744	924,477	2,476,267	新築（1校）の工事費、天井等落 下防止対策の工事費
高 等 学 校 費	11,057,208	10,806,819	250,389	
学 校 管 理 費	11,057,208	10,806,819	250,389	全日制13校、定時制2校の運営費
幼 稚 園 費	1,801,029	1,786,393	14,636	
幼 稚 園 費	1,801,029	1,786,393	14,636	幼稚園23園の運営費
特 別 支 援 学 校 費	1,060,340	650,449	409,891	
学 校 管 理 費	1,060,340	650,449	409,891	特別支援学校4校の運営費
私 学 振 興 費	4,019,413	3,136,170	883,243	
私 学 振 興 費	4,019,413	3,136,170	883,243	私立高校生、私立幼稚園児の授業 料補助など各種助成
生 涯 学 習 費	7,955,785	7,889,119	66,666	
生涯学習推進費	4,063,575	4,375,143	△311,568	生涯学習の推進、学校開放事業の 実施、部活動の振興、成人・女性 教育の振興、文化財の保護及び職 員の人件費
生涯学習施設費	630,525	633,543	△3,018	生涯学習センター（16館）、女性会 館、見晴台考古資料館等生涯学習 施設の運営費

科 目	26年度 予算額	25年度 予算額	増△減	主 な 内 容
図 書 館 費	千円 1,099,065	千円 1,053,352	千円 45,713	図書館（21館）の運営費
博 物 館 費	373,163	371,832	1,331	博物館の運営費
科 学 館 費	682,086	662,051	20,035	科学館の運営費
美 術 館 費	239,663	208,178	31,485	美術館の運営費
生 涯 学 習 費 施 設 整 備 費	867,708	585,020	282,688	歴史の里の整備
体 育 費	3,334,116	3,981,903	△647,787	
体 育 振 興 費	3,334,116	3,981,903	△647,787	市民スポーツの振興費及び総合体育館、スポーツセンター（13館）、市営プール（13か所）、瑞穂運動場、志段味スポーツランド等市民体育施設の運営費
計	65,613,414	61,167,771	4,445,643	

(2) 当初予算の推移（教育委員会所管分）

年 度	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26
(百万円)										
教 育 費	75,885	73,103	72,834	69,943	70,327	78,204	66,829	61,715	61,168	65,614
(%)										
対前年 度伸率	2.0	△3.7	△0.4	△4.0	0.5	11.2	△14.5	△7.7	△0.9	7.3

2 新規・拡充事業及び重点施策

◆学校教育＜５４３億２４百万円＞

事項	主な内容
小・中・高等学校の体育館天井等落下防止対策	●体育館及び格技場の吊り天井等について、地震発生時の落下防止対策として撤去等を実施
小学校統合校（西区）の設計	●平成 27 年度に幅下・江西・那古野小学校を統合し、幅下小学校跡地に新校舎を建設
南養護学校分校の整備	●児童生徒数の増加による教室不足を解消するために、小学校の余裕教室を活用し、南養護学校の分校を設置
なごや子ども応援委員会の設置	●いじめや不登校など児童生徒に関わる諸問題に対応するため、市域を 11 に分割し、各区域に常勤のスクールカウンセラー、スクールソーシャルワーカー、元警察官等で構成するなごや子ども応援委員会を設置
土曜日の教育活動推進事業	●伝統芸能や郷土史探索など体験を重視した学習プログラムを土曜日に実施
ロサンゼルス四世バスケットボール交流事業	●ロサンゼルス市に在住する日系四世の中学生チームを招待し、バスケットボールの試合を実施
魅力ある高等学校づくり	●平成 27 年度の向陽高等学校国際科学科設置に向けた準備を行うほか、企業・大学との連携の拡充等を実施
スクールカウンセラーの配置	●いじめ問題等の悩みを抱える児童生徒や保護者等へのカウンセリング体制の充実
学校における仲間づくり推進事業	●児童生徒が互いに思いやる心を身につけ、友情を深め合うための自主的ないじめ防止活動を推進
学習支援講師の配置	●発達障害対応支援講師の配置校数の増加。不登校対応支援講師、学習指導支援講師、日本語指導講師、生徒指導支援講師（新設）の配置
発達障害対応支援員の配置	●発達障害のある幼児・児童生徒の介助等を行うための支援員を配置
母語学習協力員の配置	●バイリンガルの学習協力員を配置し、日本語指導や適応相談を実施
幼稚園における預かり保育の実施	●子育て支援の一環として、在園児に対して預かり保育を実施
私立幼稚園授業料補助	●生活保護世帯・多子世帯への補助額の増加
小・中学校の耐震改修	●建物強度確認調査の結果、耐震性が不十分と判断された校舎等について、耐震改修を実施
小学校 1・2 年生での 30 人学級の実施	●集団生活への適応を図るため、小学校 1・2 年生における 30 人学級を全校で実施
吉根中学校の新設	●志段味中学校から分離

校舎等の大規模改造の設計	●昭和 55 年以前に建設された校舎等の内装・外壁・屋上防水等工事の設計
学校生活アンケートの実施	●いじめや不登校の防止及び早期発見に向け、全市立小・中・高等学校でアンケートを実施
インターネット上におけるいじめ対策	●インターネット上における児童生徒に関する誹謗中傷等問題のある書き込みについて、検索・監視・削除依頼等を行うとともに学校からの相談を受付
子ども適応相談センターサテライトスクールの運営	●子ども適応相談センターの通所者数の増加への対応及び市内南部方面の不登校児童生徒の学校復帰への取組を促進するため、サテライトスクールを南区に設置

◆生涯学習等＜１１２億９０百万円＞

事項	主な内容
部活動外部指導者及び顧問の派遣	●外部指導者の派遣
緑図書館リニューアル改修の設計	●バリアフリー対策や耐震対策が未実施である緑図書館について、内外装の改修、設備機器の更新等を行うリニューアル改修を実施
瑞穂公園陸上競技場照明設備の改修	●利用者の安全性・快適性の向上のため、照明照度を上げる設備改修を実施
博物館所蔵資料の修復及び写真資料のデジタル化	●劣化が進んでいる伊勢参宮図屏風及び古墳時代の刀剣の修復
ランス美術館との交流事業	●友好提携に関する覚書に基づき交流事業を実施
歴史の里の整備	●貴重な歴史的資産である守山区上志段味地区古墳群等を活用し、歴史を身近に感じ、体験・学習できるエリアに整備するための設計及び用地取得等
瑞穂図書館の移転改築	●文化小劇場と合築

３ 小・中学校標準運営費

標準運営費とは、各教科等教育活動に要する経費及び学校の維持管理等に要する経費（人件費、光熱水費等を除く。）の標準を算定したものである。

（１）標準運営費の推移

区分 年度	小 学 校				中 学 校			
	校数	予 算 額	1 校 均	児童 1 人平均	校数	予 算 額	1 校 均	生徒 1 人平均
17	校 260	千円 3,087,441	千円 11,875	円 25,871	校 110	千円 1,798,542	千円 16,350	円 34,365
18	260	2,886,757	11,103	24,014	110	1,681,637	15,288	31,856

19	261	2,800,154	10,729	23,354	110	1,631,188	14,829	30,513
20	262	2,800,154	10,688	23,404	110	1,631,188	14,829	30,631
21	263	2,800,154	10,647	23,548	110	1,631,188	14,829	30,594
22	262	2,800,154	10,688	23,813	110	1,631,188	14,829	30,718
23	262	2,800,154	10,688	24,356	110	1,631,188	14,829	30,421
24	263	2,810,842	10,688	24,694	110	1,631,188	14,829	30,337
25	264	2,809,284	10,641	24,980	110	1,632,660	14,709	30,590
26	264	2,890,925	10,950	25,715	111	1,678,222	15,119	31,827

(注) 事務局等で一括支払又は一括購入する経費を含む。

(2) 平成26年度 1校当たり標準運営費

科 目	区 分	小 学 校			中 学 校		
		26予算	25予算	対前年比較	26予算	25予算	対前年比較
		千円	千円	千円	千円	千円	千円
報 償 費		71	69	2	105	103	2
交 際 費		6	6	0	6	6	0
需 用 費		5,395	5,241	154	7,245	7,050	194
	(消耗品費)	(4,843)	(4,707)	(136)	(6,035)	(5,868)	(166)
	(燃料費)	(4)	(4)	(0)	(6)	(6)	(0)
	(食糧費)	(18)	(18)	(0)	(17)	(17)	(0)
	(印刷製本費)	(296)	(286)	(10)	(954)	(931)	(23)
	(修繕料)	(184)	(178)	(6)	(182)	(178)	(4)
	(賄材料費)	(50)	(48)	(2)	(51)	(50)	(1)
役 務 費		312	304	8	484	471	13
	(通信料)	(264)	(257)	(7)	(407)	(396)	(11)
	(手数料)	(48)	(47)	(1)	(77)	(75)	(2)
委 託 料		357	347	10	416	405	11
使用料及び賃借料		22	21	1	67	65	2
工 事 請 負 費		1,848	1,797	51	2,120	2,061	59
原 材 料 費		48	47	1	61	59	2
備 品 購 入 費		2,881	2,799	82	4,600	4,474	126
	(庁用備品費)	(874)	(849)	(25)	(819)	(797)	(22)
	(事業用備品費)	(1,052)	(1,022)	(57)	(2,007)	(1,952)	(104)
	(図書費)	(955)	(928)		(1,774)	(1,725)	
負担金補助及び交付金		10	10	0	15	15	0
合 計		10,950	10,641	309	15,119	14,709	410

4 マイスクールプラン

小・中・高等学校、特別支援学校では、様々な体験活動や既存の教科の枠を超えた学習を行う等、多彩な特色ある教育活動や学校づくりを「マイスクールプラン」として実施している。

第3章 計画の推進

1 名古屋市教育振興基本計画

(1) 計画の概要

名古屋市教育振興基本計画は、平成19年度から平成22年度までの中期計画として平成19年3月に策定されたなごやっ子教育推進計画の後継計画として、平成23年3月に策定された。

この計画では、現在の本市教育を取り巻く環境を踏まえた施策展開を効果的に進めていくため、計画の対象範囲を、名古屋市立幼稚園、小・中・特別支援・高等学校段階などにおける教育・育成に関する施策及び生涯学習全般における学びの支援に関する施策としている。

ア 基本理念

この計画では、「夢に向かって人生をきり拓くなごやっ子の育成」を計画の基本理念とし、以下に掲げる資質を持った「なごやっ子」像をめざしている。

- (ア) なごや（郷土）が大好きで、なごや（郷土）をもっとよくしたいと望んでいる
- (イ) 豊かな感性と創造力を備える
- (ウ) 社会性を備え、他人を思いやり、協力・協調する
- (エ) 人生をたくましく生きる力を備える
- (オ) 未来への夢を抱き、学び成長し続ける

イ 計画期間

平成23年度～平成26年度（4年間）

(2) 課題としてみられること

- ア 名古屋における教育
- イ 学校づくり、教育的ニーズへの対応
- ウ 親子のふれあい、地域のつながり
- エ 名古屋の教育制度
- オ 生涯学習

(3) 施策の基本的方向

- ア 「なごやっ子」としての資質を育む“学び”の提供
- イ 教育環境の整備と、教員の意欲・資質の向上
- ウ 学校・家庭・地域の連携
- エ 教育関連制度の改革・改善
- オ 生涯を通じた学びの支援

2 名古屋市立小・中学校における小規模校対策に関する基本方針

平成21年9月に名古屋市学校教育研究協議会から、名古屋市における小・中学校の適正規模、学校規模適正化の対象などの検討結果が報告された。

この協議会からの報告を踏まえ、平成22年3月に「名古屋市立小・中学校における小規模校対策に関する基本方針」を策定した。

＜基本方針の概要＞

（１）学校規模の基準

望ましい学校規模は、小・中学校ともに、少なくとも各学年でクラス替えができる規模とする。

ア 望ましい学校規模（適正規模）

（ア）小学校 12 学級から 24 学級

（イ）中学校 6 学級以上は必要（9 学級から 18 学級が望ましい）

イ 学校規模適正化の対象

（ア）小学校 11 学級以下

（イ）中学校 5 学級以下

ウ 学校規模適正化の方法

（ア）学校の統合

（イ）通学区域の変更

エ 通学距離

徒歩通学を基本とし、小学校で概ね 2 k m、中学校で概ね 3 k m

（２）学校規模適正化の進め方

- ・教育的課題が大きい小学校を優先して学校規模適正化に取り組む。
- ・中学校については、現段階では対象とせず、小学校の進捗状況等を勘案して改めて検討する。

ア 対象校選定の考え方

平成 22 年 5 月 1 日現在の学級数を基に、幼児人口により把握した将来の学級数による。

イ 対象校の優先順位

対象となるすべての学校を一斉に実施することはできないため、グループ分けを行い、クラス替えができない第 1 グループから段階的に順次取り組む。

（ア）第 1 グループ

平成 22 年 5 月 1 日現在、6 学年すべてが単学級の学校で、実施計画期間内も同じ状況が継続する見込みの学校

（イ）第 2 グループ

- ・平成 22 年 5 月 1 日現在、6 学年すべてが単学級の学校で、実施計画期間内に 6 学級でなくなる見込みの学校（7 学級から 11 学級になる見込みの学校）
- ・平成 22 年 5 月 1 日現在、7 学級から 11 学級の学校で、実施計画期間内に 6 学級になる見込みの学校

(ウ) 第3グループ

平成22年5月1日現在、7学級から11学級の学校で、実施計画期間内も同じ状況が継続する見込みの学校

ウ 実施計画の策定

- (ア) 実施計画を平成22年度に定め、幼児人口が把握できる6年ごとに見直す。
- (イ) 学校の組合せは、中学校ブロック内の小学校同士で12学級から24学級となる組合せとする。
- (ウ) 通学距離が2kmを大幅に超える場合は、通学区域の変更での対応を検討する。
- (エ) 組合せを検討する際には、学校の沿革や歴史、地域の特性、校地・校舎の状況などの諸条件を勘案する。

(3) 取り組みの際の留意点

保護者や地域の皆様の十分な理解を得ながら、次の事項に留意して進める。

- ア 児童への配慮（スクールカウンセラーの派遣、統合前の学校の教員のバランスよい配置など）
- イ 通学の安全（関係行政機関との連携、家庭・地域との協力）
- ウ 保護者、地域との連携・協力（各種情報の共有化）
- エ 統合後の校舎・校地の活用（可能な限り既存校舎を活用し、必要に応じて整備の検討。校舎や校地は、全市的な視点での有効活用などの検討）

3 小規模校対策に関する実施計画

「名古屋市立小・中学校における小規模校対策に関する基本方針」に基づき、小規模校対策の対象となる学校の選定、学校ごとの方策、今後の取り組みの進め方などをまとめた「小規模校対策に関する実施計画」を平成22年9月に策定・公表した。

＜実施計画の概要＞

(1) 実施計画期間

平成23年度から平成28年度まで

(2) 対象校

平成22年5月1日現在の学級数及び0歳から5歳までの幼児人口により、小規模校対策の対象校（小学校44校）を選定し、優先順位をつけ第1から第3までのグループに分類した。

ア 第1グループ（9校）

幅下小・南押切小・江西小・那古野小・豊臣小・御園小・白金小・大生小・高坂小

イ 第2グループ（18校）

内山小・千種小・六郷小・六郷北小・榎小・浮野小・中村小・栄小・平和小・千早小・大須小・広見小・正色小・中川小・西築地小・浦里小・梅森坂小・相生小

ウ 第3グループ（17校）

東桜小・明倫小・大杉小・杉村小・栄生小・米野小・諏訪小・松原小・鶴舞小
井戸田小・西福田小・白水小・柴田小・千鳥小・本地丘小・西城小・牧の原小

（3）学校ごとの方策と具体的な進め方

ア 第1グループ

統合相手校など小規模校対策の具体的な学校ごとの方策を定め、実施計画期間内の開校を目指す。

- ・ 幅下小・江西小・那古野小の3校を統合
- ・ 南押切小・榎小（第2グループ）・栄生小（第3グループ）の3校を統合
- ・ 豊臣小：諏訪小（第3グループ）と統合
- ・ 御園小：名城小と統合
- ・ 白金小：村雲小と統合
- ・ 大生小：宝小と統合
- ・ 高坂小：相生小（第2グループ）と統合

イ 第2グループ

保護者・地域説明会を開催し、児童数の推移や地域の状況等を把握しながら、第1グループに準じて進める。

ウ 第3グループ

保護者・地域説明会を開催し、その後、学校から児童数の推移等の情報収集を行う。

4 名古屋市立小・中学校における

日本語指導が必要な児童生徒への対応に関する具体的な施策

（1）計画の概要

急増する日本語指導が必要な児童生徒の学校生活への円滑な適応を図るため、日本語指導を含めた学校生活の支援について具体的な施策を定めた「名古屋市立小・中学校における日本語指導が必要な児童生徒への対応に関する具体的な施策」を平成22年3月に策定した。

ア 基本理念

多文化共生社会において子どもたちが異なる文化や生活習慣を理解し、互いの良さを認めあい仲間として共に成長していくことを目指す。

イ 計画期間

平成22年度～平成25年度（4年間）

（2）平成25年度の主な実績

ア 日本語教育相談センターにおいて、就学や学校生活への適応に関する相談285件、学校への通訳派遣141件、翻訳派遣2,236件を実施した。

- イ 初期日本語集中教室 2 教室で、日本語を全く理解できない児童生徒 54 人に対して、初歩的な日本語や基本的な日本の学校生活習慣についての学習を実施した。
- ウ 日本語通級指導教室 16 教室で、日常会話をすることはできるが授業で使う言葉が分からない児童生徒 53 人に対して学習言語の指導を実施した。
- エ 児童生徒・保護者の母語を使ってコミュニケーションを行うことができる母語学習協力員を 14 人から 17 人に増員し学校に配置した。
- オ 英語版の生徒用会話集を作成し、名古屋市公式ウェブサイトによる配信を開始した。

5 名古屋市不登校対策基本構想

(1) 構想の概要

不登校の未然防止及び不登校児童生徒の学校復帰の促進を目指し、不登校対策として取り組むべき施策の方向性を定めた「名古屋市不登校対策基本構想」を平成 25 年 2 月に策定した。

ア 5つの視点

不登校の子ども及びその保護者に対する支援の一層の充実を図るため、下記の 5 つの視点に基づき取り組みを実施する。

- (ア) 子どもが安心できる環境づくり
- (イ) 学習への興味・関心・意欲の喚起
- (ウ) 子どもの心に寄り添う体制づくり
- (エ) 適応段階に応じた支援
- (オ) 保護者への情報提供や保護者の不安軽減

イ 計画期間

平成 25 年度～平成 29 年度（5 年間）

(2) 25 年度の主な実績

- ア 子ども適応相談センターで行っている教育相談に加え、発達障害、いじめ、問題行動等の教育相談を付加し、さらに福祉との連携も視野に入れた、子ども・教育に関する総合的な相談施設の整備検討を行った。
- イ 子ども適応相談センターにおける過大な通所者数の緩和及び南部方面からの通所促進を図るため、サテライトスクールの設置に向けた整備を実施した。
- ウ 相談環境の充実のため、小学校 60 校のスクールカウンセラー配置時間を 30 時間から 140 時間に拡大した。
- エ 発達障害のある児童生徒の学校生活への適応を図るため、発達障害対応支援員の配置校数を 32 校から 48 校へ拡充した。
- オ 担任教員が不登校児童生徒等に接する時間を増やし学校復帰の促進を図るため、不登校対応支援講師の配置校数を 35 校から 40 校へ拡充した。
- カ 児童生徒・保護者が本市の不登校施策等の情報を得やすい環境を整えるため、ウェブサイトの開設や保護者向けパンフレットの作成・配付を実施した。

(3) 26 年度の主な事業予定

- ア 不登校・いじめ・発達障害等の教育相談に加え、福祉との連携を視野に入れた総合的な相談施設の整備検討を実施する。
- イ 子ども適応相談センターにおける過大な通所者数の緩和及び南部方面からの通所促進を図るため、南区に適応指導型サテライトスクールを設置し、運営する。
- ウ 相談環境の充実のため、小学校 77 校のスクールカウンセラー配置時間を 30 時間から 70 時間に拡大する。
- エ 発達障害のある児童生徒の学校生活への適応を図るため、発達障害対応支援員の配置校数を 48 校から 54 校へ拡充する。
- オ 担任教員が不登校児童生徒等に接する時間を増やし学校復帰の促進を図るため、不登校対応支援講師を、引き続き 40 校に配置する。

6 魅力ある市立高等学校づくり推進基本計画

(1) 計画の概要

魅力ある市立高等学校づくり推進基本計画は、名古屋市教育振興基本計画の「特色ある市立高等学校づくり」を受け、全ての市立高校で目指す特色づくりを明確にし、平成 25 年度より 5 年間にわたって推進する計画として、平成 25 年 2 月に策定された。

ア 基本理念

(ア)名古屋市立高校は、社会の変化や生徒・保護者のニーズに対応しながら、次に掲げる資質をもった生徒を育成する。

- ①人生をたくましく生きる力を備える
- ②未来への夢を抱き、学び成長し続ける
- ③社会性を備え、他人を思いやり、協力・協調する
- ④豊かな感性と創造力を備える

(イ)名古屋市立高校は、社会の発展に努め、地域社会に貢献できる人材を育成する。

(ウ)名古屋市立高校に、義務教育と高等教育や産業界とを結ぶ役割をもたせ、学校間連携や校種を超えた連携による教育活動を推進し、名古屋市の教育活動を活性化させる。

イ 計画期間

平成 25 年度～平成 29 年度

(2) 計画の主な内容

ア 向陽高等学校

世界で活躍できる科学技術系人材を育てる理数教育の推進するために、平成 27 年度に国際科学科を新設する。

イ 北高等学校

国際的な教養を身につけさせる国際理解教育を推進するために、平成 27 年度に国際理解コースを新設する。

ウ 名古屋商業高等学校

国際ビジネス社会で活躍できる人材を育てる商業教育を推進するために、平成 29 年度に国際経済科をグローバルビジネス科へ学科変更する。

エ 若宮商業高等学校

商業デザインや地域経済の活性化、観光まちづくりを中心とした商業教育を推進するために平成 29 年度に地域・観光を学ぶコース設置する。

オ 工業高等学校

先端的な技能を習得し、熟練した技能者の育成を目指すために、デュアルシステムを導入する。

カ 工芸高等学校

平成 28 年度に専攻科を設置し、先端的な技術を習得した技術者を育成する工業教育を目指す。

キ 中央高等学校

個の特色を生かしながら、自分の道を切り拓いていく定時制教育を推進する。

7 第 2 次名古屋市子ども読書活動推進計画

(1) 計画の概要

子どもの読書活動を推進していくため、平成24年度に策定した「第 2 次名古屋市子ども読書活動推進計画」に基づき、家庭・地域・図書館・学校や関係機関がそれぞれ連携・協力し、さまざまな読書の機会や場の提供、読書に取り組みやすい環境や仕組みづくりに取り組んでいる。

ア 理念

子どもの読書活動は、子どもが、言葉を学び、感性を磨き、表現力を高め、創造力を豊かなものにし、人生をより深く生きる力を身に付けていく上で欠くことのできないものである。乳幼児期から読書に親しむようにさせるとともに、発達段階に応じた読書活動を総合的に推進する。

(2) 平成26年度の主な事業予定

ア 秋の読書週間（10月27日から11月 9 日まで）にむけて、10月19日「読書フェスティバル」を開催

イ 市内全区で小学生を子ども図書館大使に任命し、図書館の裏側探検や、大使によるおはなし会の開催等を実施。プログラム修了後、学校等で報告の機会を設定

ウ 市内全保健所の乳幼児健診時に絵本紹介冊子を配布。絵本の読み聞かせを実施

エ 市立小学校、中学校及び特別支援学校に「なごやっ子読書ノート」、「なごやっ子読書カード」を配布し、日常生活における読書意欲と表現力を喚起

オ 読書への興味関心を高めるため、市立小学校・特別支援学校小学部 5・6 年生を対象に、「本の帯コンクール」を実施

カ 鶴舞中央図書館に設置した「学校図書館連携窓口」により、市立小中学校向けに学校図書館に関する相談受付、図書修理ボランティアの派遣、学習支援図書セット貸出し等を実施

8 名古屋市スポーツ推進計画

(1) 計画の概要

「なごやマイ・スポーツ推進プラン」（平成14年3月策定）を継承・発展させるスポーツ基本法第10条に基づく「地方の実情に即したスポーツの推進に関する計画」として平成25年3月に策定した。

この計画では、平成25年度から概ね10年間を計画期間とし、スポーツを実施することによる多様な意義の啓発、運動・スポーツの実施機会の提供により運動・スポーツの実施率の向上を図っていく。

ア 基本理念

「やろまい 運動・スポーツ」でナゴヤ・元気UP！～スポーツを通じた交流・個から社会へ～を基本理念とし、「いつでも、どこでも（地域において、職場において、通勤途上において）、だれとでも、気軽に、スポーツを楽しむことができる「みんなでやろまい（皆でやりましょう）」という社会環境の醸成を図ることをめざしている。

イ 目標

(ア) 基本目標

- ・スポーツの楽しさ・意義への気づきを促進
- ・いつでも、どこでも、だれとでも、気軽にスポーツを楽しむことができるよう機会・場を提供

(イ) 数値目標

成人の運動・スポーツ実施率（週に1回以上の頻度で運動・スポーツを実施する者の割合）を65%以上とする。

(2) 施策体系

ア 意識啓発・スポーツ実施機会の提供

- ・スポーティブ・ライフ月間の実施
- ・健康・スポーツのまるはちデーの設定
- ・大会・イベントの誘致・開催、交流の推進
- ・他の施策と連携したスポーツの推進

イ 支援体制の充実

- ・市民スポーツの推進体制の整備
- ・インセンティブ制度の拡充

ウ 活動の場の充実

- ・スポーツ総合推進拠点施設等の充実
- ・市有施設の維持管理・有効活用

9 「歴史の里」基本計画

(1) 計画の概要

「歴史の里」は、歴史的資産を活用したまちづくりを推進するため、日本の古墳時代の縮図、尾張のルーツとも言われる国史跡を含む貴重な文化財である志段味古墳群と自然地形・景観を保存・活用して、歴史を身近に感じた体験・学習を通して幅広い世代が楽しむことができる施設として平成30年度のフルオープンを目指して事業を推進している。

「歴史の里」基本計画は、平成21年3月に策定された「歴史の里」基本構想をもとに、整備に向けての基本理念や利用・整備内容等について定めた計画として平成26年3月に策定された。

(2) 基本理念

古代ロマンを五感で体感～「学び」と「にぎわい」のある地域づくり～

(3) 基本方針

- ア 貴重な文化財、自然環境の保存
- イ 歴史・文化の体感・体験
- ウ 過去と未来をつなぐ歴史・文化の拠点づくり
- エ 市民と連携し、協働する仕組みの形成

(4) 計画範囲

計画範囲は庄内川、東谷山、尾張丘陵、野添川に囲まれた地域とし、このうち主要な古墳が残る5つの地区を拠点地区としている。

- ア 勝手塚古墳地区
- イ 大塚・大久手古墳群地区
- ウ 国史跡白鳥塚古墳地区
- エ 東谷山白鳥古墳地区
- オ 東谷山山頂3古墳地区



第2部 学校施設、設備、管理、 なごや子ども応援委員会

第1章 校（園）地及び校（園）舎の実態

1 学校施設の整備

（1）校（園）舎の建設

ますます多種・多様化する学校施設へのニーズの中で、よりよい教育環境をめざして、既存の施設を有効に活用しつつ、学校施設の改善・向上を図っている。平成25年度の主な整備内容は次のとおりである。

ア 校舎の改築、改修

小・中学校においては、平成23年度から行ってきた志段味東小学校の改築を進め、新校舎の供用を開始した。

また、校舎の老朽化対策として小学校17校、中学校12校、高等学校2校、幼稚園3園について、大規模改造を行う等既存施設の改善に努めている。

イ 新設校の建設

過大規模となる見込みである志段味中学校の分離新設校として「吉根中学校」の建設に着手した。

ウ 中学校の普通教室の冷房化

子どもたちの学習環境の充実を図るため、中学校93校の普通教室へ空調設備を整備した。

エ 事業費

平成25年度の事業費（委託料を含む）は、小学校4,317,684千円、中学校2,661,584千円、高等学校413,179千円、幼稚園122,300千円、特別支援学校30,000千円である。

(2) 学校施設の維持修繕

平成25年度に実施した維持修繕は以下のとおりである。

(千円)

種別 項目	小学校費	中学校費	高等学校費	幼稚園費	特別支援学校費
指 定 修 繕 費	709,189	306,858	51,373	15,283	13,658
(校舎雨漏り補修)	179,841	57,263	11,991	1,544	0
(校舎・教室補修)	124,173	64,646	13,512	6,126	6,897
(障害児用施設改修)	34,370	22,834	0	0	-
(トイレ補修)	43,243	16,070	653	2,306	957
(給食調理所補修)	12,235	0	-	-	1,113
(給排水補修)	49,314	21,354	819	397	0
(電気・ガス補修)	30,420	9,826	4,281	0	2,544
(空調機器補修)	74,326	29,679	4,463	1,276	410
(プール補修)	64,258	27,342	7,547	-	0
(運動場補修)	20,335	12,979	3,539	1,680	660
(体育館補修)	40,685	14,122	2,499	-	1,077
(門・塀補修)	21,623	12,213	0	1,481	0
(防球ネット補修)	5,452	11,670	1,061	0	0
(その他)	8,914	6,860	1,008	473	0
常 時 修 繕 費	279,579	136,336	22,764	16,852	6,700
合 計	988,768	443,194	74,137	32,135	20,358

2 学校施設の現況

(1) 幼稚園 23園

(平成26年5月1日現在)

区分 園名	幼児数 人	学級数	園地面積 m²	園舎	
				建物延面積 m²	保育室数
総計	2,207	98	42,440	18,402	132
第二	126	6	1,529	1,031	8
第一	123	6	2,653	1,162	6
大幸	112	5	2,216	989	8
報徳	53	3	1,682	1,115	7
楠西	62	3	2,117	626	4
おりべ	56	3	2,221	794	6
第三	106	6	3,767	1,881	10
比良西	80	3	1,859	570	4
吹上	78	3	2,376	763	6
高田	56	3	860	565	4
常磐	60	3	—	—	4
荒子	28	2	—	598	4
春田	65	3	2,585	572	4
はとり	79	3	1,590	572	4
二城	123	6	1,998	750	6
鳴子	126	6	2,365	1,024	6
桶狭間	113	6	1,820	734	6
大高	93	3	2,594	826	6
神の倉	100	4	1,652	656	5
西山台	174	6	1,988	848	6
猪高	156	6	2,916	1,013	8
梅森坂	76	3	1,652	571	4
植田	162	6	—	742	6

(注) 園地面積、園舎の—は、併設などの区分不可能なもの。

(2) 小学校 264校

区 分 校 名	児童数 人	学級数	校地面積 ㎡	建物延面積 ㎡	教 室 数	
					普通 教室	特別 教室
総 計	110,822	(393) 4,176	(12,078) 3,188,691	1,561,843	5,523	1,661

千 種 区 15校

計	7,052	257 (22)	(11,521) 172,829	92,785	330	94
内 山	114	8 (2)	7,987	5,324	11	6
春 岡	285	13 (1)	9,783	4,817	14	6
千 種	202	8 (1)	11,068	5,437	16	7
高 見	473	15 (1)	10,533	7,143	31	7
大 和	331	12	8,055	4,780	15	5
田 代	976	30 (2)	11,427	9,184	33	6
上 野	687	25 (2)	10,116	7,623	32	8
東 山	949	29 (1)	10,059	6,820	37	5
自 由 ケ 丘	364	16 (2)	21,299	5,203	12	6
千 石	186	7	11,566	4,536	13	6
富 士 見 台	948	30 (2)	13,276	8,600	30	6
星 ケ 丘	323	14 (2)	9,087	5,066	18	6
宮 根	345	15 (2)	10,817	5,933	26	6
千 代 田 橋	420	18 (3)	13,200	6,483	25	7
見 付	449	17 (1)	14,556	5,836	17	7

東 区 9校

計	2,865	112 (8)	(10,215) 91,938	50,662	155	59
旭 丘	447	16 (2)	9,951	5,392	19	7
筒 井	321	14 (2)	9,578	5,920	16	7
東 桜	284	11	9,542	5,294	14	7
矢 田	389	16 (2)	11,591	8,145	28	7
山 吹	449	15	10,412	5,417	18	6

校 名	区 分	児童数 人	学級数	校地面積 ㎡	建物延面積 ㎡	教 室 数	
						普通 教室	特別 教室
東 白 壁		301	12	7,404	4,890	14	7
葵		236	10	10,924	4,771	12	5
明 倫		233	8	9,336	4,873	12	6
砂 田 橋		205	10 (2)	13,200	5,960	22	7

北 区 19校

計		7,205	277 (24)	(11,372) 216,084	113,478	393	124
飯 田		469	17 (1)	8,300	5,527	23	6
大 杉		217	9 (1)	12,751	5,414	14	6
清 水		421	16 (2)	11,468	7,087	26	6
杉 村		193	8	7,775	5,038	12	7
名 北		473	17 (2)	12,075	6,880	27	7
金 城		416	16 (2)	11,650	6,379	27	7
城 北		610	21 (1)	11,646	7,491	27	7
六 郷		110	6	6,603	3,556	6	6
楠		778	27 (3)	9,938	7,134	28	6
光 城		495	17 (1)	13,731	6,550	18	6
東 志 賀		368	13	11,235	6,368	25	6
味 鉢		693	23 (2)	16,671	7,463	32	6
西 味 鉢		311	13 (1)	11,115	4,520	14	6
楠 西		355	15 (2)	9,809	5,161	17	6
如 意		279	12	10,651	5,208	15	7
宮 前		332	15 (2)	13,053	6,710	28	9
川 中		260	12 (1)	11,420	5,898	18	7
六 郷 北		149	7 (1)	12,993	4,999	15	6
辻		276	13 (2)	13,200	6,095	21	7

西 区 19校

計		6,715	259 (25)	(10,416) 197,910	100,283	352	117
---	--	-------	----------	---------------------	---------	-----	-----

区 分 校 名	児童数 人	学級数	校地面積 ㎡	建物延面積 ㎡	教 室 数	
					普通 教室	特別 教室
榎	205	7	5,771	3,951	11	5
幅 下	198	8 (1)	13,659	4,871	11	6
栄 生	191	7	9,855	4,162	11	7
上 名 古 屋	388	15 (1)	9,628	5,940	22	6
城 西	339	13	10,910	5,199	17	7
児 玉	249	11 (1)	10,056	4,859	14	6
枇 杷 島	322	14 (1)	8,658	5,489	23	6
南 押 切	138	8 (2)	8,000	3,742	11	6
江 西	98	6	7,437	3,980	10	7
那 古 野	100	6	6,947	4,327	6	6
庄 内	635	21 (2)	13,257	7,553	28	7
稲 生	578	21 (2)	10,653	7,548	31	4
山 田	889	29 (2)	16,411	6,536	32	6
平 田	452	16 (2)	10,156	5,479	23	6
比 良	291	14 (3)	10,695	4,679	18	6
大 野 木	556	21 (3)	11,103	5,712	22	6
浮 野	148	7 (1)	11,690	5,100	20	8
比 良 西	322	14 (2)	11,617	5,169	17	6
中 小 田 井	616	21 (2)	11,407	5,987	25	6

中 村 区 15校

計	4,865	199 (23)	(11,107) 166,618	93,122	276	102
中 村	200	10 (3)	8,886	5,840	20	6
牧 野	242	11 (2)	9,063	5,549	15	8
米 野	206	7	8,971	3,938	13	6
日 比 津	346	14 (2)	10,565	6,101	18	6
柳	344	15 (2)	9,017	4,511	18	6
稲 葉 地	615	22 (2)	13,971	7,415	29	7
日 吉	318	14 (1)	13,679	5,584	16	7
岩 塚	453	16 (2)	15,149	6,313	23	7

区 分 校 名	児童数 人	学級数	校地面積 ㎡	建物延面積 ㎡	教 室 数	
					普通 教室	特別 教室
豊 臣	129	6	8,648	4,358	11	5
千 成	368	13	12,679	6,373	25	7
諏 訪	287	13 (1)	13,433	4,460	13	5
稲 西	266	14 (2)	10,244	5,247	21	8
八 社	516	19 (2)	12,853	5,865	20	7
ほ の か	448	17 (2)	10,382	7,962	20	6
笹 島 (※)	127	8 (2)	9,078	13,606	14	11

(※) 校地面積、建物延面積、特別教室数には笹島中学校分含む

中 区 11校

計	2,093	96 (10)	(9,530) 104,835	51,111	133	60
名 城	235	11 (2)	10,914	6,127	20	5
栄	152	7 (1)	10,052	5,117	13	6
新 栄	196	8 (1)	9,219	5,047	12	6
松 原	212	8	11,430	4,285	12	5
橘	334	15 (2)	6,823	5,114	15	6
平 和	159	7 (1)	11,817	4,309	9	5
老 松	182	9 (2)	10,341	5,299	15	6
大 須	162	6	7,418	5,042	13	6
正 木	296	13 (1)	8,134	4,001	11	5
千 早	114	6	9,074	3,389	7	5
御 園	51	6	9,613	3,381	6	5

昭 和 区 12校

計	4,347	171 (19)	(10,263) 112,898	58,261	211	67
鶴 舞	188	8 (1)	8,167	4,337	11	5
吹 上	304	14 (2)	7,946	5,437	23	7
村 雲	302	15 (2)	13,035	5,086	17	6
松 栄	781	28 (3)	9,302	6,808	28	6

区 分 校 名	児童数 人	学級数	校地面積 ㎡	建物延面積 ㎡	教 室 数	
					普通 教室	特別 教室
御 器 所	487	17	9,738	5,430	21	5
広 路	381	15 (2)	10,601	5,537	22	7
八 事	383	15 (2)	7,265	4,070	16	5
白 金	165	6	9,604	4,146	9	6
川 原	386	15 (2)	13,297	5,868	17	6
川 原 (分)	13	2 (2)	—	—	—	—
滝 川	712	26 (3)	12,927	6,298	29	7
伊 勝	245	10	11,016	5,244	18	7

瑞 穂 区 11校

計	4,959	181 (15)	(11,714) 128,862	68,776	234	70
弥 富	694	23 (1)	14,134	7,619	25	5
御 劔	266	10	11,666	6,866	12	7
堀 田	240	11 (2)	14,766	6,054	23	7
汐 路	596	21 (2)	12,473	7,246	27	7
高 田	343	13 (1)	7,929	5,442	18	6
瑞 穂	416	17 (3)	10,969	5,885	25	6
井 戸 田	306	12	9,748	5,276	16	6
穂 波	432	16 (2)	11,158	5,510	17	7
豊 岡	334	12	9,996	6,112	17	6
陽 明	789	26 (2)	13,405	7,216	30	7
中 根	543	20 (2)	12,618	5,550	24	6

熱 田 区 7校

計	2,642	107 (11)	(10,704) 74,928	39,163	134	42
高 蔵	304	13 (1)	10,615	5,093	16	6
旗 屋	350	15 (2)	7,738	4,902	16	6
千 年	284	12 (1)	9,714	4,765	16	6
船 方	662	22 (1)	16,648	6,766	27	7

校 名	区 分	児童数 人	学級数	校地面積 ㎡	建物延面積 ㎡	教 室 数	
						普通 教室	特別 教室
白 鳥		340	15 (2)	7,834	6,040	22	6
野 立		350	16 (2)	11,414	6,156	22	6
大 宝		352	14 (2)	10,965	5,441	15	5

中 川 区 24校

計		11,260	418 (35)	(11,807) 283,371	137,651	513	151
広 見		107	6	11,390	3,794	6	6
露 橋		308	13 (1)	14,148	4,604	14	5
愛 知		271	13 (2)	13,200	5,485	18	6
八 熊		290	12 (2)	10,878	5,214	19	6
昭 和 橋		509	18 (2)	8,726	5,432	20	7
常 磐		829	28 (3)	13,492	7,318	31	5
八 幡		613	22 (2)	9,186	6,907	29	7
荒 子		1,015	33 (2)	13,424	8,596	38	8
正 色		139	6	11,642	5,281	17	7
篠 原		574	21 (2)	10,768	6,275	22	8
戸 田		598	22 (2)	11,278	6,286	27	7
豊 治		616	22 (2)	12,174	5,554	25	5
千 音 寺		751	25 (1)	14,608	6,662	27	6
長 須 賀		411	15 (1)	8,137	4,140	14	7
万 場		421	17 (2)	14,409	6,547	25	6
野 田		513	17	10,912	5,239	19	6
明 正		321	15 (2)	12,293	5,911	23	6
中 島		490	18 (2)	11,572	6,239	27	7
玉 川		335	14 (1)	10,063	4,427	15	5
西 中 島		365	14 (1)	12,072	5,236	18	6
五 反 田		497	18	11,609	5,475	20	6
春 田		430	16 (2)	12,758	6,418	22	7
赤 星		588	21 (2)	12,030	5,954	22	7
西 前 田		269	12 (1)	12,602	4,657	15	5

校 名	区 分	児童数 人	学級数	校地面積 ㎡	建物延面積 ㎡	教 室 数	
						普通 教室	特別 教室

港 区 20校

計		7,911	301 (30)	(11,467) 229,354	117,839	414	125
東 築 地		618	22 (2)	14,982	8,129	30	7
中 川		205	7	7,284	5,479	12	7
大 手		513	19 (2)	12,250	6,355	25	6
港 西		535	18	9,279	5,614	25	6
小 碓		503	18 (2)	13,986	7,983	30	6
西 築 地		222	10 (1)	9,810	4,919	12	7
高 木		501	18 (2)	9,281	6,195	23	7
南 陽		417	16 (2)	13,342	7,191	28	6
港 楽		362	17 (3)	9,284	5,465	22	5
成 章		260	11	10,131	5,153	15	6
明 徳		440	16 (2)	9,927	5,361	22	6
稲 永		456	17 (2)	12,830	6,844	25	6
東 海		220	10 (2)	10,537	4,666	13	6
野 跡		261	11 (1)	12,288	4,228	13	4
当 知		499	19 (2)	10,654	6,296	23	8
正 保		362	15 (1)	12,649	5,209	18	7
神 宮 寺		272	13 (2)	11,924	5,143	18	6
西 福 田		211	7	12,602	5,099	15	6
福 田		653	22 (2)	13,497	6,222	27	6
福 春		401	15 (2)	12,817	6,288	18	7

南 区 18校

計		5,932	236 (27)	(13,087) 235,577	114,765	393	121
豊 田		490	19 (2)	12,287	6,429	22	6
明 治		407	16 (2)	14,411	8,072	33	8
呼 続		342	15 (2)	11,740	6,570	26	6

校 名	区 分	児童数 人	学級数	校地面積 ㎡	建物延面積 ㎡	教 室 数	
						普通 教室	特別 教室
白	水	225	9 (1)	13,012	5,469	19	7
桜		268	12 (1)	10,727	5,304	18	7
道	徳	373	16 (2)	16,302	8,563	29	7
笠	寺	395	16 (2)	21,316	6,939	32	7
大	生	146	8 (2)	13,728	5,636	15	7
大	磯	239	9 (1)	9,413	4,544	14	6
千	鳥	219	10 (2)	12,413	6,007	19	6
菊	住	443	17 (3)	10,802	5,757	19	8
宝		300	12	14,705	10,138	31	8
柴	田	160	7 (1)	11,492	5,788	12	5
伝	馬	385	13 (1)	16,794	7,381	18	7
星	崎	344	13 (1)	11,906	5,476	21	7
春	日 野	371	15 (2)	10,623	4,597	18	6
笠	東	404	14 (1)	10,034	4,724	19	6
宝	南	421	15 (1)	13,872	7,371	28	7

守 山 区 20校

計		10,039	372 (37)	(14,227) 284,548	124,927	469	127
大	森	389	15 (2)	13,140	6,350	24	6
小	幡	666	22 (2)	26,804	8,834	39	5
守	山	565	22 (2)	18,482	7,561	25	8
廿	軒 家	709	25 (3)	17,676	6,564	25	7
鳥	羽 見	352	16 (2)	16,568	6,160	19	5
瀬	古	832	29 (3)	18,008	7,609	30	7
志	段 味 東	587	21 (3)	13,802	5,313	25	7
志	段 味 西	655	22 (1)	14,166	5,571	29	6
白	沢	539	21 (2)	11,967	5,819	23	5
本	地 丘	154	8 (2)	15,920	5,643	27	6
苗	代	824	27 (2)	9,089	5,989	27	7
天	子 田	321	14 (2)	11,706	6,480	26	7

校 名	区 分	児童数 人	学級数	校地面積 ㎡	建物延面積 ㎡	教 室 数	
						普通 教室	特別 教室
二 城		513	18 (1)	10,276	5,207	21	6
森 孝 東		224	8 (2)	13,320	4,950	14	6
森 孝 西		318	13 (1)	15,006	5,463	22	7
西 城		251	11	13,637	5,685	13	5
大 森 北		365	14	7,690	5,587	15	7
小 幡 北		416	18 (3)	10,014	5,402	16	6
吉 根		779	26 (2)	13,800	7,813	27	7
下 志 段 味		580	22 (2)	13,477	6,927	22	7

緑 区 28校

計	15,300	552 (51)	(15,084) 422,364	176,548	669	178
鳴 海	619	22 (2)	29,580	8,359	26	7
平 子	451	17 (1)	14,987	4,954	19	5
鳴 海 東 部	762	26 (2)	16,970	6,866	25	6
東 丘	624	22 (2)	18,144	5,558	26	5
鳴 子	326	14 (2)	13,547	5,771	18	7
有 松	750	25 (2)	12,931	7,037	27	7
大 高	601	22 (2)	31,322	7,411	28	7
緑	336	14 (2)	9,915	4,882	17	6
片 平	557	21 (2)	13,515	6,128	22	6
戸 笠	408	15 (1)	11,640	5,358	21	7
太 子	454	16 (1)	13,222	5,175	19	6
旭 出	628	20 (1)	13,317	6,367	24	7
浦 里	203	8 (2)	14,598	6,287	22	6
黒 石	255	11 (1)	10,363	4,854	16	6
神 の 倉	741	25 (2)	12,388	6,418	28	5
長 根 台	457	17 (2)	14,450	6,373	28	6
桶 狭 間	922	30 (2)	14,508	6,442	32	8
相 原	424	16 (2)	11,588	5,721	21	7
桃 山	565	20 (1)	12,709	6,462	25	6

校 名	区 分	児童数 人	学級数	校地面積 ㎡	建物延面積 ㎡	教 室 数	
						普通 教室	特別 教室
南	陵	478	18 (2)	14,817	5,914	24	7
大	高 北	303	14 (1)	17,190	4,850	14	5
大	高 南	447	19 (3)	21,170	5,916	19	6
徳	重	437	16 (2)	13,888	6,268	25	7
滝	ノ 水	556	22 (2)	13,221	7,559	33	6
大	清 水	1,033	32 (2)	12,999	6,640	32	6
常	安	290	12 (1)	13,001	5,995	15	7
小	坂	680	25 (3)	12,725	8,010	28	7
熊	の 前	993	33 (3)	13,659	8,973	35	7

名 東 区 19校

計		9,373	335 (28)	(12,824) 243,664	114,935	450	119
猪	高	547	20 (1)	20,945	8,788	35	6
藤	が 丘	582	24 (4)	10,931	6,493	30	6
香	流	595	20 (2)	10,159	5,892	25	7
猪	子 石	418	14	10,811	5,181	19	7
高	針	422	16 (2)	16,499	5,965	22	7
西	山	1,309	39	15,213	7,297	40	7
名	東	1,012	33 (3)	13,511	7,075	32	7
梅	森 坂	213	8 (1)	11,568	5,264	21	6
蓬	来	388	13	10,844	6,501	18	7
本	郷	336	14 (2)	9,901	6,013	23	6
貴	船	711	24 (2)	13,110	6,493	27	6
上	社	536	18	12,898	5,615	24	5
豊	が 丘	272	12 (1)	12,036	4,764	16	6
引	山	253	12 (2)	14,771	5,897	22	7
極	楽	445	14	10,830	5,711	20	6
平	和 が 丘	289	13 (2)	12,401	5,530	21	5
前	山	393	16 (2)	11,567	6,191	23	7
北	一 社	440	16 (2)	12,470	5,679	20	6

区 分 校 名	児童数 人	学級数	校地面積 ㎡	建物延面積 ㎡	教 室 数	
					普通 教室	特別 教室
牧 の 原	212	9 (2)	13, 199	4, 586	12	5

天 白 区 17校

計		8, 264	303 (28)	(13, 112) 222, 911	107, 537	397	105
天	白	830	28 (2)	14, 402	7, 111	32	6
野	並	492	18 (1)	10, 122	6, 298	29	7
高	坂	135	8 (2)	12, 396	5, 265	14	7
八 事	東	545	21 (2)	9, 934	6, 442	26	4
表	山	576	21 (2)	11, 372	5, 347	22	6
平	針	622	23 (2)	15, 335	6, 849	26	6
平 針	南	355	13 (1)	13, 987	6, 058	19	7
植	田	530	20 (2)	20, 565	7, 237	27	6
し ま	だ	381	15 (2)	16, 579	6, 371	23	6
山	根	561	20 (2)	11, 566	5, 583	22	6
相	生	136	6	11, 592	5, 593	17	6
大	坪	406	17 (3)	10, 502	5, 431	18	6
	原	693	22	11, 536	6, 395	28	6
植 田	南	433	15 (2)	12, 303	7, 053	28	7
平 針	北	296	13 (1)	11, 954	5, 819	19	6
植 田	北	489	17 (1)	14, 066	6, 350	19	6
植 田	東	784	26 (3)	14, 700	8, 335	28	7

- (注) 1 学級数欄の () 内は、特別支援学級数の再掲。
2 校地面積欄の () 内は、1 校当たりの平均。ただし、川原小学校分校を除く。

(3) 中学校 111校

校 名 \ 区 分	生徒数 人	学級数	校地面積 ㎡	建物延面積 ㎡	教 室 数	
					普通 教室	特別 教室
総 計	52,217	1,682 (173)	(17,615) 1,937,744	853,344	2,101	1,374

※校地面積、建物延面積、特別教室数のうち、笹島中学校分は、笹島小学校欄に記載

千 種 区 7校

計	2,887	95 (9)	(18,353) 128,473	56,178	120	90
今 池	213	9 (2)	13,935	6,348	12	11
城 山	489	16 (2)	17,801	8,470	21	13
振 甫	479	16 (2)	22,270	9,021	21	13
千 種 台	601	19 (2)	19,836	8,969	19	14
若 水	320	10	14,065	7,396	17	13
千 種	346	11 (1)	17,248	7,469	15	13
東 星	439	14	23,318	8,505	15	13

東 区 4校

計	1,193	40 (4)	(16,354) 65,417	28,644	60	48
あ ず ま	216	8 (2)	16,531	7,371	12	12
富 士	385	12	16,151	7,523	18	13
桜 丘	275	9	17,071	6,680	12	10
矢 田	317	11 (2)	15,664	7,070	18	13

北 区 7校

計	3,545	115 (13)	(18,841) 131,888	58,417	152	92
若 葉	296	11 (2)	14,565	7,314	15	12
志 賀	531	17 (2)	20,692	8,126	25	12
大 曾 根	516	17 (2)	24,692	9,054	23	13
八 王 子	302	12 (3)	16,374	7,954	21	13
楠	703	22 (2)	17,505	9,207	23	15

校 名 \ 区 分	生徒数 人	学級数	校地面積 ㎡	建物延面積 ㎡	教 室 数	
					普通 教室	特別 教室
北 陵	625	18	21,521	8,997	26	13
北	572	18 (2)	16,539	7,765	19	14

西 区 7校

計	3,244	103 (10)	(13,793) 96,556	51,564	127	87
浄 心	432	12	11,489	7,427	17	11
菊 井	173	9 (3)	10,532	5,982	12	11
名 塚	561	17 (2)	17,185	8,759	22	13
天 神 山	386	13 (2)	12,929	7,853	18	13
山 田	783	24 (2)	14,246	7,979	24	14
山 田 東	641	18	12,958	6,911	21	12
平 田	268	10 (1)	17,217	6,653	13	13

中 村 区 7校

計	2,359	82 (11)	(18,205) 109,234	45,192	126	74
豊 国	319	12 (2)	19,296	7,945	21	13
笹 島 (※)	79	5 (2)	—	—	8	—
笈 瀬	201	7 (1)	14,796	6,600	15	12
御 田	609	19 (1)	27,370	7,857	22	13
豊 正	564	20 (4)	22,239	9,420	28	12
黄 金	190	6	13,064	6,584	11	11
日 比 津	397	13 (1)	12,469	6,786	21	13

※校地面積、建物延面積、特別教室数のうち、笹島中学校分は笹島小学校欄に記載

中 区 4校

計	829	29 (2)	(18,257) 73,031	27,271	51	43
前 津	172	6	13,947	7,457	12	12
伊 勢 山	414	14 (2)	23,306	6,774	17	12
白 山	120	4	21,784	6,290	10	11

校 名 \ 区 分	生徒数 人	学級数	校地面積 ㎡	建物延面積 ㎡	教 室 数	
					普通 教室	特別 教室
丸 の 内	123	5	13,994	6,750	12	8

昭 和 区 6校

計	1,770	60 (7)	(16,297) 81,489	33,990	77	63
桜 山	512	15	14,406	6,828	18	13
北 山	217	8 (1)	19,920	6,575	11	13
川 名	504	15	21,381	8,004	23	12
川 名 (分)	14	2 (2)	—	—	—	—
円 上	237	9 (2)	13,056	6,397	13	11
駒 方	286	11 (2)	12,726	6,186	12	14

瑞 穂 区 5校

計	2,129	70 (7)	(18,508) 92,540	38,914	87	63
田 光	273	11 (2)	13,195	7,160	12	12
瑞 穂 ケ 丘	252	8	26,529	6,774	13	13
萩 山	734	21 (1)	21,685	8,587	25	13
汐 路	541	18 (2)	18,112	8,239	22	13
津 賀 田	329	12 (2)	13,019	8,154	15	12

熱 田 区 4校

計	1,280	43 (6)	(15,085) 60,341	27,381	53	44
沢 上	310	11 (2)	15,156	6,522	12	10
宮	294	11 (2)	14,952	8,122	15	13
日 比 野	464	14 (2)	13,599	7,669	18	13
日 比 野 (南)	212	7	16,634	5,068	8	8

中 川 区 11校

計	5,771	185 (21)	(18,081) 198,893	85,868	204	142
---	-------	----------	---------------------	--------	-----	-----

校 名	区 分	生徒数 人	学級数	校地面積 ㎡	建物延面積 ㎡	教 室 数	
						普通 教室	特別 教室
一	色	334	12 (2)	13,209	7,331	14	12
長	良	860	27 (4)	27,196	9,374	28	14
山	王	320	12 (2)	18,939	7,410	17	13
一	柳	729	22 (1)	18,676	7,972	24	13
八	幡	305	10 (1)	13,098	6,496	13	13
昭	和 橋	370	13 (2)	14,287	7,105	14	11
富	田	454	16 (3)	26,563	7,988	22	14
は	と り	926	27 (2)	17,985	9,154	26	12
助	光	367	11	16,513	6,737	12	13
供	米 田	629	19 (1)	15,980	8,126	17	13
高	杉	477	16 (3)	16,447	8,175	17	14

港 区 8校

計		3,957	122 (11)	(18,308) 146,465	65,109	161	104
港	南	703	22 (2)	16,989	8,740	22	14
港	北	424	13 (1)	19,834	7,903	19	13
東	港	555	17 (2)	17,874	8,886	26	13
南	陽	657	20 (2)	23,897	8,741	25	12
宝	神	611	18	16,525	8,192	23	13
当	知	468	17 (4)	16,500	7,756	18	13
港	明	327	9	18,541	7,915	16	13
南	陽 東	212	6	16,305	6,976	13	13

南 区 7校

計		3,119	104 (13)	(17,768) 124,381	60,676	142	89
本	城	590	18 (2)	17,361	8,752	27	13
新	郊	252	10 (2)	14,022	7,178	15	11
桜	田	495	17 (2)	21,519	8,441	19	14

校 名	区 分	生徒数 人	学級数	校地面積 ㎡	建物延面積 ㎡	教 室 数	
						普通 教室	特別 教室
大	江	470	16 (2)	16,510	8,255	21	13
名	南	329	12 (2)	22,245	9,910	19	13
南	光	466	14 (1)	16,198	10,319	24	14
明	豊	517	17 (2)	16,526	7,821	17	11

守 山 区 7校

計		4,652	144 (13)	(19,714) 138,003	53,721	159	91
守 山	山	683	21 (1)	17,072	8,537	22	13
守 山	東	734	23 (3)	32,033	7,812	21	14
守 山	西	932	29 (3)	18,348	8,554	31	14
志 段	味	920	29 (2)	18,222	6,580	25	13
大 森	森	577	18 (2)	17,960	7,997	25	12
守 山	北	426	13 (1)	17,823	7,117	14	12
森 孝	孝	380	11	16,545	7,124	21	13

緑 区 12校

計		7,181	229 (24)	(17,687) 212,254	99,686	269	158
鳴 海	海	481	16 (2)	18,196	8,689	27	15
有 松	松	912	27 (3)	18,431	9,146	28	14
大 高	高	588	19 (2)	30,579	8,628	21	12
鳴 子	台	418	14 (2)	17,100	8,711	21	12
東 陵	陵	471	15 (1)	17,844	6,672	15	13
千 鳥	丘	339	12 (2)	16,776	7,821	18	14
神 沢	沢	596	18 (1)	13,895	7,902	23	14
扇 台	台	703	23 (3)	16,536	9,101	29	12
滝 ノ	水	964	29 (2)	16,522	8,473	29	13
左 京	山	404	13 (1)	13,337	7,536	14	13
鎌 倉	台	434	15 (2)	16,539	6,905	16	13
神 の	倉	871	28 (3)	16,499	10,102	28	13

名 東 区 8 校

計	4,374	139 (12)	(19,209) 153,679	64,451	172	99
猪 高	659	21 (2)	37,661	9,227	26	13
神 丘	941	28 (2)	16,090	8,764	30	14
高 針 台	764	25 (4)	17,264	8,475	25	12
猪 子 石	390	14 (2)	16,203	9,481	26	13
藤 森	507	17 (2)	13,258	7,585	22	13
牧 の 池	376	11	18,791	7,139	15	12
上 社	271	9	16,621	6,193	10	10
香 流	466	14	17,791	7,587	18	12

天 白 区 7 校

計	3,927	122 (10)	(17,871) 125,100	56,282	141	87
天 白	653	20 (2)	26,405	8,652	21	13
御 幸 山	676	22 (3)	15,975	8,542	23	13
久 方	362	11	16,558	8,038	21	12
平 針	472	17 (3)	16,407	8,134	18	13
南 天 白	215	7	16,501	6,444	10	12
植 田	1,039	30 (2)	16,754	8,557	30	11
原	510	15	16,500	7,915	18	13

- (注) 1 学級数欄の () 内は、特別支援学級数の再掲。
2 校地面積欄の () 内は、1 校当たりの平均。ただし、川名中学校分校を除く。

(4) 高等学校 14校

区 分 校 名	生徒数 人	学級数	校地面積 ㎡	建物延面積 ㎡	教 室 数	
					普通 教室	特別 教室
計	12,916	330	(32,229) 451,202	205,018	362	290
菊 里	1,073	27	35,841	13,747	30	41
向 陽	1,083	27	26,486	11,970	30	18
桜 台	1,118	28	27,679	13,810	30	19
北	953	24	35,180	13,196	28	21
緑	1,075	27	38,226	12,024	30	17
富 田	949	24	33,808	11,458	25	25
山 田	829	21	29,838	11,614	28	18
名 東	1,119	28	35,011	13,054	30	21
西 陵	598	15	31,997	14,083	22	17
名 古 屋 商	949	24	29,476	16,814	24	23
若 宮 商	712	18	32,526	11,786	24	15
工 業	714	18	42,554	23,873	24	21
工業(定時制)	118	4	—	—	—	—
工 芸	829	21	43,232	25,516	21	21
中 央	797	24	9,348	12,073	16	13

(注) 校地面積欄の()内は、1校当たりの平均。

(5) 特別支援学校 4校

区 分 校 名	生徒数 人	学級数	校地面積 ㎡	建物延面積 ㎡	教 室 数	
					普通 教室	特別 教室
計	1,071	171	40,628	32,501	134	68
西	266	42	9,065	7,836	32	16
南	335	52	11,603	11,227	39	18
天 白	144	29	10,273	4,999	19	13
守 山	326	48	9,687	8,439	44	21

3 学校の移転及び通学区域の変更

(1) 学校の移転

(平成 25 年 9 月 1 日施行)

事 項	学 校 名	位 置
変更前	志段味東小学校	守山区大字上志段味306番地
変更後		守山区大字上志段味字道光323番地の2

(2) 通学区域の変更 (平成 26 年 4 月 1 日施行)

名古屋市立瑞穂小学校及び名古屋市立井戸田小学校の通学区域の変更

次の区域を名古屋市立井戸田小学校の通学区域から除き、名古屋市立瑞穂小学校の通学区域に加える。

名古屋市瑞穂区白龍町 1 丁目62番

4 小規模校対策

「名古屋市立小・中学校における小規模校対策に関する基本方針」及び「小規模校対策に関する実施計画」に基づき、保護者、地域住民等の理解を得ながら小規模校対策を進めていく。

(1) 平成25年度の主な実績

- ・ 幅下小学校・江西小学校・那古野小学校では、統合に向けて設置した、保護者、地域住民等からなる 3 校合同の検討組織において、統合場所や統合方法等の協議を進め、3 校統合の合意が得られた。合意後引き続き、統合準備会を設置し、校名選定や施設整備等の協議を進めた。
- ・ 計画の対象校（44校）及び統合の相手校（3 校）について、各学校の状況に応じ、26年度入学予定児童の保護者への説明会や、P T Aや地域住民に対する説明等を実施するなど、小規模校対策への理解を得るための取り組みを進めた。

(2) 平成26年度の主な取り組み予定

- ・ 平成27年度幅下小学校・江西小学校・那古野小学校の 3 校統合校の開校に向け、統合準備会において、円滑な開校に向けた話し合いや準備を進める。
- ・ 計画の対象校及び統合の相手校について、各学校の状況に応じ、27年度入学予定児童の保護者への説明会や、P T Aや地域住民に対する説明等を実施するなど、引き続き小規模校対策への理解を得るための取り組みを進める。さらに、児童数の推移に基づき、児童数が120人を超えないと見込まれる場合、速やかに統合へ向けた合意を図る。

第2章 学校設備の充実状況

平成25年度に実施した学校設備の充実状況は、次のとおりである。

(千円)

種 別 項 目		小学校	中学校	高等学校	幼稚園	特別支援 学校	備 考
1	主要設備品の更新	42,493	53,143	8,447	—	1,007	
2	多目的スペース 設備品	—	—	—	—	—	
3	増改築設備品	1,309	295	—	—	—	
4	体育館兼講堂設備品	—	—	—	—	—	
5	産業教育設備品	—	—	5,067	—	—	
6	理科教育設備品	180,875	95,635	14,000	—	—	
7	教材教具設備品	272,720	194,376	39,503	35,410	2,422	
8	教室設備品修繕費	14,014	9,772	548	—	—	
9	表簿用紙の購入	3,820	2,020	1,421	213	130	
10	どん帳の整備	937	—	—	—	—	
計		516,168	355,241	68,986	35,623	3,559	

第3章 学校施設の管理

1 学校施設の機械警備

教育委員会が所管する学校における教職員の勤務時間外の学校施設、物品等の保全を図るため、これまでの集中監視センターを廃止し、民間警備会社へ警備を委託した。火災、侵入等の災害が発生したときには、次の警備により、民間警備会社警備員が緊急措置を講ずる。

ア 火災警備 火災感知器による情報を監視し、事故発生時の緊急出動、必要に応じ消防署への通報や施設管理者への連絡を行う。

イ 防犯警備 機械監視装置による情報を監視し、事故発生時の緊急出動、必要に応じ警察署への通報や施設管理者への連絡を行う。

2 学校（園）近隣協力員

機械警備の補完として、各校（園）2名（併設園を除く）を学校（園）長の内申に基づき教育委員会が依頼する。学校内の鍵を保管し、学校施設の異常を確認した場合に関係機関へ通報したり、地震・風水害等で避難所となる場合には、その開設について協力する。

第4章 なごや子ども応援委員会

1 趣旨

平成26年4月1日、市内11ブロックの中学校11校に、なごや子ども応援委員会を設置した。なごや子ども応援委員会では、スクールカウンセラー始め4つの職種の職員が、学校のスタッフの一員として教員と協働して活動し、いじめ、不登校等につながる潜在化した心の問題に対し、専門的見地からの積極的なアプローチを行い、児童生徒が抱える問題の未然防止・早期発見や個別支援とともに、学校支援の協力体制を構築していく。

2 各委員会の構成

職 種	人数	身 分
ス ク ー ル カ ウ ン セ ラ ー	1	一般任期付職員
スクールソーシャルワーカー	1	一般任期付職員
ス ク ー ル ア ド バ イ ザ ー	1	一般任期付職員
ス ク ー ル ポ リ ス	1	非 常 勤 職 員

3 設置ブロックと設置校

	ブロック	学 校 名	住 所
1	千種・東	振甫中学校	名古屋市千種区北千種一丁目7番1号
2	北	北陵中学校	名古屋市北区志賀町2丁目12番地
3	西	山田東中学校	名古屋市西区宝地町10番地
4	中村・中	御田中学校	名古屋市中村区岩塚町2丁目10番地
5	昭和・天白	天白中学校	名古屋市天白区池場五丁目1014番地
6	瑞穂・南	明豊中学校	名古屋市南区豊二丁目39番3号
7	熱田・港	東港中学校	名古屋市港区港栄一丁目7番16号
8	中川	一柳中学校	名古屋市中川区中郷四丁目235番地
9	守山	大森中学校	名古屋市守山区大森一丁目2601番地
10	緑	大高中学校	名古屋市緑区森の里一丁目107番地
11	名東	高針台中学校	名古屋市名東区勢子坊三丁目801番地

※ 設置校以外のブロック内の市立学校（園）の事案にも、学校からの依頼により対応する。

第3部 幼児、児童、生徒、教職員

第1章 幼児、児童、生徒

1 幼児、児童、生徒数

(1) 市立幼稚園・学校の学校種別学年幼児、児童、生徒数

(平成26年5月1日現在)

区 分	幼稚園	小学校	中学校	高等学校		特別支援学校			
				全日制	定時制	小学部	中学部	高等部	
1 年	男	309	9,760	9,036	1,702	168	25	44	158
	女	319	9,188	8,221	2,389	141	12	18	71
	計	628	18,948	17,257	4,091	309	37	62	229
2 年	男	391	9,441	9,061	1,643	131	14	49	146
	女	391	9,103	8,396	2,341	127	6	29	85
	計	782	18,544	17,457	3,984	258	20	78	231
3 年	男	430	9,149	9,093	1,589	123	26	38	129
	女	367	8,822	8,410	2,337	98	11	23	80
	計	797	17,971	17,503	3,926	221	37	61	209
4 年	男	—	9,394	—	—	75	24	—	—
	女	—	9,058	—	—	52	16	—	—
	計	—	18,452	—	—	127	40	—	—
5 年	男	—	9,404	—	—	—	15	—	—
	女	—	8,890	—	—	—	4	—	—
	計	—	18,294	—	—	—	19	—	—
6 年	男	—	9,551	—	—	—	33	—	—
	女	—	9,062	—	—	—	15	—	—
	計	—	18,613	—	—	—	48	—	—
計	男	1,130	56,699	27,190	4,934	497	137	131	433
	女	1,077	54,123	25,027	7,067	418	64	70	236
	計	2,207	110,822	52,217	12,001	915	201	201	669

(注) 幼稚園1年欄は3歳児、2年欄は4歳児、3年欄は5歳児。

(2) 行政区別幼児、児童、生徒数

(平成26年5月1日現在)

区 分		千 種	東	北	西	中 村	中	昭 和	瑞 穂	熱 田
幼稚園	男	67	115	83	100	—	—	41	28	—
	女	59	120	88	86	—	—	37	28	—
	計	126	235	171	186	—	—	78	56	—
小学校	男	3,625	1,503	3,683	3,435	2,503	1,063	2,249	2,521	1,325
	女	3,427	1,362	3,522	3,280	2,362	1,030	2,098	2,438	1,317
	計	7,052	2,865	7,205	6,715	4,865	2,093	4,347	4,959	2,642
中学校	男	1,506	625	1,837	1,677	1,236	402	925	1,097	676
	女	1,381	568	1,708	1,567	1,123	427	845	1,032	604
	計	2,887	1,193	3,545	3,244	2,359	829	1,770	2,129	1,280
高等 学 校	全 日 制	男	497	475	501	331	—	560	—	—
		女	1,525	354	452	1,096	—	523	—	—
		計	2,022	829	953	1,427	—	1,083	—	—
	定 時 制	男	—	—	—	—	388	—	—	—
		女	—	—	—	—	409	—	—	—
		計	—	—	—	—	797	—	—	—
特別支 援学校	男	—	—	—	—	—	—	—	—	223
	女	—	—	—	—	—	—	—	—	112
	計	—	—	—	—	—	—	—	—	335

区 分		中 川	港	南	守 山	緑	名 東	天 白	計	
幼稚園	男	115	—	—	63	217	226	75	1,130	
	女	117	—	—	60	215	180	87	1,077	
	計	232	—	—	123	432	406	162	2,207	
小学校	男	5,804	3,964	3,028	5,140	7,855	4,764	4,237	56,699	
	女	5,456	3,947	2,904	4,899	7,445	4,609	4,027	54,123	
	計	11,260	7,911	5,932	10,039	15,300	9,373	8,264	110,822	
中学校	男	3,009	2,104	1,626	2,388	3,727	2,303	2,052	27,190	
	女	2,762	1,853	1,493	2,264	3,454	2,071	1,875	25,027	
	計	5,771	3,957	3,119	4,652	7,181	4,374	3,927	52,217	
高等 学 校	全 日 制	男	1,146	—	447	—	489	465	23	4,934
		女	517	—	671	—	586	654	689	7,067
		計	1,663	—	1,118	—	1,075	1,119	712	12,001
	定 時 制	男	109	—	—	—	—	—	—	497
		女	9	—	—	—	—	—	—	418
		計	118	—	—	—	—	—	—	915
特別支 援学校	男	173	—	—	211	—	—	94	701	
	女	93	—	—	115	—	—	50	370	
	計	266	—	—	326	—	—	144	1,071	

(3) 高等学校の課程別・学科別生徒数、学級数

(平成26年5月1日現在)

区 分		全 日 制		定 時 制		計		学科別
		生徒数	学級数	生徒数	学級数	生徒数	学級数	比率 (%)
普 通 科	男女計	3,607	197	354	20	3,961	217	66.2
		4,232		358		4,590		
		7,839		712		8,551		
商 業 科	男女計	71	42	34	4	105	46	13.5
		1,590		51		1,641		
		1,661		85		1,746		
工 業 科	男女計	1,149	39	109	4	1,258	43	12.9
		394		9		403		
		1,543		118		1,661		
家 庭 科	男女計	1	3	—	—	1	3	0.9
		117		—		117		
		118		—		118		
音 楽 科	男女計	9	3	—	—	9	3	0.9
		111		—		111		
		120		—		120		
英 語 科	男女計	27	3	—	—	27	3	0.9
		95		—		95		
		122		—		122		
総 合 学 科	男女計	70	15	—	—	70	15	4.6
		528		—		528		
		598		—		598		
合 計	男女計	4,934	302	497	28	5,431	330	100.0
		7,067		418		7,485		
		12,001		915		12,916		
課程別比率 (%)		92.9		7.1		100.0		

(注) 比率は小数点以下第2位を四捨五入しているため、総数と内訳の合計とが一致しない場合がある。

(4) 年度別学校数、学級数、幼児・児童・生徒数、教員数

幼 稚 園

(各年度5月1日現在)

区 分	園 数	学級数	幼 児 数			教員数
			男	女	計	
24 年 度	23	98	1,085	1,073	2,158	167
25 年 度	23	97	1,109	1,027	2,136	170
26 年 度	23	98	1,130	1,077	2,207	165

小 学 校

(各年度5月1日現在)

区 分	学校数			学級数	児 童 数			教員数
	本校	分校	計		男	女	計	
24 年 度	263	0	263	4,166	57,439	54,574	112,013	6,063
25 年 度	263	1	264	4,168	56,886	54,219	111,105	6,103
26 年 度	263	1	264	4,176	56,699	54,123	110,822	6,152

中 学 校

(各年度5月1日現在)

区 分	学校数			学級数	生 徒 数			教員数
	本校	分校	計		男	女	計	
24 年 度	109	1	110	1,684	27,482	25,817	53,299	3,219
25 年 度	109	2	111	1,682	27,431	25,431	52,862	3,218
26 年 度	109	2	111	1,682	27,190	25,027	52,217	3,235

高 等 学 校

(各年度5月1日現在)

区 分	学校数			学級数		生 徒 数						教員数	
	全日制	定時制	計	全日制	定時制	全 日 制			定 時 制			全日制	定時制
						男	女	計	男	女	計		
24 年 度	13	2	15	300	30	4,952	6,939	11,891	493	421	914	794	84
25 年 度	13	2	15	298	28	4,866	6,938	11,804	489	420	909	782	82
26 年 度	13	2	15	302	28	4,934	7,067	12,001	497	418	915	799	85

特別支援学校

(各年度5月1日現在)

区 分	学校数	学級数	小 学 部			中 学 部			高 等 部			教員数
			男	女	計	男	女	計	男	女	計	
24 年 度	4	166	145	70	215	120	63	183	378	205	583	404
25 年 度	4	166	128	62	190	128	64	192	388	230	618	413
26 年 度	4	171	137	64	201	131	70	201	433	236	669	422

2 児 童 ・ 生 徒 表 彰 件 数

区 分	小学校		中学校		特別支援学校		高等学校		総 計		
	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	計
23 年 度	39	48	34	47	1	0	0	0	74	95	169
24 年 度	47	49	31	50	0	0	2	0	80	99	179
25 年 度	41	53	40	41	0	1	1	1	82	96	178

3 進路状況

(比率は小数点以下第2位を四捨五入しているの、総数と内訳の合計とが一致しない場合がある。)

(1) 平成26年度入学及び平成25年度卒業児童生徒数

区 分	入学児童生徒数			卒業児童生徒数		
	男	女	計	男	女	計
小 学 校	9,760	9,188	18,948	10,004	9,186	19,190
中 学 校	9,036	8,221	17,257	9,276	8,622	17,898
高 等 学 校	1,543	2,337	3,880	1,596	2,210	3,806
	168	141	309	103	97	200

(2) 平成25年度市立中学校卒業者の進路状況

区 分	卒 業 者	進 学 者			就 職 者 そ の 他
		全日制	定時制	通信制等	
男	9,276	8,169	232	643	232
女	8,622	8,007	125	351	139
計	17,898	16,176	357	994	371
比 率 %	100.0	90.4	2.0	5.6	2.1

(3) 平成25年度市立高等学校卒業者の進路状況

ア 全日制課程

区 分	卒 業 者			進 学 者				就職者		専修学校等 入学者		就職をして 進学した者		その他	
				国公立		私 立									
	男	女	計	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女
普通科	1, 177	1, 295	2, 472	286	231	586	767	21	12	257	262	—	—	27	23
商業科	29	509	538	—	—	4	79	15	286	9	114	—	—	1	30
工業科	353	131	484	1	2	31	34	262	55	50	35	—	—	9	5
家庭科	0	39	39	—	—	—	8	—	2	—	29	—	—	—	—
音楽科	5	35	40	1	14	2	15	—	—	2	6	—	—	—	—
英語科	9	26	35	—	4	6	14	—	—	3	3	—	—	—	5
総合科	23	175	198	—	1	13	63	7	43	3	61	—	—	—	7
計	1, 596	2, 210	3, 806	288	252	642	980	305	398	324	510	—	—	37	70
比率%	100. 0			56. 8				18. 5		21. 9		0. 0		2. 8	

イ 定時制課程

区 分	卒 業 者			進 学 者				就職者		専修学校等 入学者		就職をして 進学した者		その他	
				国公立		私 立									
	男	女	計	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女
普通科	78	80	158	2	1	14	25	17	9	33	26	—	—	12	19
商業科	6	13	19	—	—	—	—	1	4	4	3	—	—	1	6
工業科	19	4	23	—	—	—	—	9	3	3	—	—	—	7	1
計	103	97	200	2	1	14	25	27	16	40	29	—	—	20	26
比率%	100.0			21.0				21.5		34.5		—		23.0	

(注) 専修学校等入学者…専修学校（専門課程）、専修学校（一般課程）、各種学校（予備校、洋裁学校等）、又は公共職業訓練機関等に入学した者

(4) 市立中学校、高等学校の進路累年比較

ア 中 学 校

区 分	卒 業 者		進 学 者						就 職 者	
			全 日 制		定 時 制		通 信 制 等		そ の 他	
	生徒数	比率	生徒数	比率	生徒数	比率	生徒数	比率	生徒数	比率
23 年 度	17, 509	100. 0	15, 860	90. 6	305	1. 7	945	5. 4	399	2. 3
24 年 度	17, 788	100. 0	16, 062	90. 3	353	2. 0	975	5. 5	398	2. 2
25 年 度	17, 898	100. 0	16, 176	90. 4	357	2. 0	994	5. 6	371	2. 1

イ 高等学校（全日制）

区 分	卒 業 者		進 学 者		就職進学者		就 職 者		そ の 他	
	生徒数	比率	生徒数	比率	生徒数	比率	生徒数	比率	生徒数	比率
23 年 度	3,821	100.0	2,227	58.3	—	—	676	17.7	918	24.0
24 年 度	3,966	100.0	2,258	56.9	—	—	709	17.9	999	25.2
25 年 度	3,806	100.0	2,162	56.8	—	—	703	18.5	941	24.7

ウ 高等学校（定時制）

区 分	卒 業 者		進 学 者		就職進学者		就 職 者		そ の 他	
	生徒数	比率	生徒数	比率	生徒数	比率	生徒数	比率	生徒数	比率
23 年 度	181	100.0	51	28.2	—	—	32	17.7	98	54.1
24 年 度	196	100.0	52	26.5	—	—	33	16.8	111	56.6
25 年 度	200	100.0	42	21.0	—	—	43	21.5	115	57.5

4 児童・生徒の長期欠席と就学免除・猶予状況

(比率は小数点以下第3位を四捨五入しているので、総数と内訳の合計とが一致しない場合がある。)

(1) 平成25年度間長期欠席児童生徒数

ア 長期欠席者総数と長期欠席率

区 分	在 学 者 数			長期欠席者数			長期欠席率 (%)		
	男	女	計	男	女	計	男	女	計
小 学 校	56,886	54,219	111,105	657	535	1,192	1.15	0.99	1.07
中 学 校	27,431	25,431	52,862	1,071	955	2,026	3.90	3.76	3.83
合 計	84,317	79,650	163,967	1,728	1,490	3,218	2.05	1.87	1.96

(注) 長期欠席者とは、年間を通じて30日以上欠席した者

イ 長期欠席者総数と長期欠席率（欠席理由別）

区 分	長期欠席者数	欠席理由別長期欠席者数			欠席理由別欠席率 (%)		
		身体傷病	不登校	家庭によるもの	身体傷病	不登校	家庭によるもの
小 学 校	1,192	344	525	323	28.86	44.04	27.10
中 学 校	2,026	317	1,426	283	15.65	70.38	13.97
合 計	3,218	661	1,951	606	20.54	60.63	18.83

ウ 長期欠席者の行政区別比較

区 分		千 種	東	北	西	中 村	中	昭 和
小 学 校	在 学 者	6,955	2,825	7,308	6,745	4,933	2,037	4,355
	長 期 欠 席 者	50	33	96	69	55	58	27
	長 期 欠 席 率	0.72	1.17	1.31	1.02	1.11	2.85	0.62
中 学 校	在 学 者	2,870	1,227	3,629	3,288	2,400	820	1,795
	長 期 欠 席 者	74	35	170	100	90	44	61
	長 期 欠 席 率	2.58	2.85	4.68	3.04	3.75	5.37	3.40

エ 欠席理由別・欠席日数別長期欠席者数

区 分			小 学				
			1 年	2 年	3 年	4 年	5 年
在 学 者 (A)			18,519	18,021	18,488	18,325	18,620
長 期 欠 席 者 (B)			121	140	186	181	236
学年別長期欠席率 (B / A × 100) %			0.65	0.78	1.01	0.99	1.27
欠 席 理 由 別	本人によるもの	身 体 傷 病	45	42	59	61	60
		不 登 校	31	54	58	82	123
	家庭によるもの	経 済 的 理 由	0	0	0	0	0
		家 族 の 傷 病	2	3	3	1	3
		保 護 者 の 無 理 解	26	20	37	20	26
		そ の 他	17	21	29	17	24
	30 日 ～ 49 日		57	61	87	83	100
	50 日 ～ 99 日		41	51	56	55	63
欠 席 日 数 別	100 日 ～ 149 日		15	12	22	24	32
	150 日 以 上		6	12	18	17	35
	全 欠 席		2	4	3	2	6

瑞穂	熱田	中川	港	南	守山	緑	名東	天白	計
5,006	2,618	11,375	7,915	6,061	10,014	15,203	9,370	8,385	111,105
35	23	147	152	97	98	96	78	78	1192
0.70	0.88	1.29	1.92	1.60	0.98	0.63	0.83	0.93	1.07
2,136	1,313	5,877	4,094	3,187	4,630	7,111	4,456	4,029	52,862
66	52	321	256	131	163	204	129	130	2,026
3.09	3.96	5.46	6.25	4.11	3.52	2.87	2.89	3.23	3.83

校			中学校				
6年	計	比率(%)	1年	2年	3年	計	比率(%)
19,132	111,105		17,443	17,502	17,917	52,862	
328	1,192		518	744	764	2,026	
1.71	1.07	—	2.97	4.25	4.26	3.83	—
77	344	28.86	86	120	111	317	15.65
177	525	44.04	356	523	547	1,426	70.38
0	0	—	2	1	2	5	0.25
4	16	1.34	5	8	6	19	0.94
37	166	13.93	42	46	56	144	7.11
33	141	11.83	27	46	42	115	5.68
132	520	43.62	144	160	102	406	20.04
94	360	30.20	156	201	220	577	28.48
57	162	13.59	116	168	197	481	23.74
37	125	10.49	86	169	197	452	22.31
8	25	2.10	16	46	48	110	5.43

(2) 就学免除・猶予児童生徒数

(平成26年5月1日現在)

不 就 学 理 由 年 性 齢 別		就 学 免 除 者					就 学 猶 予 者				
		病 弱 ・ 発 育 不 全	児 童 は 少 年 院 に い る た め 自 立 支 援 施 設 又	重 国 籍 の た め	そ の 他	計	病 弱 ・ 発 育 不 全	児 童 は 少 年 院 に い る た め 自 立 支 援 施 設 又	重 国 籍 の た め	そ の 他	計
6 歳	男						2		1		3
	女										
7 歳	男										
	女	1				1			1		1
8 歳	男								1		1
	女										
9 歳	男										
	女	1				1			2		2
10歳	男										
	女								1		1
11歳	男								2		2
	女								2		2
小計 (6～ 11歳)	男						2		4		6
	女	2				2			6		6
12歳	男								2		2
	女								2		2
13歳	男								2		2
	女										
14歳	男								2		2
	女								1		1
小計 (12～ 14歳)	男								6		6
	女								3		3
合計 (6～ 14歳)	男						2		10		12
	女	2				2			9		9

第 2 章 教 職 員

1 教職員構成状況

(1) 学校種別職務別教職員数

(平成26年5月1日現在)

区 分	校 (園) 長		教 頭		主 幹 教 諭		教 諭		養 護 教 諭		栄 養 教 諭		講 師		合 計		
	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	計
幼 稚 園	3	18					5	121					1	17	9	156	165
小 学 校	215	47	220	43	3	2	1,672	3,468		303	3	31	58	87	2,171	3,981	6,152
中 学 校	103	6	104	7	5		1,495	1,311		134		1	38	31	1,745	1,490	3,235
高 全 日 制	12	1	13				458	253		24			17	21	500	299	799
学 校 定 時 制	1		3				49	24		5			1	2	54	31	85
特 別 支 援 学 校	4		6	2			140	238	1	9		2	16	4	167	255	422
小 計	338	72	346	52	8	2	3,819	5,415	1	475	3	34	131	162	4,646	6,212	10,858
合 計	410		398		10		9,234		476		37		293				

区 分	事務職員		実習助手		栄養職員		業 務 士			
	男	女	男	女	男	女	給食調理員		用 務 員	
幼 稚 園									22	22
小 学 校	114	173			4	84	18	834	282	265
中 学 校	65	70				2			125	111
高 等 全 日 制	32	9	21	34					14	13
学 校 定 時 制	3	1	2	4					2	1
特 別 支 援 学 校	5	9		(24)		2		12	4	4
小 計	219	262	23	(24) 38	4	88	18	846	449	416
合 計	481		(24) 61		92		864		865	

(注) 実習助手欄の()内は、介助職員で別掲。業務士には、嘱託員を含む。

(2) 学校種別年齢段階別教員数(小、中学校) (平成26年4月1日現在)

区 分	小 学 校						中 学 校					
	男		女		計		男		女		計	
	教員数	比率	教員数	比率	教員数	比率	教員数	比率	教員数	比率	教員数	比率
25歳未満	132	2.6	277	5.5	409	8.1	66	2.3	88	3.1	154	5.5
25歳～29歳	345	6.9	605	12.0	950	18.9	279	9.9	257	9.1	536	19.1
30歳～34歳	338	6.7	601	11.9	939	18.7	251	8.9	171	6.1	422	15.0
35歳～39歳	205	4.1	400	8.0	605	12.0	187	6.7	179	6.4	366	13.0
40歳～44歳	161	3.2	340	6.8	501	10.0	156	5.6	162	5.8	318	11.3
45歳～49歳	198	3.9	462	9.2	660	13.1	180	6.4	163	5.8	343	12.2
50歳～54歳	112	2.2	355	7.1	467	9.3	214	7.6	179	6.4	393	14.0
55歳以上	120	2.4	379	7.5	499	9.9	129	4.6	149	5.3	278	9.9
合 計	1611	32.0	3419	68.0	5030	100.0	1462	52.0	1348	48.0	2810	100.0
平 均 年 齢	37歳8月		39歳1月		38歳2月		39歳4月		39歳5月		39歳4月	

- (注) 1 臨時講師(1年未満)、非常勤講師は含まない。
2 比率は小数点以下第2位を四捨五入しているので、総数と内訳の合計とが一致しない場合がある。

2 学校医、学校歯科医及び学校薬剤師数

(平成26年5月1日現在)

区 別 学校別	学校医	学校医 (眼科)	学校医 (耳鼻咽喉科)	学校医 (精神科)	学 校 歯科医	学 校 薬剤師
小 学 校 (264)	人 263	人 263	人 —	人 —	人 263	人 263
中 学 校 (111)	110	110	110	4	110	110
全日制 (13)	13	—	—	—	13	13
高等学校 単位制 (1)	1	—	—	—	1	1
定時制 (2)	2	—	—	—	2	2
幼 稚 園 (23)	23	—	—	—	23	23
特別支援学校 (4)	4	4	4	4	4	4
計	416	377	114	8	416	416

(注) ()内は、学校・園数(分校を含む。)

3 教員の採用と異動状況

(1) 教員志願と採用状況

平成25年度実施の教員採用選考により、幼・小・中・高・特別支援学校（小・中学校特別支援学級を含む。）教員、養護教員及び栄養教員合わせて458人を平成26年4月1日付で採用した。

平成25年度実施教員採用選考状況

区 分	志願者数	受験者数	採用者数	採 用 内 訳				
				幼稚園	小学校	中学校	高等学校	特別支援学 校
					(特別支援学級含む)			
幼 稚 園 教 員	103	94	7	7	—	—	—	—
小 学 校 教 員	929	871	266	—	266	—	—	—
中 学 校 教 員	1, 182	999	151	—	—	122	29	—
高等学校教員								
特別支援学校教員	90	82	18	—	—	—	—	18
養 護 教 員	159	143	12	—	8	3	1	—
栄 養 教 員	42	37	4	—	4	—	—	—
合 計	2, 505	2, 226	458	7	278	125	30	18

(2) 平成25年度末教員異動状況

ア 教員異動の大部分は、平成26年4月1日付で実施した。

イ 教員の異動方針は、次のとおりである。

- (ア) 清新の気を流入し、教育意欲の高揚を図る。
- (イ) 公正かつ適正な異動を行い、人事の刷新を図る。
- (ウ) 広く人材を登用し、学校教育の活性化を図る。
- (エ) 適材を適所に配置し、教職員構成の均衡を図る。

平成25年度末教員異動状況（一般教員）

区 分	転 任	退職及び市外転出
幼稚園	19	1
小学校	584	205
中学校	295	95
高等学校	69	29
特別支援学校	37	12
合 計	1,004	342

平成25年度末教員異動状況（校（園）長・教頭）

区 分	新 任		転 任		退職及び市外転出	
	校（園）長	教 頭	校（園）長	教 頭	校（園）長	教 頭
幼 稚 園	3	—	3	—	4	—
小 学 校	45	54	43	20	54	9
中 学 校	23	21	15	8	26	7
高 等 学 校	3	3	1	3	4	2
特 別 支 援 学 校	0	1	0	0	0	0
合 計	74	79	62	31	88	18

4 教職員表彰件数

区 分	幼稚園	小学校		中学校		特別支援学校		高等学校		総 計		
	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	計
22 年 度	0	2	5	2	5	3	0	0	0	7	10	17
23 年 度	0	1	6	5	0	1	1	0	0	7	7	14
24 年 度	1	3	7	1	2	1	0	1	0	6	10	16
25 年 度	0	5	7	4	1	0	1	1	0	10	9	19

5 教職員の福利厚生

教職員の福利厚生は、主として公立学校共済組合及び一般財団法人愛知県教育職員互助会の事業として実施されている。また補完的に市立学校教職員で組織する名古屋市教職員福利厚生会が、レクリエーションを主体とした事業を実施している。

6 平成25年度教員免許状取得状況

名古屋市立学校教員で平成25年度中に新たに免許状を取得した件数は次のとおりで、合計72件である。

免 許 状 種 別	件数	計	免 許 状 種 別	件数	計
高等学校教諭専修免許状	7	13	幼稚園教諭専修免許状	0	2
高等学校教諭一種免許状	6		幼稚園教諭一種免許状	0	
高等学校助教諭臨時免許状	0		幼稚園教諭二種免許状	2	
			幼稚園助教諭臨時免許状	0	
中学校教諭専修免許状	5	6	養護教諭専修免許状	2	7
中学校教諭一種免許状	1		養護教諭一種免許状	5	
中学校教諭二種免許状	0		養護教諭二種免許状	0	
中学校助教諭臨時免許状	0		養護助教諭臨時免許状	0	
小学校教諭専修免許状	7	29	特別支援学校教諭専修免許状	0	14
小学校教諭一種免許状	6		特別支援学校教諭一種免許状	1	
小学校教諭二種免許状	16		特別支援学校教諭二種免許状	13	
小学校助教諭臨時免許状	0		特別支援学校助教諭臨時免許状	0	
栄養教諭一種免許状	0	1			
栄養教諭二種免許状	1				

7 教育指導者の派遣事業（名古屋市教育サポートセンター）

学校教育の充実及び円滑な推進を図るため「名古屋市教育人材バンク」を昭和61年7月に教育館内に設置し、臨時講師の発掘、登録及び紹介事務を行っている。平成20年4月より、「名古屋市教育サポートセンター」と名称を変更し、人材を有効に活用するための事業拡大を図る。

平成25年度中の登録者数及び派遣・紹介した講師の人数は次のとおりである。

種 別	登 録 者 数 (25. 4～26. 3)	登 録 者 総 数 (26. 3. 31現在)	派 遣 者 数 (25. 4～26. 3)
臨 時 講 師	820	4, 421	2, 060

8 学校事務支援センター

学校事務支援センターでは、学校（幼稚園を含む）の学校事務に係る支援を行うことにより、学校事務の円滑かつ適正な運営を図るため、手引・マニュアルの電子化を行う等の事務改善、学校用品の一括調達・支払、及び、小中学校間における学校事務の連携に関すること等を行っている。

る。

9 学校問題解決支援チーム

名古屋市立学校・幼稚園における解決困難な事案について、その早期解決と学校の負担軽減を図るため、平成23年度に学校問題解決支援チームを設置した。教育委員会と各分野の専門家が連携し、学校に対し指導・助言及び支援を行っている。

第4部 学 校 教 育

第1章 教 育 指 導

1 平成25年度学校教育の努力目標

学校は、「夢に向かって人生をきり拓く子どもの育成」を期し、豊かな感性と創造力を備え、心身ともに調和のとれた人間形成を図る役割を担っている。

そのため、各学校では、一人一人の持つよさや可能性を理解し、他者とのかかわりの中でその伸長を図るとともに、「生きる力」をはぐくむ教育実践が進められている。一方、学ぶ意欲の向上や学習習慣の確立、いじめ・不登校の解消、運動習慣の確立など、家庭や地域と連携して取り組まなければならない課題もある。また、東日本大震災の教訓を生かし、子どもが自ら考え行動できる力を育てるよう、防災教育を充実する必要がある。

そこで、各学校では、子どもの実態と学習指導要領等の趣旨を踏まえ、明確な教育目標に基づく創意ある教育活動を学びの連続性を重視しつつ展開していかなければならない。さらに、学校評価や学校評議員制を活用し、主体的に学校運営や教育活動の改善に取り組む「創造していく学校づくり」に努めていかなければならない。

子どもが、笑顔で学校生活を送り、瞳を輝かせて学ぶことができるよう、平成25年度名古屋市学校教育の努力目標を次のように定める。

広がる笑顔 輝く瞳

- 1 基礎的・基本的な知識・技能を習得し、それらを活用して、自ら考え、判断し、表現する力の育成に努める。
- 2 創り出す喜びや表現する楽しさ、美しいものや自然に感動する心など、豊かな感性の育成に努める。
- 3 思いやりの心、自律心や公共心、自他の生命や人権を尊重する態度、自分や家族・郷土に対する誇りや愛着など、道徳性の涵養に努める。
- 4 すすんで運動に親しむとともに、望ましい生活習慣を身に付け、生涯を通じて健康・安全で活力のある生活を送ろうとする態度の育成に努める。

2 教育課程の概況

学習指導要領を基準とし、本市教育課程を参考として、各学校で教育課程を編成し、年間35週の授業時間を確保した。

平成25年度の名古屋市立小中学校の授業時間数の設定は、次のとおりである。

小学校標準授業時数（平成25年度）

区 分		第 1 学年	第 2 学年	第 3 学年	第 4 学年	第 5 学年	第 6 学年
各教科の授業時数	国 語	306	315	245	245	175	175
	社 会	—	—	70	90	100	105
	算 数	136	175	175	175	175	175
	理 科	—	—	90	105	105	105
	生 活	102	105	—	—	—	—
	音 楽	68	70	60	60	50	50
	図 画 工 作	68	70	60	60	50	50
	家 庭 体 育	—	—	—	—	60	55
道 徳 の 授 業 時 数		34	35	35	35	35	35
特別活動の授業時数		34	35	35	35	35	35
総合的な学習の時間の授業時数		—	—	70	70	70	70
外 国 語 活 動		—	—	—	—	35	35
総 授 業 時 数		850	910	945	980	980	980

中学校標準授業時数（平成25年度）

区 分		第 1 学年	第 2 学年	第 3 学年
必修教科の授業時数	国 語	140	140	105
	社 会	105	105	140
	数 学	140	105	140
	理 科	105	140	140
	音 楽	45	35	35
	美 術	45	35	35
	保 健 体 育	105	105	105
	技 術 ・ 家 庭 外 国 語	70	70	35
道 徳 の 授 業 時 数		35	35	35
特 別 活 動 の 授 業 時 数		35	35	35
総合的な学習の時間の授業時数		50	70	70
総 授 業 時 数		1,015	1,015	1,015

3 指 導 方 針

各学校においては、名古屋市学校教育の努力目標を達成するため、一人一人の児童生徒の持つよさや可能性を理解し、その伸長を図るとともに、「生きる力」をはぐくむ適切な教育活動を行うことによって、笑顔で学校生活を送り、瞳を輝かせて学ぶことができる子どもを育てることに努める。そのために、次の事項について具体的に検討し、校内での共通理解を図り、創意と工夫のある指導を進める。

【教育課程編成】

教育課程の編成に当たっては、学習指導要領に基づくとともに、本市教育課程を参考にして、児童生徒一人一人の学習状況や興味・関心を的確に把握し、基礎的・基本的な知識・技能を確実に習得させ、これらを活用して課題を解決するために必要な思考力、判断力、表現力等をはぐくみ、自ら課題を解決しようとする力の育成が図られるよう全体として調和のとれた編成に努める。その際、各教科等の関連、学びの連続性を重視するとともに、地域や学校の実態に応じ、創意工夫を生かした教育活動が展開できるように留意する。

【指導と評価】

- 1 各教科等の指導に当たっては、知的好奇心を喚起する「分かる授業」を展開し、児童生徒の学ぶ意欲を高めるとともに、次の点に留意する。
 - ・ 言語活動の充実を図り、体験的・問題解決的な学習及び自主的・自発的な学習を重視した指導に努める。指導にあたっては、「コミュニケーション能力育成事例集」等を参考にする。
 - ・ 児童生徒が、学習内容を確実に身に付けることができるように個別指導やグループ別指導、繰り返し指導を取り入れる。また、学習内容の習熟の程度に応じた指導、児童生徒の興味・関心等に応じた課題学習や補充的・発展的な学習などの学習活動を取り入れた指導、教師間の協力的な指導など、指導方法や指導体制を工夫改善し、個に応じた指導の充実に努める。
 - ・ 学ぶ意欲の向上や学習習慣の確立、運動習慣の確立などについては、家庭と連携して定着を図ることが必要である。
 - ・ 児童生徒が、情報モラルを身に付け、コンピュータや情報通信ネットワークなどの情報手段を活用できるようにする学習活動の充実に努める。
 - ・ 教科書やその他の教材・教具の有効活用や学校図書館、特別教室・施設の計画的な活用に努める。
- 2 児童生徒の個に応じた指導に配慮して、個性の伸長を図るとともに、豊かな心の育成に努め、相互理解に基づく温かい人間関係を育てる。また、より良い人格の形成や社会性の育成を図るために、すべての教育活動を通して、基本的な生活習慣及び集団や社会のルール・マナーを身に付けさせる指導に努める。
- 3 健康教育、人権教育、国際理解教育、環境教育、情報教育等については、他の各教科等との関連付けを図るなど、指導計画に適切に位置付けた指導に努める。
- 4 障害のある児童生徒の自立や社会参加に向けた主体的な取り組みを支援するという視点に立ち、一人一人の教育的なニーズを把握し、持てる力を高め、生活や学習上の困難を改善・克服するため、計画的・組織的に適切な指導及び必要な支援に努める。
- 5 学習の到達目標を明確にして、学習内容の指導の徹底を図るとともに、評価規準を設定して、指導の過程や成果を絶えず評価し、より効果的な指導が行えるよう指導の改善を図る。

なお、指導に当たっては、「指導と評価の一体化を目指した具体的な事例集」等を参考する。

4 個に応じた指導

（１）小学校１年生・２年生の30人学級、中学校１年生の35人学級の全校実施

学校生活の入門期の小学校１、２年生において30人以下の学級を基本として構成し、一人一人を大切にしたいきめ細かな指導を展開することにより、学校生活に早く慣れ親しむことを目的としている。平成21年度より、愛知県と同様、「中１ギャップ」に対応するため、中学校１年生での35人学級を実施している。

(2) 少人数指導の推進

基本教科を中心とした少人数による指導やチームティーチングを通して、児童生徒の基礎学力の定着を図ることを目的としている。

(3) 学習支援講師

基礎学力の補充が必要な児童生徒の個別指導を促進し、各教科における自学自習の機会を広げるために学習指導支援講師を、また、不登校児童生徒や問題行動への対応に取り組む教員をサポートするために不登校対応支援講師を派遣している。さらに、日本語指導を必要とする児童生徒が多く在籍する学校には日本語指導講師を、通常の学級に在籍している発達障害の児童生徒に対してきめ細かな指導が必要である学校には発達障害対応支援講師を派遣し、学習補充や適応指導の充実を図っている。

5 総合的な学習の時間

(1) 趣旨

自ら課題を見付け、自ら学び、自ら考え、主体的に判断し、よりよく問題を解決する力を育成するために、児童生徒の興味・関心などに基づく課題や国際理解、情報、環境、福祉・健康などの課題、地域や学校の特色に応じた課題等に取り組む。小学校3年生から中学校3年生まで実施。

(2) 取り組み例

- 自然や環境を守る取り組みや福祉についての調べ学習
- 地域の人々の協力を得た中学生の職場体験学習
- 保護者や地域の方々を学習ボランティアとして招いている。
- 「その道の達人派遣事業」で、その道の達人である大学教授・ものづくりの熟練職人・外国人ボランティア・博物館等の学芸員・図書館司書などが学校に出向き、自らの専門分野を児童生徒にわかりやすく教える授業を展開した。
- 環境教育を推進する方法として、「環境学習ウィーク・トライ&アクション」において、児童生徒の主体的な環境保全活動の取り組みをした。

6 生徒指導

- (1) 学校教育全体を通して、共通理解に基づいた生徒指導体制の確立を目指し、望ましい人間関係の育成、一人一人を大切にする個別指導に努めた。
- (2) 小学校低学年では、基本的生活習慣の育成に重点をおき、中学年以上では、生活場面での具体的指導に努めた。また、中学校では教師と生徒、生徒相互の人間的な心のふれあいを重視し、一人一人の生活実態に即した適切な指導と教育相談の充実に努めた。
- (3) 家庭・地域・関係諸機関との連携を密にするとともに、「いじめ」を始めとする児童生徒の問題行動については早期発見・早期対応に努めた。

(4) 生徒指導対策として、次の事業を実施した。

- 生徒指導担当教員の連絡会の開催…………… 中学校生徒指導主事連絡会（ブロック・区）
- 関係諸機関との連絡会の開催…………… 中学校生徒指導連絡協議会（市教委・学校・関係諸機関）
- 児童・生徒指導活動推進…………… 進路指導、地域別懇談会、緊急家庭訪問、いじめ・問題行動等防止対策連絡会議（中学校ブロック）、学区巡視パトロール、児童・生徒指導校内研修会 等
- スクールカウンセラーの配置…………… 小学校60校、中学校110校、高等学校14校に配置
- 中・高生による「夢・チャレンジ」支援事業… 14校で実施
- 特設講座(基礎・発展)の開設（小・中・特別支援学校）… 非常勤講師をのべ166校に配置
- 高校生徒指導活動推進…………… 要指導生徒家庭訪問、緊急指導対策、生徒指導主事連絡協議会、校外補導等
- ふれあいフレンド事業…………… 小学校88校に配置
- いじめ対策…………… いじめ・問題行動等防止対策連絡会議（中学校ブロック）の緊急開催、チラシ「子どもたちをいじめから守ろう」の地域回覧、いじめ防止啓発シール・ポスターの作成・配布、なごやI N G（いじめのない学校づくり）キャンペーン、学校生活アンケート、ネットパトロール、仲間づくり推進事業の実施、いじめ防止教育プログラムの作成・実施

7 不登校児童生徒対策

(1) 概 要

- ア 「生活指導の手引」等を参考にして不登校児童生徒への援助・指導や教育相談活動の充実に向けての取り組みを進めた。
- イ 遊び・非行や無気力などによる不登校児童生徒に対しては、13人の生徒指導相談員が臨床心理士のサポートを受け、家庭・学校などへの訪問相談・指導を行った。
- ウ 不登校児童生徒の減少を図るために、不登校対応支援講師を派遣し、児童生徒の実態に合った具体的な不登校対策を推進した。

(2) 名古屋市子ども適応相談センター（愛称：なごやフレンドリーナウ）

心理的な理由により登校できない児童生徒に対して、教育相談、適応指導を行いながら早期に学校へ復帰させることを目的として、昭和63年12月に開設した。平成3年9月には改築移転し、施設・事業の拡充を図った。

教育相談部と適応指導部の二部門による相談・適応指導を行う。

平成25年度の実績等は次表のとおりである。

所 在 地	名古屋市西区城西三丁目20番30号
通所申込者数	295人
学校復帰者数	147人（小学生24人・中学生123人）

また、平成26年4月にサテライトスクールを開設した。

名 称	所 在 地
教 育 相 談 室	名古屋市南区東又兵ヱ町5丁目1番地の16 スポーツ振興会館5階
適 応 指 導 教 室	名古屋市南区東又兵ヱ町5丁目1番地の10 南生涯学習センター1階

8 進 路 指 導

- (1) 中学生に対する進路指導は、主として学級活動の時間に、高校生に対しては、主としてホームルームの時間に行った。
- (2) 自己の個性の理解、進路への関心の高揚、進路の明確化とその吟味、進路情報の理解と活用、望ましい勤労観・職業観の形成、将来の生活設計、適切な進路選択などの指導に努めた。
- (3) 中学校全校に配置した進路指導用コンピュータを活用し、事務量の軽減を図るとともに、学校独自の指導資料の作成や、より適切な進路指導が行えるよう配慮した。
- (4) 中学校全校に整備した進路指導室を活用し、生徒一人一人の実態に即した進路指導の一層の充実を図った。
- (5) 個々の生徒に対する指導の徹底を図るために、生徒の家庭との連絡を密にし、保護者会、進路相談など計画的に実施した。
- (6) よりきめの細かい進路指導の体制を確立するため、非常勤講師あるいは本務教員を配置した。

9 特 別 活 動

教師と児童生徒、児童生徒相互の人間的な触れ合いを基盤に、望ましい集団活動を通して、心身の調和のとれた発達と個性の伸長を図った。また、集団の一員としての自覚を高め、よりよい生活や人間関係を築いていく資質や能力を身に付けていくよう支援した。

- (1) 児童生徒が児童会・生徒会活動に、自発的・積極的に参加するよう支援した。
- (2) 学級活動においては、児童生徒が自主的に活動の計画や実践をできるよう支援した。
- (3) 児童一人一人が個性の伸長を図り、集団の一員として協力できるように、文化的、体育的、生産的又は奉仕的な活動の全般にわたってクラブを設けるようにした。
- (4) 日常の学習成果を生かし、児童生徒の自主的な活動を助長するような学校行事の実践に努めた。
- (5) 心豊かな実践力のある児童生徒を育てるために、全小中学校で体験活動や地域との交流活動などを実施した。

10 道 徳 教 育

- (1) 学校の教育活動の全体を通して行うことを基本とし、特に、各学校の教育目標、地域や児

児童生徒の実態を踏まえた全体計画を全教師の共通理解のもとに作成し、効果的な指導に努めた。また、家庭や地域社会との連携を図り、指導の効果を一層高めるように努めた。

(2) 道徳の時間の指導に当たっては、「生きる力」の育成及び今日的な教育課程に対応した重点指導の内容を明確にし、児童生徒の実態に即した年間指導計画を作成し、その指導実践を通して、よりよく生きるための道徳的実践力を培うように努めた。

(3) 毎時間の指導においては、読み物資料・「心のノート」の利用、教育機器の活用、体験活動との関連を図るなどし、一人一人の児童生徒の道徳性の育成を図るように努めた。

11 安 全 教 育

(1) 交通安全教育

交通安全指導の手引、名古屋市教育課程（特別活動編）に基づき、地域や学校の実情に即した指導を行った。

交通訓練日の設定や、交通安全行事への積極的な参加により、交通安全の意識の高揚に努めた。

各校の通学路を検討し、登下校の安全確保に努めた。

ア 新入学児童の交通安全対策

新入学児童全員に黄色い帽子を支給し、通学の安全を図った。

新入学児童保護者に対して市長から交通安全メッセージの手紙を送り、交通指導員から「交通安全のお願い」のリーフレットを渡すとともに交通安全講話を行い、交通安全の徹底を図った。

イ 交通安全指導用備品等の配置

小学校及び特別支援学校に自転車用ヘルメットなどの備品を配置し、「自転車安全教室受講証」を配布した。

ウ 通学路安全対策検討会の開催

通学路の交通安全施設に関する要望事項を、各関係機関と協議・判定し、その結果を各学校に説明した。

関係機関から児童・生徒の交通事故防止や区における安全対策について説明した。

エ 学童交通生活安全協力功労者及び団体への感謝状贈呈

各区に選考委員会を設け、区長の推薦により、教育委員会が対象者を決定し、個人16人、団体16団体に対し、感謝状と記念品を贈呈した。

オ 平成25年度における幼児・児童・生徒の交通事故（教育委員会への届出による）

事故程度別				学校種別				
(人)				(人)				
軽 傷	重 傷	死 亡	計	幼	小	中	高	計
42	23	1	66	3	49	12	2	66

（２）防災教育

授業時、業間など様々な場合を想定した避難訓練を実施し、緊急時の避難方法の習得に努めた。また、「なごやっ子防災ノート」を配布し、授業等で活用して児童生徒の防災に対する意識を高めるとともに、家庭とも連携して防災教育を進められるようにした。

12 学校図書館教育

- （１）自ら学ぶ学習態度の育成を目指し、教育活動全体を通して、学校図書館の計画的な利用を図った。
- （２）豊かな人間性の育成を目指し、図書館利用指導や読書指導を通して、読書の習慣化に努めた。
- （３）利用しやすい図書館づくりを目指し、資料整理と施設・設備の改善に努めた。
- （４）「学校図書館の指導の手引き」を活用し、子どもたちの健やかな成長を支える読書活動が推進されるよう努めた。

13 職業教育

- （１）教育課程の運営に当たって、指導内容及び指導方法の工夫と改善を推進した。
- （２）望ましい勤労観・職業観の育成を目指し、インターンシップ（就業体験）を職業に関する専門学科を有する全日制の全ての高校で実施した。
- （３）課題解決能力の育成を図るため、職業に関する全ての学科で「課題研究」の推進を図った。
- （４）全校をインターネットに接続し、ネットワークを活用した模擬取引等の実施をすすめるなど、その教育利用を推進した。
- （５）本市の職業教育の充実・振興を図ることを目的として、商業科・工業科・総合学科の高校生10人を東南アジアに派遣し、現地の産業の視察や体験活動などを行った。

14 野外教育

（１）概 要

名古屋の児童生徒に対して、自然に親しみ豊かな自然環境の中での学習や集団生活を体験させるため、稲武（昭和41年9月開設）及び中津川（昭和45年12月開設）の野外教育センターを利用し、中学校2年生、小学校5年生全員に2泊3日の野外教育を実施した。また、野外学習センター（平成2年5月開設）は、高校生のオリエンテーション・部活動合宿・その他の研修などの場として利用されている。

(2) 施設の概要

施設名	名古屋市稲武 野外教育センター	名古屋市中津川 野外教育センター	名古屋市野外 学習センター
所在地	愛知県豊田市稲武町 井山1番地の19	岐阜県中津川市 苗木4827番地	愛知県豊田市富永町 ヨシガタイラ15番地
施 設	敷地総面積 約315万㎡ 建 物 (延面積) 第一本館 2,950.70㎡ 第二本館 1,553.69㎡ 第三本館 1,376.37㎡ 多目的ホール 1,722.77㎡ 収容人員 600人 第一本館 200人 第二本館 200人 第三本館 200人	敷地総面積 約12万㎡ 建 物 (延面積) 第一本館 4,093.30㎡ 第二本館 2,619.62㎡ 多目的ホール 738.93㎡ 集会室 814.05㎡ 収容人員 700人 第一本館 400人 第二本館 300人	敷地総面積 約123万㎡ 建 物 (延面積) 管理棟 951.29㎡ 食堂棟 1,455.76㎡ 宿泊棟 1,587.10㎡ 体育館 1,332.00㎡ 収容人員 500人

(3) 平成25年度施設利用状況

施 設 名	校 数	参加者合計 (含引率者)
稲 武 野 外 教 育 セ ン タ ー	109 校	18,204 人
中 津 川 野 外 教 育 セ ン タ ー	267	20,186
野 外 学 習 セ ン タ ー	28	6,911

※野外学習センターについては、表中のほか、社会教育団体等(38団体、2,870人)が利用した。

15 国 際 理 解

(1) 高校生海外派遣事業

本市では、平成4年から市立商業科・工業科・総合学科に在籍する高校生10人を東南アジアに夏季休業中12日間派遣し、体験学習や現地産業の視察を通して相互理解を深め国際的感覚の向上に努めている。また、平成7年より普通科を設置する市立高校8校より16人をシドニー市の現地高校へ18日間派遣するとともに、シドニー市からの高校生16人を14日間市立高校8校で受け入れてきた。平成21年度より本市からの派遣のみとなり、また今年度より夏季休業中12日間の派遣とし、現地校での英語学習・授業体験・交流活動及び自主研修プログラムなどにより、国際的視野をもった人間の育成を図っている。

(2) 姉妹友好都市児童生徒書画展

本市の姉妹友好都市へ小中学生の作品を送るとともに、姉妹友好都市からも作品を送ってもらい、作品交換を通して国際親善に努めた。これらの作品については、名古屋市博物館において、本市児童生徒の作品とともに11月下旬に展示され、小中学生はもちろん、多数の市民の観覧を受け、国際親善に役立った。なお、名古屋国際学園の絵画作品と、「ふれあい協定」による中津川市・豊田市稲武地区の小中学生の作品も展示した。

(3) 国際理解教育

本市では、昭和55年度より中高等学校の生徒に外国人英語指導助手の指導による学習を体験させ、英語学習に対する意欲を高めるとともに、生徒との直接的な交流による国際理解教育の実践を図っている。平成25年度は、助手95人を中学校全校、高等学校10校へ派遣した。また、商業高校3校（中央高校含む）と総合学科高校1校には高等学校非常勤外国人講師を7人配置し、1校当たり全学年で年間500時間程度生きた英語による学習を体得した。さらに、名東高校にはロサンゼルス市より現職教員2人を配置するとともに、英語に慣れ親しむために小・特別支援学校266校へ英語活動アシスタントを、小学校261校に外国語活動アシスタントを派遣した。

(4) 日本語教育が必要な児童生徒の受け入れ

ア 趣 旨

急増する外国人児童生徒の学校生活への円滑な適応を図るとともに、外国人児童生徒との直接的な交流体験を通して日本人児童生徒の国際理解を促進するために本市では以下のような取り組みを行っている。

イ 学校生活への適応指導

日本語教育相談センターに教育経験豊かな日本語学習支援コーディネーターと、ポルトガル語、スペイン語、中国語、フィリピン語及びハングルが理解できるコンサルタントを配置して、電話等による相談や翻訳・通訳派遣要請に応じた。また、上記言語の会話集及びガイドブック「ようこそなごやへ」を活用して、日本語指導の充実を図っている。

ウ 日本語指導講師の配置

日本語指導が必要な児童生徒が多く在籍する小中学校には、日本語教育適応学級担当教員を配置するとともに、日本語指導講師を派遣し、日本語習得のための個別指導等を行った。

エ 母語学習協力員の配置

北区、中区、中川区、港区、南区、緑区に、フィリピン語、ポルトガル語、中国語が話せる母語学習協力員を配置し、拠点校を中心に日本語指導や適応指導の補助を行った。

オ 平成26年度の主な事業予定

- (ア) 日本語教育相談センターにおける相談事業及び通訳・翻訳派遣を引き続き実施する。
- (イ) 初期日本語集中教室2教室を引き続き実施する。
- (ウ) 日本語通級指導教室16教室を引き続き実施する。
- (エ) 母語学習協力員を17人から20人に増員し学校に配置する。
- (オ) 日本語指導が必要な児童生徒への支援に関するホームページを運営し、各施策の周知及び利用促進を図る。

(5) 帰国児童生徒教育

ア 趣 旨

近年、海外から帰国したり、海外へ出国したりする保護者の増加に伴い、同伴する児童生徒の就学・進路や学校への適応にかかわる教育相談が多くなった。そこで本市としては、教育相談機関と帰国児童生徒教育の研究校の充実を図るとともに、高等学校への帰国生徒の受け入れを実施している。また、中国からの帰国者が増加し、それに伴う児童生徒の教育の重要性が問われるようになってきた。

イ 教育相談機関

名古屋市教育センター等で、次のような事項について相談に応じた。

- 相談内容 1 出国に伴う教育上の問題
 2 帰国に伴う進路・就職や学校への適応の問題

相 談 員 名古屋市教育センター担当指導主事

ウ 帰国児童生徒教育研究協議会における研究

最近、海外勤務経験者児童生徒とあいまって中国帰国児童生徒が増加しており、その教育上の問題も複雑化してきた。

(ア) 海外勤務経験者児童生徒数 田代小38人、東山小27人、城山中38人、笹島小26人、笹島中21人

(イ) 中国帰国児童生徒数 浦里小29人、千鳥丘中14人 (平成25年度調査実績)

そこで、これらの問題に対応するために海外日本人学校の教職経験者や、帰国児童生徒教育研究協力校(上記7校)の教員で組織する帰国児童生徒教育研究協議会において、学校生活への早期適応指導、国際理解教育等に関する研究を進めている。指導方法としては学齢相当学年に入級させ、一般児童生徒とともに学習させること、特別時間割を設けて特定時間に帰国児童生徒を個別指導することで対応した。

エ 帰国児童生徒教育推進校

帰国児童生徒教育研究協力校のうち、笹島小学校と笹島中学校では、特に日本語教育が必要な海外勤務経験者児童生徒への個別指導などを行い、学校生活への適応を図った。また、AETや外国人ボランティアの協力を得て、児童生徒が海外で身に付けた言語や国際的な感覚の保持・伸長を図った。

オ 海外帰国生徒にかかる入学者選抜

海外帰国生徒の高等学校への受け入れ特別措置として、名東高校英語科において、所定の資格を有する者に特別選抜を実施している。

16 情 報 教 育

(1) 学習用コンピュータの設置及びネットワークの整備

学習用コンピュータは、平成10年度には特別支援学校に各8台のマルチメディア対応のコ

ンピュータの設置、平成11年度からは、小学校22台、中学校42台のコンピュータにサーバを加え、ネットワーク化に対応させ、その後、機器の更新と拡充を図っている。

平成18年度からは、電子黒板とノートパソコンを組み合わせで配備し、教室での活用を進めている。

ネットワークについては、すべての学校で平成22年度末までに校内LANを整備している。現在、名古屋市立の全幼稚園、小・中・特別支援・高等学校412校が一つのネットワークで結ばれ、名古屋市教育センターを通してインターネットにつながっており、安全かつ安心してインターネットが使える環境が整っている。

(2) 情報教育の推進

「郷土学習なごや」などの教育用デジタルコンテンツ、学習リンク集などをネットワーク環境のもとで提供しており、電子黒板を使って、「分かる授業の実現」に取り組んでいる。

また、情報モラルに関して「情報モラルコンテンツ」をパッケージ化して提供し、情報モラル教育を推進している。

(3) 視聴覚教材

名古屋市教育センター情報教育部視聴覚ライブラリーでは、16ミリ映画教材、ビデオ教材、DVD教材などを、学校や社会教育関係団体等へ貸し出している。

17 定 時 制 教 育

(1) 定時制教育の概況

生涯学習社会の中で、定時制高校には、勤労青年だけでなく、さまざまな学習歴をもった生徒が学習の場を求めて入学を希望するようになった。昨今では志望者数も増加傾向に転じている。これに応じて各校では、多様な教育課程の編成や、個別指導、少人数指導、個人面談や家庭訪問等、指導内容・指導方法の工夫・改善に取り組んでいる。

さらには平成11年度には、学年の区分を設けず、多様な選択科目から生徒が自分のペースに合わせて学習計画をたて、修得した単位を積み上げて卒業するという、新しいタイプの課程として、中央高校に本市としては初めて、単位制による課程を設置した。

定時制生徒のための教育条件の整備・充実、関係方面の協力を得てその実績をあげている。条件に合致した生徒への教科書の無償給付、給食（割子弁当・牛乳）の補助などがその主なものである。

また、魅力ある定時制教育のあり方を求めて、指導内容・指導方法についての実践研究を重ね、修学の喜びを体験させるよう工夫をこらしている。

(2) 平成25年度定時制教育充実のための経費

設 備 費	教 科 書 無償給与費	給 食 費	修 学 指 導 事 業 費	計
円 331,000	円 794,000	円 932,000	円 443,000	円 2,500,000

(3) 主な定時制教育振興事業

- ア 定時制教育に精励する生徒への激励及び表彰
- イ 部活動等での活躍が顕著である生徒への激励及び表彰
- ウ 「名古屋市立高等学校定時制入学案内」（平成26年度生徒募集用パンフレット）「単位制による定時制課程（昼間）普通科」（紹介リーフレット）の作成・配布及び「広報なごや」に生徒募集要項を掲載（1回）
- エ 「定時制の生徒調査と研究紀要」（平成25年度版）の作成・発行
- オ 定時制教育に関する各種調査・研究

18 特別支援教育

(1) 概 況

障害のある児童生徒に対して、障害の種類及び程度に応じたきめ細かい教育を行うため、知的障害、弱視、難聴、言語障害、自閉症・情緒障害、肢体不自由及び病弱（病院内学級を含む）の特別支援学級と、難聴、言語障害、発達障害の通級指導教室を設けると共に、知的障害の程度が比較的重い児童生徒のために特別支援学校を設置した。また、知的障害に加えて心身の障害が重いため学校へ通って学習することの困難な児童生徒に対しては、教師が家庭へ出向いて指導する訪問教育を行っている。さらに、軽度の知的障害の生徒のための職業教育を充実するため、平成23年度に守山養護学校高等部に産業科を設置した。小中学校及び幼稚園に在籍する障害のある幼児児童生徒に年間を通して付き添っている保護者等の負担を軽減するために、学校生活介助アシスタントを配置している。また、学級や教科担任との連携を図りながら、発達障害の可能性のある幼児児童生徒に対して、学校（園）生活全般での介助などを行う発達障害対応支援員や個別指導あるいは少人数での指導を推進し、学校生活への適応を支援する発達障害対応支援講師を配置している。

(2) 就学指導

特別支援学級や通級指導教室、特別支援教育諸学校への入級・入室や入学については、適切な就学をすすめるため医師・学識経験者等の意見聴取者及び教育職員・関係行政職員等の委員からなる就学指導委員会を設けている。

ア 学校別就学指導委員会

市内の各小学校及び中学校に置かれる就学指導委員会で、当該学校の通学区域内に居住する障害のある児童生徒の保護者への就学上の指導及び相談を行う。

イ 区別就学指導委員会

行政区内等に居住する障害のある児童生徒の就学に関する調整並びに、学校別就学指導委員会への指導及び助言をする。

ウ 障害別専門部会

弱視・難聴等の障害種別や、特別支援学校に関する専門部会を開催し、入級・入室及び入学対象者の就学指導を行う。

エ 市就学指導委員会

障害のある児童生徒の障害の程度に応じた特別支援学校及び特別支援学級への就学について、調査し審議するとともに、学校別就学指導委員会の依頼に応じて指導及び助言を行う。

(3) 特別支援教育の現状

ア 特別支援学級

特別支援学級の種別と入級対象者

種 別	入 級 対 象 者
知的障害学級	知的発達に遅滞がみられ、他人との意思疎通に軽度の困難があり日常生活を営むのに一部援助が必要で、社会生活への適応が困難な者
弱 視 学 級	拡大鏡等の使用によっても通常の文字、図形等の視覚による認識が困難な者
難 聴 学 級	補聴器等の使用によっても通常の話声を解することが困難な者
自 閉 症 ・ 情緒障害学級	自閉症又はそれに類する者等、及び心理的な要因でかん黙等がみられる者
肢体不自由学級	補装具によっても歩行や筆記等日常生活における基本的な動作に軽度の困難がある者
病 弱 学 級 (病院内学級を含む)	呼吸疾患等、疾患の状態が長期に渡り、持続的又は間欠的に医療又は生活の管理を必要とする者
言 語 障 害 学 級	構音障害、吃音等のある者又は言語機能の基礎的事項に発達の遅れがある者

・特別支援学級設置状況一覧表（設置年度は最初の年度を記載）

知的障害学級

（平成26年5月1日現在）

小 学 校				
区	校 名	設置年度	学級数	児童数
千 種	内 山	30	1	1
	春 岡	H13	1	2
	高 見	H17	1	2
	田 代	58	1	5
	自 由 ケ 丘	H17	1	3
	上 野	59	1	5
	富 士 見 台	56	1	4
	星 ケ 丘	H7	1	3
	宮 根	H18	1	3
	千 代 田 橋	H20	1	1
東	見 付	H26	1	3
	旭 丘	41	1	5
	筒 井	H15	1	6
	矢 田 橋	62	1	3
北	砂 田	H11	1	2
	飯 田	30	1	3
	大 杉	38	1	3
	清 水	H14	1	4
	名 北	58	1	3
	金 城	60	1	3
	城 北	36	1	2
	光 城	H12	1	4
	楠 鉢	52	1	3
	味 鉢	H13	1	3
	西 味	H18	1	2
	楠 西	H12	1	1
	宮 前	H14	1	3
	辻	H14	1	3
西	幅 下	29	1	2
	上 名 古 屋	36	1	2
	枇 杷 島	H22	1	3
	南 押 切	38	1	3
	庄 内	H22	1	4
	稲 生	H26	1	2
	山 田	59	1	3
	平 田	51	1	4
	比 良	56	1	1
	大 野 木	H23	1	3
	浮 野	H25	1	2
	比 良 西	H17	1	3
	中 小 田 井	H20	1	4
中 村	中 村	40	1	3
	ほ の か	H14	1	4
	牧 比 野	H21	1	3
	日 柳 津	H20	1	2
		H12	1	3
	稲 葉 地	H24	1	5
	日 吉	36	1	6
	岩 塚	59	1	1
中	稲 西	50	1	2
	八 社	H18	1	2
	栄 栄	H21	1	3
	新 栄	H25	1	3

小 学 校				
区	校 名	設置年度	学級数	児童数
中	橘	31	1	4
	平 和	H25	1	3
	老 松	57	1	5
	正 木	H17	1	3
昭 和	鶴 舞	H25	1	2
	吹 上	39	1	3
	村 雲	H20	1	4
	松 栄	30	2	9
	広 路	42	1	2
	川 原	60	1	3
	八 事	H21	1	4
	滝 川	H20	1	5
瑞 穂	堀 田	37	1	3
	汐 路	59	1	6
	瑞 穂	32	1	4
	穂 波	H19	1	1
	陽 明 根	H21	1	5
熱 田	中 根	H18	1	3
	高 蔵	H15	1	2
	旗 屋	H19	1	2
	千 年	H21	1	1
	白 鳥	31	1	8
中 川	野 立	38	1	3
	大 宝	H24	1	3
	露 橋	36	1	3
	愛 知	H16	1	2
	八 熊	H14	1	3
	昭 和 橋	H26	1	2
	常 磐	30	1	8
	八 幡	H20	1	2
	荒 篠 子	H21	1	4
	篠 原	H17	1	3
	戸 田	41	1	3
	豊 治	H22	1	5
	千 音 寺	H19	1	5
	長 須 賀	H25	1	2
港	万 場	H7	1	5
	明 正	61	1	4
	中 島	H17	1	1
	赤 星	H21	1	7
	西 中 島	H19	1	3
	春 田	H20	1	2
	西 前 田	H20	1	3
	東 築 地	H18	1	6
	大 手	36	1	5
	小 碓	59	1	5
港	高 木	57	1	4
	南 陽	H16	1	3
	港 楽	40	1	3
	明 徳	51	1	1
	稲 永	53	1	3
	東 海	H15	1	2

小 学 校				
区	校 名	設置年度	学級数	児童数
港	野 跡	H23	1	4
	当 知	H20	1	3
	正 保	H21	1	5
	神 宮 寺	H25	1	3
	福 田	H26	1	2
	福 春	H22	1	2
南	豊 田	H22	1	3
	明 治	59	1	3
	伝 馬	H18	1	4
	呼 続	60	1	4
	白 水	42	1	3
	柴 田	H22	1	2
	桜 住	36	1	3
	菊 道	H19	1	2
	笠 徳	49	1	2
	大 寺	58	1	2
	千 生	39	1	2
	春 鳥	32	1	2
守 山	笠 野	H11	1	2
	宝 東	H23	1	4
	山 南	H18	1	3
	守 幡	36	1	5
	小 軒	H16	1	3
	廿 家	H22	2	9
	大 森	50	1	5
	瀬 古	H16	1	4
	鳥 羽 見	40	1	2
	志 段 味	H13	2	9
	白 沢	58	1	3
	苗 代	60	1	7
緑	天 子 田	H26	1	2
	二 城	H26	1	4
	本 地 丘	H24	1	4
	森 孝 東	H17	1	3
	森 孝 西	H22	1	1
	小 幡 北	H18	2	9
	吉 根	H19	1	3
	下 志 段 味	H24	1	4
	鳴 海	50	1	4
	鳴 海 東	60	1	3
	東 丘	H11	1	6
	平 子	40	1	2
緑	鳴 子	59	1	1
	大 高	61	1	2
	有 松	58	1	5
	緑 平	48	1	2
	片 平	47	1	2

小 学 校				
区	校 名	設置年度	学級数	児童数
緑	戸 笠	H20	1	3
	太 子	H11	1	3
	浦 里	H20	1	2
	旭 出	H12	1	2
	黒 石	55	1	3
	神 の 倉	H16	1	4
	長 根 台	H14	1	3
	桶 狭 間	H18	1	3
	相 原	H16	1	4
	桃 山	H19	1	6
	南 陵	H13	1	4
	大 高 北	H26	1	3
	大 高 南	H21	1	2
	徳 重	H13	1	1
	滝 ノ 水	H21	1	4
	大 清 水	H14	1	5
	常 安	H21	1	3
	小 坂	H17	1	2
名 東	熊 の 前	H20	1	2
	香 流	57	1	2
	高 針	52	1	3
	藤 が 丘	H13	1	1
	名 東 郷	60	1	6
	本 貴 船	58	1	2
	引 山	H12	1	5
	平 和 が 丘	H11	1	1
	前 山	H17	1	2
	梅 森 坂	H18	1	2
	北 一 社	H23	1	2
	牧 の 原	H18	1	4
天 白	天 白 東	H22	1	4
	八 事	40	1	7
	平 針	H16	1	2
	植 田	50	1	2
	野 並	55	1	3
	高 坂	H21	1	2
	し ま だ	H19	1	4
	表 山	60	1	1
	平 針 山	H26	1	2
	大 坪	H17	1	3
	山 根	59	2	9
	植 田 南	H18	1	4
計	植 田 北	H23	1	4
	平 針 北	H11	1	3
	植 田 北	H18	1	5
	植 田 東	H21	1	4
	(198校)		203	655

中 学 校				
区	校 名	設置年度	学級数	生徒数
千 種	今 池	35	1	3
	城 山	59	1	6
	千 種 台	H16	1	5
	振 甫	41	1	8
	千 種	60	1	5
東	あ ず ま	40	1	5
	矢 田	58	1	4
北	若 葉	36	1	5
	志 賀	H23	1	3
	大 曾 根	H13	1	4
	八 王 子	34	1	7
	楠	40	1	4
	北	H23	1	2
西	名 塚	58	1	6
	天 神 山	38	1	6
	山 田	56	1	7
	平 田	60	1	3
中 村	豊 国	36	2	10
	笈 瀬	37	1	4
	御 田	H26	1	3
	豊 正	38	2	11
中	日 比 津	H26	1	4
	伊 勢 山	H23	1	3
昭 和	北 山	33	1	4
	円 上	42	1	2
	駒 方	58	1	8
瑞 穂	田 光	H15	1	4
	萩 山	H25	1	6
	汐 路	58	1	6
	津 賀 田	38	1	4
熱 田	沢 上	H23	1	5
	宮	59	1	4
	日 比 野	35	1	4
中 川	一 色	39	1	6
	長 良	36	1	4
	山 王	35	1	4
	一 柳	H25	1	7
	八 幡	H26	1	5
	昭 和 橋	H23	1	2
	富 田	45	1	5
	は と り	60	1	5
	供 米 田	H24	1	5
	高 杉	H22	2	10

中 学 校				
区	校 名	設置年度	学級数	生徒数
港	港 南	34	1	7
	港 北	H26	1	3
	東 港	37	2	13
	南 陽	62	1	5
	当 知	58	2	12
南	本 城 郊	39	1	3
	新 桜 田	H22	1	3
	大 江	36	1	6
	明 豊	59	1	1
	名 南 光	H22	1	4
	南	H13	1	4
守 山	守 山	33	1	7
	守 山 東	H26	1	5
	守 山 西	38	2	10
	志 段 味	41	1	7
	大 森	H22	2	14
	守 山 北	57	1	3
緑	鳴 海	H26	1	4
	大 高	H26	1	5
	有 松	38	2	10
	鳴 子 台	H10	1	3
	東 陵	H10	2	10
	千 鳥 丘	58	1	3
	神 沢 台	H16	1	4
	扇 台	H21	1	4
	滝 ノ 水	H11	1	5
	左 京 山	H15	2	10
	鎌 倉 台	H14	1	1
	神 の 倉	H16	1	4
名 東	猪 高 丘	H16	1	2
	神 針 台	H26	1	5
	高 子 石	H21	1	5
	藤 森	H17	1	5
		H14	2	10
天 白	天 幸 山	62	1	4
	御 幸 山	59	1	2
	平 針	52	1	5
	植 田	H19	1	8
計		H4	2	13
		59	2	11
		(82校)	94	445

自閉症・情緒障害学級

小 学 校					
区	校 名	設置年度	学級数	児童数	
千 種	内山	58	1	1	
	千種	H26	1	3	
	自由ヶ丘	H22	1	7	
	上野台	H21	1	4	
	富士見	H11	1	4	
	東山	H14	1	7	
	星ヶ丘	H15	1	2	
	宮根	H25	1	2	
	千代田橋	H18	1	3	
		H24	1	2	
東	旭丘	53	1	4	
	筒井	H26	1	2	
	矢田橋	H19	1	2	
	砂田橋	H17	1	3	
	清名	H21	1	4	
	金北	H14	1	3	
	楠城	H15	1	1	
		H4	2	11	
	味楠	H16	1	4	
	宮西	H20	1	8	
	川前	H22	1	5	
		H18	1	3	
	辻中	H24	1	2	
西	児南	H23	1	4	
	庄押	H24	1	3	
	稲内	H24	1	4	
	山生	H18	1	1	
	山田	H24	1	2	
	平比	H22	1	4	
	比良	H11	2	9	
	大野	H18	1	1	
	中田	H26	1	2	
		H22	1	2	
中 村	笹島	H22	1	3	
	中村	59	1	4	
	ほの	H20	1	3	
	牧か	H24	1	5	
	日野	H17	1	5	
	諏訪	H23	1	3	
	柳葉	H15	1	3	
	稲地	H22	1	5	
	岩塚	H20	1	2	
	稲西	H16	1	1	
中	八社	H24	1	2	
	橋				
昭 和	老松	59	1	3	
		H16	1	3	
瑞 德	吹上	54	1	3	
	松栄	59	1	2	
	広路	H15	1	3	
	川原	H14	1	4	
	八分	H25	2	13	
	滝事	H22	1	3	
	川	48	1	5	
熱 田	弥富	H20	1	2	
	堀田	58	1	1	
	高田	H24	1	3	
	瑞穂	H15	1	2	
	穂波	H22	1	2	
	陽明	H19	1	6	
	中根	H18	1	5	
中 川	旗屋	H21	1	3	
	船方	H26	1	3	
	白鳥	H21	1	2	
	大立	57	1	3	
		H25	1	2	
	愛知	H26	1	2	
	八熊	H18	1	2	
	常磐	H7	1	6	
	八幡	H21	1	3	
	篠原	H22	1	6	
港 小	戸田	H21	1	3	
	豊治	56	1	2	
	万場	H24	1	3	
	明正	H14	1	4	
	中島	H22	1	5	
	玉川	H17	1	1	
	赤星	H15	1	2	
	春田	H22	1	3	
		H22	1	2	
港 小	東築	H18	1	6	
	大手	H17	1	2	
	碓	H11	1	3	

(平成26年 5 月 1 日現在)

小 学 校					
区	校 名	設置年度	学級数	児童数	
港	西築	H21	1	3	
	高木	H14	1	2	
	南陽	H17	1	3	
	港楽	H20	1	3	
	明徳	H14	1	1	
	稲永	58	1	7	
	東海	H23	1	2	
	神宮寺	H21	1	3	
	福田	61	1	3	
	福春	H25	1	3	
南	豊田	H22	1	3	
	明治	H15	1	3	
	呼続	H15	1	3	
	菊住	H22	1	1	
	道徳	58	1	2	
	笠寺	H15	1	3	
	大生	H23	1	1	
	大千	H24	1	3	
	星磯	H18	1	1	
	春日崎	H26	1	2	
守 山	守山	H12	1	2	
	小幡	H15	1	4	
	廿軒	H26	1	4	
	大森	H23	1	5	
	瀬古	H17	1	3	
	鳥見	H21	1	4	
	志段味	57	1	2	
	志段味	H21	1	5	
	白西	H26	1	3	
	苗代	H13	1	5	
緑	本丘	H19	1	3	
	天地	H22	1	4	
	森孝	H25	1	4	
	小幡	H21	1	2	
	小根	H25	1	1	
	吉根	H21	1	5	
	下志	H21	1	5	
		H25	1	2	
緑	鳴海	57	1	3	
	鳴海	H24	1	6	
	東部	H23	1	1	
	東子	H9	1	4	
	鳴高	H10	1	3	
	大有	H20	1	3	
	緑	H12	1	2	
	片平	H15	1	3	
	浦里	H21	1	3	
	神倉	H18	1	5	
名 東	長根	H18	1	3	
	桶狭	H22	1	3	
	相間	H21	1	5	
	南陵	H22	1	4	
	大南	H22	1	5	
	徳重	H16	1	3	
	滝水	H13	1	3	
	大小	H25	1	5	
	熊坂	H22	1	4	
	熊前	H20	1	4	
天 白	猪高	H元	1	4	
	香流	63	1	2	
	高針	H13	1	3	
	藤が丘	H15	1	2	
	名東	H21	2	11	
	本郷	H19	1	2	
	貴船	H14	1	4	
	引山	H15	1	1	
	豊丘	H26	1	2	
	平和	H25	1	2	
計	前山	H15	1	2	
	北社	H25	1	3	
	牧原	H22	1	4	
	天白	H22	1	4	
	八事	59	1	5	
	平東	H18	1	2	
	植針	H14	1	3	
	高坂	57	1	1	
	しまだ	H25	1	2	
	表山	H24	1	1	
計	大山坪	H23	1	5	
	山根	H23	1	4	
	植南	H22	1	2	
計	植田	H13	1	5	
	植田	H21	1	4	
計		(163校)	167	541	

中 学 校				中 学 校			
校 名	設置年度	学級数	生徒数	校 名	設置年度	学級数	生徒数
今 池	59	1	2	富 田	58	2	9
城 山	H24	1	7	は と	H20	1	6
千 種	H19	1	4	高 杉	H22	1	3
振 甫	H21	1	2	港 南	H26	1	6
あ ず	59	1	3	南 陽	H元	1	1
矢 田	H10	1	2	当 知	H3	2	11
若 葉	57	1	2	本 城	H26	1	4
志 賀	H24	1	5	新 郊	H22	1	1
大 曾	H17	1	3	桜 田	59	1	3
八 王	H17	1	4	大 江	63	1	3
	H16	1	7	明 豊	H23	1	3
	H25	1	4	名 南	58	1	3
名 塚	H24	1	3	守 山	H26	1	3
天 山	63	1	2	守 山	59	1	5
山 田	62	1	6	大 西	H2	1	7
笹 島	H23	1	5	森 海	H19	1	2
豊 正	61	2	10	鳴 高	59	1	7
伊 勢	62	1	2	大 有	H25	1	7
川 名 分 校	H25	2	14	鳴 子	H15	1	7
(くすのき学園)				千 鳥	H26	1	3
円 上	59	1	5	扇 台	H26	1	4
駒 方	H20	1	3	滝 水	H21	1	4
田 光	H21	1	4	鎌 倉	H25	1	3
汐 路	H元	1	8	神 の	H18	1	2
津 賀	H24	1	3	猪 高	H18	1	5
沢 上	H25	1	4	神 丘	H23	1	5
	H23	1	2		H25	1	2
日 野	57	1	5	高 針	60	2	14
一 色	H15	1	3	猪 子	H24	1	4
長 良	60	2	10	藤 森	H11	1	2
山 王	H22	1	2	天 白	57	1	4
昭 和	H25	1	3	御 幸	H25	2	9
				平 針	H23	1	4
				計	(64校)	71	295

難 聴 学 級

校 名	設置年度	学級数	生徒数
菊 井 中	49	2	15
計	(1校)	2	15

言語障害学級

校 名	設置年度	学級数	生徒数
菊 井 中	H24	1	1
計	(1校)	1	1

肢体不自由学級

校 名	設置年度	学級数	児童生徒数
千 代 田 橋 小	H22	1	2
六 郷 北 小	H22	1	3
大 野 木 小	H21	1	2
村 雲 小	H23	1	4
瑞 穂 小	H22	1	1
常 磐 小	H15	1	5
当 知 小	H20	1	1
菊 住 小	H23	1	3
瀬 古 小	H16	1	2
小 坂 小	H18	1	2
藤 が 丘 小	H26	1	2
植 田 東 小	H24	1	3
八 王 子 中	H25	1	1
長 良 中	H20	1	2
守 山 西 中	H23	1	2
神 の 倉 中	H22	1	1
計	(16校)	16	36

弱 視 学 級

校 名	設置年度	学級数	児童生徒数
笹 島 小	49	1	2
熊 の 前 小	H20	1	1
笹 島 中	H25	1	1
計	(3校)	3	4

病弱学級（病院内学級を含む）

校名（病院名）	設置年度	学級数	児童数
中村小（第一日赤）	57	1	8
名城小（名古屋医療）	57	2	10
滝川小（第二日赤）	57	1	4
汐路小（市 大）	59	1	5
昭和橋小（掖済会）	60	1	0
港楽小（中部労災）	58	1	1
大高南小（南生協）	57	1	0
藤が丘小	H26	1	2
計	(8校)	9	30

イ 通級指導教室

・通級指導教室の種別と入室対象者

言 語 障 害 教 室	言語障害がある者で、通常の学級での学習におおむね参加できる者
難 聴 教 室	聴覚障害がある者で、通常の学級での学習におおむね参加できる者
発 達 障 害 教 室	発達障害がある者で、通常の学級での学習におおむね参加できる者

・通級指導教室設置状況一覧表

(平成26年 5 月 1 日現在)

言語障害教室

校 名	設置年度	教室数	児童数
東 桜 小	H5 (40)	1	7
牧 野 小	H5 (49)	1	5
井 戸 田 小	H5 (60)	1	5
高 蔵 小	H5 (44)	1	2
成 章 小	H9	1	16
小 幡 小	H7	1	7
鳴 海 小	H7	1	12
表 山 小	H6	1	6
計	(8校)	8	60

難 聴 教 室

校 名	設置年度	教室数	児童数
東 桜 小	H5 (40)	1	6
牧 野 小	H5 (49)	1	6
井 戸 田 小	H5 (60)	1	9
高 蔵 小	H5 (44)	1	4
計	(4校)	4	25

※ () 内は学級としての設置年度

発達障害教室

校 名	設置年度	教室数	児童・生徒数
田 代 小	H18	1	17
星 ケ 丘 小	H22	1	11
旭 丘 小	H26	1	8
矢 田 小	H24	1	13
矢 田 中	H21	1	11
東 志 賀 小	H18	1	10
城 北 小	H25	1	16
楠 小	H22	1	12
稲 生 小	H22	1	14
山 田 小	H24	1	14
中 小 田 井 小	H21	1	11
稲 葉 地 小	H21	1	10
八 社 小	H24	1	14
正 木 小	H20	1	9
川 原 小	H25	1	12
桜 山 中	H19	1	8
弥 富 小	H22	1	11
豊 岡 小	H21	1	12
白 鳥 小	H22	1	12
大 宝 小	H22	1	12

校 名	設置年度	教室数	児童・生徒数
常 磐 小	H22	1	14
篠 原 小	H19	1	11
万 場 小	H24	1	9
高 木 小	H22	1	10
豊 田 小	H22	1	20
大 磯 小	H19	1	12
千 鳥 小	H25	1	14
廿 軒 家 小	H21	1	10
有 松 小	H18	1	15
旭 出 小	H22	1	8
大 高 南 小	H22	1	14
熊 の 前 小	H22	1	18
千 鳥 丘 中	H26	1	3
猪 子 石 小	H21	1	7
前 山 小	H22	1	9
植 田 小	H22	1	18
し ま だ 小	H20	1	9
計	(37校)	37	435

※県立聾学校による巡回指導

大和小・辻小・御器所小・八事小・五反田小・小碓小・成章小・東海小・明治小・廿軒家小・鳴海小・桃山小・猪子石小・平和が丘小・植田小・大坪小—16校20教室20名

御田中・港北中・港明中・鳴海中・神沢中・香流中— 6 校 6 教室 6 名

ウ 名古屋市立特別支援学校（知的障害）

特別支援学校設置状況一覧表

（平成 26 年 5 月 1 日現在）

校 名	開 設 年 度	区 分		小 学 部 1 ～ 6 年	中 学 部 1 ～ 3 年	高 等 部 1 ～ 3 年	計
西養護学校	48	普通科	通 常	46	46	169	261
			訪問教育	2	3	—	5
		計		48	49	169	266
南養護学校	51	普通科	通 常	63	49	221	333
			訪問教育	1	1	—	2
		計		64	50	221	335
天白養護学校	55	普通科	通 常	35	50	59	144
			施設内教育	0	0	—	0
		計		35	50	59	144
守山養護学校	60	普通科	通 常	54	52	140	246
		産業科(H23～)		—	—	80	80
		計		54	52	220	326

（注） 施設内教育の施設とは、子ども青少年局所管のあけぼの学園。

（４）その他

ア 特別支援学級・特別支援学校連合運動会

期 日 8 月 8 日

場 所 日本ガイシスポーツプラザ ガイシホール

参加者 市立小・中学校の特別支援学級・特別支援学校の児童・生徒

イ 特別支援教育展（きらめき展）

期 日 2 月 17 日～22 日

場 所 名古屋市博物館

出品者 市立小・中学校の特別支援学級・通級指導教室・特別支援学校の児童・生徒

ウ 「名古屋の特別支援教育」の刊行

目 的 一般の学校職員・PTA等に対して、本市の特別支援教育の概要についての理解を図ること。

内 容 特別支援学校及び特別支援学級・通級指導教室の教育、障害の種類、教育措置、就学指導、その他本市の特別支援教育の現状等についての概要

19 幼 児 教 育

（１）幼稚園教育の概況

幼児期は、さまざまな体験を通して、生涯にわたる人格形成の基礎を培う大切な時期であ

る。

幼稚園教育は、義務教育及びその後の教育の基礎を培うものとして、一人一人の個性を大切にしながら、家庭と力を合わせ、幼児の健やかな成長や発達を促すことを目的としている。

そして、友達や先生と一緒に生活しながら、自分で行動する意欲や態度、友達を思いやる心などが育つような環境を整えて教育している。

(2) 幼稚園心の教育推進プラン

ア 体験学習の充実

幼稚園において、幼児の心に響く豊かな体験を推進することで、幼児期の健やかな成長を促す。

- ・人形劇や音楽等の鑑賞事業
- ・自然体験、社会体験事業

イ 子育て支援事業

幼稚園は地域における幼児期の教育のセンターとしての役割を担い、地域の親子に幼稚園の施設や機能を開放し、幼児期の教育に関する相談に応じたり、情報を提供したり、保護者同士の交流の機会を提供したりするなど「親と子の育ちの場」として、子育てを支援する事業を実施している。

- ・園舎、園庭開放
- ・未就園児の親子登園日の設定
- ・子育て相談
- ・子育て井戸端会議
- ・預かり保育（平成26年度は全園で実施）など

(3) その他

「名古屋市立幼稚園の子どもたち」リーフレットの刊行

目的 市民に名古屋市立幼稚園の教育の概要について理解を図る。

内容 名古屋市立幼稚園の教育内容、幼稚園の一日の流れ、名古屋市立幼稚園配置図等についての概要

20 学 校 諸 行 事

(1) 名古屋市教育祭

ア 主 催 団 体

名古屋市教育祭実施委員会（名古屋市教育委員会、名古屋市立高等学校長会、名古屋市立小中学校長会、名古屋市立幼稚園長会、名古屋市立高等学校教員組合、名古屋市教員組合、名古屋市立幼稚園教職員組合）

イ 協 賛 団 体

名古屋市教育会、名古屋市立高等学校PTA協議会、名古屋市立小中学校PTA協議会、名古屋市立幼稚園PTA協議会

ウ 行 事 内 容

(ア) 展覧会 高等学校は名古屋市民ギャラリー栄において9月18日から6日間、幼稚園は名古屋市博物館において12月4日から6日間、作品を展示した。小・中学校は学校ごとに実施した。

(イ) 発表会 高等学校は11月3日に音楽会をアートピアホールにおいて実施した。小・中学校は11月7日に音楽会を中京大学文化市民会館プルニエホールにおいて、午前・午後に分かれそれぞれ実施した。

(2) 修学旅行

ア 目 的 地

小学校 (263校)

京都・奈良	258校	京都・奈良・その他	3校	奈良	1校	石川	1校
-------	------	-----------	----	----	----	----	----

中学校 (109校)

東京・千葉・山梨	46校	東京・千葉・静岡	12校	東京・千葉	8校	東京・千葉・神奈川	11校
東京・千葉・長野	4校	東京・山梨	7校	東京・静岡	2校	その他関東方面	11校
大阪・兵庫	3校	大阪・兵庫・その他	3校	その他の方面	2校		

高等学校 (14校 : 19行程)

長野 (スキー)	2校	岡山・広島・香川	2校	岡山・広島	2校
広島・山口	1校	広島・兵庫	2校	京都・大阪・兵庫	1校
奈良・京都・(滋賀)	2校	長崎・福岡・大阪	2校	東京・千葉	1校
静岡・山梨	1校	沖縄	2校	韓国	1校

特別支援学校 (4校)

小・中学部	静岡・浜名湖	3校	三重	1校
高等部 (普通科)	大阪	3校	東京・千葉	1校
高等部 (産業科)	長崎	1校		

イ 実施時期

小 学 校 5月18校、6月26校、9月59校、10月146校 11月14校

中 学 校 5月63校、6月45校、7月1校

高等学校 5月1校、6月1校、9月1校、10月9校、11月2校、1月4校、2月1校

特別支援学校 小・中学部 9月1校、10月3校、

高等部 (普通科) 5月1校、10月1校、11月1校、3月1校

高等部 (産業科) 2月1校

21 開かれた学校づくり

(1) 学校開放週間

1週間程度、保護者や地域の人々の参加・協力を得て学習や行事に取り組むことにより、年間を通じて開かれた学校づくりを進めている。

(2) 学校評議員制

家庭や地域との連携を深め教育活動の充実を図るとともに、地域に開かれた学校づくりを推進するために、学校運営のあり方について幅広く意見を聞いている。

平成25年度は、小学校263校、中学校109校、特別支援学校4校、高等学校14校、幼稚園23園の413校（園）で実施。

(3) ホームページの開設

学校から家庭・地域への情報発信のひとつとして学校ホームページの利用を行っている。

22 エコ・フレンドシップ事業

環境問題に対する児童生徒の一層の意識高揚を促し、環境首都なごやを担っていく人材の育成を進めるために、「環境未来探検隊（児童生徒の派遣と交流事業）」「なごや子ども環境会議（成果発表・普及事業）」の2つの事業を行っている。

環境未来探検隊は、名古屋市内の小中学校から公募をし、小学校5年生から中学校3年生120名が集まった。児童生徒は、エネルギーについて学ぶ現地学習会と5つのチームに分かれて森や海などの環境について学ぶ体験活動を行った。その結果をもとに「なごや子ども環境会議」で成果発表・意見交換を行うとともに、環境保全の大切さについて提言をまとめ普及した。

23 海外演奏家等による音楽鑑賞の推進

世界のトップクラスの演奏会を学校で開催することにより、音楽を身近な芸術文化として実感させるために、ウィーン三重奏団と名古屋フィルハーモニー交響楽団金管四重奏による演奏会を、小学校5校、中学校1校及び高等学校1校で開催した。

24 いじめ対策

いじめの未然防止については、児童生徒がいじめのない学校づくりに参画する「学校における仲間作り推進事業」や「なごやINGキャンペーン」を実施するとともに、人権教育を基盤にした「いじめ防止教育プログラム」を作成し、各学校へ配布した。いじめの早期発見については、スクールカウンセラーの配置拡充、インターネット上のいじめへの対応の充実、全ての小・中・高等学校における学校生活アンケートの実施を行った。いじめに対する措置・対応については、いじめの認知件数や態様等の報告を各学校から定期的に受けて対応の支援を図ったり、愛知県警察本部と締結した協定に基づいて連携を図ったりした。

第2章 教科用図書採択

1 教科用図書の採択

教科用図書は、学習指導上重要なものであるから、その採択は慎重かつ公正に行わなければならない。教育委員会では、「地方教育行政の組織及び運営に関する法律」及び「義務教育諸学校の教科用図書の無償措置に関する法律」に基づき、厳正かつ民主的に、本市児童生徒に最も適した教科用図書を採択する方針を定めた。小学校用教科用図書、中学校用教科用図書ともに、平成25年度と同一のものを採択する方針を決定し、平成26年度使用教科用図書を採択した。

2 教科用図書の展示会

教科書センターを、鶴舞中央図書館、西図書館及び教育センターに設置した。展示会は、6月11日から7月5日まで開催した。

3 平成26年度使用教科用図書

(1) 小学校用（教科—出版社名）

国語—光村図書、書写・音楽—教育出版、社会・家庭・保健—東京書籍、地図—帝国書院、算数—啓林館、理科・生活—大日本図書、図画工作—日本文教出版

(2) 中学校用（教科—出版社名）

国語・書写・社会（地理）・社会（歴史）—教育出版、社会（公民）・技術家庭・英語—東京書籍、地図—帝国書院、数学—啓林館、理科・保健体育—大日本図書、音楽（一般）・音楽（器楽合奏）—教育芸術社、美術—日本文教出版

第3章 高等学校入学者選抜

1 概 要

平成26年度名古屋市立高等学校入学者選抜は、「平成26年度愛知県公立高等学校入学者選抜実施要項」に基づき実施した。

全日制課程の入学者選抜は、中学校長より提出される推薦書と調査書及び面接等による「推薦入学」と、調査書及び学力検査（国語、数学、社会、理科、英語）と面接等による「一般入学」により実施した。なお、名東高校国際英語科では「海外帰国生徒にかかる入学者選抜」を行った。

定時制課程においては、中学校長より提出される調査書及び基礎学力検査、作文、面接により実施した。

2 平成26年度募集人数と志願者数等

（1）全日制課程

日程 推薦入学 2月18日（面接）

海外帰国生徒にかかる入学者選抜 2月18日（学力検査及び面接）

一般入学 Bグループ：3月10日（学力検査）、11日（面接）

Aグループ：3月13日（学力検査）、14日（面接）

学 科	募集人数	推薦入学 志願者数	推薦入学 合格者数	一般入学 募集人数	一般入学 志願者数	倍 率	昨年度 の倍率
	人	人	人	人	人		
普 通 科	2,680	512	368	2,312	5,058	2.19	2.20
音 楽 科	40	45	20	20	39	1.95	2.15
国 際 英 語 科	40	18 (4)	18 (4)	22	102	4.64	2.69
商 業 科	560	258	238	322	708	2.20	2.57
工 業 科	520	446	260	260	778	2.99	2.76
家 庭 科 (ファッション文化)	40	26	20	20	44	2.20	2.55
総 合 学 科	200	169	100	100	229	2.29	2.07
合 計	4,080	1,474 (4)	1,024 (4)	3,056	6,958	2.28	2.29

（注）（ ）内は、海外帰国生徒にかかる入学者選抜の再掲。

(2) 定時制課程

日程 前期選抜 3月7日 後期選抜 3月26日

学 科	総募集人員	志 願 者 数	
		前期選抜	後期選抜
	人	人	人
普 通 科（昼間）	160	253	49
普 通 科（夜間）	80	37	41
商 業 科（夜間）	40	19	15
工 業 科（夜間）	40	38	18
合 計	320	347	123

（注）前期選抜の募集人員は、昼間定時制は総募集人員の8割程度、夜間定時制は総募集人員の7割程度。

第 4 章 教職員研修と教育研究

1 名古屋市教育センター

(1) 教育センターの概要

教育センターは、研修・研究調査部門、障害児教育部門、講堂・展示ホールを包括する総合教育センターとして、昭和56年7月16日開所。平成16年4月1日、視聴覚教育センターと情報処理教育センターが統合され、情報教育部が設置された。

教育センターでは、名古屋市立学校教職員の資質向上を図るため、初任者研修など各種の研修を実施するほか、平成8年10月1日に開設した子ども教育相談「ハートフレンドなごや」（教育相談の総合窓口）を通して、幼児から高校生年齢までの子どもの教育・養育上の問題に関するあらゆる相談に応じるとともに、教職員相談を実施している。また、最も重要な教育課題に対する研究を行い、学校現場に還元している。さらに、教育資料の作成・収集及び頒布、教育に関する専門的・技術的事項の調査研究も行っている。

	設立年月日	構 造	建物延面積	所 在 地
教 育 センター	昭和56年 7月16日	鉄骨鉄筋コンクリート造 地下1階 地上7階 塔屋2階	m ² 10,870.04	熱田区神宮三丁目 6番14号
分 館 (教育館)	昭和37年 9月1日	鉄筋コンクリート造 地下1階 地上6階 塔屋2階	4,965.61	中区錦三丁目16番6号

(2) 平成25年度利用状況

区 分		延 件 数		延 利 用 人 数	
教育センター	主 催 事 業	件	件	人	人
	一 般 利 用	2,036	3,033	42,126	139,085
分 館	主 催 事 業	286	5,684	9,146	118,947
	一 般 利 用	5,398		109,801	
合 計	主 催 事 業	2,322	8,717	51,272	258,032
	一 般 利 用	6,395		206,760	

2 教職員研修の実施

(1) 研 修

(平成25年度)

	研 修 会 名	内 容	対 象	講座数
基 本 研 修	幼稚園新規採用教員研修会	教員としての心構えや基本的な知識・技能	幼新規採用教諭のうち対象者	1
	初任者研修会	教員としての使命感や基本的な知識・技能	小・中・特新規採用教諭のうち対象者	1
	高等学校初任者研修会	教員としての使命感や基本的な知識・技能	高新規採用教諭のうち対象者	1
	新規採用養護教員研修会	養護教諭としての心構えや基本的な知識・技能	小・中・特新規採用養護教諭のうち対象者	1
	高等学校新規採用養護教員研修会	養護教諭としての心構えや基本的な知識・技能	高新規採用養護教諭のうち対象者	1
	新規採用栄養教員研修会	栄養教諭としての心構えや基本的な職務内容	小・中・特新規採用栄養教諭のうち対象者	1
	新規採用学校事務職員研修会	学校事務職員としての心構えや基本的な職務内容	小・中・特新規採用学校事務職員全員	1
	教職経験者研修会（Ⅰ）	実践的指導力の養成	小・中・特経験5年目教諭全員	1
	高等学校教職経験者研修会（Ⅰ）	生徒指導・教科指導についての知識や考え方	高経験5年目教諭・養護教諭全員	1
	養護教員経験者研修会（Ⅰ）	学校保健に関する専門的な知識・技能	小・中・特経験5年目養護教諭全員	1
	学校事務職員経験者研修会（Ⅰ）	職務遂行に必要な実務能力の向上	小・中・特経験5年目学校事務職員全員	1
	幼稚園教職経験者研修会（Ⅱ）	幼稚園教員としての幅広い見識・資質の向上	幼経験10年目教諭全員	1
	教職経験者研修会（Ⅱ）	教員としての幅広い見識・資質の向上	小・中・特経験10年目教諭全員	1
	高等学校教職経験者研修会（Ⅱ）	教員としての幅広い見識・資質の向上	高経験10年目教諭全員	1
	養護教員経験者研修会（Ⅱ）	養護教員としての幅広い見識・資質の向上	小・中・特経験10年目養護教諭全員	1
	高等学校養護教員経験者研修会（Ⅱ）	養護教員としての幅広い見識・資質の向上	高経験10・11年目養護教諭全員	1

	研 修 会 名	内 容	対 象	講座 数
基 本 研 修	栄養教員・学校栄養 職員経験者研修会 (Ⅱ)	栄養教員・学校栄養職員とし ての幅広い見識・資質の向上	小・中・特経験10・11年目 栄養教諭・学校栄養職員全 員	1
	学校事務職員経験者 研修会(Ⅱ)	学校事務職員としての幅広い 見識・資質の向上	小・中・特10・11年目学校 事務職員全員	1
	事務長研修会(新任 事務長研修・事務長 研修)	事務長の役割、学校運営への 参画・遂行能力の養成	小・中・特の新任事務長全 員と経験2年目以上の事 務長の希望者	1
	新任主査研修会	主査の役割と学校運営への参 画・遂行能力の養成	小・中・特新任主査全員	1
	学校運営研修会(Ⅰ)	教務主任の役割と学校運営	新任教務主任 経験2年目教務主任 教務主任全員	1 1 1
	学校運営研修会(Ⅱ)	校務主任の役割と学校運営	新任校務主任 校務主任全員	1 1
	生徒指導研修会	生徒指導に関する今日的な課 題とその対応	小・中・特・高の生活指導 主任、生徒指導主事及び生 活指導関係教諭	1
	情報教育担当者研修 会	これからの情報教育のあり方 についての理解	幼・小・中・特・高の情報 教育担当者等、情報教育を 推進する者1人以上	1
	教育相談研修会	教育相談担当者の役割と子ど もへの今日的かつ具体的な指 導・支援	小・中・特・高の教育相談 担当者等、教育相談を推進 する教員各校1人以上	1
	新任特別支援学校・ 特別支援学級等教員 研修会	特別支援学校、特別支援学級 及び通級指導教室の担当教員 としての実務	小・中・特の通常の学級か ら初めて特別支援学校並 びに特別支援学級の担任 となった教諭・常勤講師全 員、又は新たに通級指導教 室の担当となった教諭・常 勤講師全員、及び、特別支 援学級の担任のうち、本研 修未受講の希望者、通級指 導教室の担当教諭・常勤講 師の希望者	1
	特別支援学校教員研 修会	特別支援学校教員として必要 とされる基礎的な知識	特別支援学校の教諭・養護 教諭・栄養教諭・常勤講師 全員	1

	研 修 会 名	内 容	対 象	講座 数
基 本 研 修	特別支援学級・通級 指導教室教員研修会	障害のある子どもの理解や指 導に関する総合的な知識や今 日の課題	特別支援学級の担任、通級 指導教室担当の教諭・常勤 講師全員	1
	幼稚園教育研修会	幼稚園教員としての実践力や 見識	幼教諭全員	1
	栄養教員・学校栄養 職員研修会	食に関する指導と学校給食管 理の在り方	小・中・特の栄養教諭・学 校栄養職員全員	1
	学校事務職員研修会	学校事務職員にかかわる今日 の課題	小・中・特の学校事務職員 全員	1
	指導改善特別研修	学習指導、児童・生徒理解、 意欲、使命感、今日的教育課 題等	該当教員	1
	講師研修会	教員としての心構え、基本的 な指導方法、児童生徒理解	任用1年目の常勤講師・非 常勤講師全員	1
	幼稚園教育課程研修 会	幼稚園教育課程の講習	幼稚園各園1人	1
	小学校教育課程研修 会	小学校教育課程の講習	小学校各教科等教諭代表	1
	中学校教育課程研修 会	中学校教育課程の講習	中学校各教科等教諭代表	1
	特別支援教育 教育 課程研修会	特別支援教育 教育課程の講 習	特別支援学級担任及び通 級指導教室担当各区代表	1
	高等学校教育課程説 明会	高等学校教育課程の講習	高等学校各校、各教科等教 諭1人以上	1
経 営 研 修	校（園）長研修会	学校経営と校長の職務	新任校（園）長 経験2年目校（園）長 校（園）長全員	1 1 1
	教頭研修会	学校経営と教頭の職務	新任教頭 経験2年目教頭 教頭全員	1 1 1
専 門 研 修	アイデアいっぱい！ 楽しい授業づくり講 座	各教科等の基礎的な指導法及 び意欲を高める教材、学習方 法	小・中・特の教員の希望者	24

	研 修 会 名	内 容	対 象	講座 数
専 門 研 修	高等学校各科研修講座	教科等の専門的な知識・技能を高める	高各科担当教員	21
	16ミリ映写機等操作技術講座	16ミリ映写機操作技術の習得	幼・小・中・特・高の希望者	1
	コンピュータ講座	学校におけるコンピュータ活用	幼・小・中・特・高の希望者	1
	情報教育研修講座	高校普通教科「情報」等の指導者養成	高の普通教科「情報」等担当者の希望者	1
	学校運営推進講座（Ⅰ）	学校運営の推進を担う教員の資質向上及び意識改革	幼・小・中・特の経験8年目以上の教諭・養護教諭の希望者	1
	学校運営推進講座（Ⅱ）	学校運営の推進を担う教員の資質向上及び意識改革	幼・小・中・特の経験13年目以上の教諭・養護教諭の希望者	1
	子ども理解を深めるための教育相談講座	子どもが抱えている課題を解決するため専門家を交えて指導・支援の在り方を検討	幼・小・中・特・高の経験20年目以上の教諭・養護教諭の希望者	1
	教育相談基礎講座：教育臨床相談研修会	教育相談に関する基礎的な知識・技能の習得	幼・小・中・特・高の経験6年目以上の教諭・養護教諭・栄養教諭・常勤講師の希望者	1
	教育相談発展講座：教育相談実践研修会	教育相談を校内の中心となって推進するための専門的な知識・技能の習得	教育臨床相談研修会又は教育相談集中研修会を修了した教諭・養護教諭の希望者	1
	発達障害のある子どもの理解と支援講座	発達障害のある子どもの特性の理解とつまづきに応じた具体的な支援方法	幼・小・中・特・高の希望者	1
	特別支援学校・特別支援学級指導法講座	障害のある子どもの指導法についての実践的な研修	幼・小・中・特の教諭・養護教諭・栄養教諭・常勤講師の希望者	1
	障害理解と障害種に応じた支援講座	種々の障害に関する理解と障害のある子どもへの支援の実際	幼・小・中・特の経験3年目以上の教諭・養護教諭・栄養教諭・常勤講師の希望者	1

	研 修 会 名	内 容	対 象	講座 数
専 門 研 修	発達障害支援専門講座	校（園）内の特別支援教育推進者としての専門的な知識・技能	幼・小・中・特・高の指定の研修講座を修了した教諭・養護教諭の希望者	1
	日本語指導を必要とする児童生徒指導法講座	日本語指導を必要とする児童生徒教育に必要な知識・技能	「日本語教育適応学級担当教員」配置校の教諭・常勤講師1人及び希望者	1
	幼年教育研修講座	幼年教育に関する具体的な問題の究明と教員としての資質の向上	幼経験3年目以上の教諭の希望者	1
	学校事務職員研修講座	職務遂行に必要な実務・法規・財務	小・中・特の経験3年目以上の学校事務職員の希望者	5
	学校保健研修講座	児童生徒の心身の健康問題に対応していくために必要な知識・技能	小・中・特・高の養護教諭・保健主事・常勤講師の養護教諭の希望者	1
	管理監督者のためのメンタルヘルス研修	管理職としての職場のメンタルヘルス	校（園）長の希望者 教頭の希望者	1 1
	名古屋市美術館における鑑賞教育講座	美術作品の鑑賞のさせ方	小・中・高・特の教諭の希望者	1
長 期 研 修	フレンドリーナウにおける子どもの理解と支援講座	施設見学と事例検討による児童生徒理解	小・中・高・特の教諭・養護教諭・栄養教諭の希望者	1
	特別支援教育研修	特別支援教育に関する具体的な研修課題の追究と専門性の向上	小・中・特の経験4年目以上で45歳以下の教諭・養護教諭の希望者	1
	教育研究員	教育実践における具体的な問題の究明と教員の資質向上	幼・小・中・高・特の経験8年目以上の教諭・養護教諭・栄養教諭の希望者	1
	生涯学習研修	生涯学習についての研究	幼・小・中・高・特の経験11年目以上の教諭の希望者	1
	長期社会体験研修	教育に対する使命感や情熱の再認識と力量向上	幼・小・中・高・特の経験6年目以上の教諭・養護教諭・栄養教諭の希望者	1
	若手教員海外派遣研修	今日のかつ喫緊の教育課題の解決の参考となる海外先進事例の調査	経験年数3年目以上で35歳以下の教諭・養護教諭・栄養教諭の希望者	1

(2) 英語教員海外研修

本市教員の海外研修を通して、本市英語教育の充実と発展に努める。

3 教員免許状更新講習

本市教員が教員免許状更新講習を所定の期間内に受講する機会を確保するため、教育委員会が開設者となり、夏季休業中に名古屋市立大学で1コース、9月から10月の土曜日に教育センターで1コースの講習を実施した。

4 なごや教師養成塾

教員の大量退職に伴う新規採用教員の増加などに対応するため、実践的な指導力を備えた人材を育成することを目的として開講している。

本市小学校教員を目指す大学生等を対象に、講座と体験研修により、即戦力としての人材を育成することを指導方針としている。

5 研究調査等

(1) 研究調査

「センター研究」

今日的な教育課題について、実態を把握し、効果的な指導・対応の在り方などを追究し、名古屋市の学校（園）教育の発展に資する研究・調査を行う。

(2) 主な刊行物

ア 「教育センターNAGOYA」

「教育センターNAGOYA」を、第63号から第65号まで編集、刊行した。

イ 「教師となって」

新任教師として必要な専門職としての教師の資質や実践的指導について編集し、初任者研修会資料として刊行した。

(3) 名古屋教育史

名古屋教育史Ⅱを発刊した。また、名古屋教育史Ⅲの発刊に向けて資料調査及び編集作業を行った。

6 教育研究資料の利用

(1) 教育センター図書室

昭和22年に「教育課程文庫」として開設されて以来、毎年内外の教育図書の収集整理を行い、その拡充を図っている。研究や研修のための貸出し、調査・相談サービスをする。

区 分	図 書	研 究 資 料	教 科 書	計
	冊	冊	冊	冊
25年度増減数	131	137	0	268
26. 3. 31現在	27, 982	25, 727	13, 406	67, 115

上記の表の区分以外の資料

上記の表の資料の利用実績

ア 雑 誌 初等教育資料始め57種

ア 25年度貸出総数 1, 323冊

イ 新 聞 日本教育新聞始め6種

イ 25年度調査・相談サービス 264件

(2) 教育研究資料の活用

図書資料を始め、各学校や教育研究所などで研究された教育資料を収集・整理している。教育情報検索システムや教育関係文献目録で、閲覧、貸出しの便宜を図っている。

調査普及教科書資料室には、小・中学校の教科書を整備して研究できるようにしている。

7 情報教育ネットワーク

(1) 概 要

平成16年4月、教育センター内に情報教育部ができたことを受け、名古屋市情報教育ネットワークの運用・管理をしている。現在、このネットワークを通して名古屋市立の全幼稚園、小、中、特別支援、高等学校が一つに結ばれている。各学校が安心してインターネットを利用できるように、教育センターではウィルスチェックや有害情報除去のためのフィルタリングを行っている。さらに、外部からの不正侵入を防ぐためのファイヤーウォールも設置し、二重の防御態勢で安心して学習に取り組める環境を得ている。学校からの質問や相談、機器のトラブルに対しては、専用のヘルプデスクを設置し対応している。

(2) 教育センター 学校・園向けホームページ「くすのきネットなごや」

児童生徒、教員が教育現場でインターネットをより便利に、かつ簡単に使えるように、学校・園向けホームページ「くすのきネットなごや」を提供している。

各教科や総合的な学習の時間での調べ学習をはじめ、教員の教材研究や授業支援等でも幅広く活用できる。

- ・ 名古屋市の教育課程に合わせ、校種、学年、教科、単元別に沿った構成を整えらるとともに、地域、学区の教材を充実し、名古屋市独自の情報教育支援サイトになっている。
- ・ インターネット等を原因とするトラブルを防止するために、名古屋市独自の情報モラル学習用コンテンツを開発し、児童生徒・教職員だけでなく、保護者に対しても情報モラルコンテンツを配信している。
- ・ 児童生徒、教員により作成された授業のアイデアや指導のコツ、すぐに活用できる教材や資料の登録が容易にでき、共有化を目指している。
- ・ 授業や現職教育の資料を配信し、教員の研修を支援している。

(3) 校内LAN・電子黒板・学習用コンピュータ等の整備

普通教室でICTを活用して「分かる授業」をすることができるように、すべての小・中学校、特別支援学校、高等学校へ、校内LANや移動させて使用できるノートパソコン・プロジェクタ・電子黒板の整備を進めた。

8 教 育 相 談

(1) 教育相談 子ども教育相談「ハートフレンドなごや」

幼児から高校生年齢までの子ども本人、その保護者、学校関係者等から、子どもの教育・養育上の問題に関するあらゆる内容について相談に応じている。

ア 電話相談・来所相談・メール相談

- ・ いじめ・不登校など学校生活に関わること
- ・ 発達の様子に関わること
- ・ 就学や進路について気掛かりなこと
- ・ 帰国・出国に際しての学校教育のこと 等

イ 訪問相談

- ・ 不登校の小中学生を対象に、家庭を訪問することを基本にして、相談に応じている。

(2) 教職員相談

ア 一般相談

- ・ 子どもの指導や保護者との関わり方、教職員間の悩みなど（指導主事・臨床心理士）

イ 専門相談

- ・ 心の健康問題（精神科医）
- ・ 法律問題（弁護士）

9 学力向上サポート事業

(1) 概 要

各小・中・高・特別支援学校の創意工夫を生かした積極的な教科指導の研究や教育活動の展開を支援し、知的好奇心を喚起する「分かる」授業、感動ある授業を実践することにより、「学力」の向上に資する。またその成果を普及し学校教育の一層の充実を図ることをねらいとする。

(2) 対象事業（事業期間 2年）

区 分	小 学 校	中 学 校	高等学校	特別支援学校	合計
1 課題提示型 教育委員会が提示 する今日的な課題 に基づく研究	千早、陽明、 宝				3校

区 分	小 学 校	中 学 校	高等学校	特別支援学校	合計
2 新規創出型 学校の実情から独自に設定した課題に基づく研究	八熊	港明	工業		3校
3 実績汎用型 これまでの各事業の研究成果を取り入れた研究	六郷北、辻、城西、成章、正保、東丘、前山、平針南	千鳥丘	富田	天白養護	11校
合 計	12校	2校	2校	1校	17校

10 指導体験記録の募集

幼稚園・小・中・高・特別支援学校教職員の日常指導の中で生じた問題点を、実践的に解明した記録を募集した。平成25年度（第61回）は、539編の応募があった。そのうち特選1編、入選32編、佳作141編を表彰した。

第5章 就 学

1 就 学 援 助

(1) 概 要

就学援助は、経済的理由のため就学困難な児童・生徒の保護者に対して、市が学用品費、給食費等の援助をすることにより、児童・生徒が小・中学校における義務教育を円滑に受けられるようにする制度である。

就学援助の対象となる者は、次に掲げる児童・生徒の保護者である。

ア 要保護児童生徒

生活保護法（昭和25年法律第144号）第6条に規定する要保護者のうち、教育扶助を受けている家庭の児童・生徒

イ 準要保護児童生徒

教育委員会が、生活保護法第6条に規定する要保護者に準ずる程度に困窮していると認定した児童・生徒

ウ 特別支援教育就学奨励費受給児童生徒

特別支援学級等に就学している児童・生徒の保護者のうち、その世帯の収入額が需要額の2.5倍未満の者（一部の支給費目を除く）ただし、上記ア及びイを除く。

(2) 平成25年度事業実績

費 目	支 給 人 数	支 給 単 位	支 給 金 額	
			小 学 校	計
			中 学 校	
入 学 準 備 金 (準)	人 小 1,628	円 19,900	円 32,397,200	円 91,296,000
	中 2,572	22,900	58,898,800	
学用品費・通学用品費 校 外 活 動 費 (準)	小1年 1,850	12,610	182,483,470	386,000,760
	その他 11,427	14,780		
	中1年 2,714	23,880	203,517,290	
	その他 5,575	26,050		
修 学 旅 行 費 (要・準)	小 2,837	(平均) 22,863	64,861,623	208,131,411
	中 2,987	(平均) 47,964	143,269,788	
通 学 交 通 費 (準)	小 3	(所要額全額)	91,900	348,840
	中 6		256,940	
学 校 給 食 費 (準)	小(完全) 13,277	41,800	514,554,100	780,640,382
	中(完全) 61	47,300	2,593,971	
	中 スクールランチ 8,228	1食280+ミルク代	263,492,311	
学 校 病 医 療 費 (要・準)	小 39	(平均) 13,973	544,930	817,700
	中 11	(平均) 24,797	272,770	

費 目	支 給 人 数	支 給 単 位	支 給 金 額	
			小 学 校	計
			中 学 校	
野 外 活 動 費 (準)	小 2,226	円 5,380	円 11,965,187	25,648,633
	中 2,505	円 5,470	円 13,683,446	
特 別 支 援 教 育 就 学 奨 励 費	小 670	「通学交通費 全額」	15,736,385	28,191,623
	中 363	「その他 限度額」	12,455,238	
合 計		小 学 校	822,634,795	1,521,075,349
		中 学 校	698,440,554	

2 就 学 奨 励

(1) 高等学校（入学準備金）

ア 概 要

勉学の意欲がありながら、経済的理由により修学が困難な者に対し、名古屋市入学準備金条例（平成16年名古屋市条例第11号）に基づいて、高等学校等に入学するために必要な学資を貸与した。（平成16年度から実施）

イ 平成25年度事業実績

貸 与 額	貸 与 人 員	貸 与 金 額
300,000円	339人	101,700,000円

(2) 高等学校（市立高等学校入学料免除）

ア 概 要

高等学校教育の振興に資するため、名古屋市立高等学校入学料免除規則（平成14年教育委員会規則第6号）に基づいて、入学料を免除した。

イ 平成25年度事業実績

区 分	人 員	金 額
入 学 料	252人	1,214,350円

(3) 幼稚園（市立幼稚園授業料及び入学料減免）

ア 概 要

幼稚園教育の振興に資するため、市立幼稚園に就園している園児の保護者に対し、名古屋市立幼稚園授業料等減免規則（昭和47年名古屋市教育委員会規則第22号）に基づいて、授業料等を減免した。

イ 平成25年度事業実績

減 免 区 分		減免額 (年)	人 員	金 額
		円	人	円
市民税所得割額の納税義務を負う者がいない世帯（生活保護世帯を含む。）				
同一世帯に小学校１～３年生の兄・姉がいる場合				
兄・姉が１人	在園児１人目	58,000	21	1,105,700
	在園児２人目以降	102,000	4	349,500
兄・姉が２人以上	在園児１人目以降	102,000	1	98,400
同一世帯に小学校１～３年生の兄・姉がいない場合				
在園児１人目		43,000	45	1,898,600
在園児２人目		73,000	4	292,000
在園児３人目以降		102,000	0	0
その他の世帯の在園児３人目以降		79,000	1	79,000
市民税課税総所得金額等の合計額が829,000円以下の世帯		13,000	9	115,900
市民税課税総所得金額等の合計額が829,000円を超え996,000円以下の世帯		5,000	4	20,000
東日本大震災の被災者		105,400	1	98,400
			90	4,057,500

３ 私 学 助 成

（１）概 要

私立学校における保護者負担を軽減し、私立学校教育の振興に寄与するため、私立高等学校及び私立幼稚園に在籍している方を対象に、名古屋市私立高等学校及び私立幼稚園授業料補助に関する条例（昭和48年名古屋市条例第27号）等に基づいて、授業料等の補助を行った。（平成12年４月に総務局から事務移管された。）

ア 私立高等学校授業料補助 平成25年度事業実績

補 助 区 分	補助額 (年)	人 員	金 額
	円	人	円
愛知県の実施する授業料減免の対象とならない者で、市民税の所得割額が298,500円に①、②の合計を加えた額未満の世帯	26,000	1,225	31,850,000
①16歳未満の扶養親族の数×19,800円			
②16歳以上19歳未満の扶養親族の数×7,200円			

補 助 区 分	補助額 (年)	人 員	金 額
同298,500円に①、②の合計を加えた額以上388,500円に①、②の合計を加えた額未満の世帯 ①16歳未満の扶養親族の数×19,800円 ②16歳以上19歳未満の扶養親族の数×7,200円	円 15,000	人 1,070	円 16,050,000
合 計		2,295	47,900,000

イ 私立幼稚園授業料補助 平成25年度事業実績

補 助 区 分	補助額(年)	人 員	金 額
ア 生活保護世帯	円 229,200 268,000 308,000	人 18 6 0	円 3,834,900 1,488,100 0
	249,000 308,000	3 3	642,000 690,000
イ 市民税非課税世帯・市民税所得割非課税世帯	199,200 253,000 308,000	1,108 141 4	211,508,800 31,455,800 1,108,600
	226,000 308,000	442 55	93,726,000 12,254,400
ウ 市民税所得割額が34,500円に①、②の合計を加えた額以下の世帯 ①…16歳未満の扶養親族の数×21,300円 ②…16歳以上19歳未満の扶養親族の数×11,100円	115,200 211,000 308,000	1,398 220 5	158,133,900 43,701,000 820,100
	163,000 308,000	715 125	115,727,500 30,145,700
エ 市民税所得割額が171,600円に③、④の合計を加えた額以下の世帯 ③…16歳未満の扶養親族の数×19,800円 ④…16歳以上19歳未満の扶養親族の数×7,200円	62,200 185,000 308,000	9,850 1,116 19	596,951,200 193,717,100 4,209,300
	114,000 308,000	4,414 393	495,846,000 91,575,100
オ 市民税所得割額が231,300円に③、④の合計を加えた額以下の世帯 ③…16歳未満の扶養親族の数×19,800円 ④…16歳以上19歳未満の扶養親族の数×7,200円	43,600 60,000 308,000	2,390 242 3	100,507,400 13,385,000 802,900
	60,000 70,000	1,123 61	66,160,000 4,001,700

補 助 区 分		補助額(年)	人 員	金 額
カ		円	人	円
	市民税所得割額が231,300円に③、	32,000	4,480	136,050,700
	④の合計を加えた額を超える世帯	37,000	436	14,375,700
	③…16歳未満の扶養親族の数×	308,000	5	1,060,600
	19,800円			
	④…16歳以上19歳未満の扶養親族	37,000	2,024	71,984,400
	の数×7,200円	47,000	168	7,176,600
合 計			30,967	2,503,040,500

(注) 補助区分における補助年額の内訳は、上段から1人目の方、同時在園2人目の方、同時在園3人目以降の方、小学校1～3年生に兄弟がいる場合の2人目の方、小学校1～3年生に兄弟がいる場合の3人目以降の方。

4 越 境 通 学 防 止

(1) 概 要

市立小・中学校への通学は、特別な事情がある場合を除いて住所地の学区の学校へ通学するようになっている。越境通学とは、不正な住民登録を行うなど不当な手続きによって住所を偽り、通学区の学校に就学せず他学区の学校へ通学することをいう。

こうした越境通学は、行政的には違法な行為であり、人間尊重という教育本来の目的をゆがめ、教育の機会均等をそこなうものである。また、児童・生徒の人間形成を進めるうえからも大きなへい害となり、さらに、義務教育に関する施策に支障を及ぼすことになる。

このような越境通学の防止については、これまで関係者の協力を得て努力してきたが、依然として解消していない。

そのため、防止対策をさらに推進するために、教育委員会・校長会・区長代表・関係局長などで構成する「名古屋市学区外通学防止対策連絡会議」を設置し（昭和53年2月）、「越境入学防止対策基本方針」を決定して、種々対策を講じその解消に一層の努力をしてきた。

(2) 越境入学防止対策基本方針

越境入学は、法令に反する行為であるばかりか、児童・生徒の人間形成を進めるうえで教育本来の目的をゆがめるものである。なかでも旧「地域改善対策特定事業に係る国の財政上の特別措置に関する法律」第2条第1項に規定する対象地域を学区域に有する学校（以下「関係校」という）から他校への越境入学は、教育の機会均等・人間尊重のうえから重大な問題を生ずるものである。そのため連絡会議は、越境入学防止について、次の基本方針を決定するものとする。

- 1 越境入学は、発生を防ぐことが重要であり、教育委員会及び各小学校は、小・中学校への入学予定者の保護者に対して適正学区の学校へ入学するよう指導する。また、一般市民に対しても理解を求める。
- 2 教育委員会及び各小・中学校は、実態調査に基づき、現に越境通学していると認められる

児童・生徒の保護者に適正学区へ復帰するよう勧告するとともに、あわせて、今後の防止対策の参考資料とするため、各種調査を行う。

- 3 各小・中学校において、小・中学校1年生及び各学年転入学者のうち、入学後に越境通学者と認められたものについては、保護者に対して居住地の学校へ通学するよう説得に努める。
- 4 各区役所窓口においては、学齢児童・生徒を含む世帯分離について慎重に取り扱い、特に関係校を含む学区からの転出については、十分な確認を行うなど、適切な措置をとるものとする。
- 5 越境入学の多い小・中学校及び区は、緊密な連携をはかり、越境入学防止の徹底をはかる。
- 6 市外からの越境入学を防止するため、教育委員会は、近隣市町村及びその教育委員会と緊密な連絡をとり、協力を依頼する。

(3) 平成25年度における主な対策

ア 越境通学者の保護者に対して、適正学区の学校に復帰するよう文書で勧告した。

(平成25年7月・12月、26年3月)

イ 区役所における指導

区役所の窓口において、越境通学のためと思われる住民登録の届出について、注意喚起文書を手渡すとともに誓約書や家主の証明書をとるなど指導を強めた。

越境通学者の保護者に対して、区役所から住所の確認の文書を出し、指導をした。

ウ 教職員への趣旨の徹底

小・中学校の職員室等に啓発ポスターを掲示するとともに、教職員全員にパンフレット(「越境入学を防止するために」)を配布して趣旨の徹底を図った。

全教頭を対象とする研修の場において、越境通学が及ぼすへい害を説明し、防止をしていただくよう指導した。

エ 隣接市町村教育委員会との協議

名古屋市外からの越境入学を防止するため隣接市町村教育委員会と協議し、協力を要請した。

オ 各PTAへの協力依頼

名古屋市立小中学校の各PTA会長あてに越境入学防止に関するチラシを配布し、協力を依頼した。

市PTA会報紙上に、越境入学防止の啓発文を掲載し、協力を依頼した。

カ 市民・保護者へのPR

市民・保護者へは、「広報なごや」等で啓発に努めた。

平成26年度小学校1年生と平成25年度小学校6年生の保護者全員に対し、越境入学防止に関するチラシを配布し、啓発に努めた。

各区役所・支所に越境入学防止についての立看板・ポスターを掲示し、リーフレットを配布するなどして来庁する市民の啓発に努めた。

キ 幼児教育機関への協力依頼

幼稚園・保育所で越境入学防止に関するポスターを掲示した。

ク 区役所職員への趣旨の徹底

職員研修の場において、越境通学が及ぼすへい害を説明し、防止をしていただくよう指導した。

第5部 学校保健、給食、体育

第1章 学 校 保 健

1 児童・生徒・幼児の保健管理

定期健康診断、臨時健康診断及び健康相談を、学校医（眼科・耳鼻咽喉科を含む）・学校歯科医が中心となって実施した。

また、ぎょう虫卵の有無の検査を民間検査機関に委託して実施した。

定期健康診断実施結果は次表のとおりである。

平成25年度学校種別疾病異常の被患率 (%)

性 別	疾病異常 校種別	低 視 力	結 膜 炎	中 耳 炎	慢 性 副 鼻 腔 炎	へ ん とう 肥 大	伝 染 性 皮 ふ 疾 患	心 臓 疾 患	ぜ ん 息	腎 臓 疾 患	う 歯		結 核 性 疾 患
											処 完 了 置 者	未 処 置 あ る 者	
男 子	幼 稚 園	…	—	—	—	3.38	0.38	1.22	0.19	0.09	12.31	17.39	…
	小 学 校	28.26	3.09	0.33	0.28	3.62	0.09	1.38	6.58	0.31	26.48	19.00	—
	中 学 校	44.34	1.37	0.24	0.73	0.81	0.06	1.63	5.47	0.29	19.65	14.12	0.01
	高等学校	47.19	0.71	0.09	0.20	1.08	—	1.42	4.16	0.20	24.07	14.52	—
女 子	幼 稚 園	…	—	—	—	2.60	0.50	0.80	0.20	—	9.30	15.10	…
	小 学 校	33.76	2.35	0.24	0.19	3.25	0.06	1.29	4.31	0.26	24.67	16.87	—
	中 学 校	52.59	0.99	0.14	0.46	0.71	0.05	1.57	3.25	0.33	22.38	14.35	—
	高等学校	48.31	0.59	0.05	0.04	0.95	—	1.06	2.51	0.20	32.11	12.71	—

(注) 表中「…」は調査を実施していないことを、「—」は該当者のないことを表す。

(1) 児童・生徒の疾患対策

ア 心臓検診

小・中・高・特別支援学校1年生の児童・生徒全員を対象に心電図検査を実施した。なお、昭和57年度から心電図判読の省力化、迅速化、診断の均一化を目的としてコンピューターによる自動解析を導入し、昭和60年度から市外から転入した児童・生徒も対象とした。精密検診は専門の医療機関に依頼し、心疾患者に対しては適切な事後指導を行うとともに、学校における指導管理のために個人ごとの管理指導表を作成し、学校医の指導のもとに活用した。昭和59年度から川崎病既往症の小学校1年生に対し運動負荷心電図・心エコー等精密検査を実施した。昭和61年度から必要と認められる者を対象に心エコー図及びホルター心電図を導入した。なお、検診データのコンピューター処理を昭和63年度から小学校1年生、平成元年度から中学校1年生に導入した。平成25年度の結果は次表のとおりである。

区 分	受 診 人 員	要 精 検 査	心 疾 患 者
	人	人 %	人 %
小 学 校	18,490	401 (2.17)	322 (1.74)
中 学 校	17,317	548 (3.16)	408 (2.36)
高 等 学 校	4,295	167 (3.89)	54 (1.26)

イ 屈折検診

名古屋市学校医会に委託して、小学校1～6年生の全児童のうち、矯正視力で両眼とも(D)ランク(0.3未満)であった者を対象に特別精密検診を実施し、86人が受診した。

ウ 腎臓検診

小・中・高・特別支援学校の児童・生徒全員を対象にアンケート調査及び第1次検査を実施し、異常の認められた者についてはさらに第2・3次検査を行った。平成25年度の結果は次表のとおりである。

このうち要再検者に対しては、医師への受診をすすめるとともに、主治医の診断結果の報告を求め、学校医の指導のもとに健康管理を行った。

区 分	受 診 人 員	要 観 察	要 再 検
	人	人 %	人 %
小 学 校	110,863	15 (0.01)	108 (0.10)
中 学 校	51,704	27 (0.05)	82 (0.16)
高 等 学 校	12,614	8 (0.06)	22 (0.17)
特 別 支 援 学 校	949	1 (0.11)	0 (0.00)
計	176,130	51 (0.03)	212 (0.12)

エ 糖尿病検診

小・中・高・特別支援学校の児童・生徒全員を対象にアンケート調査及び尿糖検査を実施し、異常の認められた者については医師への受診をすすめるとともに、主治医の診断結果の報告を求め、学校医の指導のもとに健康管理を行った。平成25年度の結果は次表のとおりである。

区 分	受 診 人 員	要 観 察	要 治 療
	人	人 %	人 %
小 学 校	110,863	4 (0.004)	9 (0.008)
中 学 校	51,704	4 (0.008)	8 (0.015)
高 等 学 校	12,614	0 (0.000)	2 (0.016)
特 別 支 援 学 校	949	0 (0.000)	1 (0.105)
計	176,130	8 (0.005)	20 (0.011)

オ ギョウ虫卵検査

小学校1～3年及び幼稚園児全員を対象にギョウ虫卵検査を行った。平成25年度の結果は次表のとおりである。

区 分	ギョウ虫卵	
	検査人員	保有者
	人	人 %
幼 稚 園	2,127	1 (0.05)
小 学 校	54,990	45 (0.08)
計	57,117	46 (0.08)

カ う歯予防対策

児童・生徒の歯と口の健康づくりのため、歯と口の健康週間に協賛し、市内小・中・特別支援学校で歯科保健活動の充実を期し、優れた実践活動を展開している学校を毎年数校表彰して歯科衛生思想の向上を図った。平成25年度の表彰校は、特別優良校が中学校1校、優良校が小学校24校、中学校6校、特別支援学校1校、歯科衛生活動奨励校が小学校4校、中学校2校であった。

また、歯みがきが歯の健康にとってどのような意味を持つのかを児童・生徒に認識させ、自分の歯ならびに合ったみがき方を習慣づけるため、小学校3年生全員を対象に染め出し錠による歯口清掃指導を行った。平成25年度の結果は次表のとおりである。

区 分	受診人員	り患者数	う歯総数	処置歯総数	1人平均う歯数
	人	人	本	本	本
小学校	110,540	11,403	21,102	14,194	0.19
中学校	51,577	16,921	43,074	28,818	0.84

キ 歯科疾患特別健診

歯周疾患対策として全市より抽出した小学校を対象に、歯科疾患特別健診を実施した。平成25年度の結果は次表のとおりである。

区 分		受診人員	歯周疾患要観察者	歯周疾患要治療勧告者
春 期	小学校4年生	人 2,169	人 647	人 186
秋 期	小学校4年生	2,137	611	117

ク アレルギー性疾患対策事業

アレルギー性疾患を早期に発見して、適切な健康管理を行うとともに、健康の保持増進を図ることを目的とし小学校1年生18,519人に対して、内科、眼科、耳鼻咽喉科の検診として行った。平成25年度の結果は次表のとおりである。

区 分	内 科		眼 科	耳鼻咽喉科
	アトピー	ぜん息	アレルギー性結膜炎	アレルギー性鼻炎
要 観 察	人 % 1,845 (9.96)	人 % 436 (2.35)	人 % 559 (3.02)	人 % 381 (2.06)
要 医 療	409 (2.21)	46 (0.25)	285 (1.54)	499 (2.69)

(2) 児童・生徒の体位

平成25年度の児童・生徒の主な体位は次表のとおりである。

性別	項目 年 齢 年度	身 長 (cm)				体 重 (kg)			
		昭和 48 年	平成 5 年	平成 25 年	全国 平均	昭和 48 年	平成 5 年	平成 25 年	全国 平均
男 子	6 歳 (小学 1 年生)	114.9	116.5	116.6	116.6	20.4	21.5	21.0	21.3
	12 歳 (中学 1 年生)	148.1	151.8	152.2	152.3	40.0	43.9	43.1	43.9
	15 歳 (高校 1 年生)	166.0	168.4	168.5	168.3	54.9	58.8	57.8	58.9
女 子	6 歳 (小学 1 年生)	114.1	115.5	115.4	115.6	19.9	20.9	20.5	20.9
	12 歳 (中学 1 年生)	149.1	151.3	151.7	151.8	41.4	43.7	42.9	43.7
	15 歳 (高校 1 年生)	155.6	157.5	157.2	157.0	50.1	51.5	50.3	51.4

性別	項目 年 齢 年度	座 高 (cm)			
		昭和 48 年	平成 5 年	平成 25 年	全国 平均
男 子	6 歳 (小学 1 年生)	64.5	65.2	64.8	64.8
	12 歳 (中学 1 年生)	79.4	81.1	81.1	81.2
	15 歳 (高校 1 年生)	88.7	89.6	90.0	90.3
女 子	6 歳 (小学 1 年生)	64.0	64.6	64.3	64.4
	12 歳 (中学 1 年生)	81.0	81.8	82.1	82.1
	15 歳 (高校 1 年生)	84.0	85.2	85.3	85.5

2 就学時健康診断

学校保健安全法（昭和33年法律第56号）第11条の規定により、平成26年4月に小学校へ入学する者の心身の状況を把握して適切な就学を図るため、平成25年11月末までに各小学校において実施した。

この健康診断の結果、疾病のあるものについては入学時までには治療して入学するように指導した。また、心身に障害があり、普通学級で学習することが困難と認められる者には、その心身の状況に応じた適切な就学指導・相談を進めた。

3 教職員の保健管理

教職員の健康管理として、健康診断・健康相談・安全衛生教育等を行った。なかでも、メンタルヘルスの重要性に鑑み、総合的な対策として策定した「名古屋市教職員いきいき心の健康づくり計画」は、教職員安全衛生委員会及び「元気な学校づくり」プロジェクト会議等での検討を経て、平成24年3月に完成し、平成24年度から平成28年度の5年間を実施期間の目途としている。

(1) 健康診断

学校保健安全法第15条及び教職員安全衛生管理規則（昭和60年教育委員会規則第14号）第16条の規定に基づき、定期健康診断、個別健康診断及び特別健康診断を実施した。

平成25年度の実施結果は次表のとおりである。

① 定期健康診断・個別健康診断

健診区分	受診者数
管 理	人 2,304
一般A	5,999
一般B	1,501
計	9,804

項 目	受診者数	所見なし	要観察及び要医療
	人	人 %	人 %
胸 部	9,688	9,666 (99.8)	22 (0.2)
高 血 圧	9,753	8,707 (89.3)	1,046 (10.7)
腎 臓 病	9,753	8,463 (86.8)	1,290 (13.2)
糖 尿 病	9,753	9,289 (95.2)	464 (4.8)
心 臓 病	8,252	7,469 (90.5)	783 (9.5)
貧 血	8,256	6,831 (82.7)	1,425 (17.3)
肝 臓 病	8,256	6,319 (76.5)	1,937 (23.5)
脂質異常症	8,256	4,678 (56.7)	3,578 (43.3)
尿 酸	8,254	7,340 (88.9)	914 (11.1)

② 特別健康診断

胃検診受診状況

受 診 者	要 精 検 者	出 現 率
人 2,052	人 106	% 5.2

大腸がん検診

受 診 者 数	要 精 検 者	出 現 率
人 3,359	人 151	% 4.5

風しん抗体検査 (抗体値8倍未満……風しんに対する免疫がない。)

受 診 者 数	8 倍 未 満	出 現 率
人 260	人 8	% 3.1

B型肝炎抗体検査

受 診 者 数	無 抗 体 者	ワクチン接種者
人 225	人 32	人 29

V D T業務検診

一 次 検 診	要 二 次 検 診	二次検診受診者
人 1,512	人 120	人 80

二次検診(80人)の内訳

経 過 観 察 等	所 見 な し
人 13	人 67

海外派遣後健康診断

対 象 者	受 診 者
人 2	人 2

(2) 健康相談

教職員課分室にて、保健師等がからだや心の悩みなどについて常時相談に応じた。

電話相談及び個別面接	人 1,691
------------	------------

(3) 安全衛生教育

ア 産業医等が53校（園）へ出向き衛生講話を行った。

イ 教職員の健康を保持・増進するため、健康教室（12回）・予防教室（4回）・安全衛生セミナー（8回）を合計24回開催した。

4 学校環境衛生管理

(1) 感染症予防及び環境衛生管理のために、学校便所の清掃消毒を実施した。

(2) 学校プール衛生対策として、循環ろ過機の設置によるプール水の消毒、浄化、プール施設の清掃及び水質検査を実施した。

(3) し尿浄化槽の維持管理のため、501人以上のし尿浄化槽設置校には技術管理者を配置し、また、し尿浄化槽のある学校には消毒薬品の配布と清掃を実施した。

(4) 飲料水の衛生維持のために、水質検査及び飲料用貯水槽の清掃・消毒を実施した。

5 学校における安全対策

(1) 来訪者への声かけや校内巡視などの日常的な取り組みを始め、各職員の役割や対処方法などを明記した防犯対策・マニュアルを各学校の実情に応じて作成し、緊急時の対応を周知徹底している。また、全校に、防犯カメラやさすまたを整備するとともに、「なごやっ子あんしんメール」を運用し、児童・生徒の登下校時の安全確保を図るための不審者情報を、保護者の登録アドレスへ直接メール配信できるようにした。

(2) 児童の登下校時等の安全確保を推進するために、小学校区毎に「子ども安全ボランティア」等が「通学路の見守り活動」等を実施した。また、警察官OBをスクールガードリーダーとして委嘱し、登下校時の巡回や学校周辺の巡回を実施するとともに、学校、PTA及び地域の方々に対し専門的立場から指導助言を行った。

(3) 登下校時等の安全確保等のために、新入学児童を対象に防犯ブザーを配布した。

6 日本スポーツ振興センター

学校安全の普及・充実を図るとともに、小・中・高・特別支援学校及び幼稚園の管理下において児童、生徒及び幼児に事故が起きた場合、その治療、見舞等に必要な給付等を行うため日本スポーツ振興センターの災害共済給付制度に加入した。

平成25年度 学校種別加入及び医療費給付状況

(平成26年5月9日現在)

種 別	加入校数	加入人員	給付件数	給付金額
	校(園)	人	件	円
小 学 校	263	111,132	13,863	24,852,077
中 学 校	110	52,824	9,916	22,986,990
高 等 学 校	16	12,705	3,900	28,626,386
特別支援学校	4	973	97	370,029
幼 稚 園	23	2,221	196	298,964
計	416	179,855	27,972	77,134,446

7 名古屋市学校保健会

学校保健の研究及び普及発達を図ることを目的として、学校医・学校歯科医・学校薬剤師・学校(園)長・保健主事・養護教諭・PTA、その他学校保健関係者によって組織されている団体である。

平成25年度に実施した主な事業は、次のとおりである。

- (1) 第64回指定都市学校保健協議会への参加
- (2) 第66回指定都市学校保健協議会実行委員会の設立
- (3) 第63回全国学校保健研究大会への参加
- (4) 第56回名古屋市学校保健協議会の開催
- (5) 第46回名古屋市学校保健研究大会の開催
- (6) 平成25年度「名古屋市学校保健優良校」審査
- (7) 学校保健に関する研修会・講演会の開催
- (8) 会報「なごや学校保健」及び「教育医学」の発行
- (9) 各種疾患・歯科疾患・学校環境衛生に関する調査研究

第2章 学 校 給 食

1 学 校 給 食

学校給食は、健康教育の一環として、児童・生徒に、望ましい食事のあり方を理解させるとともに、食事を通して心のふれあいを深め、好ましい人間関係の育成と心身の健全な発達に資するものである。

(1) 学校給食の実施状況

(平成26年5月1日現在)

校別 項目	種 別	実施 校数	実 施 人 員			備 考
			児童生徒数	教職員数	計	
小 学 校	完全給食	263	110,809	7,927	118,736	
中 学 校	〃	1	481	36	517	
〃	〃 (スクールランチ)	109	51,722	3,571	55,293	
特別支援学校	完全給食	4	1,064	482	1,546	訪問教育を除く
高 等 学 校 (定時制)	〃	2	174	—	174	
計		379	164,249	12,016	176,265	

中学校スクールランチについては、ランチルームを整備するとともに、複数メニューからの選択・弁当の持参も認める方法で実施している。

(2) 献立と栄養摂取状況

ア 給 食 内 容

学校給食のねらいは、児童・生徒の栄養改善・健康増進を図るとともに、食事の正しいあり方を体得させ、好ましい人間関係を育成することである。

子どもは大人とちがって、生活をするのに必要なエネルギーのほかに自分自身の体の成長、発育のための栄養素を必要とするので、この成長期にある児童・生徒の食事内容は、体の構成に必要な良質のたんぱく質（特に動物性たんぱく質）、骨の発育に必要なカルシウム、体の調子をよくし、抵抗力をつける各種のビタミンなどが豊富なものでなければならない。

このような点をふまえて栄養管理にあたっては、児童・生徒1人1回当たりの学校給食摂

取基準とその食品構成により、児童・生徒の必要とする栄養量を確保し、家庭において不足しがちな栄養素を補充するよう配意している。

従来の小学校における完全給食は、パン（めん）・牛乳・おかずであったが、昭和55年度からは、食事内容の多様化を目的として米飯を月1回採り入れた。その後も国の方針として米を主食とした日本型食生活の推進がいわれ、本市においても米飯給食を順次拡大し、平成23年度より週3回を週3.5回とし実施している。

また、昭和58年度からは、国際理解教育の一環として、児童が姉妹・友好都市提携している都市の特徴ある料理や食材を用いた食文化の一端に触れ、幅広くその国の国民性や文化などについて学ぶなど、国際的な広い視野に立った好ましい能力を身につけていくことの手がかりとなるよう、姉妹・友好都市給食を実施している。平成16年度からは、「みんなで食べる！なごや産」という地産地消の取り組みを展開しており、現在、港区・中川区産の米、中川区産のみつば、水耕ねぎ、天白区産のにんじん、キャベツ、かぼちゃ、緑区産のたまねぎ、はくさい、ブロッコリー等の市内産野菜を使用しているほか、平成23年度より、愛知県の特産物を取り入れた献立や身近な郷土料理などの特徴ある献立を新たに「ふるさと献立」として位置づけ、食文化に対する総合的な理解を深め、郷土を心の拠り所とする気持ちの醸成を図った。

さらに、平成19年度から食物アレルギーの対策として、一部献立の除去食対応を実施している。

中学校スクールランチの献立については、中学生の発達段階を考慮し、学校給食法に基づき学校給食摂取基準にあわせるとともに、生徒の嗜好や季節感にも留意し、「楽しく・おいしく・バランスよく」という内容で作成している。種類は、ランチルーム用として2種類（A・Bランチ）と教室用として2種類（C・Dランチ）の複数メニューで実施している。

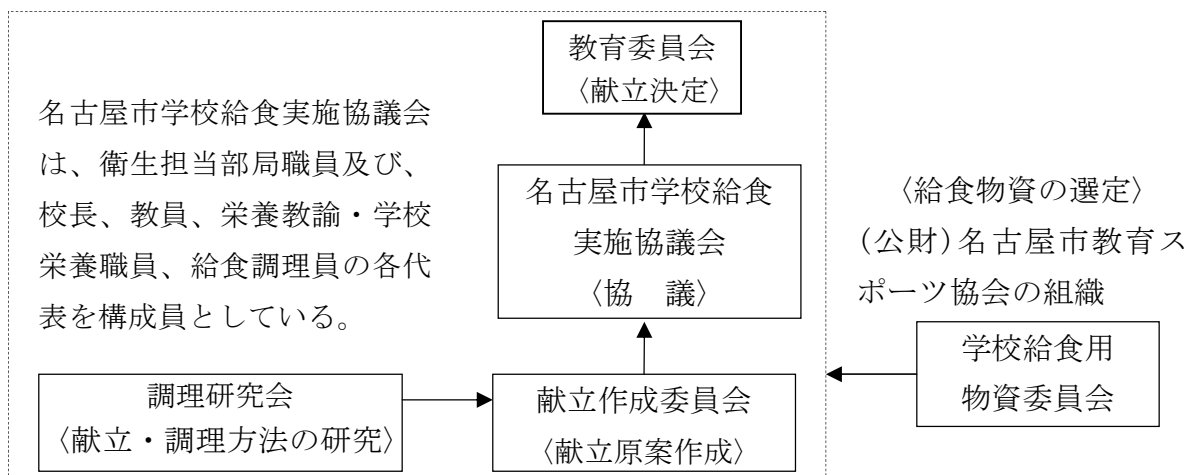
ランチルームメニューは、めん類・どんぶり物・シチューなど温かいメニューをメインとし、教室用のランチボックスでは、季節感・彩りにも配慮し、保温汁わんを使用して温かい汁物やカレー・どんぶりの具もつけている。

なお、東京電力福島第一原子力発電所事故により放出された放射性物質の食品への影響に対する不安を解消するため、平成23年9月より小学校給食及び中学校スクールランチにおいて使用する主な食材の放射性物質の検査を開始し、主な食材の産地情報と併せて名古屋市公式ウェブサイトにおいて公表を行った。

イ 献立のできるまで

「おいしい、楽しい、魅力ある学校給食」を実現するため、給食の基盤となる献立の作成には十分配慮し食事内容の改善充実に努めている。

小学校給食の献立作成過程は、次のとおりである。



献立の作成にあたっては、栄養・衛生・し好に配慮し、学校給食摂取基準に基づく栄養素を児童・生徒が摂取できるように努めている。

調理研究会で検討された献立内容を献立作成委員会に提出し、慎重に審議され、さらに学校給食実施協議会において了承したものを教育委員会が決定し実施される。

中学校スクールランチは、毎月1回の献立会議（献立調理技術会議）を通して、献立の実際のメニューを作成して検討を行ったものを、教育委員会で決定し実施している。

ウ 栄養摂取状況

平成25年度の小学校栄養摂取状況と本市の児童・生徒1人1回当たりの学校給食摂取基準は、次のとおりである。

区 分	エネルギー kcal	たん ぱく質 g	脂 質 g	食 塩 相当量 g	カルシ ウム mg	鉄 mg	ビタミ ン				食 物 纖 維 g
							レチノール 当量 μ g	B ₁ mg	B ₂ mg	C mg	
平成25年度 平均(小学校)	624	23.9	18.7	2.4	330	2.3	213	0.55	0.50	26	3.7
本 市 基 準 (小 学 校)	640	24.0	摂取エネ ルギーの 25~30%	2.5未 満	350	3.0	170	0.40	0.40	20	5.0
平成25年度 平均(中学校)	834	33.3	24.6	4.5	397	3.2	478	0.48	0.62	35	5.4
本 市 基 準 (中 学 校)	820	30.0	摂取エネ ルギーの 25~30%	3未満	450	4.0	300	0.50	0.60	35	6.5

(3) 学校給食関係職員の活動等

ア 学校給食研究会

教員が食に関する指導を通して、子どもたちの望ましい食事のあり方と人間関係の効果的な育成について研究を進めている。

イ 栄養教諭・学校栄養職員研究会

学校に勤務する栄養教諭・学校栄養職員で構成され、健康な体と豊かな心を育てる学校給食をめざして、栄養管理上の指導及び食に関する指導の資料作成・研究等を行っている。

ウ 調理員

本市小学校では、単独校調理場方式を採用しており、各学校における日々の調理の中でおいしい魅力ある給食づくりに努めている。

(4) 食に関する指導の推進と充実

「なごやっ子 食に関する指導の手引」、「学校給食指導の手びき」を活用し、食に関する指導の充実を図っている。また、小学校を中心に栄養教諭・学校栄養職員による「食に関する指導」の巡回指導を実施した。

2 運 営 組 織

(1) 名古屋市学校給食実施協議会

名古屋市学校給食実施協議会は、学校給食の円滑な運営を図るため、標準献立作成、連絡調整その他給食実施の総括をしている。

(2) 中学校スクールランチ連絡協議会

中学校スクールランチ連絡協議会は、中学校校長・教員などで構成し、中学校スクールランチの円滑な運営について協議している。

(3) 公益財団法人名古屋市教育スポーツ協会（学校給食課）

名古屋市立小学校などにおける学校給食の円滑な運営、実施及びその発展に寄与することを目的として、次の事業を行っている。

ア 学校給食に用する物資の調達に関する事業

イ 学校給食の普及奨励に必要な事業

ウ その他この法人の目的達成に必要な事業

具体的な業務内容は、下記のとおりである。

(ア) 給食費の一括精算事務

(イ) 献立作成及び各種協議会等への協力

3 普 及 活 動

(1) 調理員の研修

平成25年度は、食品・調理及び衛生管理に関する知識の向上のため、講演会や調理技術実習を行った。また、新規採用者を対象に、学校給食に従事するための職員としての心構えと調理実習、調理員経験10年以上の職員を対象に職場内における後輩職員等への円滑な指導が行えるよう研修を実施し、調理員の資質及び士気向上を図った。

(2) 学校巡回と夏季衛生講習会

中学校スクールランチ指導員・管理栄養士が巡回し、実施校での実施状況や衛生管理状況などを把握し、各学校の配膳室で調理業者への指導を行っている。また、夏季衛生講習会を開催し、調理業者の従事者に衛生管理指導を実施した。

(3) 試食会

新入生の保護者などを対象として各小学校及び各特別支援学校が開催する試食会（延べ小学校184回、特別支援学校2回）を実施し、学校給食のPRに努めた。

中学校スクールランチでは、各中学校の保護者や次年度入学予定児童、地域の方などを対象に、学校主催の試食会（延べ306回）を実施し、スクールランチへの理解を深めた。

第3章 学 校 体 育

1 学校体育の概要

(1) 基本方針

学校における体育・スポーツ活動は、児童・生徒が生涯を通じて運動を実践するとともに、健康で安全な生活を営むための能力や態度の基礎を育てるため、その調和的な発達を促す価値ある教育活動として学校教育の一翼を担っている。

本市において、学習指導要領に基づく教科体育はもとより運動部活動の振興、学校体育施設の拡充等、児童・生徒が十分な活動ができるよう諸条件を整備し、学校体育の充実と発展を図っていく。

(2) 学校体育の重点施策と事業の概要

ア 学校体育の研究推進

- ・ 教科体育外部指導者派遣事業（中学校教科体育の柔道、剣道の指導者）

イ 学校体育指導者の資質の向上

- ・ 体育実技講習会
- ・ 水泳指導法講習会
- ・ 中・高等学校柔道、剣道指導者講習会
- ・ 野外活動指導者養成講習会（小・中学校）
- ・ 新規採用教員水泳講習会
- ・ スクールダンスサイズ講習会（小・特別支援学校）

ウ 児童・生徒の体力運動能力の育成

- ・ 「元気いっぱいなごやっ子の育成」事業
- ・ 体力・運動能力調査の実施と集計

エ 部活動の振興

- ・ 部活動顧問及び外部指導者の派遣
- ・ 部活動指導者の養成
- ・ 生徒の全国大会等参加費に対する助成
- ・ 各種体育大会の充実
- ・ 名古屋市小中学校体育連盟への助成

オ 学校体育施設の充実

- ・ 学校体育センターの運営

2 各種講習会

体育・スポーツの指導者の資質の向上を図るため各種の講習会を開催し、併せて学校体育の振興に努めた。

平成25年度に実施した主な講習会は、次のとおりである。

講習会名	期 日	参加者数
水泳指導法講習会	5月9日・13日	各校1人342人
部活動外部指導者研修会	6月8日	部活動外部指導者65人
体育実技講習会	6月4・6・10日	小学校260人、中学校84人
新規採用教員水泳講習会	7月31・8月2・6日	小・中・特別支援学校375人
中・高等学校 柔・剣道指導者講習会	8月26・27日 9月3日	柔道47人、剣道60人
野外活動指導者養成講習会 (小・中学校)	8月6・7・8日(中津川) 8月6・7・8日(稲武)	小学校53人(中津川) 中学校33人(稲武)
スクールダンスサイズ講習会	7月26日	小・特別支援学校276人
部活動指導者養成講習会	5月～1月	小・中学校11種目694人 高校1種目300人
各種スポーツ講習会	5月～1月	15種目

3 元気いっぱいなごやっ子の育成

子どもの体力・運動能力の向上を図るとともに、望ましい食生活等の指導を行うことにより、元気いっぱいなごやっ子の育成を目指した。

(1) 今の体力を知り、体力向上を目指そう

児童・生徒が自分自身の現在の体力・運動能力を知り、主体的に体力づくりに取り組んでいくことができる体力アップソフトの活用を行った。

(2) 体力アップに挑戦しよう

特色ある体力づくりに取り組む学校を募集し、実践研究を委嘱した。平成25年度は新たに小学校8校、中学校1校を委嘱し、平成24年度までに小学校96校、中学校19校の115校となった。各校とも全校体制で楽しく体力づくりに取り組んだ。

(3) 食を学んで健康アップしよう

「食生活学習教材」を活用して、望ましい食生活などを身につけさせる食に関する指導を実施した。

4 体力・運動能力調査

児童・生徒の体力・運動能力の現状を明らかにし、健やかな成長発達の指導に役立てることを目的に昭和41年度から継続して体力運動能力の調査を実施し、平成11年度からは、新種目で実施した。

(1) 平成25年度本市児童・生徒の体力の状況

区分	種目 性別 年齢	握 力 (kg)		上体起こし (回)		長座体前屈 (cm)		反復横とび (回)	
		男	女	男	女	男	女	男	女
小学校	10	15.9	15.5	18.4	16.9	31.3	35.8	39.8	37.6
	11	18.8	18.6	20.8	18.7	34.3	39.1	44.2	41.6
中学校	12	22.4	20.7	23.6	20.4	36.5	41.0	46.8	43.3
	13	28.0	23.1	27.3	23.3	41.1	44.1	50.3	45.1
	14	33.5	24.5	30.1	24.4	45.9	46.8	53.9	46.2

(2) 平成25年度本市児童・生徒の運動能力の状況

ア 小学校児童の運動能力の状況

区分	種目 性別 年齢	20mシャトルラン (回)		50m走 (秒)		立ち幅とび (cm)		ソフトボール投げ (m)	
		男	女	男	女	男	女	男	女
小学校	10	45.6	34.0	9.4	9.7	152.4	145.1	23.4	14.0
	11	56.8	42.8	9.0	9.3	162.4	153.2	26.9	16.3

イ 中学校生徒の運動能力の状況

区分	種目 性別 年齢	持久走 男・1500m 女1000m (分・秒)		20mシャトルラン (回)		50m走 (秒)		立ち幅とび (cm)		ハンドボール 投げ (m)	
		男	女	男	女	男	女	男	女	男	女
中学校	12	7' 13"	5' 06"	69.1	49.2	8.9	9.5	171.0	156.8	18.0	11.7
	13	6' 41"	5' 00"	86.1	58.7	8.4	9.3	187.1	162.1	20.8	13.0
	14	6' 24"	5' 00"	93.3	58.1	7.8	9.0	202.5	165.2	23.6	13.9

5 各種体育大会

児童・生徒の体力を増進し、スポーツ精神の育成を目指して各種体育大会を開催している。平成25年度に実施した主な体育大会は、次のとおりである。

体育大会名	期 日	会場・参加者等
名古屋市中学校総合体育大会 男子14種目・女子12種目 （陸上競技・体操・卓球・ソフトテニス・バスケットボール・バレーボール・サッカー・ハンドボール・バドミントン・剣道・水泳・柔道・軟式野球・ソフトボール・ラグビー） （ただし、サッカー・軟式野球・ラグビーは男女混合チームを編成できる）	4月26日～7月25日	瑞穂公園陸上競技場、市内各体育館、市内中学校他 男子 8,580人 女子 6,011人
名古屋市立高等学校体育大会 18種目	7月26日～9月23日	瑞穂公園陸上競技場他 3,024人
名古屋市中学校駅伝競走	10月26日	庄内緑地公園陸上競技場・サイクリングコース 男子 408人（48校） 女子 326人（45校）

6 名古屋市小中学校体育連盟

昭和22年4月に、学校体育の振興を図ることを目的として発足した。現在18部の運動部（陸上競技・水泳・軟式野球・ソフトボール・バスケットボール・バレーボール・ハンドボール・サッカー・ラグビー・ソフトテニス・卓球・体操・ダンス・すもう・柔道・剣道・登山ハイキング・バドミントン）を有し、主として、学校体育（特に教科外体育）の振興に寄与する行事を各部ごとに開催している。

平成25年度には主な事業として、小学校指導会（10種目）、各運動部講習会（11種目）を開催した。

7 名古屋市学校体育センター

(1) 学校体育センターの概要

学校体育センターは、学校建設予定地の有効活用を図り、学校教育にかかる体育大会及び練習などに利用するための施設として、設置されている。

なお、学校教育の諸活動を妨げない限度において、市民のスポーツ及びレクリエーションその他社会教育活動のために利用することができる。

施 設 名	開所年月日	施 設 概 要	所 在 地
平田学校体育センター	平成 5 年 4 月 10 日	体育館・運動場・会議室 敷地面積 10,038.55㎡	西区山木二丁目167番地
天白学校体育センター	平成 5 年 4 月 10 日	体育館・運動場・会議室 敷地面積 13,601.49㎡	天白区菅田一丁目501番地
中川学校体育センター	平成 7 年 4 月 26 日	体育館・運動場・会議室 敷地面積 15,057.34㎡	中川区下之一色町字松蔭 一丁目45番地の 1

(2) 利用状況

平成25年度における利用状況は、次のとおりである。

センター名	体 育 館		運 動 場		会 議 室	
	件	人	件	人	件	人
平田学校体育センター	1,108	46,770	259	26,317	458	8,274
天白学校体育センター	1,190	45,169	319	28,767	325	5,981
中川学校体育センター	1,337	62,806	298	36,990	415	8,212

第6部 生涯学習・社会教育

第1章 生涯学習の推進

1 生涯学習社会を目指して

平成18年12月に教育基本法が改正され、第3条に生涯学習の理念として、「その生涯にわたって、あらゆる機会に、あらゆる場所において学習することができ、その成果を適切に生かすことのできる社会の実現が図られなければならない。」との条文が新設された。

変動する現代社会で生活する人々が、自己の人格を磨き、豊かな人生を送るために、生涯を通して自ら学ぶ活動として「生涯学習」がますます重要になってきている。

また、同法の社会教育に関する条文においても、「個人の要望や社会の要請にこたえ、社会において行われる教育は、国及び地方公共団体によって奨励されなければならない。」とする改正が加えられた。生涯学習を推進する中核的な役割を担う社会教育行政においては、個人的な興味・関心はもとより、社会共通の課題を解決するための学習の機会及び情報の提供など適切な方法で社会教育の振興に努め、生涯学習社会の構築を目指すことが求められている。

2 生涯学習が必要とされる社会的背景

(1) 社会の変化に対応するための学習の必要性

少子高齢化、科学技術の進展、情報化、国際化や環境問題などの社会の急激な変化によって生じたさまざまな課題に主体的に対応していくためには、学校教育で得た知識・技術だけでなく、絶えず新しく生みだされる知識・教養・技術を生涯にわたって学習する必要性が生じてきている。

(2) 社会の成熟化に伴う学習ニーズの拡大

人々のライフスタイルが大きく変化し、余暇時間の増大、生活水準や教育水準の向上などを背景として、物の豊かさから心の豊かさが求められるようになってきている。そして、価値観が多様化し、生涯を通じての生きがいや自己実現などのために、学習活動への意欲や関心が高まっているとともに、その目的や内容も多様かつ高度なものとなっている。

(3) 生涯学習による市民の交流と地域活動の発展

市民一人ひとりが生涯にわたって学習することは、多くの人との交流や協調を通して、学習を基盤とした多様な活動が展開され、主体的に社会参加しようとする意欲の醸成につながるものであり、地域社会の活性化やまちづくりを進める上で有意義である。

3 基本方針

市民の学習は、学校や社会教育施設などの教育機関だけでなく、地域や社会の生活において、多様な学習機会を選択することにより、あるいは市民生活のなかで様々な形で行われている。こうした学習をきめ細かく支援していくためには、生涯学習に関連する諸機関の連携を図り、市民の学習環境を総合的に整備していくことが必要である。

本市では、こうした認識にたつて、市民一人一人の高度化・多様化する学習意欲に対応するため、次の基本方針のもとに、各種の取り組みを進めていく。

- (1) いつでも自由に学ぶことができ、その成果を生かして活躍できるような社会の構築をめざして、高等教育機関、民間教育事業者などとの役割分担と連携のもと、市民の多様なニーズに対応した学習機会の提供や活躍の場の充実につとめる。
- (2) 誰もが本に親しみ、必要な資料を入手できる環境づくりをすすめるとともに、情報化に対応した図書館サービスの提供につとめる。
- (3) 子どもから高齢者まで、各年代層において、気軽にスポーツに親しむことができるよう、多彩な事業の発展をはかるとともに、身近な活動の場の確保や地域に根ざしたさまざまな活動の支援をすすめる。

4 平成25年度重点事業

トワイライトスクールの実施

「親学」の展開

あい・あい・あいさつ活動の推進

ファミリーデーなごや

子どもの読書活動の推進

女性の学習活動の支援

生涯学習推進センター・生涯学習センター等の事業の充実

なごや子ども体験活動情報「わくわくキッズナビ」事業の実施

「家庭の日」の普及促進

プラザ事業への参加・参画事業の実施

青少年の自主活動推進事業の実施

青少年育成サポーターの養成事業の実施

文化財保護事業補助の実施

歴史的町並み保存事業の推進

遺跡発掘調査の実施

文化財保護・啓発事業の実施

「歴史の里」の整備

市民スポーツ祭の開催

マラソンフェスティバル ナゴヤ・愛知の開催

なごやかウォークの開催

スポーティブ・ライフ月間関連イベントの実施

子どもスポーツフェスタの開催

国際スポーツ交流の推進

部活動の振興

地域ジュニアスポーツクラブの育成支援

スポーツ教室の充実

博物館・美術館・科学館の特別展、企画展等の開催

第2章 成人教育

1 成人教育の概況

本市の成人教育は、生涯学習の観点から、市民一般を対象とした学習機会提供、親を対象とした家庭教育の振興、PTAを対象とした組織的活動の助成の3つを主な柱として推進している。なお、市民一般を対象とした学習機会提供としては、市民の多様化する学習要求にこたえるため、生涯学習推進センター、生涯学習センターなど社会教育施設を中心に、現代的課題、なごや学、親学・青少年育成などの講座を地域の実情に合わせて開設した。

(1) 家庭教育事業

ア 家庭教育セミナー

本市社会教育の重点施策のひとつとして、昭和55年度から全市立小・中学校PTAに、それに加え平成6年度からは全市立幼稚園PTA及び特別支援学校父母の会にも委託し、家庭教育セミナーを開設してきた。

	趣 旨	運 営 形 態	参加者
家庭教育セミナー	子どもの健全な成長を図るため、家庭教育に関する諸問題や親のあり方などについて学習を深めることにより、家庭や親のあるべき姿・親の役割やしつけのあり方（親学）などについて認識を深め、よりよい家庭を築こうとする意欲を高める。	- 市立幼稚園・小・中学校PTA、特別支援学校父母の会の計398団体に開設委託、年1回以上実施 「親学」を参考資料に、全体会で基調提案、分散会で討議	延べ 20,132人

イ パンフレット「親学」の発行

子どもにとって親はどうあるべきかを考え、子どもとともに親として成長する楽しさなどについて学ぶ「親学」の普及・推進のため、パンフレット「親学」を発行し、幼稚園・保育園・小・中・特別支援学校の保護者を対象として配布した。

ウ 幼児期家庭教育支援事業

(ア) 「幼稚園の子どもたち」の発行

乳幼児期の教育がその人の生涯にわたっての人間形成に資する面がきわめて大きいにもかかわらず、これらの養育者に対する家庭教育についての学習機会は必ずしも十分とはいえない。そこで、昭和46年度から家庭教育資料を発行し、その役割の一端を果してきた。

「親学」を柱に親としてのあり方を考える素材を提供することを編集方針とし、幼稚園の保護者を対象として年間3回配布した。

(イ) 家庭教育相談事業

全市立幼稚園で、専門家による子育て相談を実施した。

エ 地域ふれあい実践講座

家庭の教育機能を充実させるため、系統的に学習する場として昭和39年度から、家庭教育学級を開設してきたが、平成16年度より、事業名を「地域ふれあい実践講座」に改称し、親や地域の大人が子どもとの関わりをもつための実践的な活動手法について学習する機会を提供している。

平成25年度地域ふれあい実践講座一覧

区 分	実 施 機 関	受講者（人）
地域ふれあい実践講座	内山小、矢田小、宮前小、上名古屋小、豊臣小、新栄小、鶴舞小、津賀田中、白鳥小、露橋小、当知小、豊田小、苗代小、長根台小、牧の原小、平針南小	448

オ 「家庭の日」普及促進

昭和41年以来、親子のふれあいのある、明るい家庭づくりを促進するため、毎月第3日曜日を「家庭の日」と定めており、各種啓発資料や広報誌等により関係機関や団体、市民への普及啓発に努めた。また、「家庭の日」のポスター・作文の募集を行った。

カ ファミリーデーなごや

家庭の大切さや家庭の素晴らしさについて改めて考えるイベント「ファミリーデーなごや」を、市立幼稚園・小中学校PTA協議会などの協力により1月11日に日本ガイシホールで開催した。参加者は約2万5千人。

キ e-ねっと*なごや

いつでも、どこでも学習できるように、平成16年度からインターネットを活用した講座を開設し、「現代的課題」「なごや学」「親学」に関する内容のコンテンツを動画とテキストで配信している。（平成26年3月末現在56講座）

ク 「おやじの会」の促進

父親や地域の男性に親学の普及・啓発をめざすとともに、家庭教育や地域活動への参加を促すため、「おやじの会事例集」を作成し、活動事例を紹介することによって「おやじの会」「おやじクラブ」の結成や活動の促進を図った。

ケ 親学推進協力企業制度

企業(団体)に親学推進協力企業(団体)として登録してもらい、登録企業(団体)に、保護者である従業員が「親学」にふれる機会を提供してもらうことで「親学」の推進を図った。平成19年度から登録を開始し、平成26年3月末現在で172の企業(団体)が登録している。

コ あいさつ活動の推進

あいさつの大切さを再確認するとともに、PTA、学校、地域と連携し、朝のあいさつ活動をきっかけとして、地域の大人と子どものつながりを深めるため、「あい・あい・あいさつ

活動」を推進した。

(2) P T A 活動

父母と教師の協力によって、子どもの健全な成長を図り、また、自らも学習する団体である P T A を対象に指導者研修事業を始め、成人教育活動、非行防止活動等の諸活動への助成を行った。

ア P T A の団体数・会員数

(平成25年5月1日現在)

種 別	団体数 (団体)	P T A 会 員 数			
		保護者 (人)	教師 (人)	その他 (人)	計 (人)
小 学 校	263	86,258	6,103	1,008	93,369
中 学 校	108	48,608	3,218	152	51,978
高 等 学 校	15	12,523	864	22	13,409
幼 稚 園	23	1,972	170	6	2,148
計	409	149,361	10,355	1,188	160,904

イ P T A 指導者研修

(ア) 幼稚園 P T A 指導者研究集会

a 全 体 会

日 程 9月17日

会 場 女性会館

講演テーマ 子育て応援コンサート—ママに捧げるハートの休息—

講 師 歌手・俳優 “ことばのまなびや” 主宰 白樺八青氏

b 分 科 会

日 程 11月19日

会 場 教育館

研究テーマ 第1分科会 「つながりやふれあいを広げる P T A 活動はどうあればよいか」

第2分科会 「幼児が心身ともに豊かに育つための P T A 活動はどうあればよいか」

(イ) 小中学校 P T A 指導者研究集会 (市 P T A 65 周年記念講演会)

a 市 集 会

日 程 6月5日

会 場 市公会堂

講演テーマ 次の世代へのメッセージ 親として伝えたい大切なもの

講 師 弁護士 住田裕子氏

b 区 集 会

区	会 場	月 日	区	会 場	月 日
千種	ルブラ王山	6. 26	熱田	熱田区役所等複合施設	6. 28
東	ウィルあいち	7. 3	中川	富田北地域センター	6. 11
北	北生涯学習センター	6. 27	港	港区役所他	6. 25
西	西区役所	7. 3	南	南生涯学習センター他	6. 25
中村	中村生涯学習センター	6. 21	守山	守山生涯学習センター	7. 5
中	青少年文化センター	7. 3	緑	緑信用農業組合	7. 3
昭和	昭和生涯学習センター	7. 9	名東	名東文化小劇場	7. 3
瑞穂	瑞穂陸上競技場	7. 3	天白	天白生涯学習センター	6. 28

(ウ) 高等学校 P T A 指導者研究集会

a 全 体 会

日 程 10月29日

会 場 中央高等学校

講演テーマ 「元気、活気、勇気を与えるコミュニケーション術」

講 師 日本ペップトーク普及協会会長 岩崎由純氏

b 分 科 会

日 程 11月19日

会 場 教育館

研究テーマ 第1分科会 「みんなでつくる P T A 活動～できるところから～」

第2分科会 「みんな大好き市工芸

～がんばる子どもと楽しい P T A 活動～」

(エ) 幼・小・中・高 P T A 指導者研究大会 (P T A 活動研究大会)

日 程 2月4日

会 場 市公会堂

講演テーマ 「大切にしたいわたし あなた

～セルフディフェンスで心を守る 命を守る～」

講 師 セルフディフェンスコミュニケーション開発代表理事 青嶋宮央氏

ウ P T A パトロール活動

心身ともにたくましい青少年の育成を願って、市立小中学校 P T A 協議会との共催により、

P T A全市一斉パトロールを実施し、児童生徒にとって有害な環境をなくすように努めるとともに、非行防止活動を積極的に展開した。

実施期間・参加人員	夏	7月11日～31日	11,522人
	冬	12月2日～16日	10,583人
	春	3月3日～17日	9,792人

2 女 性 教 育

(1) 女性教育の概況

社会変化により、女性のライフスタイルや家庭生活も大きく変わってきている。また、男女共同参画社会の実現をめざし、家庭・地域・職場などで女性が男性とパートナーシップを図り、個性と能力を発揮し活躍することが今後ますます期待されている。

こうした中で女性の能力の向上を図るとともに、男女平等意識のかん養や女性のエンパワーメント（主体的な力をつけること）をめざすことが大切になってくる。

本市の女性教育は、こうした状況を踏まえて、学習活動を側面から支援し、学習機会や内容の充実を図るとともに、団体・グループの育成、指導者の養成・資質を高めることを主眼として、すすめている。

(2) 主な事業

ア 学習活動の推進と支援

名 称	目 的 等	開設数	参加者 (延べ)
女 性 セ ミ ナ ー	女性がもつ身近な生活課題、地域課題をテーマに自主的、継続的に学習することを目的に開設。セミナー終了後も引き続き学習する例が多く、女性の身近な学習機会の場として定着している。	16	人 2,056
女 性 学 習 活動研究委託	女性団体や学習グループの自発的な学習を促すとともに、学習の定着化を図る。研究結果を女性教育推進の参考にするため、公募による委託を実施している。	委託団体・ グループ数 30	3,788

イ 指導者研修

名 称	対 象	回 数	参加者 (延べ)
女 性 学 習 団 体 リ ー ダ ー 研 修	学習活動研究委託団体、グループのリーダー他	回 2	人 310
女性団体指導者研修	女性団体・グループのリーダー	4	140
女 性 国 内 研 修	女性団体・グループのリーダー	6	24

ウ 女性団体等への支援

市内の女性団体には、地域を基盤として結成されたものと、学習内容別に結成されたものがある。そのうち、全市的規模をもち、協議会組織で活発に学習活動を展開している団体の活動に対し、事業補助、事業共催、求めに応じた指導・助言を行っている。

一方、その他の女性団体が行う学習活動に対しても、後援や助言などを行い、団体の育成に努めている。

3 視聴覚教育

本市では、生涯学習の一環として市民文化の向上や個性に応じた学習を支援するため視聴覚機器・教材の整備・充実に努めている。また、16ミリ映画教材等の視聴覚教材の収集・提供、視聴覚教育研修等の事業を積極的に行うことにより、視聴覚教育の普及・啓発を図るとともに、指導者の育成を計画的に実施している。

＜視聴覚ライブラリー＞

(1) 概 要

視聴覚ライブラリーは、昭和56年7月、それまで別個に管理されていた社会教育・学校教育の16ミリ映画教材の収集・提供、視聴覚教育研修などの事業を統合し、それらを総合的に行う施設として視聴覚教育センターを開所した。その後、社会教育・学校教育の両面を対象に、視聴覚教材の収集・提供を始め視聴覚教育に関する各種の研修、教材の作成等に取り組んできたが、平成16年4月、教育センターに統合、教育センター情報教育部視聴覚ライブラリーとなる。

(2) 16ミリ映画教材・ビデオ教材・DVD教材の整備状況（平成26年3月31日現在）

【16ミリ映画教材保有本数（タイトル数）】

4,330本 内訳：社会教育用1,591本 学校教育用2,739本 （3,537タイトル）

【ビデオ教材保有本数（タイトル数）】

2,441本（1,815タイトル）

【DVD教材保有本数（タイトル数）】

393本（355タイトル） 平成15年より利用開始

(3) 16ミリ映画教材・ビデオ教材・DVD教材の利用状況（平成25年度）

【16ミリ映画教材利用本数】	72本	内訳：社会教育での利用	72本
		学校教育での利用	0本

【ビデオ教材利用本数】	194本	内訳：社会教育での利用	34本
		学校教育での利用	160本

【DVD教材利用本数】	183本	内訳：社会教育での利用	118本
		学校教育での利用	65本

〈利用の多い作品〉

16ミリ映画教材		ビデオ教材		DVD教材	
分野	作品名	分野	作品名	分野	作品名
物語児童文学	ディズニーの みにくいあひるの子	交通安全	ちびまる子ちゃんの こんな乗りかた あぶないよ	情報	ネットいじめに 向き合うために
物語児童文学	小じかの太郎ちゃん	人権	よーいどん	防災	地震防災待ったなし！ ～今、この備えが あなたを守る～
物語児童文学	ミッキーマウスと ブルート	人権	とべないホテル	防犯	はっきりことわろう ～誘惑されないぞ～
物語児童文学	三ねん寝太郎	防災	しまじろうの消防隊	人権	楽しいムーミン一家 ～ムーミン谷の春～
物語児童文学	よっちゃんの 不思議なクレヨン	防犯	自分で自分を守る	人権	勇気あるホテルと とべないホテル

（４）研修会等（平成25年度）

16ミリ映写機等操作技術講座を開催し、41人が受講した。

研修会名	実施回数	受講者数	
		社会教育（人）	学校教育（人）
16ミリ映写機等操作技術講座	延べ2回	30	11

第3章 青少年教育

1 青少年教育の概況

激しく変化する現代社会において、今日の青少年の状況を見ると、情報化社会がより高度に発達していく中、携帯電話やインターネットの普及により、様々な情報ツールを活用する力を身につけている一方、人間関係の希薄化による社会性・主体性の欠如、直接体験の不足など、様々な課題も指摘されている。

こうした現状の認識の上に、青少年が直面する課題の克服をめざすとともに、青少年がもつ明るい可能性を伸ばしていくことが大切である。

生きる活力にあふれ、たくましく、心豊かな青少年を育成するため、青少年がボランティアや自然体験などの様々な体験活動や自主的な成果発表、交流活動等に取り組むことを通して、自らの成長や自己啓発に努め、地域や社会に貢献できるよう条件整備をし、青少年の活動を支援することに努めている。

2 青少年の教育

(1) 青少年の社会参加活動支援

青少年の社会参加活動の促進や青少年を指導者として養成することを目標に、次の事業を実施した。

ア 社会参加活動

事業名	期日・会場	対象	事業内容
プラザ事業への参加・参画事業	25年4月～26年3月 青少年交流プラザ等	15～34歳の青少年	地域と連携したプラザ事業の企画・運営を通して、青少年が主体的に地域やまちの活動に参加・参画することができるように促す。
地域活動への参加・参画事業	25年4月～26年3月 児童館、商店街、生涯学習センター等	15～34歳の青少年	地域や他団体からの要請により、青少年が地域へ出かけ、成果発表や子どもの体験活動、世代間交流活動について、主体的に活動することを通して、社会参加・参画を促す。

イ 青少年ボランティアの養成

事業名	期日・会場	対象	事業内容
青少年育成サポーターの養成	25年4月～26年3月 青少年交流プラザ等	15～34歳の青少年	子どもの体験活動支援、まちづくりにかかわる活動支援などのボランティアを養成する。

(2) 青少年の主体的な成果発表・交流活動支援

青少年がこれまでの活動の成果発表や子どもの体験活動等、地域において主体的に活動することを通して幅広い世代間交流を促進するため、次の事業を実施した。

事業名	期日・会場	対象	事業内容
青少年の自主活動推進事業	25年4月～26年3月 青少年交流プラザ等	15～34歳の青少年	青少年による体験、交流、成果発表の場を提供し、主体的な活動を促す。これらの企画、準備、広報、参加者募集、振り返りなどを自らの手で行い、その過程を通して青少年自身の成長を図る。

(3) 青少年の体験活動支援

自然体験活動や創作体験活動など青少年の体験活動を促進するため、次の事業を実施した。

＜青少年宿泊センター等を活用した自然・宿泊等の体験事業＞

事業名	期日・会場	対象	事業内容
「青少年の自主活動推進事業」の一部において実施（再掲）	25年4月～26年3月 青少年宿泊センター等	6～34歳の青少年	自然、宿泊、ボランティア、創作等の体験活動の場の提供により、主体性や豊かな心を育む。

くなごや子ども体験活動情報「わくわくキッズナビ」事業＞

子どもたちの学校外でのさまざまな体験活動に関するイベントや施設等の情報提供をするホームページを開設し、情報誌を発行した。

事業名	内 容
ホームページ運用 (パソコン版)	子どもの体験活動に関するイベントや施設の検索機能を備えた「イベント・施設情報」や市民の感想などを掲載する「行ってみました」等のコーナーから構成。
情報誌発行（7月）	学校の長期休業前に体験活動のイベント情報を情報誌にて提供。市内の小中学生のいる各世帯に配布。

（４）障害者青年学級

青少年の自主的な学習・活動と交流を支援し、健全な青少年を育成することを目的とし、障害者青年学級に対する支援を行った。

事項名	期日・会場	対 象	事業内容
障害者 青年学級	25年6月～26年2月 生涯学習センター他	15～34歳の障害者 青年・ボランティア 25人以上の団体	障害者青年の生きがいを つくりや生きる力の育成等 を目指した学級活動を支援 する。

第4章 文化財の保護

1 概 要

われわれの歴史、文化、生活の変遷を知るうえで文化財は、市民全体にとって公共的な意義を持つかけがえのない財産であり、将来に向かって保存し、活用し、伝承していく必要がある。

しかし、文化財の中には、開発事業や生活様式の変化等による地域社会の変ぼうや後継者難などから失われ、忘れ去られていくものもある。

そのため、本市では名古屋市文化財保護条例（昭和47年名古屋市条例第4号）を制定し、市指定文化財として指定し、指定文化財に対する保存事業への助成をするなど文化財の保護と活用を図っている。

また、新たに文化財を発掘したり、記録するための調査を行っている。その他、市内遺跡の発掘調査、文化財保護意識の高揚、史跡の整備管理等の事業を実施している。

市内所在指定等文化財数

（平成26年3月31日現在）

種別 区分	有形文化財							無形 文化 財	有形 民俗 文化 財	無形 民俗 文化 財	史跡	名勝	天然 記念 物	計
	絵画	彫刻	工芸	書跡	建造 物	考古 資料	歴史 資料							
国 指 定	16	5	41	52	9	1	—	—	—	—	6	1	1	132
県 指 定	17	9	40	18	12	6	4	—	—	2	—	—	—	108
市 指 定	11	5	9	—	27	3	4	2	18	31	6	1	4	121
国 登 録	—	—	—	—	77	—	—	—	—	—	—	1	—	78

2 文化財の保護

（1）文化財保護事業補助

指定文化財等の保存を図るため、福祿寿車山車（中区栄）の修理や、戸田まつり（中川区戸田）の後継者育成等33件の事業に対して補助金を交付した。

（2）文化財保護事業等

文化財に関する出版物を刊行するとともに、文化財保護意識の高揚や史跡の整備等を図った。その主なものは、次のとおりである。

ア 出版物の刊行

名古屋市文化財調査報告87「埋蔵文化財調査報告書70 志段味古墳群Ⅱ」

名古屋市文化財調査報告88「埋蔵文化財調査報告書71 桜本町遺跡（第4次）味鉢B遺跡（第2次）東二葉町遺跡（第4次）」

名古屋市文化財調査報告89「埋蔵文化財調査報告書72 NN105号窯」

文化財叢書97号「中御座之間北御庭惣絵考」

「歴史の里」基本計画本編

イ 保護意識の高揚

(ア) わくわく文化財普及事業の実施

図書館と協働し、土器の展示や古代の歴史に関する講演を行い、地域の古墳や史跡に関する図書の紹介を行うイベントを実施した。

(イ) 史跡名勝標札の管理

史跡名勝等の所在地300ヶ所に設置してある標札の一部塗り替えを行った。

(ウ) 文化財の管理

教育委員会所管の史跡の除草、清掃を行った。また、文化財パトロール員（16名）による市内の文化財の監視等を行った。

(3) 市内遺跡の発掘調査

周知の埋蔵文化財包蔵地における開発行為などに先立って、埋蔵文化財の記録保存をするために、桜本町遺跡始め7遺跡で延べ743㎡、7件の発掘調査を行った。また、埋蔵文化財包蔵地での開発計画等に対して、埋蔵文化財の保護を検討するための試掘調査を西志賀遺跡(北区)始め31件実施した。

(4) 史跡散策路の活用

地域における文化財の活用と保護意識の普及を図り、あわせてゆとりとうるおいのあるまちづくりに資するため設定された散策路（市内16区80コース）の利用者に便宜を図るため、説明板等の設置修繕を行った。

3 「歴史の里」の整備

(1) 平成25年度の主な実績

「歴史の里」の整備に向けて、施設規模や内容を定める「歴史の里」基本計画を策定するとともに、名古屋市土地開発公社から先行取得地の買い戻しを行った。また、現地を活用した古墳見学や体験事業のほか、市街地や中部国際空港など各所で普及啓発イベントを実施した。

「歴史の里」の整備にともない、平成23・24年度に実施した志段味古墳群発掘調査の成果をまとめた報告書を刊行した。

(2) 平成26年度の主な取り組み予定

志段味古墳群に所在する尾張戸神社古墳、中社古墳、南社古墳、東谷山白鳥古墳、志段味大塚古墳及び勝手塚古墳の6古墳の国の史跡指定を目指す。また、「歴史の里」基本計画の考え方に基づき、史跡を適切に保存し次世代へと確実に伝達していくための保存管理計画を策定し、古墳や緑地整備の実施設計を行うとともに、単なる歴史公園にとどまらず、国内外から観光客が訪れる歴史資産を活用した名古屋の新たな一大観光拠点としていくために必要な施設のあり方、整備についての調査を行う。

第5章 市民スポーツ

1 市民スポーツの概況

スポーツ及びレクリエーション事業を通じて、市民の心身の健全な発達と明るく豊かな市民生活の実現を図るために、各区まちづくり推進室、公益財団法人名古屋市教育スポーツ協会、名古屋市レクリエーション協会と連携して、各種スポーツ・レクリエーション大会、講習会、研修会等を開催し、その普及奨励に努めている。なお、平成6年11月から電話やインターネットで施設の空き情報や、予約の抽選申込みができる「スポーツ・レクリエーション情報システム」を運用し、市民サービスの向上と生涯スポーツ活動の推進を図っている。

(1) スポーツ功労者顕彰

昭和56年度より本市のスポーツ振興を図ることを目的に、特にスポーツ振興に功績のあった者に対しスポーツ功労賞を、また、スポーツ競技大会において優秀な成績をあげ、かつ、将来の活躍が期待される者に対してスポーツ奨励賞を、それぞれ市長が授与し表彰している。

平成25年度は、スポーツ功労賞として浅田真央、鈴木明子（フィギュアスケート）、加藤常文（名古屋市教育スポーツ協会副理事長）、スポーツ奨励賞として個人38名、団体12チームを表彰した。

(2) 市民スポーツ祭

スポーツの日常化を図るため、毎年8月を中心に実施しており、平成25年度は6部門（区対抗、一般、高校、中学生、小学生、マスターズ）38種目にわたり開催した。3万人以上の市民が、スポーツを通じて交歓しており、スポーツの普及・振興に大きな役割を果たしている。

(3) 市民体力づくり推進事業

ア スポーツ普及事業

本市制定の女性レクリエーションバレーボール大会・レクリエーションインディアカ大会を開催し、普及に努めた。

イ 「スポーティブ・ライフ月間」における大会イベントの実施

10月の「体育の日」を中心とする秋季（10月～11月）をスポーティブ・ライフ月間とし、プレ・イベント「はじめよう！スポーティブ・ライフinオアシス21」を皮切りに、親子ラジオ体操in鶴舞を始めとした多彩なスポーツ・レクリエーション事業を行うとともに、エンディング・イベント「はじめよう！つづけよう！スポーティブ・ライフin瑞穂」を実施するなど、市民へのスポーツ普及に努めた。

ウ 「マラソンフェスティバル ナゴヤ・愛知」の開催

名古屋シティマラソンと名古屋ウィメンズマラソン、名古屋ウィメンズホイールチェアマラソンを同時開催する3万人規模の大会。開催種目として、女子フルマラソンと男女ハーフマラソン、男女クオーターマラソン、チャレンジランを行った。

エ 「なごやかウォーク」

健康づくりや家庭・地域での交流を深めるため、市内16区でウォーキングイベントを開催し、ウォーキングの推奨に努めた。

オ 「子どもスポーツフェスタ」の開催

子どもが誰でも気軽に参加できるスポーツイベントとして、9月7日と1月18日に「子どもスポーツフェスタ夏・冬」を開催し、子どもへのスポーツ普及に努めた。

(4) 部活動の振興

ア 部活動外部指導者派遣事業

民間指導者の活用により部活動の充実を図るため、小・中・高等学校へ専門的な技術指導を補助する部活動外部指導者を派遣した。さらに、部活動外部指導者の資質向上のための研修会を開催した。

イ 部活動顧問派遣事業

部活動顧問がいなかったため、部活動を継続できなかつたり創部できない中学校へ学校の指導方針、指導計画のもとに部活動全般を担う民間指導者を顧問として派遣した。さらに、部活動顧問の資質向上のための研修会を開催した。

ウ 指導者養成講習会

部活動指導者層の拡大と資質向上のため、小・中・高等学校教員を対象に部活動指導者養成講習会を開催した。

エ 補助金

東海大会・全国大会等に出場する中・高等学校生徒の参加費の補助を行った。

オ 各種大会の開催

小学校ブロック指導会、中学校総合体育大会、高等学校体育大会等を開催したほか、公益財団法人日本陸上競技連盟、公益財団法人日本中学校体育連盟、愛知県教育委員会とともに第40回全日本中学校陸上競技選手権大会を開催した。

カ わいわいスポーツアカデミー・ワクワクアカデミー

トップアスリート・プロの演奏家・指導者による専門的技術指導教室を開催したり、トップレベルのスポーツ観戦招待を行ったりした。

キ 学校体育センター

小・中学校における各種体育大会、交流試合練習などに活用できる施設として、3施設を設置しており、管理運営を「公益財団法人名古屋市教育スポーツ協会」へ委託した。

(5) 地域ジュニアスポーツクラブ育成事業

地域における子どもたちのスポーツ活動の充実を図るため、地域ジュニアスポーツクラブの設立・育成を支援した。

(6) 競技力向上事業

市内の優秀な選手や素質のある選手を早期発掘するとともに、年齢・競技種目に応じて計画

的、継続的に適切な指導を行い、国際的選手の育成を図り、さらに、審判員資格取得又は上級審判員資格取得のための研修会を実施し、審判員等の育成を図った。

ア ジュニア競技力向上事業	34競技	4,065人参加
イ 審判員・指導者養成事業	17競技	637人参加

(7) スポーツ推進委員

昭和36年に制定されたスポーツ振興法（平成23年8月24日にスポーツ基本法に改正）に基づき、スポーツ活動を奨励するため、本市においてもスポーツ推進委員を配置（定数1学区3人、全市で798人）し、各区まちづくり推進室と協力して、市民生活に直結したスポーツ・レクリエーション活動を展開するとともに、全市的なスポーツイベントに参画した。

(8) 公益財団法人名古屋市教育スポーツ協会

昭和58年10月、財団法人名古屋市スポーツ振興事業団として発足し、アマチュアスポーツ及びスポーツ・レクリエーションの普及促進並びに教育の振興に資する事業を行うことを目的として、①体育施設等を活用して、アマチュアスポーツを振興し、市民に生涯にわたって実践できる様々なスポーツ・レクリエーション活動等に親しむことができる場と機会を提供する事業②学校施設、野外教育施設等を活用して、児童生徒等に学習の場と機会を提供する事業③児童の食育を推進し、衛生的で安心・安全な給食事業等を実施することで、健全な心身の発展と豊かな食生活を実現する事業—などを行っている。

事務局 名古屋市南区東又兵衛町5-1-16（スポーツ振興会館内）

理事長 柴田達男

副理事長 吉田健一、加藤常文、下田一幸

（平成26年7月1日現在）

(9) 名古屋市レクリエーション協会

健全で明るい市民生活を営むため、レクリエーション活動の普及推進のために、教育委員会と連携して各種レクリエーション行事を開催し、市民の健康増進に努めた。

事務局 名古屋市中区三の丸三丁目1-1（市教委スポーツ振興課内）

会長 小林義雄

副会長 寺田邦昭

理事長 津坂昌樹

（平成26年7月1日現在）

2 活動状況（平成25年度主要事業実績）

月	日	事業名	会場
4	14・21・28 4月～3月	第83回レクリエーションインディアカ大会 競技力向上事業	稲永スポーツセンター 千種スポーツセンター 各会場
5	9～6/4 14 19	第48回春の女性レクリエーション バレーボール大会 第28回名古屋市ゲートボール大会 2013ふるさとふれあいウォーキング歩かまい稲武	日本ガイシスポーツプラザ 稲永スポーツセンター 千種スポーツセンター 庄内緑地ゲートボール場 豊田市稲武地区
7	13	第20回グラウンド・ゴルフ大会	瑞穂公園北陸上競技場、瑞穂公園レクリエーション広場
8	17～25 19～22	第55回市民スポーツ祭 第40回全日本中学校陸上競技選手権大会	各競技場 瑞穂公園陸上競技場他
9	12～10/8 7 23 27～29	第48回秋の女性レクリエーション バレーボール大会 子どもスポーツフェスタ・夏 スポーティブ・ライフ月間 プレ・イベント レインボーカップマスターズスイミング in NAGOYA 2013	日本ガイシスポーツプラザ 稲永スポーツセンター 東スポーツセンター 日本ガイシアリーナ オアシス21 日本ガイシアリーナ
10	5～11/24 14 20・27・11/3	スポーティブ・ライフ月間 親子ラジオ体操in鶴舞 東山一万歩ウォーキング 第84回レクリエーションインディアカ大会	鶴舞公園他 鶴舞公園 東山一万歩コース 稲永スポーツセンター 千種スポーツセンター
11	1 24	スポーツ推進審議会 スポーティブ・ライフ月間 エンディング・イベント	正庁 瑞穂運動場
1	18	子どもスポーツフェスタ・冬	日本ガイシスポーツプラザ 東スポーツセンター 天白スポーツセンター 中スポーツセンター
2	16 18 21	第55回市民スポーツ祭スキー競技大会 スポーツ推進審議会 ソチオリンピック女子フィギュアスケート パブリックビューイング	ほおのき平スキー場 教育委員会室 日本ガイシアリーナ

月	日	事業名	会場
3	7～9 24	マラソンフェスティバル ナゴヤ・愛知2014 スポーツ功労者表彰	ナゴヤドーム他 名古屋市公館

第6章 社会教育施設

1 社会教育施設の概況

本市の社会教育施設は、学習、集会等の多目的施設として、生涯学習推進センター、生涯学習センター、女性会館がある。専門施設としては、図書館、博物館、スポーツ施設等がある。

図書館は、中区を除く各区と全支所管内に設置されている。

博物館施設としては、博物館、見晴台考古資料館、美術館及び科学館がある。

スポーツ施設としては、総合施設としての瑞穂運動場、平成19年度からネーミングライツ（命名権）を導入した日本ガイシスポーツプラザを始めスポーツセンター、プール、庭球場、スポーツトレーニングセンター、志段味スポーツランドがあり、合理的な管理運営と利用の促進を図るため、指定管理者制度を導入している。

このほか、学校施設を、学校教育に支障のない範囲で市民の学習、スポーツ、レクリエーションの場として開放する学校施設開放を行っている。

2 図 書 館

（1）平成25年度活動のあらまし

平成25年度名古屋市図書館全体で貸出した資料は、個人が3,293,759人の11,905,334点、団体が9,562団体の70,757点で合計11,976,091点となる。これは、名古屋市民が1人5.28点ずつ借りたことになる。この貸出登録者数は、平成25年度末現在、492,757人である。蔵書数は、平成25年度全館で182,189冊受入れ、3,225,783冊となった。図書以外では、新聞、雑誌、CD、カセットテープ、ビデオテープ、ビデオディスク（DVD）、紙芝居等を所蔵している。

「名古屋市子ども読書活動推進計画」における、保健所の乳幼児健診時に絵本の紹介や読み聞かせを行う「はじめての本との出会い事業」を全区の図書館で実施した。小学生を対象として図書館の業務や行事を体験し、学校でその体験を通じて考えたことを伝える子ども図書館大使事業を全区の図書館で実施した。

「その道の達人派遣事業」として司書が小・中学校等に出向く「ブックトーク&読み聞かせ」は92校1,069クラスに対して延べ620回実施した。図書館見学や調べ学習の援助をする図書館訪問は69校、中学生の職場体験学習は48校（延べ70回）209人が体験した。

平成24年度より実施開始しているメールによるレファレンスは、平成25年度は131件受け付けた。また、名古屋に関するあらゆる疑問や質問に対応し、名古屋の歴史・情報・魅力を発信する「名古屋なんでも調査団」により、受け付けた郷土に関するレファレンスは平成25年度1,255件となっている。

平成26年1月に図書館ホームページをリニューアルし、同じく平成26年1月にスマートフォンサイトを新規開設した。図書館ホームページ及び携帯電話サイトにおいて、平成21年6月よりインターネットによる図書の貸出し予約受付サービスを実施している。平成25年度のアクセス件数（トップページ）は、図書館ホームページが6,621,842件（スマートフォンサイトを含む）、携帯電話サ

イトが260,348件となっており、予約申込みについても、図書館ホームページからが1,313,075件、携帯電話サイトからが46,820件と、合計で予約申込み総数(2,003,165件)の約67%を占めている。

また、鶴舞中央図書館所蔵の貴重資料の一部をデジタル化し、図書館ホームページから検索・閲覧できるようにした「なごやコレクション」のページを開設した。

市立小中学校の夏休み期間中(7月21日から8月31日まで)、中央館及び志段味図書館の全日開館を実施した。

また、平成25年度から守山区志段味支所管内の志段味図書館に指定管理者制度を試行導入した。

(2) 図書館一覧

館 名	鶴 舞 中 央	千 種	東
開館年月日	大正12年10月1日	昭和43年10月8日	昭和40年7月1日
沿革	大正12年10月1日市立名古屋図書館として開館。 昭和20年戦災にて焼失。昭和27年名古屋市鶴舞図書館として旧地に再建。 昭和39年4月市の中央図書館となる。 昭和59年4月新装開館。	第9番目の市立図書館として開館。	第5番目の市立図書館として開館。 平成13年10月に東スポーツセンター、東文化小劇場、市民ギャラリー矢田の入った複合施設「カルポート東」に移転、移転開館。
構造	鉄骨鉄筋コンクリート造 地下1階地上3階	鉄筋コンクリート造2階	鉄骨鉄筋コンクリート造 5階
敷地面積 延床面積	8,800.0㎡ 11,285.9㎡	1,691.2㎡ 1,106.5㎡	10,639.5㎡ 1,759.1㎡
所在地	昭和区鶴舞一丁目1番155号	千種区田代町字瓶杵 1番地の137	東区大幸南一丁目1番10号
開館時間	火～金 9時30分～20時 土 9時30分～19時 日・祝 9時30分～17時	火～土 9時30分～19時 日・祝 9時30分～17時	
休館日	月曜日（祝日の場合は直後の平日）、第3金曜日（祝日を除く）、 年末年始（12/29～1/4）等		
施設内容	主題別参考閲覧室、読み物実用書コーナー、児童室、児童図書研究室等	一般・児童コーナー、集会室、学習コーナー、展示コーナー、閉架書庫等	一般コーナー、スポーツ資料コーナー、参考コーナー、児童コーナー、集会室、学習室等
行及読書会	おはなし会 名古屋郷土文化会 読書会（つるの会、ぼちぼちいこう会） 展示会 てづくりあそび ちくちく手づくりの会 イブニングシアター ほか	おはなし会、展示会 伊吹俳句会 ちくさ文学研究会 千種英語クラブ こぐまちゃんの会 ナルニアの会、パパールの会 ちくちく手づくりの会 東山読書会、きららの会	おはなし会、人形劇 わらべうた 対面読書 ふきのとうの会 葵の会（東区婦人読書会） 対面読書ボランティアグループ 保健所読み聞かせボランティア（くれよん）
特色	市の中央館として資料を保存、提供している。 各種和漢書・絵草紙・遺墨・風俗史料・市史資料を所蔵する。 点字文庫を併設する。	南側は東山公園の緑に囲まれ新緑の頃が美しい。 玄関を入るとすぐ、展示コーナーがあり、市民の作品展示などに利用されている。	特色コーナーとして「スポーツ資料」と、東区関係の郷土資料と古地図を中心とした「わが街の伝統と新しい息吹」がある。

北	楠	西	山 田
昭和42年6月15日	平成9年7月10日	昭和40年11月1日	平成17年5月6日
第8番目の市立図書館として開館。 平成12年6月に文化小劇場と複合施設の1階に移転開館。	第17番目の市立図書館、北区楠支所管内図書館として開館。 北区役所楠支所、北消防署楠出張所、北保健所楠分室に隣接。	大正14年矢田績氏により東区武平町に設立された後本市に寄付され、その後、栄図書館となる。 昭和40年11月西区花の木二丁目に移転し西図書館と称する。 平成6年6月に文化小劇場との複合施設の1・2階に開館。	第20番目の市立図書館、西区山田支所管内図書館として開館。山田支所との合築施設の3階にある
鉄骨鉄筋コンクリート造3階	鉄筋コンクリート造2階	鉄筋コンクリート造地上2階地下3階	鉄骨鉄筋コンクリート造一部鉄骨5階（3階部分）
3,776.8㎡ 1,525.3㎡	1,163.2㎡ 799.9㎡	1,983.1㎡ 2,364.4㎡	3,576.0㎡ 818.9㎡
北区志賀町 4丁目60番地の31	北区楠二丁目974番地	西区花の木二丁目 18番23号	西区八筋町358番2号
火～土 9時30分～19時 日・祝 9時30分～17時			
月曜日（祝日の場合は直後の平日）、第3金曜日（祝日を除く）、 年末年始（12／29～1／4）等			
一般コーナー、街道と旅のコーナー、医療情報コーナー、児童コーナー、集会室等	一般閲覧室、児童閲覧室、集会室、学習室、新聞・雑誌コーナー等	一般コーナー、児童コーナー、学習室、集会室、閉架書庫等	一般コーナー、児童コーナー、集会室、学習室、閉架書庫等
おはなし会 子ども映画会など おはなしの会ボランティア（ブー、どんどこ、千成どうわの会、いろり、まほうのおなべ）、対面読書ボランティア（桜）、保健所よみきかせボランティア（おはなしポケット）、読書会（近代文学読書会）	おはなし会 子ども映画会 工作教室 テーマ展示 対面読書 おはなし会ボランティア（くすのき） 対面読書ボランティア	おはなし会 子ども映画会など としょかんくらぶ 対面読書ボランティア（プリムラ） 万年青読書会・ひよこの会 おはなし会ボランティア（グループぼんぼん、ぐるーぷころころ）	おはなし会 子ども映画会 対面読書ボランティア（オリーブ） おはなし会ボランティア（なずさんピッカ） 保健所よみきかせボランティア（ころころたまご）
稲置街道にちなみ「街道と旅のコーナー」を設置し、街道や、そこを旅した人々に関する図書を集め、閲覧に供している。また、「医療情報コーナー」を設け、より詳しい医療関連の図書資料を提供している。	日常生活に実際に役立つ図書・雑誌の収集に力を入れ、調べものや読書相談にも積極的に応えるサービスを行っている。地域団体・住民と連携した活動を行っている。	郷土のシンボルである名古屋城に関する資料を豊富に集めた名古屋城コーナーや対面読書室などを備えている。配本所（西文文庫）を運営している。	図書展示コーナーを設け、月1回程度、テーマに沿った図書の紹介を実施している。 「地域・郷土資料コーナー」をはじめ、小説・暮らし・娯楽に関する本を中心に、地域に密着したサービスを行っている。

中 村	瑞 穂	熱 田	中 川
昭和40年7月15日	昭和44年8月1日	昭和35年9月1日	昭和45年6月20日
昭和40年旧配水塔を大改修して、第6番目の市立図書館として開館。 平成3年5月中村公園の中村公園文化プラザ内1・2階に移転開館。	第10番目の市立図書館として開館。	昭和35年東邦瓦斯より寄付を受け、次いで昭和42年井上ゴム工業より冷房設備の寄付をうける。 平成13年10月、JR熱田駅前に移転開館。	第11番目の市立図書館として開館。 平成14年11月、中川文化小劇場との合築施設の1・2階に移転開館。
鉄骨鉄筋コンクリート造3階（一部4階）	鉄筋コンクリート造2階	鉄骨鉄筋コンクリート造地下2階・地上7階（北館1階部分）	鉄骨鉄筋コンクリート造4階
5,772.0㎡ 1,324.0㎡	2,021.7㎡ 1,142.4㎡	8,500.0㎡ 1,790.8㎡	3,596.1㎡ 1,529.2㎡
中村区中村町 字茶ノ木25番地	瑞穂区東栄町2丁目 1番地	熱田区神宮三丁目 1番15号	中川区吉良町 178番地の3

火～土 9時30分～19時

日・祝 9時30分～17時

月曜日（祝日の場合は直後の平日）、第3金曜日（祝日を除く）、
年末年始（12/29～1/4）等

一般閲覧室、秀吉清正コーナー、児童閲覧室、閉架書庫等	一般・児童閲覧室、集会室、学習室、新聞コーナー、閉架書庫等	一般室、児童室、熱田資料コーナー、学習室、集会室、閉架書庫等	一般コーナー、川と花と緑のコーナー、児童コーナー、学習室等
おはなし会、読書会（ぼんの会）、工作教室つくってあそぼう、科学講座、プラザ親子映画会、クイズラリー、こどもおみくじ、人形劇外国語で楽しむ絵本の会@中村図書館	おはなし会 やかまし村くらぶ ちくちく手づくりの会 ほか 読書会（よんでる会）	おはなし会、子ども映画会 おはなし会ボランティアグループ（ピッピの会、つくしの会、ピースの会、まほうのおなべ） 対面読書ボランティアグループ 保健所よみきかせボランティアグループ（びよんびよんうさぎ）	おはなし会、わらべうたの会、子どもと本の入門講座、手づくり布おもちゃ講座、工作教室、カルタ大会、長寿イキイキ音読教室 絵本の読み聞かせボランティア（こぶしの会）、対面読書ボランティア（葉ぼたん）、保健所読み聞かせボランティア
緑豊かな中村公園の一角にあり、文化小劇場・秀吉清正記念館を併設した複合施設。 秀吉・清正コーナーを備えている。	市内有数の文教地域の中にある。 ボランティアルームが設けられているなど市民活動も活発で、児童関係行事などが盛んに行なわれている。	区役所、保健所、文化小劇場、在宅サービスセンターとの複合施設の北館1階にある。 誰もが気軽に立ち寄れるバリアフリーの図書館となっている。	地域の特徴を生かした川と花と緑のコーナー、また前田利家の本コーナーも設置している。吹き抜けの明るい閲覧室はバリアフリーにも配慮されている。

富田	港	南陽	南
平成9年7月8日	昭和42年4月27日	平成14年7月12日	昭和39年5月1日
第16番目の市立図書館、中川区富田支所管内図書館として開館。	第7番目の市立図書館として開館。平成11年9月改築開館。	第18番目の市立図書館、港区南陽支所管内図書館として開館。	南部工業地帯の生涯学習振興のために田中均一郎氏の寄付により建設される。平成4年3月に文化小劇場との複合施設の1・2階に移転開館。
鉄筋コンクリート造 2階	鉄筋コンクリート造 2階	鉄骨造 2階	鉄骨鉄筋コンクリート造3階（一部4階）
1,599.9㎡ 800.0㎡	1,779.1㎡ 1,571.0㎡	1,597.4㎡ 800.0㎡	3,069.2㎡ 1,750.4㎡
中川区服部三丁目 601番地	港区港楽一丁目 14番16号	港区秋葉一丁目 130番地の79	南区千竈通 2丁目10番地の2

火～土 9時30分～19時

日・祝 9時30分～17時

月曜日（祝日の場合は直後の平日）、第3金曜日（祝日を除く）、
年末年始（12/29～1/4）等

一般閲覧室、児童閲覧室、集会室、学習室、新聞・雑誌コーナー等	一般閲覧室、児童室、学習室、集会室、海と港の資料室等	一般閲覧室、児童閲覧室、集会室、学習室、閉架書庫等	一般閲覧室、児童閲覧室、集会室、学習室、伊勢湾台風資料室等
おはなし会 工作教室 対面読書ボランティアグループ（すぎな） おはなし会ボランティア（おはなしえほんばこ・ノンタンくらぶ・STロボの耳） 保健所よみきかせボランティア（BBクラブ）	おはなし会 読書会 （もくよう会、まつぼっくり） 対面読書ボランティアグループ （しおかぜの会）	おはなし会 （ぴこの会） 工作教室 子ども映画会	おはなし会、南図書館まつり、子ども映画会、読書会（二水会、しろうさぎの会）、対面読書ボランティアグループ（虹の会）、おはなし会ボランティア（Zoo（ズー）の会・ぴよぴよ・ひまわり）、人形劇、工作教室
対面読書室等機能的な設備を備えている。また、千音寺地域には古くからキツネにまつわる民話が多いことから、キツネをイメージシンボルとしてパンフレットなどに載せている。	港北公園の一角に位置し、読書環境を整え、地下鉄の便も良い。 1階には対面読書室、2階には「海と港の資料室」を備えている。	支所管内3番目の図書館として開館。 「本」「人」「地域」との出会いのお手伝いの場としての図書館サービスを展開している。特色あるコーナーとして「郷土・南陽コーナー」を設置。	南部工業地帯にあり文化小劇場を併設したモダンな建物。 伊勢湾台風資料室を備えている。

守 山	志 段 味	緑	徳 重
昭和47年 8 月10日	平成16年 7 月15日	昭和47年 8 月12日	平成22年 5 月 6 日
第12番目の市立図書館として開館。	第19番目の市立図書館。守山区志段味支所管内図書館として開館。平成25年 4 月 1 日から指定管理者株式会社図書館流通センターが運営。	第13番目の市立図書館として開館。	第21番目の市立図書館。緑区徳重支所管内図書館として開館。
鉄筋コンクリート造 2 階、一部 3 階	鉄筋コンクリート造 2 階	鉄筋コンクリート造 2 階	鉄骨造 4 階建（3 階西側部分）
2, 103. 5 m ² 1, 125. 3 m ²	2, 100. 0 m ² 800. 0 m ²	2, 152. 0 m ² 1, 171. 8 m ²	1, 758. 5 m ² 1, 039. 1 m ²
守山区守山一丁目 6番1号	守山区深沢一丁目 101番地	緑区旭出一丁目 1104番地	緑区鳴海町字徳重 18 番地の 41
火～土 9 時30分～19時 日・祝 9 時30分～17時			月・水～土 9 時30分～19時 日・祝 9 時30分～17時
月曜日（祝日の場合は直後の平日）、第 3 金曜日（祝日を除く）、 年末年始（12／29～1／4）等			火曜日（祝日の場合は直後の平日）、第 3 金曜日（祝日を除く）、年末年始（12／29～1／4）等
一般コーナー、児童コーナー、学習室、集会室等	一般コーナー、児童コーナー、学習室、集会室等	一般コーナー、児童コーナー、学習室、集会室等	一般コーナー、児童コーナー、学習室、閉架書庫等
おはなし会 子ども映画会 工作教室 人形劇 読書会 （わかば会、かつらの会、絵本を楽しむ会）	おはなし会 工作教室 英語でおはなし会 おはなし会ボランティア（ほんわかい） 対面読書ボランティア（しだみライブ） 保健所読み聞かせボランティア（よちよち）	おはなし会 読書会（あゆち会、モモの会） 工作教室 おはなしの会（きらら会、おはなし会コスモス、ルる、もうやっこ、にこにこ） 人形劇	おはなし会 工作教室 ユメリアブッククラブ カルタ大会 講演会 おはなし会ボランティア（ぐるんぱ、にこにこ、波の会、がらがらどん） 対面読書ボランティア（あいあい）
旧守山市役所跡に建設された図書館。 2 階には郷土資料や辞書類を備えた参考室があり、落ちついた読書環境を提供している。	支所管内 4 番目の図書館として開館。 子どもや高齢者、障害者にも配慮した、人にやさしい施設となっている。 また、2 階のテラスは樹木を植え庭園となっている。	市立緑高等学校の南隣に設置され、高台にあるため南部を遠くまで見わたすことができ、その眺望が素晴らしい。	区役所支所、保健所分室、地区会館との複合施設。月曜日を開館、休館日を火曜日とし、時間外貸出しロッカーを整備した。

名 東	天 白
昭和51年 6 月15日	昭和52年11月18日
第14番目の市立図書館として開館。	第15番目の市立図書館として開館。
鉄筋コンクリート造 2 階	鉄筋コンクリート造 4 階（1 階部分）
2,464.7m ² 1,250.7m ²	2,081.6m ² 1,102.7m ²
名東区文教台二丁目 205番地	天白区横町 701 番地
火～土 9 時30分～19時 日・祝 9 時30分～17時	
月曜日（祝日の場合は直後の平日）、第 3 金曜日（祝日を除く）、年末年始(12/29～1/4) 等	
一般コーナー、児童コーナー、学習室、集会室等	一般コーナー、児童コーナー、学習室、集会室等
おはなし会・読書会（ともしび読書会）・子どもと本の講座・名東手づくり絵本の会 子ども人形劇、名東の日おたのしみ会、小さい子向けおはなし会（乳幼児と保護者）、耳でたのしみおはなし会、英語でおはなし会 図書館まつり・講演会、工作教室・科学実験講座、ちくちく手づくりの会	おはなし会、あかちゃんからのおはなし会、おはなしとてづくりあそび、昔話の会、人形劇、子どもと本の講座、おとなのためのおはなし会、おはなし会ボランティアグループ（ひばりの会・おはなしピピンの会・波の会）、保健所読み聞かせボランティア（絵本で子育てよちよち）、講座
レンガ風タイル貼りの外壁を持つシックな建物で、身体障害者向け施策による施設整備を初めてとりいれた。	大きな窓より陽射しが入り明るい図書館。一般コーナー南側には庭があり、雰囲気のを和らげている。市民の作品を飾る展示コーナー、小グループで使える和室を設置している。

(3) 蔵書数 (平成26年3月31日現在)

(単位 冊)

分類 館名	総数	一般							
		郷土資料	総記	哲学宗教	歴史地理	社会科学	自然科学	工業工学	産業
総数	3, 225, 783	144, 120	86, 195	100, 257	208, 824	358, 032	161, 924	242, 424	93, 883
鶴舞	1, 293, 525	50, 309	47, 985	59, 075	102, 075	221, 849	83, 003	110, 709	52, 725
千種	96, 115	4, 266	2, 178	2, 282	5, 465	8, 056	4, 693	5, 660	1, 962
東	107, 816	5, 748	2, 225	2, 442	6, 098	7, 556	4, 586	6, 589	1, 908
北	116, 151	5, 481	2, 696	2, 385	7, 102	8, 606	5, 083	7, 287	2, 778
楠	70, 931	3, 320	1, 211	1, 315	3, 623	4, 073	2, 684	5, 126	1, 425
西	107, 045	8, 768	2, 023	1, 978	5, 793	6, 496	4, 017	6, 916	2, 015
山田	70, 299	2, 487	1, 036	1, 207	3, 030	4, 492	2, 617	5, 234	1, 363
中村	96, 757	5, 609	2, 432	2, 165	6, 349	7, 211	3, 825	5, 799	1, 810
瑞穂	104, 096	5, 101	2, 315	2, 559	6, 126	8, 343	4, 366	6, 850	2, 161
熱田	127, 808	7, 574	3, 829	3, 683	10, 370	10, 960	5, 149	7, 129	2, 768
中川	106, 086	4, 601	1, 907	2, 302	6, 046	7, 388	4, 421	7, 702	3, 029
富田	65, 491	2, 372	1, 109	1, 238	3, 327	4, 712	2, 713	4, 987	1, 523
港	100, 836	6, 256	2, 105	2, 006	5, 912	7, 030	4, 449	6, 276	2, 369
南陽	64, 932	2, 514	1, 000	980	3, 321	4, 545	2, 633	5, 425	1, 696
南	108, 017	6, 571	2, 238	2, 077	5, 717	7, 079	4, 233	7, 276	2, 054
守山	107, 454	4, 538	1, 975	2, 437	5, 763	7, 448	4, 159	7, 902	2, 266
志段味	70, 402	2, 502	1, 057	1, 472	3, 310	4, 810	3, 092	6, 422	1, 791
緑	98, 060	5, 597	2, 026	2, 504	5, 932	8, 058	4, 233	6, 087	2, 122
徳重	75, 343	1, 846	869	1, 245	2, 952	4, 205	3, 106	5, 897	1, 710
名東	96, 915	4, 149	1, 764	2, 164	4, 928	6, 696	3, 774	6, 802	2, 072
天白	93, 561	4, 347	2, 098	1, 949	4, 563	7, 048	3, 844	5, 451	1, 673
建物館計	3, 177, 640	143, 956	86, 078	99, 465	207, 802	356, 661	160, 680	237, 526	93, 220
自動車図書館	48, 143	164	117	792	1, 022	1, 371	1, 244	4, 898	663

(単位 冊)

和 書						一般洋書	児童書	点字
芸 術	語 学	文 学	漫 画	その他	小 計			
206,755	44,026	805,379	23,289	26,704	2,501,812	13,778	677,639	32,554
96,990	21,856	257,962	4,789	26,694	1,136,021	11,889	113,061	32,554
4,932	1,329	24,940	2,080	0	67,843	441	27,831	0
7,926	1,391	31,737	509	0	78,715	198	28,903	0
6,179	1,340	36,851	408	0	86,196	36	29,919	0
4,217	679	20,195	1,228	0	49,096	6	21,829	0
6,798	1,335	28,366	2,757	0	77,262	42	29,741	0
4,014	823	17,889	774	0	44,966	7	25,326	0
5,297	1,111	27,739	447	0	69,794	187	26,776	0
6,384	1,137	32,667	969	0	78,978	108	25,010	0
8,617	1,558	34,341	1,132	0	97,110	217	30,481	0
6,167	1,208	32,173	831	0	77,775	65	28,246	0
3,745	671	19,125	766	0	46,288	7	19,196	0
5,772	1,491	29,934	480	0	74,080	52	26,704	0
3,836	682	18,553	434	0	45,619	6	19,307	0
6,405	1,237	32,322	403	0	77,612	203	30,202	0
5,872	1,274	34,191	634	0	78,459	35	28,960	0
4,069	804	16,634	1,015	0	46,978	4	23,420	0
6,090	1,103	27,105	832	10	71,699	42	26,319	0
3,173	667	19,928	19	0	45,617	6	29,720	0
4,582	1,214	23,961	855	0	62,961	194	33,760	0
4,665	952	23,814	1,623	0	62,027	33	31,501	0
205,730	43,862	790,427	22,985	26,704	2,475,096	13,778	656,212	32,554
1,025	164	14,952	304	0	26,716	0	21,427	0

注) 1. 西図書館の蔵書数に配本所を含む。

2. その他は鶴舞中央図書館特別集書(名古屋市史資料、河村文庫、深山文庫、水口屋文庫等)を指す。

(4) 平成25年度館外貸出登録者数

(単位 人)

分類 館名	登 録 者 数							
	個 人						団 体	
	一 般	児 童	小 計	郵送貸出	点字文庫	合 計	団体数	構成員数
総 数	384, 373	107, 041	491, 414	297	1, 046	492, 757	921	154, 537
鶴 舞	65, 299	6, 998	72, 297	105	1, 046	73, 448	100	13, 188
千 種	16, 661	4, 590	21, 251	13	-	21, 264	50	11, 302
東	22, 479	5, 741	28, 220	2	-	28, 222	34	3, 148
北	16, 817	4, 360	21, 177	13	-	21, 190	43	5, 424
楠	9, 543	3, 417	12, 960	3	-	12, 963	23	3, 687
西	15, 043	3, 394	18, 437	9	-	18, 446	32	5, 387
山 田	11, 462	4, 598	16, 060	11	-	16, 071	26	6, 245
中 村	18, 487	4, 340	22, 827	11	-	22, 838	49	7, 923
瑞 穂	14, 728	3, 914	18, 642	5	-	18, 647	51	8, 157
熱 田	19, 065	5, 246	24, 311	8	-	24, 319	36	5, 522
中 川	20, 863	6, 285	27, 148	17	-	27, 165	35	7, 318
富 田	10, 310	4, 044	14, 354	7	-	14, 361	38	6, 288
港	14, 387	3, 734	18, 121	18	-	18, 139	46	8, 415
南 陽	5, 065	1, 960	7, 025	1	-	7, 026	18	3, 771
南	16, 871	4, 814	21, 685	7	-	21, 692	47	8, 165
守 山	12, 374	3, 990	16, 364	16	-	16, 380	47	7, 863
志段味	10, 729	5, 259	15, 988	5	-	15, 993	20	3, 717
緑	20, 162	6, 397	26, 559	12	-	26, 571	72	14, 676
徳 重	17, 351	7, 361	24, 712	7	-	24, 719	24	3, 373
名 東	21, 416	7, 672	29, 088	14	-	29, 102	60	9, 820
天 白	18, 992	6, 502	25, 494	13	-	25, 507	51	10, 310
建物館計	378, 104	104, 616	482, 720	297	1, 046	484, 063	902	153, 699
自動車図書館	6, 192	2, 386	8, 578	-	-	8, 578	19	838
配本所 (西文化センター)	77	39	116	-	-	116	0	0

(5) 平成25年度館外利用者数

(単位 人)

分類 館名	館 外 利 用 者 数						
	個 人						団 体
	一 般	児 童	小 計	郵送貸出	点字文庫	合 計	
総 数	2,553,968	722,907	3,276,875	1,830	15,054	3,293,759	9,562
鶴 舞	259,266	36,481	295,747	628	15,054	311,429	942
千 種	111,768	32,312	144,080	127	-	144,207	500
東	165,051	42,902	207,953	6	-	207,959	491
北	116,531	30,798	147,329	61	-	147,390	556
楠	67,118	18,605	85,723	30	-	85,753	330
西	106,384	23,080	129,464	40	-	129,504	351
山 田	80,295	31,566	111,861	74	-	111,935	417
中 村	118,755	28,408	147,163	143	-	147,306	372
瑞 穂	130,363	37,853	168,216	39	-	168,255	610
熱 田	137,784	34,703	172,487	51	-	172,538	318
中 川	138,215	39,163	177,378	89	-	177,467	292
富 田	73,091	24,567	97,658	20	-	97,678	375
港	91,885	21,314	113,199	90	-	113,289	461
南 陽	39,480	12,246	51,726	1	-	51,727	192
南	114,211	29,696	143,907	19	-	143,926	404
守 山	100,365	30,895	131,260	106	-	131,366	473
志段味	74,419	34,440	108,859	28	-	108,887	257
緑	127,502	41,789	169,291	85	-	169,376	479
徳 重	172,766	61,481	234,247	57	-	234,304	398
名 東	162,297	56,969	219,266	69	-	219,335	578
天 白	140,257	45,043	185,300	67	-	185,367	623
建物館計	2,527,803	714,311	3,242,114	1,830	15,054	3,258,998	9,419
自動車図書館	25,276	8,151	33,427	-	-	33,427	143
配本所 (西文化センター)	889	445	1,334	-	-	1,334	0

(6) 平成25年度館外貸出冊数

(単位 冊・点)

分類 館名	個 人						団 体	合計A
	一般書	児童書	小 計	郵送貸出	点字文庫	計		
総 数	6, 833, 925	4, 020, 957	10, 854, 882	6, 062	25, 121	10, 886, 065	70, 757	10, 956, 822
鶴 舞	619, 673	198, 893	818, 566	1, 843	25, 121	845, 530	7, 542	853, 072
千 種	287, 098	164, 732	451, 830	518	-	452, 348	3, 251	455, 599
東	411, 024	239, 756	650, 780	11	-	650, 791	2, 689	653, 480
北	311, 636	173, 164	484, 800	250	-	485, 050	3, 947	488, 997
楠	185, 265	102, 585	287, 850	61	-	287, 911	1, 711	289, 622
西	297, 812	124, 669	422, 481	126	-	422, 607	2, 691	425, 298
山 田	214, 280	171, 630	385, 910	219	-	386, 129	2, 509	388, 638
中 村	323, 011	165, 519	488, 530	286	-	488, 816	2, 795	491, 611
瑞 穂	344, 555	191, 753	536, 308	180	-	536, 488	2, 616	539, 104
熱 田	358, 483	203, 001	561, 484	256	-	561, 740	1, 819	563, 559
中 川	379, 393	228, 795	608, 188	256	-	608, 444	2, 260	610, 704
富 田	213, 288	130, 816	344, 104	69	-	344, 173	3, 347	347, 520
港	245, 097	119, 815	364, 912	283	-	365, 195	2, 461	367, 656
南 陽	113, 535	67, 615	181, 150	2	-	181, 152	3, 002	184, 154
南	317, 137	170, 953	488, 090	52	-	488, 142	2, 395	490, 537
守 山	296, 109	167, 017	463, 126	502	-	463, 628	3, 468	467, 096
志段味	207, 787	198, 156	405, 943	103	-	406, 046	1, 909	407, 955
緑	363, 018	227, 718	590, 736	338	-	591, 074	3, 698	594, 772
徳 重	424, 084	359, 015	783, 099	148	-	783, 247	3, 172	786, 419
名 東	421, 810	308, 807	730, 617	264	-	730, 881	3, 157	734, 038
天 白	375, 247	229, 275	604, 522	295	-	604, 817	3, 712	608, 529
建物館計	6, 709, 342	3, 943, 684	10, 653, 026	6, 062	25, 121	10, 684, 209	64, 151	10, 748, 360
自動車図書館	121, 532	73, 786	195, 318	-	-	195, 318	6, 606	201, 924
配本所 (西文化センター)	3, 051	3, 487	6, 538	-	-	6, 538	0	6, 538
OPAC等	-	-	-	-	-	-	-	-

(単位 冊・点)

視聴覚資料館外利用点数 (点)				総貸出数 A+B	貸出延長 冊数 (点) C	総貸出数 A+B+C
個人	郵送貸出	点字文庫	合計B			
293, 895	662	18	294, 575	11, 251, 397	724, 664	11, 976, 061
45, 124	497	18	45, 639	898, 711	26, 163	924, 874
9, 835	0	-	9, 835	465, 434	11, 233	476, 667
17, 881	0	-	17, 881	671, 361	17, 071	688, 432
10, 454	1	-	10, 455	499, 452	12, 592	512, 044
9, 360	0	-	9, 360	298, 982	7, 339	306, 321
12, 696	15	-	12, 711	438, 009	11, 316	449, 325
6, 463	0	-	6, 463	395, 101	8, 364	403, 465
12, 126	5	-	12, 131	503, 742	12, 000	515, 742
11, 300	0	-	11, 300	550, 404	11, 594	561, 998
16, 658	0	-	16, 658	580, 217	14, 089	594, 306
15, 804	12	-	15, 816	626, 520	18, 611	645, 131
7, 186	9	-	7, 195	354, 715	8, 459	363, 174
9, 983	52	-	10, 035	377, 691	9, 348	387, 039
6, 014	0	-	6, 014	190, 168	4, 133	194, 301
14, 030	4	-	14, 034	504, 571	13, 333	517, 904
9, 856	38	-	9, 894	476, 990	12, 973	489, 963
10, 643	10	-	10, 653	418, 608	10, 219	428, 827
14, 457	6	-	14, 463	609, 235	15, 191	624, 426
21, 154	3	-	21, 157	807, 576	21, 681	829, 257
16, 333	10	-	16, 343	750, 381	19, 359	769, 740
12, 766	0	-	12, 766	621, 295	17, 780	639, 075
290, 123	662	18	290, 803	11, 039, 163	282, 848	11, 322, 011
3, 708	-	-	3, 708	205, 632	12	205, 644
64	-	-	64	6, 602	0	6, 602
-	-	-	-	-	441, 804	441, 804

注) OPAC 等には、館内蔵書検索機・インターネット用 (パソコン・携帯電話)・情報ダイヤルサービスを含む。

(7) 自動車図書館

自動車図書館は、南図書館に基地があり、運営は、平成24年4月から中央館に移管されている。

現在、自動車図書館は2台で、中央館、各区の分館とともに図書館システムの一環を担い、建物館から離れた地域への個人貸出サービスと、図書館へ来館できない社会福祉施設や病院などへの団体貸出サービスを行っている。原則として各区の図書館から1.5km以遠を対象に1学区1ヵ所の駐車場を設置し、巡回周期は年8回を目標としている。個人貸出は1人8冊以内で、市立図書館共通の個人貸出券で利用できる。

3 名古屋市博物館

(1) 名古屋市博物館

ア 概 要

沿 革	昭和52年4月 本館工事完成 10月 開館 53年10月 常設展開設 // 蓬左文庫・豊清二公顕彰館が分館となる 11月 博物館法に基づく登録博物館となる 61年4月 国宝・重要文化財の公開指定館となる 平成元年7月 常設展を全面改装		
構 造	鉄骨鉄筋コンクリート造、地上4階・地下2階建		
敷 地 面 積	15,100.39㎡		
延 床 面 積	18,821.59㎡		
所 在 地	名古屋市瑞穂区瑞穂通1丁目27番地の1		
休 館 日	月曜日（祝日の場合は直後の平日）・第4火曜日（祝日を除く） 年末年始（12/29～1/3）		
開 館 時 間	午前9時30分～午後5時（入場は午後4時30分まで）		
施 設 内 容	部 屋 名	面 積	内 容
	常設展示室	1,867.9㎡	尾張地方の原始から現代までの歴史を時代順に16テーマに区分し、わかりやすく展示するとともに、フリールームでは随時、展示替も行う。
	特別展示室	498.0㎡	内外のすぐれた文化財を紹介する展覧会を催すとともに、常設展示を補う意味で、随時、時代別・分野別の展示を行う。
	部門展示室	465.0㎡	
	展示説明室	264.5㎡	博物館についての基礎知識や、展示資料に関する解説を行う。
	ふれてみるコーナー	11.4㎡	常設展のエントランスに、直接手に触れて学ぶ資料を展示する。

施設内容	部 屋 名		面 積	内 容
	ギ ャ ラ リ ー	第1室	204.0㎡	美術家、美術団体を始め一般市民が行う展覧会の開催に施設を供用し、また、時には国際的な展覧会も催す。
		第2室	123.0	
		第3室	171.0	
第4室		171.0		
第5室		156.0		
第6室		89.0		
第7室		389.0		
第8室		115.0		
	屋外展示場		500.0㎡	
	講 堂		378.0㎡	舞台、映写室を備え、客席238を有する。講演会、映画会、芸能鑑賞などを催すとともに、一般の利用にも供する。
事業概要			1 歴史、考古、民俗及び美術工芸に関する資料（以下「博物館資料」という。）の収集、保管、展示及び供用 2 博物館資料に関する専門的、技術的な調査研究、博物館資料の保管、展示等に関する技術的研究 3 博物館資料に関する講演会、研究会等の開催、解説書、目録、年報、報告書等の作成及び頒布、その他博物館資料の利用者に対するサービスの提供 4 ギャラリー、講堂等の博物館施設の供用 5 常設展「尾張の歴史」の運営 ボランティアと音声解説機による展示ガイド 6 出前ミュージアム、歴史体験セミナー等の教育・普及活動の実施 ＜平成26年度開催(予定)の特別展・企画展＞ ○特別展「大浮世絵展」 3／11～5／6 ○特別展「幽霊・妖怪画大全集」 5／21～7／13 ○特別展「NIPPONパノラマ大紀行」 7／26～9／15 ○特別展「三英傑と名古屋」 10／25～11／30 ○特別展「感じる縄文時代」 12／13～2／8 ○企画展「エピソードでたどる書の散歩道」 2／28～4／5	
所 蔵 資 料 (平成26年3月31日現在)			総 集 321点 民 俗 43,868点 考 古 117,204点 自 然 128点 美術工芸 14,886点 文 献 65,668点 合 計 242,075点	

イ 平成25年度博物館資料利用状況

	資料特別利用		資料貸出		図書閲覧	
件数及び点数	614件	782点	151件	280点	—	—

ウ 平成25年度施設利用状況

	特 別 展 示 室	部 門 展 示 室	ギ ャ ラ リ ー									講 堂
			第 1 室	第 2 室	第 3 室	第 4 室	第 5 室	第 6 室	第 7 室	第 8 室	屋外	
利 用 日 数	206	142	266	180	209	257	256	228	214	249	2	74.5
利用率（％）	69	48	90	61	70	87	86	77	72	84	0	25

(注)利用率＝利用日数÷開館日数297日×100

エ 平成25年度入場者数

区 分	日 数	入場者数	1 日平均	備 考
	日	人	人	
常 設 展	297	68,916	232	※展覧会開催 状況は別掲
ビ デ オ コ ー ナ ー	297	8,596	29	
ふれてみるコーナー	297	13,504	45	
展 覧 会	延 206	135,205	656	
くらし体験学習室	57	17,953	315	
ギ ャ ラ リ ー	280	187,082	668	
講 堂	55	8,543	155	
展 示 説 明 室	31	2,447	79	
ナイトミュージアム	2	1,700	850	
むかしのおもちゃで遊ぼう	39	12,156	312	
合 計	—	456,102	—	

※ 展覧会開催状況

会 期	展 覧 会 名	日 数	入場者数	1 日平均	備 考
		日	人	人	
4／24～6／23	中国 王朝の至宝	52	57,054	1,097	
7／20～9／1	マジックの時間	36	30,624	851	
9／14～10／14	尾張のやきもの	27	2,970	110	
11／2～12／15	奥三河のくらしと花祭・田 楽	37	8,662	234	
1／4～2／16	文字のチカラ	37	10,491	284	
3／11～3／31	大浮世絵展	17	25,404	1,494	
合 計	6 展覧会	206	135,205	656	

(2) 名古屋市蓬左文庫

ア 概 要

沿 革	尾張藩初代藩主徳川義直が父家康の旧蔵書を中心に、名古屋城内に創設した尾張藩御文庫を起源とする。 明治以降、尾張徳川家の私有、昭和7年、財団法人徳川黎明会に寄付されて、東京へ移転 昭和25年4月 名古屋市が購入、社会教育課に所属 26年11月 徳川園において公開 36年6月 鶴舞図書館の分館 41年4月 蓬左文庫として、社会教育部に所属 53年10月 博物館の分館 平成10年 「徳川園整備基本構想」策定 16年11月 新蓬左文庫開館。蔵書数約110,000点（内重要文化財154点）		
構 造	鉄筋コンクリート造2階建 木造瓦葺2階建（旧書庫）		
延床面積	3,002.67㎡のうち旧書庫406.36㎡		
所在地	名古屋市東区徳川町1001番地（徳川園内）		
休 館 日	月曜日（祝日の場合は直後の平日）・12月中旬～1月3日		
開 館 時 間	閲覧室 午前9時30分～午後5時・展示室 午前10時～午後5時		
施設内容	部屋名	面積	内 容
	ガイダンスホール	147.39㎡	蓬左文庫展示室入り口のホールで、デジタル御文庫（デジタル映像視聴）、陶板地図を設置して、展示室への導入とする。
	展示室1	280.10㎡	徳川美術館と提携し、蓬左文庫の蔵書と徳川美術館の調度をあわせて展示し、近世武家文化等をわかりやすく表現する。
	展示室2	103.38㎡	
	映像ルーム（32席）	58.67㎡	「源氏物語」をテーマとしたハイビジョン映像「千年の時を越えて」（朗読竹下景子）を上映する。
	閲覧室（26席）	296.82㎡	蓬左文庫所蔵の資料の閲覧、研究・調査のために一般利用に供する。
	エントランスホール	120.62㎡	旧書庫を正面玄関ホールに再利用。1階に蔵書の複製等を展示し、2階に旧書庫の姿を一部再現している。
事業概要		1 文庫資料の収集、保管、展示及び供用 2 文庫資料の利用者に対する説明、助言及び指導 3 文庫資料に関する専門的、技術的な調査・研究 4 文庫資料の保管、展示等に関する技術的研究 5 文庫資料に関する解説書、目録、調査研究の報告書等の作成及び頒布 6 文庫資料に関する講演会等の開催	

事業概要	〈平成26年開催（予定）の特別展・企画展〉		
	春・秋2回の特別展と6回の企画展を開催する。		
	○特別展「徳川宗春」	4/12～5/25	
	○企画展「尾張徳川家の若君・姫君」	5/31～7/13	
	「名古屋まつりと山車揃え」		
	○企画展「大曾根御殿と徳川光友」	7/16～8/31	
	○企画展「墨 一黒の世界」	9/3～9/28	
	「第一次長州征伐と尾張藩」		
	○特別展「復古やまと絵 新たなる王朝美の世界 一訥言・一蕙・為恭・清一」	10/4～11/9	
	○企画展「古典文学の世界 大名文化と古典」	11/15～12/14	
	○企画展「飾り金具」	1/4～2/8	
	「源氏物語の世界①」		
	「江戸時代の名古屋をさぐる 一城・まち・ひと」		
	○企画展「ひなの世界」	2/11～4/5	
	「源氏物語の世界②」		
	「江戸時代の名古屋をさぐる 一城・まち・ひと」		

イ 平成25年度利用状況

閲覧者	1,687人	資料特別利用	161件
観覧者	175,569人	資料貸出	14件
資料複写	521件	写真掲載許可	106件

(注)開館日数 298日。入館者数 197,903人。(エントランス(無料)利用者20,647人を含む)。

※ 展覧会開催状況

会期	展覧会名	日数	入場者数	1日平均
4/1～4/7	企画展「ひなの世界」 「源氏物語の世界」 「国絵図」	6日	4,430人	738人
4/13～5/26	企画展「名古屋城・下御深井御庭一殿 さまの秘園」	38	26,475	697
6/1～7/21	企画展「尾張名古屋の絵師たち一高 雅・清を中心に」 「尾張のまつり」	44	22,369	508
7/27～9/23	特別展「徳川慶勝一知られざる写真家 大名の生涯」	52	30,365	584

会 期	展 覧 会 名	日 数	入場者数	1 日 平 均
9 / 28 ~ 11 / 4	特別展「歌仙－王朝歌人への憧れ－」	33 日	22,760 人	690 人
11 / 9 ~ 12 / 13	企画展「源氏物語の世界」	30	21,348	712
1 / 4 ~ 2 / 11	企画展「旅をつづる」 「名所図会の世界」	33	13,208	400
2 / 14 ~ 3 / 31	企画展「ひなの世界」 「大名家の礼法－小笠原家伝書－」	40	34,614	865
合 計	13 展 覧 会	276	175,569	636

ウ 地域別閲覧人員 (単位 人)

市 内	県 内	県 外	計	1 日 平 均
839	350	498	1,687	5.7

エ 参考事務取扱数 (単位 件)

窓 口	電 話	文 書	画 像	計
122	54	18	309	503

オ 分類別閲覧冊数 (単位 冊)

国 書	郷 土 資 料	絵 図	漢 籍	一 般 図 書	計
848	909	109	486	6,415	8,767

(3) 名古屋市秀吉清正記念館

ア 概 要

沿 革	昭和42年 5 月 豊臣秀吉と加藤清正の業績を顕彰する目的で中村公園内に 53年10月 豊清二公顕彰館として開館 平成元年 4 月 博物館の分館となる 3 年 5 月 改築のため休館 秀吉清正記念館と名称を改め、中村公園文化プラザ 2 階 に再オープン
構 造	鉄骨・鉄筋コンクリート造 3 階
延 床 面 積	721.21m ²
所 在 地	名古屋市中村区中村町字茶ノ木25番地
休 館 日	月曜日（祝日の場合は翌日）・第 3 金曜日（祝日を除く） 年末年始（12 / 29 ~ 1 / 3）

開 館 時 間	午前10時～午後 5 時
施 設 内 容	1 常設展示室 205㎡ 2 特別陳列室 88㎡ 3 収蔵庫 81㎡
事 業 概 要	秀吉・清正に関する資料や尾張の戦国武将に関する資料のほか、戦国～安土桃山時代の生活や文化に関連する資料の収集・保管・展示。
所 蔵 資 料 (平成26年3月31日現在)	絵画160点、工芸52点、文書584点、その他30点 合計826点

イ 平成25年度利用状況

	資 料 特 別 利 用		資 料 貸 出	
件 数 及 び 点 数	53件	70点	18件	18点

ウ 展覧会開催状況

会 期	展 示 会 名	日 数	入場者数	1 日 平 均
4 / 1 ～ 3 / 31	常設展示	日 296	人 38, 872	人 131
4 / 1 ～ 4 / 29	特集展示「真説・秀吉と清正の絵物語」 後編	24	(2, 667)	111
5 / 1 ～ 6 / 9	パネル展「中村公園いまむかし」	34	(4, 573)	135
6 / 11 ～ 7 / 15	パネル展「西三河の城」	30	(5, 299)	176
7 / 17 ～ 9 / 1	夏休み特集展示「豊臣秀吉の合戦」	39	(6, 548)	168
9 / 3 ～ 10 / 6	パネル展「戦国武将と尾張西部の寺社」	29	(3, 149)	109
10 / 12 ～ 11 / 17	特別陳列「豊臣秀次」	30	4, 527	151
12 / 3 ～ 2 / 9	パネル展「小牧・長久手の戦跡を歩く」	53	(5, 837)	110
2 / 11 ～ 3 / 23	特集展示「地図を楽しむ」	35	(3, 807)	109
3 / 25 ～ 3 / 31	特集展示「神になった秀吉、清正」	6	(619)	103
合 計	9 展覧会		43, 399	

() は再掲

4 名古屋市見晴台考古資料館

ア 概 要

沿 革	見晴台遺跡は、南区の笠寺公園一帯に広がる弥生時代後期から古墳時代はじめにかけての環濠集落跡を主とした遺跡である。資料館は、この見晴台遺跡に関する資料の収集、保管及び調査研究並びに展示を中心とした教育普及活動を目的として設置された。開館以来平成25年度まで、市内各所の遺跡を記録保存するための発掘調査を実施してきた。昭和54年10月11日に開館し、昭和55年1月25日博物館法に基づく登録博物館となる。
構 造	本館 鉄筋コンクリート造、地上1階、地下1階、一部中2階 西館 軽量鉄骨造平屋建
敷地面積	1,902.33㎡
延床面積	1,529.41㎡
所在地	名古屋市南区見晴町47番地（笠寺公園内）
休 館 日	毎週月曜日（休日に当たるときはその翌平日）、毎月第4火曜日（休日を除く）、年末年始（12／29～1／3）
開 館 時 間	午前9時15分～午後5時
施 設 内 容	展示室 142.58㎡・映像展示室 136.17㎡
事 業 概 要	見晴台遺跡を学習する場として、遺跡から出土した遺物・模型・パネル・写真等を展示している。また講演会・展示説明会・映画会の開催、教育普及のため、考古学関係の印刷物を刊行している。発掘調査を通して歴史と文化財に対する関心を高めるための、市民参加による遺跡の発掘調査を行っている。

イ 展示活動

展示室では、見晴台遺跡から出土した遺物を中心に、テーマを設定して展示会を開催し、市民の利用に供している。また、ロビーにおいても小規模な展示を実施している。そのほか、各図書館や美術館、科学館などで市内遺跡を紹介する出張展示を実施している。

（ア）平成25年度開館日数・入館者数

展示会別

会 期	展 示 会 名	日 数	入場者数	1日平均
4／1～6／23	企画展「大昔のなごや―見晴台遺跡と市内の遺跡展―」	72 日	14,048 人	195 人
6／26～9／23	企画展「見晴台遺跡展―弥生のムラを掘る！―」	76	7,689	101
9／25～12／23	企画展「蓬左を掘る！―名古屋城下の人とくらし―」	76	6,423	85

会 期	展 示 会 名	日 数	入場者数	1 日平均
12/25～1/26	企画展「なごや発掘最前線―近年の調査成果から―」	24	1,850	77
1/29～3/23	特別展「プラネタリウムで足下見れば―白川公園遺跡とその周辺―」	46	4,565	99
3/26～3/31	常設展「見晴台遺跡となごやの遺跡展」	5	593	119
合 計		299	35,168	118

月 別

月 別	開館日数	入 館 者 数			1 日平均	団 体	
		高校生以上	中学生以下	計		団体数	人 員
年 月	日	人	人	人	人		人
25 4	26	2,327	2,018	4,345	167	12	1,013
5	26	3,414	3,218	6,632	255	21	1,371
6	25	1,715	2,087	3,802	152	20	844
7	25	1,831	475	2,306	92	6	208
8	26	2,652	481	3,133	121	0	0
9	25	1,751	227	1,978	79	0	0
10	26	1,584	855	2,439	94	2	94
11	25	1,751	498	2,249	90	5	144
12	24	1,334	208	1,542	64	2	19
26 1	23	1,325	395	1,720	75	7	30
2	23	1,571	557	2,128	93	6	76
3	25	1,986	908	2,894	116	0	0
合 計	299	23,241	11,927	35,168	118	81	3,799

(イ) ロビー展示

○校庭に眠る遺跡展―市内の学校に残された遺跡―

○桜田中学校美術展（笠寺公園写生会優秀作品展）

○散歩の途中に考古学4（公園の中の遺跡）公園スタンプラリー連携事業

(ウ) コーナー展示

○歴史の里「志段味古墳群」ってなあに？

○岩手県宮古市の考古資料展

ウ 教育普及活動

(ア) 見晴台遺跡第53次発掘調査（市民参加発掘調査）

期 間 7月18日～9月1日（市民参加の期間）

参加者数 133人（延べ406人）

(イ) みはらしの日（市民参加による見晴台遺跡出土資料の整理作業）

実施回数 10回（7、8月を除く第4土曜日）

参加者数 延べ139人

(ウ) 映像展示室などでは映画の上映・講演会・展示説明会などを開催した。

行 事 名	回 数	参 加 者 数
講 演 会 等	9回	378人
展 示 説 明 会	7	67
映 画 会	10	392

(エ) 見晴台遺跡を理解するための広報、出版活動を行っている。

館報6回、見晴台教室'13、見晴台遺跡第44・45・46・47・48次発掘調査の記録

(オ) 見晴台遺跡の発掘調査の成果を現地で公開している。

現地説明会（市民見学会・見学ツアー）2回 参加者数46人

(カ) 地域連携事業

「南区区民まつり」、「考古学落語を楽しもう！南区地域文化発見DAY」、「笠寺公園ガイドウォーキング」など、地域連携の取り組みをおこなった。 8回 参加者数392人

エ 市内遺跡の発掘調査活動

遺 跡 名	所 在 地	調査期間	面積 (㎡)	主な調査成果
桜本町遺跡 (第4次)	南区霞町	6月	50	中世大溝、中世陶器、土師器
味鋺B遺跡 (第2次)	北区楠味鋺五丁目	6月～7月	70	竪穴住居、須恵器、土師器
千音寺遺跡 (第7次)	中川区富田町	11月～1月	110	奈良・平安時代ピット、須恵器
瑞穂遺跡 (第10次)	瑞穂区牧町二丁目	25年3月 ～4月	140	竪穴住居、溝、弥生土器

東二葉町遺跡	東区白壁三丁目	7月～8月	125	古墳時代
高蔵遺跡	熱田区沢上一丁目	12月～1月	68	方形周溝墓、古墳時代溝
若葉通遺跡	北区若葉通4丁目	9月～10月	180	古墳時代

オ 見晴台遺跡の市民参加発掘調査活動

遺 跡 名	所 在 地	調査期間	面積 (㎡)	主な調査成果
見 晴 台 遺 跡 (第 5 3 次)	南区見晴町	7月～9月	200	弥生時代の環濠、笠寺高射砲陣地関連遺構、弥生土器・石製模造品・アメリカ軍爆撃機B29の一部

カ 発掘調査監督業務

遺 跡 名	所 在 地	調査期間	面積 (㎡)	主な調査成果
天白元屋敷遺跡	守山区大字中志段味	12月～4月	5,730	城館跡の溝、中世陶磁器
朝日遺跡	西区中沼町地内	10月～12月	232	弥生時代の方形周溝墓
H-G - 108号窯	名東区平和が丘5丁目	7月	30	13世紀の窯体の一部を確認
東二葉町遺跡	東区白壁三丁目	8月～11月	1,700	縄文時代住居・古墳時代大溝

5 名古屋市美術館

ア 概 要

沿 革	昭和58年1月 美術館調査委員会より「名古屋市美術館（仮称）の基本構想について」答申 7月 美術館建設委員会を設置 63年4月 開館 平成元年9月 博物館法に基づく登録博物館となる
構 造	鉄筋コンクリート造（一部鉄骨鉄筋コンクリート造） 地下1階・地上2階建
敷 地 面 積	10,509.125㎡（白川公園内の美術館管理区域）
延 床 面 積	7,232.41㎡
所 在 地	名古屋市中区栄二丁目17番25号
休 館 日	月曜日（祝日の場合はその直後の平日）

		年末年始（12／29～1／3）	
開 館 時 間		午前9時30分～午後5時（入場は4時30分まで）、金曜日（祝日の場合は除く。）は午後8時（入場は7時30分）まで	
施設 内 容	部 屋 名	面 積	内 容
	常設展示室 1 2 3	768 m ² 102 175	エコール・ド・パリ、メキシコ・ルネサンス、現代の美術、郷土の美術という4つの柱からなる収蔵作品を、年3回程度展示替えをしながら、系統だててわかりやすく展示する。
	企画展示室 1 2	688 m ² 571	時代的に、また地域的に変化と多様性に富む美術の世界を、テーマを定めて幅広く紹介する企画展を開催する。
	図 書 室	95 m ²	美術関係の専門書（洋書も含む。）や各種展覧会の図録などの文献があり、自由に閲覧できる。
	講 堂	239 m ²	180人収容可能で、ビデオを始めとする映像機器を備え、美術講演会、美術講座、映画会等を開催する。
事 業 内 容		1 美術品及び美術に関する図書、文献、写真等の資料の収集、保管、展示及び供用 2 美術に関する専門的な調査研究 3 美術に関する案内書、解説書、目録、年報、調査研究の報告書等の作成及び頒布 4 美術に関する講演会、ミュージアム・コンサート、ビデオ上映会等の開催 5 常設展示室でボランティアによる所蔵作品のガイド <26年度開催(予定)の特別展> ○高橋コレクション展 決定版2014 4/12～6/8 ○挑戦する日本画：1950～70年代の画家たち 7/5～8/24 ○現代美術のハードコアはじつは世界の宝である展 9/6～10/26 ○ゴー・ビトゥイーンズ：こどもを通して見る世界展 11/9～12/23 ○だまし絵Ⅱ 1/10～3/22	
所 蔵 作 品 (平成26年3月31日現在)		エコール・ド・パリ関係 513点 メキシコ・ルネサンス関係 511点 現代の美術 578点 郷土の美術 4,062点	計 5,664 点

イ 特別展示

会 期	展 覧 会 名	日 数	入場者数	1 日平均	備 考
4／20～6／2	名古屋市美術館開館25周年 記念 上村松園展	38 日	100,601 人	2,647 人	中日新聞社と 共催
6／15～7／21	はじめての美術 絵本原画 の世界2013	32	35,787	1,118	NHKプラネット 中部、中日新聞 社と共催
8／10～10／27	あいちトリエンナーレ2013	70	75,276	405	あいちトリエ ンナーレ実行

会 期	展 覧 会 名	日 数	入場者数	1 日平均	備 考
11／9～12／23	ハイレッド・センター：「直接行動」の軌跡展	39	4,819	124	委員会と共催 日本経済新聞社、テレビ愛知と共催
2／15～3／30	親子で楽しむアートの世界展	38	16,129	424	中日新聞社と共催
合 計	5 展覧会	217	232,612	1,072	

ウ 常設展示

会 期	展 覧 会 名	日 数	入場者数	備 考
	常設展	275	129,114	特別展入場券による入場者数を含む。
6／15～7／21	常設企画展 ポジション2013 水野誠司・初美展	(32)	(7,440)	〃
8／10～10／27	特集Ⅰ 村上友晴《十字架への道》	(70)	(21,620)	〃
11／2～12／23	特集Ⅱ 没後100年記念 ホセ・ガダルーペ・ポサダ展	(45)	(3,510)	〃
1／4～3／30	特集Ⅲ 独立と革命：メキシコ現代版画展	(74)	(7,576)	〃

(注) () 内の常設展日数・入場者数は内数。

エ 平成25年度美術品等利用状況

資 料 貸 出	図 書 閲 覧
16件、97点	13,186人

オ 教育普及事業

内 容	回 数	参 加 者 数
美術講演会、作品解説会など	47	3,888
コンサート・上映会	10	443
夏休みこどもの美術館 (ワークショップ含む)	6	33
子どものためのワークシート キッズ・アートウォッチングなど	129	2,640
合 計	192	7,004

6 名古屋市科学館

ア 概 要

沿 革		昭和37年11月 天文館開館 39年11月 理工館開館 平成元年4月 生命館開館 市立名古屋科学館から名古屋市科学館へ名称変更 2年1月 博物館法に基づく登録博物館となる 23年3月 理工館・天文館改築	
構 造		理工館・天文館 鉄骨造、一部鉄骨鉄筋コンクリート造 地上7階・地下2階建 生命館 鉄骨鉄筋コンクリート造 地上6階・地下2階建	
敷 地 面 積		13,661.95㎡	
延 床 面 積		22,551.32㎡	
所 在 地		名古屋市中区栄二丁目17番1号	
休 館 日		月曜日（祝日の場合はその直後の平日）第3金曜日（祝日の場合は第4金曜日）・年末年始（12／29～1／3）	
開 館 時 間		午前9時30分～午後5時（入場は4時30分まで）	
施 設 内 容	部 屋 名	面 積	内 容
	展 示 室	計6,515 ㎡	天文・理工・生命などの分野を、各階の展示室ごとにテーマを定め、観覧者が実物・模型・映像などを通して、楽しみながら科学を容易に理解できるよう展示する。
	天文館 5階	702	
	理工館 2階～6階	3,636	
	生命館 2階～5階	2,177	
	第 1 実 験 室	115 ㎡	科学に関する実験や工作などの各種講座を開催する。
	第 2 実 験 室	120 ㎡	
	学 習 室	102 ㎡	
	情 報 資 料 室	97 ㎡	科学系分野の図書と映像（ビデオ、DVD）の閲覧、インターネット検索のサービスを提供する。 開架用図書 約7,000冊 ビデオ等 約1,000本
	プラネタリウム ブラザー アース （Brother Earth） 内径 35m 定員350人	830 ㎡	投影する話題を月ごとに定め、学芸員の生解説により1日6回投影している。また、幼児向け、小学生向け、夜間投影など特別投影も行う。投影時間は約50分。
	イベントホール	778 ㎡	特別展、企画展、各種展覧会や事業を開催する。
	サイエンスホール （定員320席）	440 ㎡	各種講演会等を開催する。

	サイエンス ステージ	173 m ²	空気、運動、電気、化学反応などの実験をショー形式 で開催する。				
	天文台	87 m ²	口径80cmの反射望遠鏡を設置し、昼間の星をみる会、 市民観望会などを開催する。				
	星の広場 (屋上)	598 m ²	小型望遠鏡を並べて市民観望会を開催する。				
事業概要		1 天文、理工、生命に関する資料及び装置の展示 2 プラネタリウムによる天体運行等の投影及び天体観測等の指導 3 天文、理工、生命に関する知識の普及及び指導 4 科学技術に関する情報の収集及び提供並びに出版 5 科学技術及び運営企画に関する調査研究 6 その他、教育委員会が必要と認める事業 ＜理工館・天文館の改築＞ 世界一のプラネタリウムと大型展示により、学習施設であるとな ともにエンターテインメント性豊かな観光拠点ともなる世界レベルの科 学館を整備。 ＜26年度開催(予定)の特別展＞ ○「ドラゴンボールで科学する！」7／16～8／31 ○「館長 庵野秀明特撮博物館 ミニチュアで見える昭和平成の技」 11／1～1／22 ○「夢と感動の宇宙展」平成27年3／14～5／23					
展示資料 (平成26年3月31日現在)		宇宙天文 物質 数学情報 エネルギー・物理	44点 27 10 30	交通機械 生命 生活 環境	22点 28 11 25	その他総合 計	38点 235点
ネーミングライツ の導入 (ブラザーアース Brother Earth)		対象施設：プラネタリウムドーム 権利内容：施設命名権、施設サイン掲出権等 ネーミングライツ・パートナー：ブラザー工業株式会社 契約期間：平成23年3月19日から平成28年3月31日					

イ 平成25年度月別利用状況

月	4	5	6	7	8	9	10
入館者数	136,970	116,561	85,924	119,500	247,479	89,565	92,476
開館日数	24	26	25	25	28	22	26

月	11	12	1	2	3	計
入館者数	83,829	88,885	122,270	121,612	131,855	1,436,926人
開館日数	25	23	23	23	25	295日

ウ 平成25年度各種行事実施状況

行 事 名	期 間	日 数	参加者数
		日	人
特別展「ドラえものの科学みらい展」	3/16～5/6	44	77,014 (4月1日以降)
特別展「深海たんけん！」	7/20～9/1	39	136,660
特別展「チョコレート展」	12/17～2/23	54	108,414
特別展「発掘！モンゴル大恐竜展」	3/19～6/8	69	32,396 (3月31日時点)
企画展「世界を変えた書物展」	9/13～9/29	14	13,770
企画展「色いろカラフルワールド」	11/16～12/1	14	11,283
第29回 I S T S 国際宇宙展示会	6/2～6/9	7	9,141
ふくい恐竜ライブ	6/14～6/16	3	入館者対象
第88回低温工学・超電導学界市民公開講座「超電導の世界」	12/7	1	1,400
楽しい鉄道模型	6/16. 10/13. 11/3. 2/22	4	入館者対象
鉄道模型スペシャル	2/2	1	入館者対象
科学技術週間行事			
①記念講演会	4/20	1	①②共通
②学術映像祭入選作品発表	4/20	1	305
第34回古川為三郎サイエンス講演会	3/21	1	128
プラネタリウム特別投影			
①ファミリーアワー (土・日・祝・夏・春休み)	年間	152 (回)	52,423
②字幕付きで見るプラネタリウム	3/21	1	324
③夜間特別投影	毎月1回	12	3,293
④幼児向け学習投影	5/8～7/18、2/25～3/7	85	25,435
⑤小学校4年生向け学習投影	11/26～2/19	57	18,061
⑥小学校6年生向け学習投影	9/25～12/18	55	17,365
昼間の星をみる会(日)	4/28～3/23	24	15,070
市民観望会(土または日)	4/20～3/8	12	2,100
電子工作教室	7/26～7/28	3	53
かがくの実験室	11/23、3/21、3/29・30	4	189
かがくゼミナール	4/28、5/12、8/8、8/27、 2/2、	5	137

行 事 名	期 間	日 数	参加者数
		日	人
第16回リフレッシュ理科教室	8/9・8/10	2	177
地球教室	5/25・26、8/31・9/1、 10/26・27、2/22・23	8	115
科学的な考え方を学び楽しむ化学（科学）実験室	7/6	1	21
放射線ウォッチング	7/30・31、8/1・2	4	46
夏休み親子写真教室	8/24・25	2	121
ワクワク実験隊「鉄の不思議教室」	8/31	1	67
その道の達人派遣事業			
①出前ものづくり工房	6月～2月	28	2,952
②出前サイエンスゼミナール	6月～1月	11	678
③トワイライト事業	4月～2月	6	411
名古屋少年少女発明クラブ			
①ものづくりコース			
(a)ものづくり工房	毎週土曜日、祝日、夏 休等の休日(4～3月)	40	3,978
(b)ものづくり教室	第3土曜日(7・8・12 月を除く)	10	180
②ロボットコース			
(a)ロボット工房 (会場：科学館及び吹上ホール)	週日曜日(8月を除く)	21	422
(b)ロボット教室	第3日曜日(10月、12 月除く)	9	72 15
(c)夏休みロボット教室	8/15・16	2	
(d)発展型キロボ教室	第3日曜日(10月、12、 1月除く)	15	176
ロボカップジュニア大会			
◎ロボカップジュニアなごやオープン	10/19	1	27
◎ロボカップジュニアなごや大会	10/20	1	38
◎ロボカップジュニア東海ブロック大会 (会場：愛知工業大学名電高等学校内)	12/14	1	18
③地球コース			
地球工房	毎週土・日曜日・祝日 (4～3月)	99	7,217

行 事 名	期 間	日数	参加者数
		日	人
第40回「化石を語る」文化講演会	4/29	1	226
第12回ヒメボタルサミット in 愛知	5/26	1	130
第20回生きている地球の記録	7/27・27	2	460
科学創作コンクール	10/8～10/12	5	入館者対象
第57回日本学生科学賞愛知県展	10/16～10/19	4	入館者対象
青少年のための科学の祭典2013名古屋大会	10/5・6	2	2,569 (5,704) ()内はでんきの科学館含む
高校生による科学の祭典2013	10/27	1	660
スペシャル実演	4～3月	276	9,794
イプシロンロケット打上げパブリックビューイング	8/27、9/14		650
		2	
ソユーズロケット打上げパブリックビューイング	11/7		200
		1	
鉄道の日イベント	10/14	1	来館者
芸術と科学の杜連携 エントランスコンサート	6/30、8/3、9/28、 10/12、10/13、10/14	6	来館者
杜の駅@科学館		2	参加者
サイエンス&アートフェスティバル	11/2・3		のべ20,003
環境学習センター・科学館コラボ企画「エコパル 名古屋出張ワークショップin 創造のひろば」	5/26、6/23、7/28、 8/25、10/27、11/24、 12/22、1/26、2/23、 3/23	11	2,159

7 生涯学習センター、生涯学習推進センター、女性会館

(1) 生涯学習センター

生涯学習センターは、市民の誰もが気軽に利用できる学習、集会、軽スポーツのための総合社会教育施設である。その性格として現代的課題、なごや学、親学・青少年育成などの講座や市民が企画・運営する「なごやか市民教室」、講演会などの実施により市民の広範な学習要求に応えるとともに、市民が自主的に行う各種グループ活動に対してその求めに応じて、適切な指導、助言を与えるものである。また、市民の各種活動の場として施設の貸与も行っている。事業は以下の7つの柱のもとに行われている。

- a 幅広い層の市民のための講座の開設
- b 講演会等の開催
- c 市民の学習活動等の支援
- d 図書・記録・資料等の保管及び展示・活用
- e 生涯学習に関する情報の提供
- f 生涯学習のための相談
- g 各種社会教育活動に対する場の提供

また、平成12年4月には、区におけるまちづくり推進事業との連携を図りながら、より地域に密着した柔軟で幅広い事業を展開することを目指して、地域の総合行政機関である区役所に各区の生涯学習センターを編入した。

平成26年4月1日から指定管理者制度を導入する中村、熱田及び名東生涯学習センターについて、指定管理者の募集を行い、3館とも公益財団法人名古屋市教育スポーツ協会が指定管理者として選定された。

ア 生涯学習センター一覧

			千種 生涯学習センター	東 生涯学習センター	北 生涯学習センター	西 生涯学習センター
開館年月日			昭和50年4月	昭和56年6月	昭和59年6月	昭和60年7月
沿革			平成9年4月「社会教育センター」を「生涯学習センター」に名称変更 平成12年4月 各区生涯学習センターを各区役所に編入			
構造			鉄筋コンクリート 3階建	鉄筋コンクリート 3階建	鉄筋コンクリート 4階地下1階建	鉄筋コンクリート 3階建
敷地面積			3,766.00㎡	1,932.81㎡	1,960.98㎡	874.48㎡
延床面積			2,905.55㎡	2,399.47㎡	3,958.63㎡	2,391.38㎡
所在地			千種区振甫町3丁目34番地	東区葵一丁目3番21号	北区黒川本通2丁目16番地の3	西区浄心一丁目1番45号
休館日			第2水曜日、第4月曜日、 年末年始等		第2火曜日、 第4月曜日、 年末年始等	第2水曜日、 第4月曜日、 年末年始等
開館時間			午前9時～午後9時（日曜日、祝日は午前9時～午後5時）			
施設内容			集会室、和室、視聴覚室、美術室、料理室、体育室等			
25 年度 の 主 な 事 業	定期 講座数 (延回数)	前期 後期	10 (56) 9 (46)	9 (44) 9 (50)	10 (54) 10 (52)	10 (54) 8 (44)
		合計	19 (102)	18 (94)	20 (106)	18 (98)
	定期講座 受講者数	前期 後期	216 262	179 211	199 238	269 223
		合計	478	390	437	492
	特色ある 事業		・くなくや学マイスター講座>あじさいマイスター養成講座	・ときめきの風は東から 生涯学習まつり2013	・ジュニア手話クラブ「ゆびきり」	・くなくや学マイスター講座>西区の魅力を伝えよう～「ものづくり文化」のルーツを訪ねて～
			・くなくや学>平和公園から名古屋の歴史を知る ・くなくや学>千種区のご当地グルメを盛り上げよう ・くなくや学>なごや・東山文化を巡る ・史跡散策事業 ・大学共催講座	・くなくや学>山車とからくり～名古屋のまつり～ ・くなくや学マイスター講座>東区文化のみちマイスター養成講座～東区のあゆみを伝えるガイドの魅力～	・きたきた福祉の日 ・パソコン広場 ・北区のご当地グルメを作ってみませんか？ ・くなくや学マイスター講座>ぶらり、わがまち再発見Ⅳ	・くなくや学>続・地図で知る名古屋のまち ・親子で楽しむお菓子づくり ・シリーズ歴史講演会

中 村 生涯学習センター	中 生涯学習センター	昭 和 生涯学習センター	瑞 穂 生涯学習センター	熱 田 生涯学習センター
昭和60年 6 月	昭和57年 6 月	昭和55年 6 月	昭和57年 6 月	昭和59年 6 月
平成9年 4 月 「社会教育センター」を「生涯学習センター」に名称変更 平成12年 4 月 各区生涯学習センターを各区役所に編入				
鉄筋コンクリート 3 階 建	鉄筋コンクリート 3 階 建	鉄筋コンクリート 3 階 建	鉄筋コンクリート 3 階 建	鉄筋コンクリート 2 階 建
2,683.46㎡	2,061.62㎡	2,548.76㎡	2,942.57㎡	3,793.73㎡
2,560.49㎡	2,372.27㎡	2,311.46㎡	2,397.47㎡	2,394.63㎡
中村区鳥居通3丁目1番地の3	中区橋一丁目7番11号	昭和区石仏町1丁目48番地	瑞穂区惣作町2丁目27番地の3	熱田区熱田西町2番13号
第2水曜日、 第4月曜日、 年末年始等	第2火曜日、 第4月曜日、 年末年始等	第2水曜日、 第4月曜日、 年末年始等	第2火曜日、 第4月曜日、 年末年始等	第2水曜日、 第4月曜日、 年末年始等
午前9時～午後9時（日曜日、祝日は午前9時～午後5時）				
集会室、和室、視聴覚室、美術室、料理室、体育室等				
10（54） 11（55）	9（51） 10（55）	9（48） 9（45）	11（59） 9（56）	9（45） 9（47）
21（109）	19（106）	18（93）	20（115）	18（92）
255 260	183 195	238 207	293 228	210 205
515	378	445	521	415
・シニアのためのシリーズ講演会 ・なかむら歴史講演会 ・キッズわくわくスクール ・おもちゃ図書館 ・子育てほっとひろば ・地域生涯学習まつり ・自主グループ春の発表会 ・初心者・初級者のためのパソコン相談会	・〈なごや学マイスター講座〉名古屋城・本丸御殿の魅力を語り継ぐ ・多文化共生、できることから始めよう！ ・堀川を見つめて ・親子1日教室 ・親学特別講演会 ・初心者のためのパソコン相談室&ミニ講座 ・なか・ぶんかまつり	・昭和生涯学習センターまつり ・里山ふれあい体験会 ・親子パンづくり教室 ・親子そば打ち道場 ・発見！川名公園 ・親子ふれあいコンサート ・ショウちゃんランチをつくろう！ ・新春コンサート ・親子ふれあい劇場 ・親子でつくろう！ショウちゃんパン ・子育てわいわいサロン ・自遊らんど ・スポーツ交歓会	・みずほ生涯学習センターまつり ・春のこどもまつり ・おばけやしきをつくろう ・瑞穂区のものづくり文化を学ぶ ・【名古屋女子大学・瑞穂区社会福祉協議会との共催】充実した高年人生を楽しむ ・「さくら」のまち瑞穂	・熱田生涯学習まつり ・家庭の日事業 ・如月コンサート ・熱田史跡ガイドの会共催事業 ・あつた産業再発見イベント ・〈なごや学マイスター講座〉いにしへの街「熱田」を伝える・熱田ご当地グルメをもりあげよう

中川 生涯学習センター	港 生涯学習センター	南 生涯学習センター	守山 生涯学習センター	緑 生涯学習センター
昭和53年 6 月	昭和54年 6 月	昭和58年 6 月	昭和51年 5 月	昭和52年 5 月
平成 9 年 4 月 「社会教育センター」を「生涯学習センター」に名称変更 平成12年 4 月 各区生涯学習センターを各区役所に編入				
鉄筋コンクリート 3 階 建	鉄筋コンクリート 3 階 建	鉄筋コンクリート 2 階 建	鉄筋コンクリート 3 階 建	鉄筋コンクリート 3 階 建
2, 057. 92㎡	2, 223. 41㎡	3, 573. 74㎡	3, 856. 88㎡	2, 330. 11㎡
2, 074. 24㎡	2, 299. 90㎡	2, 386. 26㎡	2, 993. 29㎡	2, 094. 71㎡
中川区富川町 1 丁 目 2 番地の12	港区港陽一丁目10 番18号	南区東又兵ヱ町5 丁目1番地の10	守山区守山三丁目 2 番 6 号	緑区鳴海町字本町 54番地
第 2 水曜日、 第 4 月曜日、 年末年始等	第 2 火曜日、 第 4 月曜日、 年末年始等	第 2 水曜日、 第 4 月曜日、 年末年始等	第 2 火曜日、第 4 月曜日、 年末年始等	

午前 9 時～午後 9 時（日曜日、祝日は午前 9 時～午後 5 時）

集会室、和室、視聴覚室、美術室、料理室、和洋裁室（守山生涯学習センターのみ）、体育室等

10 (52) 9 (47)	11 (67) 9 (47)	10 (52) 8 (43)	10 (53) 8 (45)	10 (55) 10 (50)
19 (99)	20 (114)	18 (95)	18 (98)	20 (105)
232 258	196 205	207 215	266 237	235 243
490	401	422	503	478
・くなごや学「中川区の美味しいご当地グルメをつくろう」「中川発、ものづくりの日本一や日本初」 ・くなごや学マイスター講座「あおなみ線マイスター講座」 ・くなごや環境大学 共育講座「中川運河を憩いの水辺に」	・みなとふれあいウォーク ・くなごや学マイスター講座「西の森を生かして、楽しもう！」 ・家庭料理から世界が見える ・自主グループによる家庭の日事業・あそびの広場 ・みんなで楽しく国際交流 ・パソコン相談室	・大同大学大同高等学校共催パソコン講座 ・中国帰国者等日本語教室「みなみ文化日本語教室」 ・おもちゃの無料修理 ・くなごや学マイスター講座「花と華の香りと色彩豊かなまちづくり」 ・南区を災害に強いまちに！～今こそ地域がチームになる時～	・くなごや学マイスター講座「守山区ご当地グルメをプロデュース！」 ・くなごや学マイスター講座「歴史の里マイスター養成講座」 ・くトライアルサタデー「大道芸にチャレンジ！」 ・【福祉会館・児童館・生涯学習センター共催】夏休み世代間交流事業 ・無料パソコン相談	・芭蕉が愛した鳴海・名古屋 ・大高緑地をとことん楽しもう ・語って伝える緑区の歴史 ・区誌・市史が語る緑区 ・緑あふれる緑区に ・知って生かそう防災の知恵 ・環境デーくなごや 2013 in みどり ・戦争体験を語り継ぐ集い

緑生涯学習センター 上汐田教育集会所	名 東 生涯学習センター	天 白 生涯学習センター
昭和60年 5 月	昭和55年 6 月	昭和56年 6 月
平成12年 4 月 緑生涯学習 センターの分館となり区役 所に編入	平成 9 年 生涯学習センターに名称変更 平成12年 各区役所に編入	
鉄 骨 造 2 階 建	鉄 筋 コ ン ク リ ー ト 2 階 建	鉄 筋 コ ン ク リ ー ト 2 階 建
187.00㎡	3,691.52㎡	7,393.70㎡
155.14㎡	2,213.61㎡	2,349.93㎡
緑区鳴海町字上汐田 447番地	名東区社が丘三丁目 802番地	天白区天白町島田 黒石4050番地
月曜日、祝日、 年末年始等	第 2 火曜日、第 4 月曜日、 年末年始等	
午前 9 時 ～午後 9 時	午前 9 時～午後 9 時 (日曜日、祝日は午前 9 時～午後 5 時)	
集会室、和室、 談話室	集会室、和室、視聴覚室、美術室、 料理室、体育室等	
6 (41) 6 (40)	11 (59) 8 (48)	10 (54) 9 (51)
12 (81)	19 (107)	19 (105)
49 59	228 179	326 165
108	407	491
・人権週間記念行事 ・社会見学 ・子ども卓球教室 ・健康相談 ・自動車図書館	・ふれあい生涯学習まつり ・名東サロンコンサート ・名東っ子遊びの広場 ・名東っ子スポーツ広場 ・「家庭の日」親子スポーツ教室 ・柴田勝家をスイーツにしよう！～オリジナルグルメをあなたの手で～ ・君も職人！なごや伝統の絞りを体験 ・メイクボランティアで私もあなたも美しく～人の幸せが自分を幸せにする～	・子どもまつり ・スポーツ交流会 ・大学との共催事業 ・テンパク・テニユア ・天白お楽しみサロン ・体育室無料開放 ・天白の恵みでご当地グルメをつくり出そう ・天白の魅力を体験しよう

イ 利用状況（平成25年度）

	利 用 件 数				利 用 者 数				左のうち 主催事業の 参加者数
	集会室等	体育室	館外等	計	集会室等	体育室	館外等	計	
千種生涯学習 センター	4,052	1,795	29	5,876	51,772	36,907	1,416	90,095	9,602
東生涯学習 センター	4,732	757	26	5,515	58,475	21,221	3,024	82,720	7,585
北生涯学習 センター	6,630	910	10	7,550	91,845	28,086	1,377	121,308	10,559
西生涯学習 センター	4,446	911	266	5,623	56,601	28,391	5,218	90,210	10,760
中村生涯学習 センター	4,354	891	170	5,415	56,769	29,041	2,902	88,712	9,755
中生涯学習 センター	5,153	871	19	6,043	65,947	23,968	3,081	92,996	8,780
昭和生涯学 習センター	4,223	919	22	5,164	54,131	27,310	3,288	84,729	10,695
瑞穂生涯学 習センター	4,581	913	25	5,519	60,996	25,085	4,140	90,221	14,133
熱田生涯学習 センター	2,609	831	285	3,725	30,772	25,013	2,319	58,104	5,391
中川生涯学習 センター	2,868	829	17	3,714	35,314	13,370	1,768	50,452	6,227
港生涯学習 センター	2,547	869	30	3,446	31,945	21,351	5,559	58,855	10,921
南生涯学習 センター	3,591	934	31	4,556	50,671	26,140	4,575	81,386	14,535
守山生涯学習 センター	4,680	858	14	5,552	61,817	19,179	254	81,250	7,692
緑生涯学習 センター	3,506	874	211	4,591	59,341	21,881	3,624	84,846	10,590
名東生涯学習 センター	3,350	893	71	4,314	50,440	29,229	6,037	85,706	10,875
天白生涯学習 センター	3,503	914	333	4,750	57,163	29,311	8,932	95,406	18,874
上 汐 田 教育集会所	392	-	46	438	2,616	-	524	3,140	1,150
計	65,217	14,969	1,605	81,791	876,615	405,483	58,038	1,340,136	168,124

(2) 生涯学習推進センター

ア 概 要

沿 革	社会教育法に基づく公民館として生涯教育センターの名称で昭和63年8月31日開館。生涯学習に関する調査研究を行い学習情報の蓄積ネットワーク化の中心としての機能を強めるため、平成9年4月1日から生涯学習推進センターと名称を改める。平成12年4月1日からはさらに弾力的な事業展開を図り、生涯学習の推進に努めるため、公民館から、社会教育施設に変更した。 平成16年4月1日 現在地に移転。平成26年3月31日廃止。
構 造	鉄骨鉄筋コンクリート造 地下1階・地上4階建のうち1階部分の一部
延 床 面 積	96.17㎡
所 在 地	名古屋市中区大井町7番25号
休 館 日	毎月第1日曜日・第3木曜日、国民の祝日に関する法律による休日 年末年始（12月29日～1月3日）
開 館 時 間	午前9時～午後9時（日曜日は午後5時まで）

イ 平成25年度事業内容

事 業 名	内 容
企 画 開 発 ・ 調 査 研 究 事 業	(1) 生涯学習に関する市民意識調査について 本市においては、平成元年から4年ごとに、生涯学習に関する市民意識調査を行い、市民の学習状況や学習志向について調査してきた。本調査では、これまでに実施された市民意識調査の結果と比較し、市民の意識・動向・要望の変化を把握することにより、市民の生涯を通じた学習の支援や社会全体の教育力の向上に関して、今後の公的社会教育施設が行う事業展開のための基礎資料とする。 (2) 超高齢社会における学習機会提供のあり方 今後の「超高齢社会」において、公的社会教育施設が提供すべき現代的課題について調査研究し、大学等高等教育機関との連携によって企画開発を行う。また、「プレ高齢者」が取り組むべき学びのあり方を提案する。
情 報 提 供 ・ 学 習 相 談 事 業	学習成果を生かしたい市民の情報を、教育や生涯学習に関する指導・支援を必要とする地域や学校などからの求めに応じて提供する教育サポーターネットワークを運用するとともに、学習グループ情報の提供、情報誌「生涯学習なごや」の発行、生涯学習情報総合サイト「生涯学習Webナビなごや」による学習情報提供を行った。 また、市民ボランティア（生涯学習アドバイザー）による学習相談を実施した。 さらに、生涯学習資料を収集し、閲覧、貸し出しに供した。
学 習 機 会 提 供 事 業	市民の多様化・高度化する学習要求に応えることができる広域的・専門的な学習機会として「名古屋市民大学」や「市民大学公開講演会」を開設した。また、大学等高等教育機関との連携による「大学連携講座」を開設した。

事業名	内 容
	・名古屋市民大学 通年 1講座 受講者数 860人 後期 1講座 受講者数 36人 ・大学連携講座 前期 13講座 受講者数 596人 後期 18講座 受講者数 1,104人 ・市民大学公開講演会 6回 入場者数 1,711人
その他事業	連絡・連携のための事業 ・大学連携協議会 20大学 22人参加

(3) 女性会館

ア 概要

沿革	女性教育の振興を図ることを目的に、女性教育の専門施設として設置された社会教育施設である。その性格は、「女性の学習・交流・情報の拠点」として位置づけられ、女性教育のセンター的役割を果たすものとして、大井プール跡地に、昭和53年7月19日婦人会館として開館した。 平成3年5月女性情報センターの開設に伴い、女性会館と改称した。 平成26年4月1日に男女平等参画推進センターを女性会館に移設することに伴う改修工事のため、平成25年10月14日から平成26年3月31日まで休館した。 また、平成26年4月1日からの指定管理者制度導入に向けて、両施設を一体的に管理する指定管理者を募集し、アイ・コニックグループが指定管理者として選定された。				
構造	鉄骨鉄筋コンクリート造 地下1階・地上4階建				
敷地面積	3,380.34㎡				
延床面積	5,730.50㎡ <table border="1" style="display: inline-table; vertical-align: middle;"> <tr> <td>「女性学習センター</td><td>3,434.18㎡」</td></tr> <tr> <td>「女性情報センター</td><td>2,296.32㎡」</td></tr> </table>	「女性学習センター	3,434.18㎡」	「女性情報センター	2,296.32㎡」
「女性学習センター	3,434.18㎡」				
「女性情報センター	2,296.32㎡」				
所在地	名古屋市中区大井町7番25号				
休館日	第1日曜日、第3木曜日、国民の祝日に関する法律による休日、年末年始（12月29日～1月3日）				
開館時間	午前9時～午後9時（日曜日は午後5時まで） ただし、図書資料室は午前9時30分～午後8時30分（日曜日は午後4時30分まで）				

	部 屋 名	面積 (㎡)	定員 (人)	部 屋 名	面積 (㎡)	定員 (人)
施設 内 容	大 会 議 室	97.40	42	小 会 議 室	26.70	12
	中 会 議 室	49.80	24	文 化 活 動 室	108.00	50
	大 研 修 室	141.60	150	託 児 室	87.00	—
	第 4 集 会 室	94.40	63	印 刷 室	32.00	—
	視 聴 覚 室	144.60	126	ボランティアルーム	26.70	—
	視 聴 覚 準 備 室	23.60	—	談 話 室	60.10	—
	第 1 研 修 室	70.80	54	ホ ー ル	350.00	350
	第 2 研 修 室	70.80	54	図 書 資 料 室	322.52	—
	第 3 研 修 室	70.80	54	第 3 集 会 室	37.78	18
	第 4 研 修 室	49.80	30	録 音 室	10.52	—
	生 活 科 学 研 修 室	81.00	54	学 習 相 談 室	11.74	—
	第 1 和 室	} 97.00	18	グ ル ー プ 相 談 室	18.29	—
	第 2 和 室		15	第 1 集 会 室	55.11	36
				第 2 集 会 室	36.77	22

イ 平成25年度事業内容

事 業 名	内 容
学習機会提供事業	女性の主体的な学習を支援するため、女性の課題に対応した学習の機会を提供した。「女性の生き方・エンパワーメント」「現代的課題」「社会参画」「子育て」を4本柱として講座を開設したほか、講演会などを実施。 13講座 学習者数339人 13講演会・公開講座等1,794人
	大学等の高等教育機関と連携して、女性の学習機会を提供することにより、女性の生涯学習及びリーダーとしての資質の向上を図るため実施。平成25年度は南山大学大学院教育ファシリテーション専攻と共催し、女性会館で託児付で実施。 学習者数36人
	女性の学習、交流を支援するため、主催講座を中心に託児事業を実施。 講座託児・講演会託児・学習支援託児 84回 学習者数818人 託児室交流会 1回 学習者数42人 託児ボランティア研修会 5回 学習者数109人
グループ活動支援事業	自主的な学習活動・文化活動・ボランティア活動をしているグループを支援するため、研修会、交流会等を開催。日常活動の発表と市民の交流の場として、イーブネット・フェスティバル2013を開催。
学習相談事業	女性の学習課題解決に向けて、適切な情報を提供するとともに、自ら学び、情報収集できるよう学習相談を行った。相談件数 33件
情報収集提供事業	女性の学習に必要な図書・資料の収集・提供のほか、ホームページによる情報提供を行った。 図書資料室の運営 利用者数 延べ5,893人 ホームページ アクセス件数 75,009件

ウ 平成25年度利用状況

区 分	大会議室	中会議室	小会議室	大研修室	第 1 研 修 室	第 2 研 修 室	第 3 研 修 室	第 4 研 修 室	第 1 和室	第 2 和室
利用件数	379	452	443	430	375	339	354	432	344	292
利用者数	7,739	4,245	2,818	11,463	6,981	6,231	7,048	4,343	1,937	1,469

区 分	生活科学 研 修 室	視聴覚室	文 化 活 動 室	第 1 集 会 室	第 2 集 会 室	第 3 集 会 室	第 4 集 会 室	ホ ー ル	合 計
利用件数	328	324	466	418	442	452	406	189	6,865
利用者数	3,862	12,369	6,503	4,924	3,732	3,831	7,217	24,854	121,566

8 スポーツ施設

平成17年4月1日から冷水プールに指定管理者制度を導入。その他のスポーツ施設においては、平成18年4月1日から導入。

(1) 名古屋市総合体育館（日本ガイシ スポーツプラザ）

沿 革	昭和60年4月に着工し、昭和62年3月竣工。開館昭和62年7月19日 平成4年4月、レインボープール（日本ガイシアリーナ）等を増築、開館 平成19年4月にネーミングライツを導入。
指 定 管 理 者	公益財団法人名古屋市教育スポーツ協会
構 造	鉄筋コンクリート造、一部鉄骨鉄筋コンクリート造 地下1階・地上3階建
敷 地 面 積	116,708.01㎡
延 床 面 積	48,902.38㎡ 日本ガイシホール 13,399.70㎡ 第2競技場 5,816.49㎡ 第3競技場 1,552.86㎡ 日本ガイシアリーナ 14,547.11㎡ 50m温水プール 3,560.22㎡ 弓道場 1,466.13㎡ 共用棟 3,051.45㎡ 宿泊研修棟 1,505.11㎡ ガイシフォーラム棟 4,003.31㎡
所 在 地	名古屋市南区東又兵衛町5丁目1番地の16
開 館 時 間	午前9時から午後9時（ただし、選手控室兼軽運動室及び飛込練習室の日曜日及び祝日は午後6時、日本ガイシアリーナ、50m温水プール及び25m温水プールの専用使用時の日曜日及び祝日は午後5時、弓道場の日曜日及び祝日は午後4時30分） また、日本ガイシアリーナ、50m温水プール、25m温水プールの個人使用及びトレーニング室は午前10時から午後8時30分（日曜日及び祝日は午後6時）、宿泊研修室は午前0時（1月4日は午前9時）から午後12時（12月28日は午前9時）、駐車場は午前8時45分から午後9時30分
休 館 日	毎月第3月曜日（祝日の場合第4月曜日。ただし、日本ガイシアリーナ、50m温水プール、25m温水プール、弓道場及びトレーニング室は、祝日を除く毎週月曜日）、また、競泳プール・飛込プールは10月1日から翌年4月30日、日本ガイシアリーナアイスリンクは4月1日から10月31日、年末年始（12月29日～1月3日）
施 設 内 容	日本ガイシホール 3,646㎡（49.4×84.4m） 第2競技場 1,638㎡（36×45.5m） 第3競技場（格技場－柔道、剣道各4面）826.5㎡ 日本ガイシアリーナ（温度調節付） └競泳プール（夏季）50m 10コース └飛込プール 25×25m └日本ガイシアリーナアイスリンク（冬季）60×30m 50m温水プール 50m 8コース 25m温水プール 25m 6コース（他に幼児用1コース） アーチェリー場 長さ90m×幅30m 弓道場 近的 12人立 遠的 8人立 トレーニング室 468㎡ その他 会議室・飛込練習室・幼児室・スポーツ健康相談室・宿泊研修室・選手控室兼軽運動室・レセプションホール・研修室・和室 観覧席 10,000席 観覧席 480席 観覧席 200席

〈平成25年度利用状況〉

施設名 区 別	専 用 利 用		個人利用
	件 数	人 数	人 数
日 本 ガ イ シ ホ ー ル	134 (内、貴賓室34)	1,172,095 (内、貴賓室680)	—
第 2 競 技 場	1,033	157,371	—
第 3 競 技 場	959	65,523	755
ア ー チ ョ ー リ ー 場	93	2,746	5,839
会 議 室 (Ⅰ)	214	4,248	—
競 泳 プ ー ル	226	78,293	3,503
飛 込 プ ー ル	130	38,132	1,945
日 本 ガ イ シ ア リ ー ナ ア イ ス リ ン ク	261	21,784	13,479
5 0 m 温 水 プ ー ル	1,048	48,725	49,966
2 5 m 温 水 プ ー ル	77	2,657	31,856
弓 道 場	257	54,672	10,397
会 議 室 (Ⅱ)	352	10,137	—
飛 込 練 習 室	66	471	—
選 手 控 室 兼 軽 運 動 室	1,025	31,231	—
宿 泊 研 修 室	142	3,160	—
レセプションホール	198	57,550	—
研 修 室	1,108	36,375	—
和 室	256	7,150	—
ト レ ー ニ ン グ 室	—	—	90,504
計	7,579	1,792,320	208,244

(2) 名古屋市体育館

沿 革	昭和25年開館の金山体育館が前身(昭和39年4月1日に総務局から教育委員会に移管)。市民会館建設のため取りこわし、昭和44年8月1日開館。		
指 定 管 理 者	シンコースポーツ株式会社		
構 造	鉄筋コンクリート造2階建		
敷 地 面 積	5,386.6㎡		
延 床 面 積	4,330㎡		
所 在 地	名古屋市熱田区六野二丁目5番3号		
開 館 時 間	午前9時から午後9時(第2及び第4日曜日を除く日曜日並びに祝日は午後6時)		
休 館 日	毎週月曜日(祝休日は開館)、年末年始(12月29日～1月3日)		
施 設 内 容	競技場 1,620㎡(36×45m) 観覧席 908席		
平 成 2 5 年 度 利 用 状 況	競技場 専用	769件	47,652人
	会議室 専用	178件	2,672人

(3) 名古屋市港サッカー場

沿 革	平成5年3月竣工、平成5年9月開館		
指 定 管 理 者	公益財団法人名古屋市教育スポーツ協会		
構 造	鉄筋コンクリート造一部鉄骨造		
敷 地 面 積	36,722㎡	所 在 地	港区野跡四丁目11番12号
開 場 時 間	4月から10月は午前9時から午後8時30分、11月から3月は午前9時から午後4時30分		
休 場 日	毎週月曜日(祝休日は開場)、年末年始(12月29日～1月3日)		
施 設 内 容	サッカー場(20,000人収容)、会 議 室		
平 成 2 5 年 度 利 用 状 況	競技場 専用	145件	40,800人
	会議室 専用	46件	2,407人

(4) 瑞穂運動場

瑞穂運動場は、本市の中心部からおよそ7.5km離れた東南部に位置し、都市公園として緑豊かな自然に恵まれた総面積24.348haの総合運動公園(瑞穂公園)の中にあり、'94「わかしゃち国体」のメイン会場にもなった陸上競技場を始め、ラグビー場、野球場、テニスコート、相撲場、弓道場、アーチェリー場、屋内・屋外プール、トレーニング室、宿泊研修室などの各種スポーツ施設が設置されている。これらの施設は身近な生活圏におけるスポーツ施設として利用される一方、全国的・国際的競技大会の開催が可能な拠点施設としても重要な役割を担っている。

<瑞穂運動場の施設内容>

施設名	所在地	敷 地	竣工年月	施 設 内 容
陸 上 競 技 場 (第 一 種 公認) (IAAFクラ ス2公認)	瑞 穂 区 山 下 通 5 - 1	33,386.88㎡	昭和16年2月 平成6年5月 (改修)	○トラック 1周400m 8コース 全天候舗装 3000m障害物競走用トラック ○フィールド 走幅跳、三段跳施設6面 棒高跳施設6カ所 走高跳施設6カ所 槍投施設2面 砲丸投施設3カ所 円盤投、ハンマー投施設2面 ○芝生フィールド 天然芝(ティフトン芝・冬芝(ライグラス類) オーバーシーディング) 106m×71m
北 陸 上 競 技 場 (第 三 種 公認)	瑞 穂 区 萩 山 町 3 - 68 - 1	19,820.82㎡	昭和25年10月 平成5年5月 (改築)	○トラック 1周400m 8コース全天候舗装 ○フィールド(走高跳、走幅跳、棒高跳、 槍投、砲丸投、円盤投、三段跳、ハンマー投) ○芝生フィールド 天然芝(高麗芝) 102m×69m
田 辺 陸 上 競 技 場	瑞 穂 区 田 辺 通 3 - 2	7,541.31㎡	昭和54年3月 平成6年6月 (改修)	○ソフトボール等多目的運動広場
レ ク リ エ ー シ ョ ン 広 場	瑞 穂 区 萩 山 町 4 - 1	11,326.71㎡	平成6年5月	○トラック 1周300m (6コース可能)
ラ グ ビ ー 場	瑞 穂 区 山 下 通 5 - 4	26,000㎡	昭和25年10月 平成2年3月 (改築)	○フィールド 天然芝(ティフトン芝・冬芝(ライグラス類) オ ーバーシーディング) 135m×80m
ラ グ ビ ー 練 習 場	〃	2,400㎡	平成6年5月	砂入人工芝(60m×40m)

収 容 人 員	附 属 設 備 等	平成25年度利用状況	
メインスタンド 9,000人 身 障 者 席 50人 バックスタンド 18,000人	・大型映像装置 ・照明塔 6 基 夜間照明設備 1,500LX (1 階) 本部室、記録室、放送室、審判員室、役員室、報道関係者室、医務室、更衣室、シャワー室など (2 階) 会議室、観覧席、身障者用観覧席、練習走路など (3 階) 貴賓席、売店、観覧席など (スタンド階) 写真判定室、放送室、指令室など	専用	114件 414,240人
		会議室	73件 3,230人
メインスタンド 1,500人 身障者席 10人 芝生スタンド 1,500人	観覧席 (コンクリート造、一部芝生) ・電光掲示板 (磁気反転式) ・本部室、役員室、更衣室など	専用	182件 203,590人
		個人	21,605人
		専用	293件 18,300人
芝生スタンド 600人		専用	109件 114,430人
メインスタンド 6,500人 バックスタンド 5,400人 サイドスタンド 3,100人 身障者席 18人	観覧席 (コンクリート造、一部芝生) ・更衣室、シャワー室、会議室など ・大型映像装置 サッカー・アメリカンフットボール競技併用 夜間照明設備 500LX	専用	144件 140,710人
		会議室	170件 3,030人
		専用	247件 17,870人

施設名	所在地	敷 地	竣工年月	施 設 内 容
野 球 場	瑞穂区 豊岡通 3-28	26,079.41㎡	昭和32年6月 平成3年3月 (改築)	両翼99.1m中堅122m 舗装材 内外野ロングパイル人工芝
相 撲 場	瑞穂区 萩山町 3-68 -1	延床面積 170.82㎡	昭和49年3月 平成5年5月 (改築)	屋形付土俵 1面
弓 道 場	〃	※	昭和37年3月 平成5年5月 (改築)	近的 10人立 28m
アーチェ リー 場	〃	※	昭和43年10月 平成5年5月 (改築)	30m 50m 10人立
テ ニ ス コ ー ト	瑞穂区 田辺通 4-5	9,035.82㎡	昭和45年1月 (3面増設:54年3月) 平成7年6月 (改築)	硬式・軟式両用コート9面 (砂入人工芝コート)
プ ー ル	瑞穂区 萩山町 3-68 -1	※	練 習 昭和40年7月 平成5年5月 (改築) 屋 内 昭和42年6月 平成5年5月 (改築)	○練習プール(冷水) 25m×7コース 学童用、幼児用 ○屋内プール(温水) 25m×5コース 25m×1コース(学童用) 10m×5m(幼児用)
ト レ ー ニ ング 室	〃	※	昭和42年6月 平成5年5月 (改築)	器具53 種類129点
宿 泊 研 修 室	〃	※	平成5年5月	和室10畳×10室 20畳×2室 計定員70人

注 ※の合計は、23,003.36㎡

収 容 人 員	附 属 設 備 等	平成25年度利用状況
内野スタンド 6,000人 外野芝生スタンド 12,600人	観覧席（内野鉄筋コンクリート造2階建外野芝生） 会議室、本部席、記者席、放送室、審判控室、スコア ボード、ダッグアウトなど 夜間照明設備 内野1,000LX 外野500LX バッテリー間 1,500LX	専用 429件 241,660人 会議室 29件 1,400人
スタンド 255人	練習場、更衣室	専用 11件 1,016人
	更衣室、師範席 夜間照明設備	専用 87件 3,331人 個人 7,185人
	更衣室 夜間照明設備	専用 81件 3,586人 個人 4,731人
スタンド 1,000人	更衣室 夜間照明設備 300LX	専用 8,531件 87,618人 会議室 70件 792人
		屋外練習プール 専用 0件 0人 個人 24,395人 屋内プール 専用 141件 10,108人 個人 54,990人
		82,446人
	ミーティングルーム 浴室、洗濯室	宿泊研修室 138件 2,735人

(5) スポーツセンター

施設名 区分	露 橋 スポーツセンター	枇杷島 スポーツセンター	稲 永 スポーツセンター	天 白 スポーツセンター
開館年月日	昭和57年6月11日	昭和62年4月24日	平成元年7月11日	平成2年7月17日
指定管理者	公益財団法人名古屋 市教育スポーツ協会	公益財団法人名古屋 市教育スポーツ協会	公益財団法人名古屋 市教育スポーツ協会	日本空調サービス共 同事業体
構 造	鉄骨鉄筋コンクリート 造 地上3階地下1階 建	鉄骨鉄筋コンクリート造、 公営住宅棟の1・2階部分 体育館棟3階建	鉄骨鉄筋コンクリート 造2階建	鉄骨鉄筋コンクリート 造4階建
敷地面積	5,170.53㎡	14,213.43㎡	26,000㎡	8,145.37㎡
延床面積	9,672.30㎡	9,783.13㎡	9,792.91㎡	9,793.91㎡
所在地	中川区露橋二丁目14-1	西区枇杷島一丁目1-2	港区野跡五丁目1-10	天白区植田三丁目1502
開館時間	午前9時から午後9時(第2及び第4日曜日を除く日曜日並びに祝日は午後6時) また、プール・ トレーニング室は午前10時から午後8時30分(日曜日及び祝日は午後6時)			
休 館 日	金曜日(祝日を除く)、 年末年始	金曜日(祝日を除く)、 年末年始	月曜日(祝日を除 く)、年末年始	金曜日(祝日を除く)、 年末年始
施設内容	競技場 45×36m 観覧席 1,326席 柔道場497㎡(2面) 観覧席 105席 剣道場 497㎡(2面) 観覧席 105席 トレーニング室 249㎡ 屋内プール温水 25m 4コース (他に幼児用1コース)	第1競技場 45×36m 観覧席 1,750席 第2競技場 (格技場) 525㎡ 観覧席 104席 トレーニング室 348㎡ 屋内プール温水25m 6 コース(他に幼児用1 コース) 軽運動室 305㎡ 弓道練習場(近的) 6人 立	第1競技場 46.5×35.5m 観覧席 3,441席 第2競技場 33.5×23m 観覧席 144席 トレーニング室 427㎡ 軽運動室 353㎡ 弓道練習場(近的) 6 人立	第1競技場 36×45m 観覧席 1,252席 第2競技場 33×15.5m 観覧席 104席 トレーニング室 384㎡ 屋内プール温水 25m 5コース (他に学童用1コース・ 幼児用 50㎡) 軽運動室 252㎡ 弓道練習場(近的) 6人 立
平成25年度 利用状況	競技場 専用1,131件 76,244人 柔道場 専用 295件 18,851人 個人 14,652人 剣道場 専用 601件 28,724人 個人 2,123人 トレーニング室 個人 64,617人 屋内プール 専用 101件 2,377人 個人 30,646人 会議室 専用 376件 7,942人	第1競技場 専用1,034件 92,742人 第2競技場 専用659件 34,310人 個人 3,932人 トレーニング室 個人 64,785人 屋内プール 専用 80件 3,582人 個人 45,936人 軽運動室 専用 2,130件 18,674人 弓道練習場 専用 14件 332人 個人 3,040人 会議室 専用 513件 11,513人	第1競技場 専用815件 92,017人 第2競技場 専用869件 28,807人 トレーニング室 個人 64,300人 軽運動室 専用1,594件26,677人 弓道練習場 専用 34件 603人 個人 3,627人 会議室 専用 383件 7,803人	第1競技場 専用 1,355件 73,055人 第2競技場 専用1,187件 34,241人 トレーニング室 個人 87,391人 屋内プール 専用 441件 14,128人 個人 71,933人 軽運動室 専用1,750件 27,039人 弓道練習場 専用 22件 341人 個人 3,931人 会議室 専用1,299件 18,657人

緑 スポーツセンター	北 スポーツセンター	中 村 スポーツセンター	名 東 スポーツセンター
平成4年7月17日	平成4年7月23日	平成6年7月20日	平成9年10月7日
株式会社 J P N	公益財団法人名古屋市 教育スポーツ協会	公益財団法人名古屋市教 育スポーツ協会	公益財団法人名古屋市教 育スポーツ協会
鉄骨鉄筋コンクリート 造 地上2階・地下1階	鉄骨鉄筋コンクリート 造3階建	鉄骨鉄筋コンクリート 造 地上3階・地下1階	鉄骨鉄筋コンクリート 造(一部鉄骨造) 3階建
13,011.75㎡	12,591.93㎡	10,365.44㎡	12,408.06㎡
9,799.44㎡	9,714.79㎡	9,796.58㎡	14,312.88㎡
緑区相原郷一丁目2901	北区成願寺一丁目6-12	中村区中村町字待屋43-1	名東区猪高町大字高針字勢子坊 307番地の12
午前9時から午後9時（第2及び第4日曜日を除く日曜日並びに祝日は午後6時）また、プール・トレーニング 室は午前10時から午後8時30分（日曜日及び祝日は午後6時）			
月曜日（祝日を除く）、 年末年始	金曜日（祝日を除く）、 年末年始	月曜日（祝日を除く）、 年末年始	月曜日（祝日を除く）、 年末年始
第1競技場 36×45m 観覧席 1,123席 第2競技場 35×15m 観覧席 177席 トレーニング室 402㎡ 屋内プール温水 25m 6コース （他に学童用1コース・幼児 用 50㎡） 軽運動室 265㎡ 弓道練習場(近的) 6人立	第1競技場 36×45m 観覧席 1,118席 第2競技場 35×15m 観覧席 100席 トレーニング室 395㎡ 屋内プール温水 25m 6コース （他に学童用1コース・幼児 用 50㎡） 軽運動室 228㎡ 弓道練習場(近的) 6人立	第1競技場 36×45m 観覧席 1,268席 第2競技場 33×15m 観覧席 100席 トレーニング室 400㎡ 屋内プール温水 25m 6コース （他に学童用 60㎡・幼児用 45㎡） 軽運動室 240㎡ 弓道練習場(近的) 6人立	第1競技場 36×45m 観覧席 1,196席 第2競技場 34×17.2m 観覧席 102席 トレーニング室 326㎡ 屋内プール温水 25m 6コース （他に学童用1コース・幼児 用 50㎡） 軽運動室 264㎡
第1競技場 専用 1,573件 57,584人 第2競技場 専用 847件 30,378人 個人 1,101人 トレーニング室 個人 81,974人 屋内プール 専用 178件 6,233人 個人 75,929人 軽運動室 専用 1,758件 20,770人 弓道練習場 専用 21件 445人 個人 4,619人 会議室 専用 309件 4,207人	第1競技場 専用 1,350件 53,433人 第2競技場 専用 766件 24,603人 個人 1,134人 トレーニング室 個人 63,420人 屋内プール 専用 151件 5,570人 個人 68,515人 軽運動室 専用 1,933件 12,350人 弓道練習場 専用 36件 758人 個人 2,363人 会議室 専用 295件 5,095人	第1競技場 専用 1,288件 97,003人 第2競技場 専用 670件 30,481人 個人 1,386人 トレーニング室 個人 77,229人 屋内プール 専用 135件 3,920人 個人 82,212人 軽運動室 専用 2,018件 28,090人 弓道練習場 専用 11件 302人 個人 4,465人 会議室 専用 718件 14,384人	第1競技場 専用 1,521件 83,730人 第2競技場 専用 1,273件 38,240人 トレーニング室 個人 64,311人 屋内プール 専用 90件 1,844人 個人 69,642人 軽運動室 専用 1,715件 23,964人 会議室 専用 467件 6,826人

千 種 スポーツセンター	中 スポーツセンター	東 スポーツセンター	昭 和 スポーツセンター	守 山 スポーツセンター
平成10年 7 月15日	平成13年 7 月11日	平成14年11月 1 日	平成14年 2 月18日	平成22年12月 1 日
公益財団法人名古屋 市教育スポーツ協 会	公益財団法人名古屋 市教育スポーツ協 会	MT 共同事業体	愛知スイミング・大 成共同事業体	守山エス・アンド・ エス株式会社
鉄骨鉄筋コンクリ ート造 4 階建	鉄骨鉄筋コンクリ ート造（一部鉄骨造） 地上 4 階地下 1 階建	鉄骨鉄筋コンクリ ート、鉄骨造 地上 5 階地下 1 階建	鉄骨鉄筋コンクリ ート造（一部鉄骨造） 地上 3 階建	鉄骨鉄筋コンクリ ート造（一部鉄骨造） 地上 3 階建
7,646.47㎡	3,221.72㎡	10,639.47㎡	8,290.69㎡	11,660.81㎡
9,799.13㎡	8,335㎡	10,196.70㎡	8,733.44㎡	10,386.13㎡
千種区星が丘山手121	中区栄一丁目30-10	東区大幸南一丁目 1-10	昭和区吹上二丁目 6-15	守山区竜泉寺二丁目 112
午前9時から午後9時（第2及び第4日曜日を除く日曜日並びに祝日は午後6時）また、プール・トレーニング 室は午前10時から午後8時30分（日曜日及び祝日は午後6時）				
金曜日（祝日を除く）、 年末年始	月曜日（祝日を除 く）、年末年始	月曜日（祝日を除 く）、年末年始	金曜日（祝日を除 く）、年末年始	金曜日（祝日を除 く）、年末年始
第1競技場 36×45m 観覧席 1,136席 第2競技場 32×15.5m 観覧席 104席 トレーニング室 349㎡ 屋内プール温水 25m 6 コース （他に学童用1コース・ 幼児用 35㎡） 軽運動室 246㎡ アーチェリー練習場 （30m） 6 人立	第1競技場 31.5×36.5m 観覧席 498席 第2競技場 15×28m 観覧席 72席 トレーニング室 440㎡ 屋内プール温水 25m 4 コース （他に学童用1コース・ 幼児用・ジャグジー） 軽運動室 270㎡	第1競技場 36×45m 観覧席 981席 第2競技場31×15.4m 観覧席94席 トレーニング室 380㎡ 屋内プール温水25m 5 コース（他に学童用1コース・ 歩行用1コース・幼児用50 ㎡） 軽運動室 215㎡ 弓道練習場（近的） 6 人立 スポーツ広場 3×3バスケコート1 面	第1競技場 36×34m 観覧席 512席 第2競技場 31.8×14.9m 観覧席 103席 トレーニング室 347㎡ 屋内プール温水 25m 5 コース （他に学童用1 コー ス・歩行用1コース・ 幼児用） 軽運動室 229㎡	第1競技場 44.8×34.5m 観覧席 1259席 （内車椅子4席） 第2競技場 30×17m 観覧席 106席 （内車椅子2席） トレーニング室 343㎡ 屋内プール温水 25m 5 コース （他に学童用1 コー ス・幼児用） 軽運動室 282㎡ 屋外フットサルコート（民間設 置施設） 25×15m
第1競技場 専用 1,262件 102,455人 第2競技場 専用 826件 55,514人 個人 2,425人 トレーニング室 個人 80,069人 屋内プール 専用 222件 9,283人 個人 83,349人 軽運動室 専用 1,959件 19,842人 アーチェリー練習場 専用 46件 1,109人 個人 3,483人 会議室 専用 686件 7,931人	第1競技場 専用 1,286件 44,289人 第2競技場 専用 1,094件 26,120人 トレーニング室 個人 90,924人 屋内プール 専用 60件 1,359人 個人 55,327人 軽運動室 専用 1,661件 15,481人 軽運動室兼会議室 専用 2,924件 12,699人 会議室 専用 784件 9,391人	第1競技場 専用 1,273件 88,533人 第2競技場 専用 725件 35,832人 個人 2,823人 トレーニング室 個人 95,595人 屋内プール 専用494件13,449人 個人 89,366人 軽運動室 専用2,032件19,312人 会議室 専用 810件 11,525人 弓道練習場 専用 79件 1,573人 個人 8,545人 スポーツ広場 1,092件 3,896人	第1競技場 専用 1,158件 46,048人 第2競技場 専用 1,133件 40,782人 トレーニング室 個人 75,857人 屋内プール 専用 150件 7,233人 個人 80,637人 軽運動室 専用 2,281件 16,444人 会議室 専用 969件 11,757人	第1競技場 専用1,498件51,435人 第2競技場 専用 1,180件 29,469人 トレーニング室 個人 73,357人 屋内プール 専用 338件5,068人 個人 65,735人 軽運動室 専用 2,732件 23,549人 会議室 専用 517件 7,197人 屋外フットサルコート（民間設 置施設） 572件 4,963人

(6) 名古屋市名城庭球場

開設年月日	昭和41年4月1日	所在地	北区名城一丁目3-3
指定管理者	名古屋ローンテニス倶楽部	敷地面積	17,662㎡
構造	アンツーカー		
開場時間	4月から9月は午前6時から午前8時及び午前9時から午後9時、10月は午前9時から午後9時、11月から1月は午前9時から午後4時、2月及び3月は午前9時から午後5時	休場日	毎月第2月曜日（祝・休日の場合は第3月曜日）及び年末年始（12月29日から1月3日）。ただし、4月から9月の午前6時から午前8時については毎週月曜日
施設内容	観覧席付コート1面、その他のコート14面（全面夜間照明設備）		
平成25年度利用状況	専用 13,633件 71,858人		

(7) 名古屋市黒川スポーツトレーニングセンター

開設年月日	平成9年9月11日	所在地	北区清水四丁目17-17
指定管理者	公益財団法人名古屋市教育スポーツ協会	敷地面積	5,411.85㎡の一部
構造	鉄筋コンクリート造地上6階地下2階建ての一部		
開場時間	午前9時から午後9時（日曜日及び祝日は午後6時）また、トレーニング室及び浴室サウナ室は午前10時から午後8時30分（日曜日及び祝日は午後6時）	休場日	毎週月曜日（祝日を除く）、年末年始（12月29日～1月3日）
施設内容	トレーニング室、浴室サウナ室、軽運動室		
平成25年度利用状況	トレーニング室 個人 75,328人 軽運動室 専用 1,481件 23,274人		

(8) 名古屋市上社レクリエーションルーム

開設年月日	平成10年6月16日	所在地	名東区上社一丁目802番地上社ターミナルビル3階
指定管理者	公益財団法人 名古屋市文化振興事業団	敷地面積	948.63 ㎡
構造	鉄骨鉄筋コンクリート造、地下2階地上8階建（内3階）		
開場時間	午前9時から午後9時（日曜日及び祝日は午後6時）	休場日	毎週月曜日（祝休日の場合は開館）及び年末年始
施設内容	軽運動室（1）、軽運動室（2）、軽運動室兼会議室		
平成25年度利用状況	軽運動室（1）専用 1,517件 15,907人 軽運動室（2）専用 1,304件 23,754人	軽運動室兼会議室 専用 1,332件 10,168人	

(9) 名古屋市志段味スポーツランド、名古屋市武豊野外活動センター

施設名 区分	志段味スポーツランド	武豊野外活動センター
沿革	昭和60年7月20日開所（体育館昭和62年4月18日開館、流水プール等平成2年7月1日増設、平成22年4月1日屋外プール廃止）	昭和63年4月30日開所 平成26年3月31日閉所
指定管理者	株式会社 J P N	公益財団法人名古屋市教育スポーツ協会
敷地面積	約 98,000㎡	約 208,000㎡
所在地	名古屋市守山区大字下志段味 字生下り2287番地の1	愛知県知多郡武豊町字下山ノ田 64番地の46
休場日	毎週月曜日（祝日を除く。）、年末年始（12月29日～1月3日）	毎週月曜日（祝日を除く。）、年末年始（12月29日～1月3日）
施設内容	《体育館》 競技場 1,092㎡（約34×32m） 観覧席 350席 トレーニング室 200㎡ 会議室（兼軽運動室） 80㎡ 《庭球場》 テニス・ソフトテニス両用コート14面（全天候型砂入人工芝） 《少年野球場》2面 18,000㎡	《庭球場》 テニス・ソフトテニス両用コート4面（全天候型） 《野球場》 1面（軟式野球、ソフトボール、その他） 《キャンプ場》 25テント（最大収容人員200名） 《その他の施設》 フィールドアスレチック10ポイント、芝生広場（約4,500㎡）、サークル広場（約700㎡）、散策路（約1km）
平成25年度 利用状況	庭球場 専用 8,174件 88,639人 少年野球場 専用 461件 40,754人 競技場 専用 1,435件 43,955人 トレーニング室 個人 44,265人 会議室（兼軽運動室） 専用 880件 11,624人	庭球場 専用 610件 2,748人 野球場 専用 87件 5,377人 キャンプ場 専用 297件 7,807人 フィールドアスレチック等の無料施設利用者 団体利用 2,651人 個人利用 52,102人

(10) 名古屋市プール（冷水）

名 称	所 在 地	開 設	指定管理者	施 設 内 容	平成25年度 利用状況
港 プ ー ル	港区当知一丁目1401番地	昭和34年7月 平成3年改築	公益財団法人名古屋 市教育スポーツ 協会	練習プール25m 7コース 学童、幼児プール	17,019
名 城 プ ー ル	北区名城一丁目2番13号	昭和39年7月 平成7年改築	株式会社JPN	練習プール25m 5コース 学童、幼児プール	16,906
中 川 プ ー ル	中川区北江町3丁目1番地	昭和40年7月 平成10年改修	公益財団法人名古屋 市教育スポーツ 協会	練習プール25m 7コース 幼児プール	5,798
守 山 プ ー ル	守山区村合町197番地	昭和44年7月	株式会社JPN	練習プール25m 7コース 幼児プール	11,985
熱 田 プ ー ル	熱田区六野二丁目5番2号	昭和45年7月	公益財団法人名古屋 市教育スポーツ 協会	練習プール25m 7コース 幼児プール	11,287
楠 プ ー ル	北区若鶴町126番地	昭和57年7月	公益財団法人名古屋 市教育スポーツ 協会	練習プール25m 7コース 学童、幼児プール	4,996
山 田 プ ー ル	西区五才美町236番地の1	昭和59年7月	株式会社JPN	練習プール25m 7コース 学童、幼児プール	10,336
富 田 プ ー ル	中川区東かの里町809番地	昭和63年7月	株式会社JPN	練習プール25m 7コース 学童、幼児プール	7,238

(11) 名古屋市プール（温水）

名 称	鳴 海 プ ー ル	香 流 橋 プ ー ル	山 田 西 プ ー ル
沿 革	昭和47年6月1日開場	昭和54年8月7日開場 (平成10年12月5日改築移転)	昭和61年11月11日開場
指定管理者	シンコースポーツ株式会社	株式会社 J P N	公益財団法人名古屋市教育スポーツ協会
構 造	鉄筋コンクリート造平家建	鉄筋コンクリート造3階建 (プール部分は2階)	鉄筋コンクリート造2階建 一部平家建
敷 地 面 積	2,037.76㎡	4,125㎡ (地域センターとの 共用部分含む)	5,197.91㎡
延 床 面 積	1,419.38㎡	3,813.40㎡ (地域センター との共用部分含む)	1,887.50㎡
所 在 地	緑区浦里一丁目66番地	千種区香流橋一丁目2番35号	西区長先町173番地
開 場 時 間	午前10時から午後8時30分 (日曜日及び祝日は午後6時)	午前10時から午後8時30分 (日曜日及び祝日は午後6時)	午前10時から午後8時30分 (日曜日及び祝日は午後6時)
休 場 日	祝日を除く金曜日、 年末年始 (12/29～1/3)	祝日を除く月曜日、 年末年始 (12/29～1/3)	
施 設 内 容	屋内温水プール ・練習用25m 6コース ・幼児用25m 1コース	屋内温水プール ・練習用25m 5コース ・歩行用25m 1コース ・学童用、幼児用 ・ジャグジー	屋内温水プール ・練習用25m 5コース (入水用スロープ有) ・学童用、幼児用
平成25年度 利 用 状 況	個人利用 43,886人 専用利用 392件 9,996人	個人利用 88,479人 専用利用 393件 13,525人	個人利用 43,647人 専用利用 121件 2,392人

名 称	南 陽 プ ー ル	富 田 北 プ ー ル
沿 革	昭和60年6月8日開場	平成元年11月18日開場
指定管理者	公益財団法人名古屋市教育スポーツ協会	公益財団法人名古屋市教育スポーツ協会
構 造	鉄筋コンクリート造平屋建	鉄筋コンクリート造2階建 一部平家建
敷 地 面 積	7,008㎡	6,772.42㎡
延 床 面 積	2,762㎡	2,990.58㎡(地域センターとの共用部分を含む)
所 在 地	港区藤前四丁目701番地	中川区吉津四丁目3201番地
開 場 時 間	午前9時から午後9時(日曜日及び祝日は午後6時) また、プール・トレーニング室は午前10時から午後8時30分(日曜日及び祝日は午後6時)	午前9時から午後9時(日曜日及び祝日は午後6時) また、プールは午前10時から午後8時30分(日曜日及び祝日は午後6時)
休 場 日	祝日を除く金曜日 年末年始(12/29～1/3)	祝日を除く月曜日 年末年始(12/29～1/3)
施 設 内 容	屋内温水プール ・50m 6コース (練習用、学童用、幼児用) トレーニング室 200㎡ 軽運動室 146㎡ 会議室 97㎡	屋内温水プール ・練習用25m 6コース ・学童用、幼児用 体育室 608㎡
平成25年度 利 用 状 況	屋内プール 個人利用 46,708人 専用利用 57件 1,654人 トレーニング室 個人利用 35,963人 軽運動室 専用利用 1,719件 8,889人 会議室 専用利用 60件 1,124人	屋内プール 個人利用 74,145人 専用利用 66件 3,048人 体育室 専用利用 1,475件 20,992人

第7章 学 校 開 放

1 学校開放の概況

教育委員会では、市立の小・中・高等学校の施設を、市民のスポーツや学習、レクリエーションの場、若しくは団体活動の場として開放することにより、市民の健康増進、体力向上、情操の
かん養、教養の向上等に寄与することを目的として、次の学校開放事業を行っている。

2 学 校 開 放

(1) トワイライトスクール

放課後などに子どもたちが学年の異なる友達と自由に遊んだり、学んだり、体験活動に参加したり、地域の大人と交流することなどを通して、子どもたちの自主性、社会性、創造性などを育むトワイライトスクールを小学校249校（平成26年3月31日現在）において実施した。

（対 象）参加を希望する児童

（活動場所）放課後学級プレイルーム、体育館及び運動場等

（活 動 日）月曜日～土曜日（祝日、年末年始は休み）

（活動日時）授業のある日……………授業終了後～午後6時

授業のない日……………午前9時～午後6時

※トワイライトスクールを基盤に、保護者が就労等により家庭にいない児童に対してより生活に配慮した事業を併せて実施するトワイライトルームを14校で実施した。（平成25年4月1日事業開始）

平成25年度 トワイライトスクール参加状況

区分 学校名	活動 日数	参加 児童数	事業開始日
内山	288	3,186	平成18年5月19日
春岡	290	7,005	平成10年9月4日
千種	288	8,828	平成15年5月19日
高見	290	8,641	平成12年6月12日
大和	290	3,541	平成19年5月24日
田代	290	10,772	平成14年6月5日
上野	290	10,690	平成11年7月16日
東山	291	16,980	平成12年5月19日
自由ヶ丘	291	8,884	平成20年6月27日
千石	294	4,626	平成21年3月9日
富士見台	294	17,324	平成14年5月29日
星ヶ丘	291	4,659	平成18年5月11日
宮根	289	5,443	平成16年5月31日
千代田橋	289	7,421	平成17年6月13日
見付	291	9,467	平成13年5月31日
旭丘	288	8,964	平成14年10月17日
筒井	288	6,306	平成12年5月8日
東桜	286	5,468	平成19年6月4日
矢田	291	11,993	平成11年11月1日
山吹	288	9,757	平成14年6月3日
東白壁	288	6,202	平成16年5月27日
葵	288	4,461	平成18年5月25日
明倫	291	4,600	平成17年6月30日
飯田	291	8,309	平成16年5月11日
大杉	290	4,503	平成20年5月27日
清水	289	9,993	平成12年6月1日
杉村	290	5,648	平成19年5月31日
名北	289	9,420	平成14年6月3日
城北	286	6,349	平成13年6月18日
六郷	289	4,545	平成19年5月28日
楠	291	10,544	平成19年6月21日
光城	290	6,687	平成14年5月13日
東志賀	287	4,932	平成19年6月21日
味鋤	286	6,115	平成18年6月1日
西味鋤	294	6,806	平成17年6月9日
楠西	290	7,780	平成15年6月19日
如意	291	9,438	平成10年9月3日
宮前	294	8,125	平成12年4月22日
川中	289	5,618	平成18年6月1日
六郷北	291	4,617	平成18年5月11日
辻	288	10,043	平成13年5月19日

区分 学校名	活動 日数	参加 児童数	事業開始日
榎	288	5,337	平成15年6月5日
幅下	294	4,775	平成14年5月20日
栄生	291	5,396	平成19年5月31日
上名古屋	291	7,333	平成17年6月16日
城西	287	5,823	平成13年6月1日
児玉	290	10,532	平成9年10月9日
枇杷島	287	6,146	平成18年5月29日
南押切	289	3,531	平成19年6月7日
江西	288	4,457	平成19年5月31日
那古野	290	6,276	平成20年6月4日
庄内	289	13,412	平成12年5月13日
稲生	290	11,117	平成13年6月16日
山田	294	13,833	平成18年6月1日
平田	288	10,834	平成11年9月20日
比良	294	6,469	平成17年2月3日
大野木	287	9,315	平成19年5月24日
浮野	289	6,244	平成14年6月3日
比良西	294	9,219	平成12年5月29日
中小田井	289	11,076	平成20年6月10日
中村	288	3,142	平成18年5月25日
米野	284	6,662	平成19年5月17日
日比津	293	7,256	平成19年4月23日
柳	286	8,021	平成12年5月29日
稲葉地	290	12,179	平成11年7月14日
日吉	290	7,144	平成16年5月20日
岩塚	288	9,008	平成12年5月11日
豊臣	290	5,120	平成14年5月16日
千成	288	7,959	平成15年5月19日
諏訪	290	10,234	平成10年9月3日
稲西	290	5,094	平成18年5月22日
ほのか	291	11,123	平成17年6月21日
笹島	290	5,740	平成22年4月12日
名城	288	5,874	平成20年11月28日
栄	289	4,193	平成11年7月2日
新栄	288	2,871	平成20年10月7日
松原	287	6,680	平成12年5月25日
橘	288	5,803	平成18年5月25日
平和	288	6,003	平成14年6月6日
老松	290	4,894	平成17年5月26日
正木	288	10,020	平成19年6月18日
千早	290	2,450	平成15年5月29日

区分 学校名	活動 日数	参加 児童数	事業開始日
御園	288	2,348	平成20年6月20日
鶴舞	290	4,038	平成10年7月13日
吹上	290	5,399	平成17年6月6日
村雲	289	7,225	平成18年6月8日
松栄	290	16,198	平成16年5月18日
御器所	288	7,692	平成11年10月7日
八事	287	5,029	平成20年6月13日
白金	288	4,626	平成13年5月14日
川原	290	6,606	平成18年6月5日
滝川	289	9,796	平成19年5月31日
伊勝	285	3,800	平成14年5月27日
御劔	290	5,293	平成16年5月13日
堀田	291	7,170	平成13年6月21日
汐路	291	7,940	平成12年5月13日
高田	291	7,708	平成14年5月30日
瑞穂	290	5,398	平成18年5月22日
井戸田	290	7,670	平成15年5月26日
穂波	291	12,251	平成10年9月3日
豊岡	289	5,391	平成18年6月12日
陽明	291	6,501	平成13年5月24日
中根	289	9,918	平成18年5月18日
旗屋	288	8,167	平成11年7月13日
千年	289	10,331	平成17年5月30日
白鳥	289	7,600	平成15年6月16日
野立	289	6,951	平成20年6月17日
大宝	289	8,133	平成18年6月1日
広見	290	3,985	平成19年9月20日
露橋	291	9,978	平成16年6月10日
愛知	294	5,016	平成13年5月28日
八熊	289	5,922	平成15年6月9日
昭和橋	289	10,932	平成11年7月15日
常磐	291	11,071	平成18年5月29日
八幡	289	14,135	平成15年6月19日
荒子	289	13,914	平成14年6月6日
正色	287	5,837	平成19年5月21日
篠原	288	10,647	平成18年6月19日
戸田	291	12,550	平成14年5月23日
豊治	287	10,623	平成19年5月17日
千音寺	294	14,222	平成18年6月12日
長須賀	289	8,714	平成20年5月30日
万場	290	11,323	平成16年5月24日

区分 学校名	活動 日数	参加 児童数	事業開始日
野田	288	11,482	平成15年6月2日
明正	287	8,099	平成19年5月17日
中島	289	6,449	平成12年5月22日
玉川	288	8,870	平成19年5月21日
西中島	281	10,222	平成19年5月21日
五反田	285	16,145	平成13年5月17日
春田	288	8,831	平成12年6月26日
赤星	290	8,939	平成20年5月23日
西前田	287	8,478	平成17年6月24日
東築地	291	12,661	平成15年6月13日
中川	288	5,650	平成19年5月10日
大手	294	12,469	平成17年4月21日
港西	290	13,824	平成13年5月31日
小碓	289	11,521	平成15年5月26日
西築地	287	6,201	平成19年6月21日
高木	289	8,205	平成19年6月18日
港楽	289	11,629	平成18年5月29日
成章	294	7,979	平成18年5月25日
明德	289	8,978	平成9年10月28日
稲永	290	13,554	平成13年6月21日
東海	285	6,812	平成16年5月24日
野跡	288	8,206	平成17年5月19日
当知	290	8,880	平成19年6月14日
正保	287	7,589	平成12年5月8日
神宮寺	289	6,202	平成11年9月3日
西福田	287	7,028	平成14年5月15日
福田	286	12,336	平成16年6月17日
福春	287	8,668	平成18年4月1日
豊田	289	12,977	平成13年6月7日
明治	289	8,001	平成15年5月26日
呼続	289	6,603	平成16年6月3日
白水	290	4,271	平成12年5月30日
桜	290	5,608	平成17年5月23日
道徳	289	7,801	平成13年6月9日
大生	290	3,922	平成15年5月19日
大磯	290	6,657	平成14年6月3日
千鳥	292	3,577	平成18年5月18日
菊住	290	7,014	平成11年7月14日
宝	291	6,844	平成21年1月20日
柴田	289	5,241	平成19年6月14日
伝馬	284	8,650	平成14年5月16日

区分 学校名	活動 日数	参加 児童数	事業開始日
星崎	290	8,503	平成19年7月2日
春日野	289	7,162	平成18年6月8日
笠東	288	6,512	平成18年6月8日
宝南	290	7,670	平成21年1月16日
大森	290	7,108	平成16年5月10日
小幡	291	12,055	平成12年6月26日
守山	288	14,815	平成12年6月15日
廿軒家	290	16,255	平成15年5月22日
鳥羽見	291	8,137	平成20年6月27日
瀬古	291	14,642	平成18年6月29日
志段味東	291	10,730	平成14年10月7日
志段味西	293	13,085	平成20年6月6日
白沢	286	10,601	平成14年6月20日
本地丘	290	7,401	平成17年5月19日
苗代	279	8,375	平成25年4月12日
二城	291	9,210	平成20年6月3日
森孝東	292	3,888	平成21年1月30日
森孝西	290	5,695	平成11年9月2日
西城	291	4,875	平成19年6月1日
大森北	290	8,963	平成13年5月21日
小幡北	289	8,279	平成10年7月15日
吉根	289	20,199	平成19年6月21日
下志段味	291	15,332	平成24年4月9日
鳴海	289	13,680	平成12年5月15日
平子	289	9,982	平成15年5月22日
鳴海東部	289	14,062	平成18年5月31日
東丘	286	12,961	平成19年6月21日
鳴子	286	8,241	平成19年5月28日
大高	289	13,803	平成14年5月20日
緑	287	6,313	平成19年6月18日
片平	290	9,362	平成15年5月29日
戸笠	289	7,170	平成13年5月31日
太子	284	5,705	平成18年5月11日
旭出	291	8,532	平成14年5月27日
浦里	291	6,710	平成11年7月15日
黒石	290	4,862	平成19年5月24日
神の倉	294	7,810	平成24年3月12日
長根台	289	4,632	平成16年6月10日
桶狭間	288	13,343	平成18年6月8日
相原	288	8,957	平成13年5月14日
桃山	288	10,124	平成17年5月26日

区分 学校名	活動 日数	参加 児童数	事業開始日
大高北	293	14,499	平成20年5月30日
大高南	290	9,062	平成24年6月28日
徳重	291	11,685	平成20年10月31日
滝ノ水	288	11,569	平成17年6月9日
大清水	288	11,998	平成20年6月27日
常安	289	9,940	平成10年7月13日
小坂	294	11,123	平成15年6月30日
熊の前	289	12,420	平成20年6月20日
猪高	291	8,765	平成14年6月17日
藤が丘	288	9,084	平成16年5月28日
香流	290	10,533	平成20年5月16日
猪子石	289	8,935	平成18年5月25日
高針	289	9,417	平成15年5月19日
西山	288	13,728	平成11年10月1日
名東	290	4,861	平成20年6月3日
梅森坂	293	8,467	平成17年5月23日
蓬萊	291	8,795	平成19年5月28日
本郷	289	7,463	平成12年4月10日
貴船	288	9,274	平成20年7月4日
上社	290	9,283	平成14年5月20日
豊が丘	289	7,586	平成19年6月4日
引山	290	7,812	平成12年6月15日
極楽	289	8,571	平成10年9月2日
平和が丘	290	4,533	平成13年5月24日
前山	294	10,410	平成13年5月17日
北一社	293	4,519	平成19年6月4日
牧の原	286	7,175	平成18年5月15日
天白	291	12,643	平成11年7月15日
野並	288	8,530	平成12年4月27日
高坂	276	2,478	平成25年4月12日
八事東	287	9,960	平成16年4月26日
表山	288	11,737	平成18年5月25日
平針	289	10,976	平成15年5月15日
平針南	291	6,757	平成24年6月18日
植田	288	10,462	平成21年11月2日
しまだ	294	5,054	平成24年6月21日
山根	289	10,663	平成17年6月9日
相生	288	4,191	平成14年6月3日
大坪	287	11,295	平成15年6月5日
原	290	11,830	平成19年6月12日
植田南	291	9,611	平成21年11月26日

区分 学校名	活動 日数	参加 児童数	事業開始日
平針北	288	4,466	平成13年6月18日
植田北	290	10,479	平成18年5月29日
植田東	290	11,544	平成21年6月24日

平成25年度 トワイライトルーム参加状況

区分 学校名	活動 日数	参加 児童数	トワイライト ルーム事業開始 日
砂田橋	294	7,584	平成25年4月1日
金城	294	13,974	平成25年4月1日
牧野	294	5,186	平成25年4月1日
八社	294	11,334	平成25年4月1日
大須	294	6,317	平成25年4月1日
広路	294	7,404	平成25年4月1日
弥富	294	13,859	平成25年4月1日

区分 学校名	活動 日数	参加 児童数	トワイライト ルーム事業開 始日
高蔵	294	9,027	平成25年4月1日
船方	294	15,468	平成25年4月1日
南陽	294	10,298	平成25年4月1日
笠寺	294	10,287	平成25年4月1日
天子田	294	11,544	平成25年4月1日
有松	294	13,153	平成25年4月1日
南陵	294	9,807	平成25年4月1日

ア 生涯学習開放

地域の身近な施設である学校を、生涯学習や生涯スポーツ及び地域コミュニティ活動の場として有効に活用するため、施設の開放を小学校27校において実施した。

(開放施設等)

開放施設	開 放 日	開 放 時 間
体 育 館 特 別 活 動 室 視 聴 覚 室 多 目 的 室 音 楽 室 研 修 会 議 室	平 日 (月曜日を除く。)	午後6時から午後9時まで
	土曜日、日曜日、休日 (月曜日を除く。)	午前9時から午後5時まで
運 動 場	土曜日、日曜日、休日 (月曜日を除く。)	午前9時から午後5時まで
図 書 室	週3日の範囲内で学校の実情により適宜定める日	午前9時から午後9時までの間で概ね3時間
プ ー ル	夏季休業期間中の概ね20日間	午前9時から午後5時までの間で概ね3時間

(注) 開放施設は学校ごとに異なる

(休 館 日) 月曜日、12月23日から1月6日まで

(平成 25 年度利用者数)

区分 学校名	体育館	特別活動室等	運動場	図書室	音楽室	研修 会議室	プール	合 計
高 見	人 -	人 -	人 -	人 -	人 -	人 -	人 1,670	人 1,670
見 付	8,418	572	-	289	-	-	-	9,279
旭 丘	4,449	-	7,938	3,980	-	-	1,410	17,777
矢 田	6,638	-	-	-	-	583	-	7,221
山 吹	5,151	663	1,530	590	838	-	-	8,772
比良西	1,611	-	5,682	-	-	-	-	7,293
諏 訪	4,865	275	6,138	512	-	-	-	11,790
松 原	5,254	-	7,759	836	33	1,286	-	15,168
吹 上	-	-	-	-	-	-	347	347
滝 川	5,132	2,632	7,359	-	-	-	-	15,123
穂 波	3,216	1288	3,881	2,087	346	-	-	10,818
八 熊	6,024	1,423	2,493	805	613	-	459	11,817
春 田	851	-	1,466	-	-	207	-	2,524
明 徳	2,739	33	3,516	407	-	-	-	6,695
東 海	3,068	-	2,728	-	-	144	-	5,940
神宮寺	2,404	526	1,598	500	-	-	-	5,028
明 治	4,311	362	12,111	2,290	-	-	916	19,990
道 徳	6,200	2,722	3,349	502	-	-	966	13,739
伝 馬	7,439	896	2,731	528	143	-	-	11,737
守 山	4,252	-	3,348	-	-	70	-	7,670
森孝西	3,685	263	1,966	426	367	-	-	6,707
相 原	4,786	-	4,614	-	-	324	-	9,724
常 安	8,006	5,426	3,917	730	2,791	-	1,570	22,440
本 郷	7,066	1,137	3,356	-	-	1,816	-	13,375
極 楽	4,610	1331	5,483	1,057	-	-	-	12,481
表 山	4,575	798	2,887	360	232	-	-	8,852
相 生	4,411	-	2,118	-	-	168	-	6,697

(注)特別活動室等は、特別活動室、視聴覚室及び多目的室

(2) 小学校施設の一般開放

小学校の特別教室（会議用）、体育館及び運動場を午後6時から午後9時まで（ただし、休業日は午前9時から午後9時まで）、その小学校の通学区域内の住民をもって組織する各種団体の連合組織で教育委員会が適当と認めるものが使用する場合に、一年を単位として目的外使用の許可をしている。

<小学校施設一般開放実施校>

(平成26年5月1日現在)

区	千 種	東	北	西	中 村	中	昭 和	瑞 穂
一 般 開 放 実 施 校	内 山 千 種 千 石 高 見 上 野 宮 根 田 代 東 山	東 桜	清 水 金 城 東 賀 光 志 如 城 楠 意 飯 西 杉 田 大 村 名 杉 城 北 六 北 宮 郷 川 前 辻 中 六 北 西 味 鏡	栄 生 城 西 江 西 南 切 押	豊 臣 日 吉 ほ の か	橘	御 器 所 川 原 金 白 勝 雲 伊 村	高 田 井 戸 陽 明 瑞 穂 中 根
計	8	1	17	4	3	1	5	5

区	熱 田	中 川	港	南	守 山	緑	名 東	天 白	
一 般 開 放 実 施 校	野 立 大 宝 千 年	昭 和 橋 玉 川	大 手 稲 永 南 陽 西 福 福 田 港 田 小 楽 成 確 福 章 福 春	豊 田 菊 住 笠 東 星 崎 春 日 大 野 宝 生 大 宝 磯 宝 南	本 地 丘 森 孝 東 二 羽 城 鳥 見 古 瀬 幡 代 小 苗 沢 苗 白 北 大 幡 北 天 子 田	鳴 海 神 の 倉 東 丘 戸 笠 熊 の 前	平 和 が 丘 引 山 原 牧 の 原	山 根 八 事 大 東 坪	合 計
計	3	2	9	9	11	5	3	3	89

(3) 学習開放

市立名東高等学校の図書室及び集会室を、学校教育に支障のない範囲で、市民の学習その他公共活動の場として開放している。（昭和59年8月11日開設）

ア 開放時間及び休室日

区 分	開放時間	休室日
平 日	午後5時30分～午後8時30分	月曜日、祝日（月曜日が祝日の場合は翌日も休室）、12月24日～1月6日 図書室については、上記に加え図書の整理のため金曜日
土曜日	午後2時00分～午後8時30分	
日曜日	午前9時30分～午後5時00分	

平成25年度利用状況等

開放室	利用者数	貸出冊数等
図書室 （利用定員：90人、蔵書数：約45,000冊）	1,301人	124冊 （学校教育に支障のない範囲で県内に在住、在勤、在学する者に対し3冊/2週間以内で室外へ貸出す）
集会室 （収容人員：60人）	699人	

(4) スポーツ開放

＜地域スポーツセンター＞

スポーツやレクリエーション活動の場を提供するため、市内の中学校の体育館・運動場・格技場を学校教育に支障のない範囲で開放し、「地域スポーツの拠点」として親しまれている。

各センターには、専任の管理員を配置し、管理や利用者の調整にあたっている。

（昭和50年3月15日大曾根中、御田中、高針中、名南中で開放開始）

（開放時間）平日・土曜日——午後6時～午後9時

日 曜 日——午前9時～午前11時、午前11時～午後1時

又は午後1時～午後3時、午後3時～午後5時

（利用種目）バレーボール、バスケットボール、卓球、バドミントン、レクリエーション
インディアカ、軟式野球、ソフトボール、テニス、サッカーなど

〈平成25年度 地域スポーツセンター利用状況〉

施設名称 区分		登 録 件 数		開 放 日 数			
		団体	個人	体育館	格技場	運動場	テニスコート
千種区	南種台	17	61	226		211	0
	千種池	10	29	223		23	0
	千種水	11	93	207		92	0
	今池	11	184	239		4	0
	若水	7	82	222		0	0
	城山	17	166	232		0	35
	東星	11	14	141		4	0
	区計	84	629	1,490	0	334	35
東区	矢田	17	55	228		179	0
	桜丘	14	21	275		137	0
	あずま	8	67	267		8	0
	富士	8	54	227		0	0
	区計	47	197	997	0	324	0
北区	大曾根	17	74	238		143	137
	北	17	79	253		147	0
	志賀	10	39	234	157	9	0
	北陵	10	114	231	279	1	0
	若葉	8	33	228	236	10	0
	八王子	6	110	226		2	0
	楠	7	124	229		8	0
	区計	75	573	1,639	672	320	137
西区	名塚	9	95	180		166	0
	平田	11	53	267		12	0
	山田	3	33	177		110	0
	山田東	2	73	229		0	0
	浄心	6	25	180		0	0
	天神山	3	76	228	182	0	0
	菊井	7	58	194		4	0
	区計	41	413	1,455	182	292	0
中村区	御田	21	21	225		119	0
	笈瀬	11	65	266	280	36	0
	豊国	2	59	207		0	0
	豊正	23	68	248		165	0
	日比津	7	54	241		41	0
	黄金	12	60	275		42	0
	笹島	28	78	224		0	30
	区計	104	405	1,686	280	403	30
中区	伊勢山	29	34	203		203	32
	白山	42	140	270		114	0
	丸の内	11	73	226		0	0
	前津	15	57	219		0	0
	区計	97	304	918	0	317	32

利 用 者 数							
体 育 館			格技場	運 動 場			合計
団体利用	個人利用	小計	団体利用	運動場	テニス	小計	
人	人	人	人	人	人	人	人
1,192	1,408	2,600		3,938	0	3,938	6,538
755	1,084	1,839		261	0	261	2,100
1,199	3,219	4,418		946	0	946	5,364
2,142	2,203	4,345		30	0	30	4,375
1,177	1,465	2,642		0	0	0	2,642
1,533	4,041	5,574		0	225	225	5,799
2,426	483	2,909		0	0	0	2,909
10,424	13,903	24,327	0	5,175	225	5,400	29,727
902	684	1,586		947	0	947	2,533
1,756	1,531	3,287		871	0	871	4,158
1,599	2,292	3,891		76	0	76	3,967
1,109	1,412	2,521		0	0	0	2,521
5,366	5,919	11,285	0	1,894	0	1,894	13,179
1,188	1,492	2,680		1,068	277	1,345	4,025
947	1,798	2,745		2,669	0	2,669	5,414
1,850	1,196	3,046	858	18	0	18	3,922
973	2,466	3,439	1,677	75	0	75	5,191
1,111	1,905	3,016	1,303	79	0	79	4,398
1,044	2,047	3,091		13	0	13	3,104
857	2,208	3,065		0	0	0	3,065
7,970	13,112	21,082	3,838	3,922	277	4,199	29,119
682	3,106	3,788		2,872	0	2,872	6,660
946	1,503	2,449		309	0	309	2,758
715	2,718	3,433		0	0	0	3,433
948	1,581	2,529		0	0	0	2,529
626	1,465	2,091		0	0	0	2,091
1,106	2,040	3,146	134	0	0	0	3,280
1,199	932	2,131		0	0	0	2,131
6,222	13,345	19,567	134	3,181	0	3,181	22,882
1,845	998	2,843		2,462	0	2,462	5,305
1,692	1,809	3,501	3,345	442	0	442	7,288
755	1,419	2,174		0	0	0	2,174
1,607	1,727	3,334		930	0	930	4,264
663	1,599	2,262		615	0	615	2,877
2,631	2,469	5,100		642	0	642	5,742
1,766	458	2,224		0	0	0	2,224
10,959	10,479	21,438	3,345	5,091	0	5,091	29,874
1,363	852	2,215		4,147	357	4,504	6,719
3,356	4,538	7,894		1,805	0	1,805	9,699
983	1,443	2,426		0	0	0	2,426
741	905	1,646		0	0	0	1,646
6,443	7,738	14,181	0	5,952	357	6,309	20,490

区分 施設名称		登 録 件 数		開 放 日 数			
		団体	個人	体育館	格技場	運動場	テニス コート
昭 和 区	山方	28	29	239		210	0
	北駒	5	36	215		174	0
	川名	21	193	229		16	0
	円上	10	18	241		12	0
	桜山	6	40	231		0	0
	区計	70	316	1,155	0	412	0
瑞 穂 区	山丘	21	53	238		224	0
	萩穂ヶ	34	80	239		138	0
	津賀田	3	64	272		0	0
	田光	7	91	268		36	0
	汐路	15	54	249	287	37	0
	区計	80	342	1,266	287	435	0
熱 田 区	宮分	13	34	208		26	0
	日比野	11	61	230		140	0
	日比野	8	118	227		0	0
	沢上	10	69	272		135	0
	区計	42	282	937	0	301	0
中 川 区	良光	28	80	207		209	0
	助和	4	316	254		37	0
	昭橋	6	47	251		0	0
	富田	3	353	221		132	0
	供米	6	135	226		18	0
	山王	4	56	200		0	0
	一色	5	91	228		7	0
	高杉	12	41	215	211	0	0
	一柳	3	104	227		6	0
	八幡	3	68	253		0	0
	はと	6	159	220		0	0
	区計	80	1,450	2,502	211	409	0
港 区	神陽	5	52	122		0	0
	南陽	12	32	228		133	0
	当知	17	72	274		210	0
	東港	10	26	224	224	0	0
	港明	8	62	228		1	0
	港南	4	51	215		0	0
	港北	7	130	243		0	0
	南東	3	79	228		3	0
	区計	66	504	1,762	224	347	0
南 区	南豊	25	23	220	280	163	0
	明田	3	73	233		0	0
	桜田	13	66	228		139	0
	大江	6	54	256		4	0
	南光	11	116	272		5	0
	本城	6	44	235		4	0
	新郊	3	93	221		0	0
	区計	67	469	1,665	280	315	0

利 用 者 数							
体 育 館			格 技 場	運 動 場			合 計
団体利用	個人利用	小 計	団体利用	運動場	テニス	小 計	
人	人	人	人	人	人	人	人
1,932	1,154	3,086		4,357	0	4,357	7,443
2,673	1,677	4,350		1,791	0	1,791	6,141
2,381	1,880	4,261		146	0	146	4,407
1,577	736	2,313		262	0	262	2,575
1,539	1,702	3,241		0	0	0	3,241
10,102	7,149	17,251	0	6,556	0	6,556	23,807
1,219	1,548	2,767		7,946	0	7,946	10,713
2,191	1,497	3,688		2,213	0	2,213	5,901
1,203	2,740	3,943		0	0	0	3,943
2,741	2,343	5,084		1,140	0	1,140	6,224
2,927	1,951	4,878	3,716	873	0	873	9,467
10,281	10,079	20,360	3,716	12,172	0	12,172	36,248
1,650	877	2,527		570	0	570	3,097
969	1,461	2,430		94	0	94	2,524
361	1,992	2,353		0	0	0	2,353
2,247	1,637	3,884		66	0	66	3,950
5,227	5,967	11,194	0	730	0	730	11,924
1,482	1,970	3,452		4,046	0	4,046	7,498
1,851	2,904	4,755		186	0	186	4,941
1,426	1,671	3,097		0	0	0	3,097
1,795	2,798	4,593		711	0	711	5,304
849	1,972	2,821		559	0	559	3,380
549	1,004	1,553		0	0	0	1,553
1,234	2,342	3,576		30	0	30	3,606
1,684	285	1,969	3,023	0	0	0	4,992
1,284	1,510	2,794		0	0	0	2,794
628	2,452	3,080		0	0	0	3,080
1,026	1,464	2,490		0	0	0	2,490
13,808	20,372	34,180	3,023	5,532	0	5,532	42,735
615	600	1,215		0	0	0	1,215
2,092	1,124	3,216		1,884	0	1,884	5,100
2,489	1,507	3,996		3,382	0	3,382	7,378
1,987	699	2,686	1,003	0	0	0	3,689
1,218	2,124	3,342		0	0	0	3,342
1,446	1,792	3,238		0	0	0	3,238
2,842	2,064	4,906		0	0	0	4,906
646	1,740	2,386		0	0	0	2,386
13,335	11,650	24,985	1,003	5,266	0	5,266	31,254
3,998	410	4,408	1,564	1,303	0	1,303	7,275
959	1,213	2,172		0	0	0	2,172
561	2,174	2,735		3,320	0	3,320	6,055
1,183	2,253	3,436		0	0	0	3,436
2,069	2,497	4,566		0	0	0	4,566
868	2,557	3,425		76	0	76	3,501
527	1,598	2,125		0	0	0	2,125
10,165	12,702	22,867	1,564	4,699	0	4,699	29,130

区分 施設名称		登 録 件 数		開 放 日 数			
		団体	個人	体育館	格技場	運動場	テニス コート
守 山 区	守山北	9	12	222		12	0
	守山西	14	56	230		207	0
	森孝	7	34	229		0	0
	大森	3	43	230	282	1	0
	守山	16	349	233	174	0	0
	志段味	5	36	200		136	0
	守山東	5	75	215	229	0	0
	区 計	59	605	1,559	685	356	0
緑 区	扇台	6	90	226		3	0
	大高	18	49	179		211	0
	鳴子台	5	51	228	277	1	0
	有松	6	118	227		204	0
	東陵	1	38	228		0	0
	千鳥丘	8	51	254		44	50
	滝ノ水	8	49	202		214	0
	神沢	6	98	228		0	0
	鳴海	6	64	230		0	0
	左京山	7	109	207		0	0
	鎌倉台	13	139	249		39	0
	神の倉	11	521	197	231	1	8
	区 計	95	1,377	2,655	508	717	58
名 東 区	高針台	6	108	180		94	0
	猪子石	9	79	202		185	0
	藤森	18	128	225		4	0
	猪高	4	40	224		0	5
	牧の池	13	87	233	278	39	0
	上社	7	237	225		1	0
	香流	4	207	181		0	0
	神丘	4	123	229		0	0
	区 計	65	1,009	1,699	278	323	5
天 白 区	天白	15	100	213		191	0
	南天白	11	50	242		41	0
	植田	7	171	230	230	0	0
	平針	5	105	247		0	0
	久方	5	59	219	278	2	0
	御幸山	9	93	182		0	0
	原	12	129	205		110	0
	区 計	64	707	1,538	508	344	0
合 計		1,136	9,582	24,923	4,115	5,949	297

利 用 者 数							
体 育 館			格 技 場	運 動 場			合 計
団体利用	個人利用	小 計	団体利用	運動場	テニス	小 計	
人	人	人	人	人	人	人	人
1,435	162	1,597		302	0	302	1,899
1,970	999	2,969		5,239	0	5,239	8,208
2,313	836	3,149		0	0	0	3,149
209	1,573	1,782	1,091	23	0	23	2,896
1,801	2,796	4,597	296	0	0	0	4,893
543	330	873		81	0	81	954
1,090	1,744	2,834	4,195	0	0	0	7,029
9,361	8,440	17,801	5,582	5,645	0	5,645	29,028
1,576	1,290	2,866		0	0	0	2,866
695	776	1,471		3,710	0	3,710	5,181
589	1,884	2,473	6,174	0	0	0	8,647
970	1,599	2,569		6,968	0	6,968	9,537
807	1,633	2,440		0	0	0	2,440
1,787	1,746	3,533		533	0	533	4,066
1,715	2,763	4,478		10,188	0	10,188	14,666
855	3,110	3,965		0	0	0	3,965
1,309	1,575	2,884		0	0	0	2,884
1,530	2,272	3,802		0	0	0	3,802
1,061	2,502	3,563		662	0	662	4,225
5,384	3,630	9,014	3,888	0	0	0	12,902
18,278	24,780	43,058	10,062	22,061	0	22,061	75,181
901	1,408	2,309		2,157	0	2,157	4,466
962	1,349	2,311		5,545	0	5,545	7,856
1,151	1,335	2,486		0	0	0	2,486
1,319	1,457	2,776		0	0	0	2,776
1,941	2,271	4,212	3,041	257	0	257	7,510
790	3,445	4,235		0	0	0	4,235
1,412	1,528	2,940		0	0	0	2,940
1,506	3,055	4,561		0	0	0	4,561
9,982	15,848	25,830	3,041	7,959	0	7,959	36,830
862	1,366	2,228		5,817	0	5,817	8,045
1,828	1,323	3,151		347	0	347	3,498
685	2,758	3,443	3,716	0	0	0	7,159
2,153	2,751	4,904		0	0	0	4,904
1,053	975	2,028	2,811	0	0	0	4,839
1,905	1,593	3,498		0	0	0	3,498
1,037	2,187	3,224		1,533	0	1,533	4,757
9,523	12,953	22,476	6,527	7,697	0	7,697	36,700
157,446	194,436	351,882	41,835	103,532	859	104,391	498,108

第7部 人 権 教 育

第1章 人権教育の推進体制

1 基本的な考え方

人権が尊重され、差別や偏見のない「人間性豊かなまち・名古屋」を実現するためには、市民一人ひとりが人権問題に関心を持ち、自らの課題として人権尊重についての理解と認識を深め、主体的に考えて行動することが重要である。また一人ひとりが、人権の意義やその尊重と共存の重要性について、理性と感性の両面から理解を深めるとともに、権利の行使に伴う責任を自覚し、互いの人権を尊重することが求められる。このような基本的認識のもと、これまでの同和教育事業の成果をふまえ「新たなごや人権施策推進プラン」に基づいて、学校教育や社会教育の場において、以下のように、人権尊重の精神の涵養を図る人権教育の充実を図っていくこととする。

- (1) 人権教育事業は、「名古屋市教育委員会人権教育推進会議」において必要な事項を審議し、教育委員会関係各課（室）及び公所をあげて推進する。

具体的な事業の推進については、施策や事業を所管する課（室）及び公所による対応を基本とする。

- (2) 学校教育においては、あらゆる差別や偏見をなくし、お互いの人権を認め合う人間性豊かな幼児、児童、生徒を育成する人権教育を推進する。

発達段階に応じながら、学校教育活動全体を通じて、幼児、児童、生徒の人間尊重の意識を高める教育を推進するため、教育研究などに取り組むとともに、初任者から校（園）長まで職務や経験年数に応じた教職員の人権教育研修を計画的に実施する。

- (3) 社会教育においては、差別意識の解消と人権意識の高揚を図る人権教育を推進する。

市民が生涯の各時期に応じて、人権に関する学習ができるよう、生涯学習センター等の社会教育施設における講座・講演会の開催、家庭教育への支援、市民の自主的な学習を支援する場と機会の提供などに取り組む。また、人権教育を推進するための学習教材・情報の収集・提供、指導者の育成、職員研修の充実などに取り組む。

第2章 学 校 教 育

1 人権教育の研究推進

(1) 小中学校人権教育研究協議会

人権教育に関する研究をすすめ、教職員の人権教育への理解と認識を深めることを目的とする名古屋市小中学校人権教育研究協議会を助成し、学校での人権教育の推進に努めた。

(2) 人権教育の推進

人権教育研究実践校・推進校を設定し、研究・実践をすすめ、その成果を本市の人権教育の推進に資するよう努めた。

平成25年度主な研究テーマ

- 相手を思いやり、楽しく学校生活を送ることができる児童の育成
- 笑顔で学び 笑顔で生きる生徒の育成
- 自他を大切に生活する児童の育成
- 一人ひとりのよさを認め合い、互いを大切にできる児童の育成
- 互いの人権を大切にする心と態度の育成
- 自尊感情を育む人権総合学習カリキュラムの創造
- 他者への気付きを深め、共に生きようとする児童の育成
- 「自立」と「自律」を踏まえ、「共生」を目指して
- 自他の存在を認め合い、共に生きる態度を育てる人権教育
- 認め合う心を持ち、共に生きる態度をはぐくむ教育活動
- 命の尊さや生きることの意味を考える教育活動

2 人権教育研修会

教職員の人権教育についての認識を深めるため、各種の研修会を開催した。

平成25年度事業実績

研 修 会 名	対 象	月 日
校（園）長研修会	新任校（園）長	4. 26
校（園）長研修会	経験年数 2 年目の校（園）長	
教頭研修会	新任教頭	5. 31
教頭研修会	経験年数 2 年目の教頭	
学校運営研修会（Ⅰ）	経験年数 2 年目の教務主任	8. 6
学校運営研修会（Ⅱ）	新任校務主任	8. 5
幼稚園新規採用教員研修会	新規採用幼稚園教諭	7. 29
初任者研修会	新規採用教諭	
高等学校初任者研修会	新規採用高等学校教諭	
新規採用養護教員研修会	新規採用養護教諭	
高等学校新規採用養護教員研修会	新規採用高等学校養護教諭	
新規採用栄養教員研修会	新規採用栄養教諭	
新規採用学校事務職員研修会	新規採用学校事務職員	6. 25
教職経験者研修会（Ⅰ）	経験年数 5 年目の教諭	7. 25
高等学校教職経験者研修会（Ⅰ）	経験年数 5 年目の高等学校教諭	5. 7
養護教員経験者研修会（Ⅰ）	経験年数 5 年目の養護教諭	7. 23
栄養教員・学校栄養職員経験者研修会（Ⅱ）	経験年数10・11年目の栄養教諭・学校栄養職員	7. 22
幼稚園教員経験者研修会（Ⅱ）	経験年数10年目の幼稚園教諭	7. 22
教職経験者研修会（Ⅱ）	経験年数10年目の教諭	8. 23
高等学校教職経験者研修会（Ⅱ）	経験年数10年目の高等学校教諭	
養護教員経験者研修会（Ⅱ）	経験年数10・11年目の養護教諭	8. 6
高等学校養護教員経験者研修会（Ⅱ）	経験年数10・11年目の高等学校養護教諭	
学校事務職員経験者研修会（Ⅱ）	経験年数10・11年目の学校事務職員	8. 23
学校運営推進講座（Ⅱ）	経験年数13年目以上の教諭	8. 6
教育研究員	教育研究員	4. 19
人権教育研修会	研究実践校の新任・転任の校長・教頭・本務教諭・養護教諭・栄養教諭	4. 10
人権教育担当教員研修会	人権教育担当教諭	11. 19

3 資料の整備

教職員の人権問題に対する認識を深め、同和問題をはじめとする人権問題の解決に積極的な意

欲をもった人間を育てる教育の充実を図るため、人権教育を推進するための指導者用参考資料として「人権教育の手引き」を始めとして各種指導資料を充実した。

第3章 社 会 教 育

1 文化センター等における教育委員会主催事業

地域住民の生活の充実・教養の向上・相互交流の促進を図るための各種の事業を実施した。

区 分	開 設 回 数	延 参 加 者 数
教 養 講 座	回 181	人 1,838
子 ども 向 け 事 業 (親子対象事業を含む)	45	864
家 庭 教 育 講 座	21	364

2 市民の人権問題についての認識を深めるための社会教育

市民の一人ひとりが同和問題をはじめとする人権問題の解決を自らの課題であると認識するための啓発活動を実施した。

(1) 名古屋市民大学の開設

ア テ ー マ	人権ファシリテーター 養成講座 ～学びを活かして、「まちづくり」へ～		
イ 期 間	1月18日、1月25日、2月15日、3月1日、3月8日	10回	
ウ 受講者数	延べ148人		
エ 会 場	生涯学習推進センター		

(2) 市民大学公開講演会の開催

ア テ ー マ	輝かせて生きる
イ 期 日	12月4日
ウ 参加者数	293人
エ 会 場	中区役所ホール

(3) 社会教育施設等における人権問題学習

学級講座等の受講者を対象に、同和問題をはじめとする人権問題学習や冊子「みんなのねがい」、「人間らしいってなに」等による啓発を行った。

事 業 名	実 施 回 数	延 参 加 者 数
同 和 問 題 等 講 座	回 106	人 1,448
同和問題等特別講演会	4	101

※生涯学習センター、女性会館、青少年交流プラザ

(4) グループリーダー人権問題研修会

社会教育関係団体や地域社会の指導者を対象に、同和問題をはじめとする人権問題についての理解と認識を深めるため実施した。

ア 期 日 9月11・12日

イ 会 場 女性会館

ウ 内 容 講演、ビデオ鑑賞、グループ討議

エ 研 修 生 社会教育関係団体指導者、地域団体指導者等延べ110人

(5) 市民啓発のための資料の作成・整備

市民の同和問題をはじめとする人権問題についての認識を深めるために、視聴覚教材等を整備し、学習活動の充実を図った。

付 録

1 事務参考資料

出版物等一覧（平成25年4月1日～平成26年3月31日）

名 称	担当課等	時期 (月)	部数	形式	ページ	主な配布対象
学校配置図	総務課	8	5,000	B全	1	事務局各課室、公所、関係機関
教育要覧	企画経理課	9	110	A4	253	事務局各課室、公所、関係機関
名古屋市公共施設白書 資料編 施設カルテ[学校]	学校整備課	3	1,000	A4	413	各局区室、公所
名古屋の特別支援教育	指導室	6	6,400	A5	8	学校(園)、事務局各課室、公所、関係機関
特別支援教育資料	指導室	7	1,000	A4	28	学校(園)、事務局各課室、公所、関係機関
なごやの学校	指導室	3	900	A4	86	学校(園)、事務局各課室、公所、関係機関
定時制の生徒調査と研究紀要	指導室	12	300	A4	50	高等学校
まもろうたいせつないのち	指導室	3	47,000	A4	4	学校(園)
なごやっ子防災ノート 小学1～3年生用	指導室	5	20,100	A5	22	学校
なごやっ子防災ノート 小学4～6年生用	指導室	5	19,800	A5	22	学校
なごやっ子防災ノート 中学生用	指導室	5	18,100	A5	22	学校
防災教育の手引き	指導室	10	4,000	A4	76	学校
小学校国語の授業ハンドブック	指導室	3	500	A4	80	小学校・特別支援学校
いじめ防止教育プログラム	指導室	3	3,000	A4	91	学校
学校における人権教育をすすめるために～実用編～	指導室	3	12,000	A4	180	学校(園)
名古屋市立幼稚園の子どもたち	教職員課	9	15,000	A4	4	幼稚園、各区役所、その他の施設
親子で歩いてつくる安全マップ	学校保健課	7	40,500	A4	12	小学校1・4年生の児童・保護者
中学校スクールランチ	学校保健課	9	21,900	A4	2	中学校

名 称	担当課等	時期 (月)	部数	形式	ページ	主な配布対象
中学校スクールランチ ー楽しくおいしくバランス よくー	学校保健課	9	24,400	A 4	4	小学校
パンフレット「親学」	生涯学習課	6	292,000	A 4	8	市内全市立・国立・私立幼稚園・保育園・小・中・特別支援学校の保護者
幼児期家庭教育支援事業 「幼稚園の子どもたち」	生涯学習課	7・ 12・2	各 37,200	A 4	4	市内全市立・国立・私立幼稚園の保護者
生涯学習なごや	生涯学習推進センター	毎月	各5,000	A 4	16	市民
生涯学習に関する市民意識 調査ー市民の学習状況と学 習志向に関する調査ー	生涯学習推進センター	2	300	A 4	40	関係機関
楽しく充実した運動部活動 リーフレット	スポーツ振興課	3	73,650	A 4	2	学校・保護者
地域ジュニアスポーツクラブ リーフレット	スポーツ振興課	3	2,500	A 4	2	学校、関係機関、市民
文化財調査報告87「埋蔵文化財調査報告書70 志段味古墳群Ⅱ」	文化財保護室	2	450	A 4	208	関係機関
文化財調査報告88「埋蔵文化財調査報告書71 桜本町遺跡（第4次）味鋤B遺跡（第2次）東二葉町遺跡（第4次）」	文化財保護室	3	450	A 4	44	関係機関
文化財調査報告89「埋蔵文化財調査報告書72 NN105号窯」	文化財保護室	3	450	A 4	48	関係機関
文化財叢書97号「中御座之間北御庭惣絵考」	文化財保護室	8	1,200	A 5	97	関係機関
「歴史の里」基本計画本編	文化財保護室	3	550	A 4	57	関係機関
館報みはらし No.284～289	見晴台考古資料館	隔月	各1,200	A 4	4	関係機関、市民
見晴台考古資料館年報30	見晴台考古資料館	6	500	A 4	12	関係機関
名古屋市見晴台考古資料館 研究紀要 第16号	見晴台考古資料館	3	600	A 4	32	関係機関、市民
見晴台遺跡と笠寺公園	見晴台考古資料館	3	10,000	A 4	6	市民

名 称	担当課等	時期 (月)	部数	形式	ページ	主な配布対象
見晴台遺跡第44・45・46・47・48次発掘調査の記録	見晴台考古資料館	3	400	A 4	84	関係機関、市民
名古屋市立図書館年報 平成25年版	鶴舞中央図書館	7	99	A 4	61	関係図書館
こんなほん あんなほん 2013<小学生向き>	鶴舞中央図書館	7	7,500	B 6	32	市民
こんなほん あんなほん 2013<ティーンズ(中高生) 向き>	鶴舞中央図書館	7	5,200	B 6	16	市民
絵本で子育て あぶあぶ編 (3か月児健診用)	鶴舞中央図書館	5	21,100	A 5	16	市民
絵本で子育て よちよち編 (1歳6か月児検診用)	鶴舞中央図書館	5	20,800	A 5	16	市民
絵本で子育て すくすく編 (3歳児健診用)	鶴舞中央図書館	5	20,150	A 5	16	市民
選定児童図書目録 平成24年版	鶴舞中央図書館	5	1,100	A 4	22	学校、関係機関
なごやっ子読書ノート (1・2年生向き)	鶴舞中央図書館	6	43,500	B 5	16	学校
なごやっ子読書ノート (3・4年生向き)	鶴舞中央図書館	6	43,500	B 5	16	学校
なごやっ子読書ノート (5・6年生向き)	鶴舞中央図書館	6	43,500	B 5	16	学校
なごやっ子読書カード (中学生向き)	鶴舞中央図書館	6	12,000	A 3	1	学校
名古屋市博物館だより No.206～No.209	博物館	7・10・ 1・3	各3,800	A 4	8	関係機関、関係博物館、市民
名古屋市博物館年報 No. 36	博物館	7	800	A 4	36	関係機関、関係博物館
名古屋市博物館研究紀要 第37巻	博物館	3	900	A 4	70	関係機関、関係博物館、市民
猿猴庵の本 第20回配本 「東街便覧図略 巻四」	博物館	3	1,500	A 4	128	関係機関、関係博物館、市民
平成26年度企画展のご案内	蓬左文庫	3	20,000	A 3 2つ折り	4	市民
蓬左 No.87～No.88	蓬左文庫	10・3	4,000	A 4	8	関係機関、学校、市民
名古屋市美術館ニュースア ートペーパー No.93～No.95	美術館	8・ 12・3	各5,000	A 2 2つ折り	4	市民

名 称	担当課等	時期 (月)	部数	形式	ページ	主な配布対象
「キッズの日」案内スケジュール	美術館	3	38,000	A 4	2	市民
名古屋市美術館年間案内	美術館	3	20,000	A 4 4つ折り	8	市民
アサラスコープ No. 402～No. 405	科学館	5	18,000	A 4	4	学校、公所、同種 施設、市民
		6	20,000		6	
		9	20,000		4	
		3	25,000		8	
名古屋市科学館要覧 (平成25年度)	科学館	8	500	A 4	75	同種施設、関係機 関
科学館紀要 No.40	科学館	3	350	A 4	80	同種施設、関係機 関
事業案内	教育センター	3	800	A 4	47	学校(園)、公所
教育センターNAGOYA No.63～No.65	教育センター	4	12,000	A 4	16	学校(園)、公所
		10	各		8	
		2	11,500		8	
教育研究員研究要録	教育センター	2	610	C D	526	学校(園)、教育研 究所
「ハートフレンドなごや」 リーフレット	教育センター	3	10,000	A 4 3つ折り		学校(園)、公所
名古屋教育史Ⅱ	教育センター	3	4,500	A 5	597	事務局各課室、公 所、関係機関、学 校(園)
なごや子ども体験活動情報 「わくわくキッズナビ 2013」	子ども青少 年局 青少年家庭 課	7	163,000	A 4	24	学校、関係機関

2 教 育 年 表

(平成25年4月～平成26年3月)

▲印は、名古屋市の教育に関係のあるものを示す。

月 日	事 項
4. 1	▲昭和区川原小学校分校、昭和区川名中学校分校開校
2	文部科学省、いじめの未然防止や解決に向けて人権擁護委員など法務省の人権機関と連携の強化を求めるよう通知
23	文部科学・厚生労働両省まとめ。4月1日現在、幼稚園と保育所の機能を併せ持つ「認定こども園」は1,099施設で、政府目標の約半数にとどまる
24	文部科学省、2013年度の「全国学力・学習状況調査」を全国一斉に実施。公立小中学校全部を対象とした悉皆(しっかい)方式は4年ぶりとなる
5. 4	総務省統計局、15歳未満の子どもの人口は1,649万人で32年連続減少
12	文部科学省、2012年度に公立小中学校で通級指導を受けている児童・生徒は7万1,519人で、初めて7万人を突破したとの調査結果を発表
16	文部科学省、早期に警察に通報すべき犯罪に当たるいじめの具体例を都道府県教委などに通知。悪口などが犯罪になる可能性も
6. 1	文部科学省、幼児教育の無償化について、現行制度を拡充させる方針。来年度から所得制限を撤廃し、兄・姉が小学3年生以下であれば、第3子以降は全て無償に。第2子は半額補助
21	「いじめ防止対策推進法」が成立。いじめの定義を、対象にされた児童・生徒が「心身の苦痛を感じているもの」と規定。9月28日に施行
22	ユネスコ、「富士山」の世界文化遺産登録を決定
25	OECD、2010年の調査結果を発表。GDP比で見た教育機関への公的支出割合は前年と同じ3.6%にとどまり、30カ国で最下位。日本の最下位は4年連続
7. 9	文部科学省、2012年度「文部科学白書」を公表。いじめと体罰への対応を緊急課題と強調
26	東京大学、2015年度末までに現行2学期制から4学期制に移行することを決定。海外留学や留学生受け入れを容易にする狙い
8. 26	学校教育法施行令の改正。障がいのある子どもの就学先について、特別な事情がある場合のみ普通学校への就学を認めていた規定を撤廃。9月1日から適用
27	文部科学省、2013年度の「全国学力・学習状況調査」の結果を公表。基礎知識を問う問題で改善が見られる一方、活用力を試す問題に課題が残るという例年どおりの傾向

9. 1	▲守山区志段味東小学校が移転開設
7	2020年の夏季オリンピックの開催都市が東京に決定。東京開催は56年ぶり 2 度目
14	JAXA、12年ぶりの国産新型ロケット「イプシロン」の打ち上げに成功
10. 7	OECD、初の「国際成人力調査」の結果を公表。日本の大人は、読解力と数的思考力で世界 1 位に
10	警察庁、「サイバー補導」の実施を全国の警察に指示。インターネットによる子どもの犯罪被害防止のため
11. 12	スポーツを通じて名古屋のまちを盛り上げていくため、地元の 1 2 のスポーツチームとともに名古屋トップ・スポーツチーム連絡協議会「でらスポ名古屋」を立ち上げた
14	15道府県・20政令市、道府県が負担している政令市立学校の教職員給与について、2017年度から政令市負担とすることに合意
27	2014年度から所得制限を導入する改正高校無償化法が成立。2014年度高校入学者から年収 910万円以上の世帯は無償化の対象外に
29	文部科学省、2014年度の「全国学力・学習状況調査」の実施要領を発表。自治体による学校別結果の公表を認める一方、分析結果や改善策なども示し、序列化を避けるよう求めた 文部科学省、学校教育法施行規則の改正。公立学校で土曜授業を推進するため、「教育委員会が必要と認める場合は土曜日等に授業の実施ができる」と明確化
12. 4	ユネスコ、「和食」の無形文化遺産登録を決定
10	文部科学省、問題行動調査の結果を発表。2012年度に全国の小・中・高等学校などが把握したいじめは約19万 8 千件で、前年度の2.8倍
26	下村文部科学相、来春から配布する小中学生向け道徳教材「心のノート」を発表。全面改訂し、新名称は「わたしたちの道徳」。偉人などを題材とした「読み物」を盛り込んだ内容
1. 28	文部科学省、中・高校の学習指導要領の解説書を改訂。尖閣諸島と竹島について、「我が国固有の領土」と明記。中学校は2016年度から、高校は2017年度から使用する教科書に反映される
2. 21	文化庁、「異字同訓」漢字の使い分けで133例を示した報告書を発表
27	警察庁まとめ。2013年に把握した学校でのいじめを原因とする事件は410件。28年ぶりに400件を突破

3. 24	▲「歴史の里」基本計画の策定（「歴史の里」整備に向けての基本理念や利用・整備内容等について定めた）
7～9	▲「名古屋シティマラソン」と「名古屋ウィメンズマラソン」「名古屋ウィメンズホールチェアマラソン」を併催する「マラソンフェスティバル ナゴヤ・愛知」を開催
26	文部科学省、学校給食での食物アレルギー事故防止のためアレルギーのある子どもの保護者に医師の診断書提出などを義務付けるよう通知

3 中学校区一覧

(平成26年4月1日現在)

区名	中学校名	学区関係小学校名
千種	今池 城山 東星 千種台 千種 振甫 若水	内山千種 千石 田代見付 東山星ヶ丘 自由ヶ丘富士見台 宮根千代田橋 大和上野 春岡高見
東	あずま 富士 桜丘 矢田	筒井葵 東桜山吹 東白壁 旭丘明倫 矢田砂田橋
北	若葉 志賀 北陵 大曾根 八王子 楠 北	杉村名北 金城光城 川中 辻東志賀 城北 飯田宮前 六郷六郷北 大杉清水 楠如意 楠西 味鏡西味鏡

区名	中学校名	学区関係小学校名
西	浄心 菊井 名塚 天神山 山田 平田 山田東	上名古屋城西 児玉 幅下江西 那古野 庄内稲生 榎栄生 枇杷島南押切 山田中小田井 平田浮野 大野木比良 比良西
中村	豊国 笹島 笈瀬 御田 豊正 黄金 日比津	日吉千成 笹島 ほのか 柳岩塚 八社 中村稲葉地 稲西 牧野米野 豊臣日比津 諏訪
中	前津 丸の内	栄大須 名城御園

区名	中学校名	学区関係小学校名
中	伊 勢 山 白 山	松 原 橋 平 和 正 木 新 栄 老 松 千 早
昭和	桜 山 北 山 川 名 駒 方 円 上	松 栄 御 器 所 鶴 舞 吹 上 川 原 伊 勝 滝 川 広 路 八 事 村 雲 白 金
瑞穂	田 光 瑞穂ヶ丘 萩 山 汐 路 津 賀 田	堀 田 穂 波 御 劔 高 田 弥 富 中 根 豊 岡 汐 路 陽 明 瑞 穂 井 戸 田
熱田	沢 上 宮 日 比 野	高 蔵 旗 屋 千 年 白 鳥 船 方 野 立 大 宝
中川	一 色 長 良 山 王 一 柳	正 色 五 反 田 愛 知 常 磐 篠 原 露 橋 広 見 熊 橋 八 熊 子 野 田 荒 子 野 田

区名	中学校名	学区関係小学校名
中川	高 杉 八 幡 昭 和 橋 富 田 供 米 田 助 光 は と り	中 島 西 中 島 八 幡 昭 和 橋 玉 川 春 田 明 正 戸 田 豊 治 長 須 賀 西 前 田 千 音 寺 赤 星 万 場
港	港 南 港 北 当 知 宝 神 東 港 港 明 南 陽 南 陽 東	大 手 稲 永 野 跡 小 碓 正 保 明 徳 当 知 港 西 高 木 神 宮 寺 東 築 地 西 築 地 港 楽 中 川 東 海 成 章 西 福 田 福 田 福 春 南 陽
南	本 城 新 郊 桜 田 大 江 明 豊	笠 寺 笠 東 星 崎 呼 続 大 磯 桜 住 春 日 野 菊 田 道 徳 豊 田 治 伝 馬 明 治

区名	中学校名	学区関係小学校名
南	名 南 南 光	白 水 柴 田 千 鳥 大 生 宝 宝 南
守山	守 山 守 山 北 守 山 東 大 森 森 孝 守 山 西 志 段 味	守 山 西 城 廿 軒 家 小 幡 北 白 沢 小 幡 苗 代 大 森 大 森 北 天 子 田 森 孝 西 本 地 丘 森 孝 東 二 城 鳥 羽 見 瀬 古 志 段 味 東 志 段 味 西 吉 根 下 志 段 味
緑	鳴 海 左 京 山 滝 ノ 水 扇 台 鎌 倉 台 千 鳥 丘 東 陵 鳴 子 台 神 沢	鳴 海 相 原 緑 平 子 旭 出 滝 ノ 水 小 坂 鳴海東部 徳 重 常 安 大 清 水 片 平 浦 里 東 丘 太 子 鳴 子 長 根 台 戸 笠 黒 石 桃 山

区名	中学校名	学区関係小学校名
緑	有 松 大 高 神 の 倉	有 松 桶 狭 間 南 陵 大 高 大 高 南 大 高 北 神 の 倉 熊 の 前
名東	猪 高 上 社 藤 森 猪 子 石 香 流 神 丘 高 針 台 牧 の 池	猪 高 猪 子 石 北 一 社 上 社 本 郷 藤 が 丘 豊 が 丘 蓬 来 平和が丘 香 流 引 山 西 山 名 東 高 針 極 楽 貴 船 前 山 梅 森 坂 牧 の 原
天白	天 白 植 田 南 天 白 平 針 原 久 方 御 幸 山	天 白 山 根 植 田 植 田 北 植 田 南 植 田 東 野 並 平 針 平 針 南 原 平 針 北 高 坂 相 生 しまだ 八 事 東 表 山 大 坪

教 育 要 覧

平 成 26 年 版

発 行 名 古 屋 市 教 育 委 員 会

編 集 名 古 屋 市 教 育 委 員 会 事 務 局
総 務 部 企 画 経 理 課

発行年月 平 成 2 6 年 9 月

この冊子は、古紙パルプを含む再生紙を使用しています。